

春日井市
健康づくりに関するアンケート調査
結果報告書

2023（令和5）年3月
春日井市

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
(1) 調査対象・調査期間	1
(2) 配布・回収方法	1
(3) 回収結果	2
3. 結果の見方	2

第2章 調査の概要

1. 妊産婦アンケート	3
(1) あなた自身のことについて	3
(2) 健康状況や健康づくり全般について	4
(3) 栄養・食生活について	6
(4) 休養・こころの健康について	8
(5) たばこ・アルコールについて	10
(6) 歯と口の健康について	15
(7) 妊娠中の健康管理について	16
(8) コロナ禍での出産について	17
(9) 予防接種やお子さんの健康管理について	17
(10) 子育てについて	18
2. 幼児保護者アンケート	20
(1) 回答者について	20
(2) お子さんのことについて	20
(3) お子さんの食生活について	21
(4) お子さんの生活習慣・環境について	24
(5) 保護者の食生活・食育について	29
(6) 保護者の普段の生活について	32
(7) 子育てについて	35
(8) 予防接種・幼児健診について	41
(9) お子さんの健康管理について	44

3. 児童生徒アンケート	46
(1) あなたのことについて	46
(2) 体調や健康づくりについて	47
(3) ふだんの生活について	52
(4) 食事について	64
(5) 運動について	77
(6) こころの健康について	78
(7) たばこについて	83
(8) お酒について	85
(9) 薬物について	87
4. 成人アンケート	89
(1) あなた自身のことについて	89
(2) 健康状況や健康づくり全般について	94
(3) 栄養・食生活について	100
(4) 身体活動・運動について	111
(5) 休養・こころの健康について	119
(6) 歯と口の健康について	136
(7) たばこについて	142
(8) アルコールについて	149
(9) 健康管理について	155
(10) 地域への参加、地域の環境について	167

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の健康や食育に関する状況を把握し、2014（平成26）年3月に策定された「かすかい健康計画2023」の最終評価と、2024（令和6）年度から開始する次期計画の作成に関する基礎資料とすることを目的に、本調査を実施しました（2022（令和4）年10月5日（水）～2022（令和4）年12月22日（木）の間で実施）。

2. 調査の概要

(1) 調査対象・調査期間

区分	調査対象
妊産婦	■パパママ教室参加者 ■春日井市在住で1歳未満の子どもがいる保護者 ※2022（令和4）年10月5日（水）～12月2日（金）で実施
幼児の保護者	■春日井市在住で1歳の子どもがいる保護者 ■春日井市在住で3歳の子どもがいる保護者 ■春日井市内の幼稚園・保育園に通う年長児の保護者 ※2022（令和4）年11月4日（金）～12月22日（木）で実施
児童生徒	■春日井市在住で公立小学校に通う小学校5年生 ■春日井市在住で公立中学校に通う中学校2年生 ■春日井市在住の高等学校2年生 ※2022（令和4）年11月4日（金）～11月21日（月）で実施
成人	■春日井市在住で19歳以上の市民（2022（令和4）年4月以降に19歳となる人を含む） ※2022（令和4）年11月4日（金）～11月21日（月）で実施

(2) 配布・回収方法

区分	配布方法	回収方法
妊産婦	①パパママ教室でアンケートの案内・調査票を配布 ②4か月児健診の案内にアンケートの案内を同封、健診実施日に調査票を配布 ③1歳未満の子どもがいる世帯にアンケートの案内を郵送（追加実施：全世帯）	Web回答 ※一部直接回収
幼児の保護者	①1歳6か月児、3歳児健診の案内にアンケートの案内を同封、健診実施日に調査票を配布 ②1歳もしくは3歳の子どもがいる世帯にアンケートの案内を郵送（追加実施：無作為抽出）	Web回答 ※一部直接回収
	③幼稚園・保育園にて調査票を配布	幼稚園・保育園にて回収＋Web回答
児童生徒	①小中学生：学校にてアンケートの案内を配布 ②高校生：郵送にてアンケートの案内を配布	Web回答
成人	郵送にて調査票を配布（無作為抽出）	郵送回収＋Web回答

(3) 回収結果

区分	配布数		回収率 (回収数)
妊産婦	計 2,181 件	1歳未満の子どもがいる保護者：2,131名 パパママ教室の参加者：50名	48.1% (1,049件)
幼児の 保護者	計 3,745 件	1歳または3歳の子どもがいる保護者：3,300名 幼稚園・保育園年長児の保護者：445名	45.0% (1,687件)
児童生徒	計 4,666 件	小学校5年生：900名 中学校2年生：842名 高等学校2年生：2,924名	41.1% (1,920件)
成人	計 3,944 件	19歳以上の市民：3,944名	34.9% (1,377件)

3. 結果の見方

- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者数を表しています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の選択肢については、便宜上、意図が変わらない範囲で省略して表記している場合があります。
- 青年期、壮年期、前期高齢期、後期高齢期の年齢区分については以下の通りです。
青年期：19～39歳
壮年期：40～64歳
前期高齢期：65～74歳
後期高齢期：75歳以上

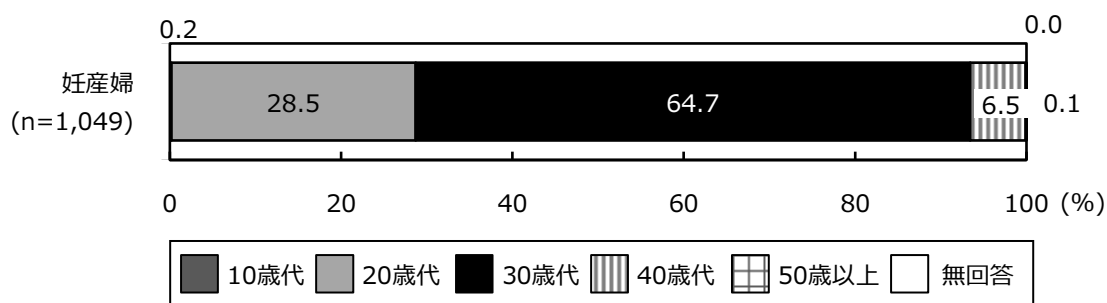
第2章 調査結果

1. 妊産婦アンケート

(1) あなた自身のことについて

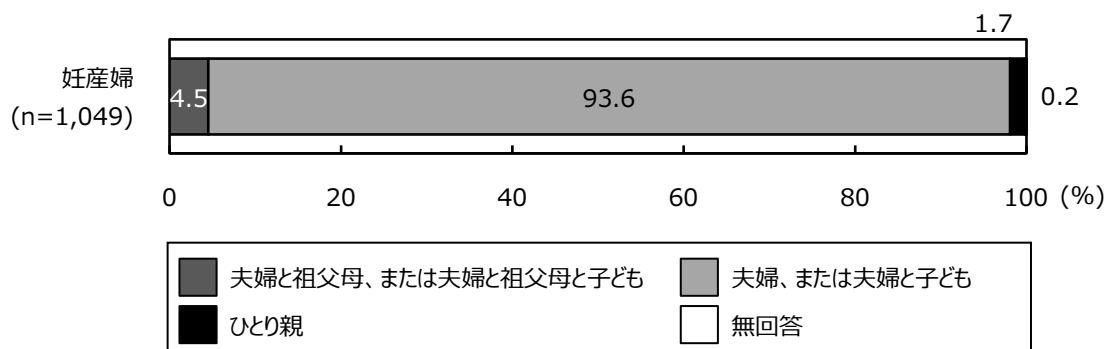
問1 年齢はおいくつですか。(単数回答)

「30歳代」が64.7%と最も高く、次いで、「20歳代」が28.5%となっています。



問2 同居している方を教えてください。(複数回答)

同居者から世帯構成をみると、「夫婦または夫婦と子ども」が93.6%と最も高く、次いで、「夫婦と祖父母または夫婦と祖父母と子ども」が4.5%、「ひとり親」が1.7%となっています。

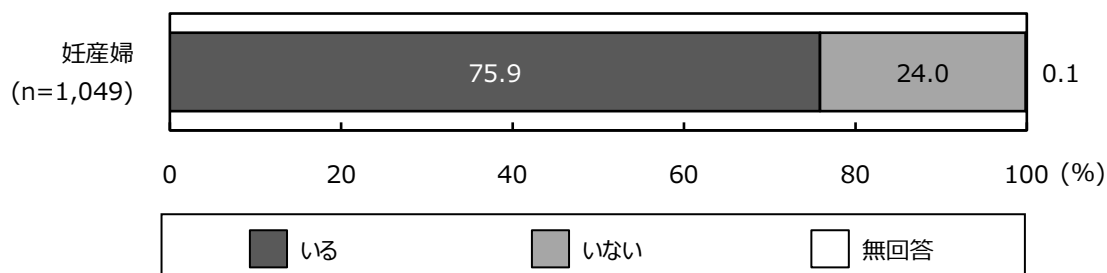


注：「夫婦と祖父母、または夫婦と祖父母と子ども」、「夫婦、または夫婦と子ども」、「ひとり親」には他の同居者がいる場合も含めている。

問3 配偶者以外で子育てのお手伝いをしてくれる人はいますか。(単数回答)

※妊娠中の人は出産後のことを想定してお答えください。

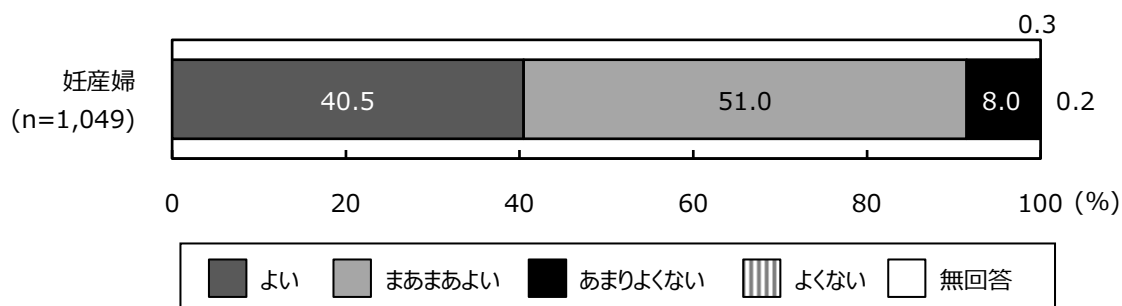
「いる」が75.9%、「いない」が24.0%と、「いる」の方が高くなっています。



(2) 健康状況や健康づくり全般について

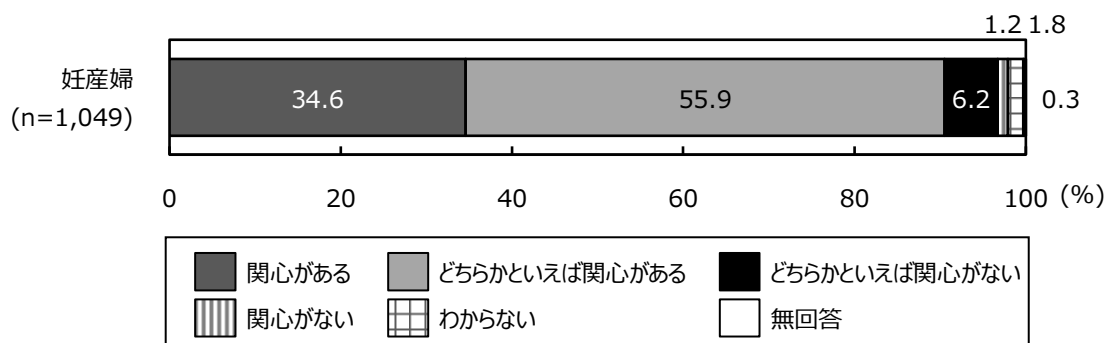
問4 ご自分の健康状態についてどう感じていますか。(単数回答)

「まあまあよい」が51.0%と最も高く、次いで、「よい」が40.5%となっており、『よい』（「よい」 + 「まあまあよい」）については91.5%と、大半を占めています。



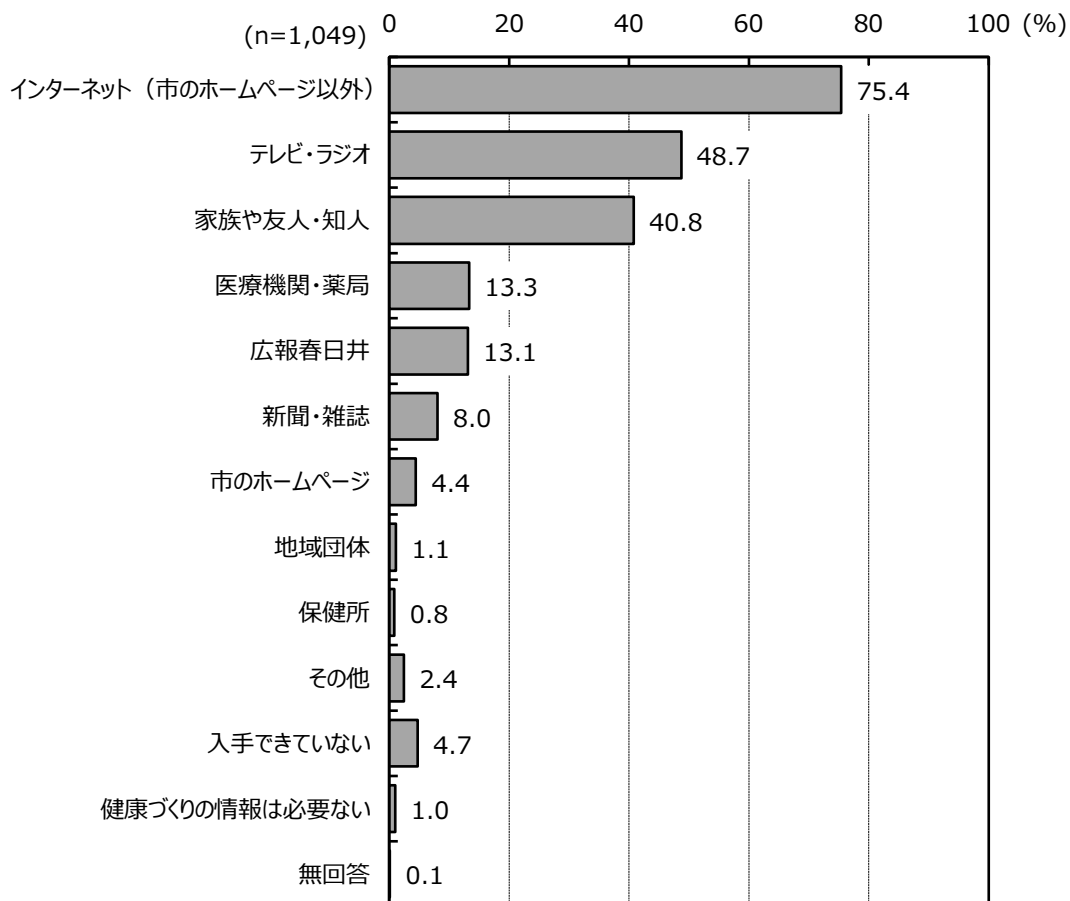
問5 健康づくりに関心はありますか。(単数回答)

「どちらかといえば関心がある」が55.9%と最も高く、次いで、「関心がある」が34.6%となっており、『関心がある』（「関心がある」 + 「どちらかといえば関心がある」）については90.5%と、大半を占めています。



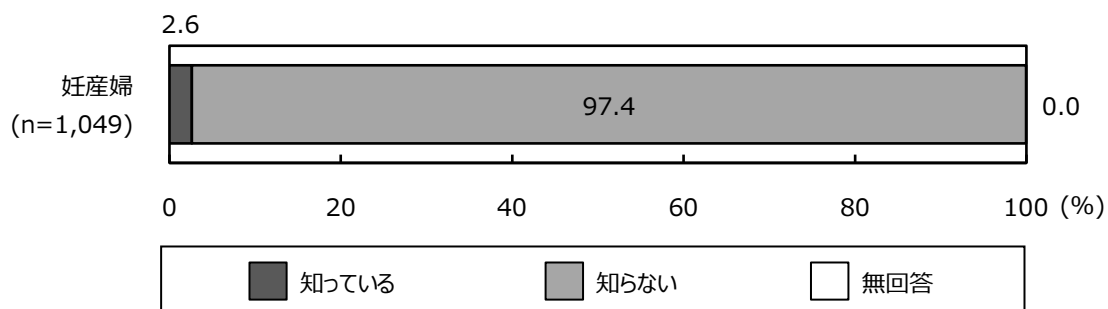
問6 健康づくりに関する情報をどこから入手していますか。(複数回答)

「インターネット」が75.4%と最も高く、次いで、「テレビ・ラジオ」が48.7%、「家族や友人・知人」が40.8%となっています。



問7 「かすがい健康計画 2023」を知っていますか。(単数回答)

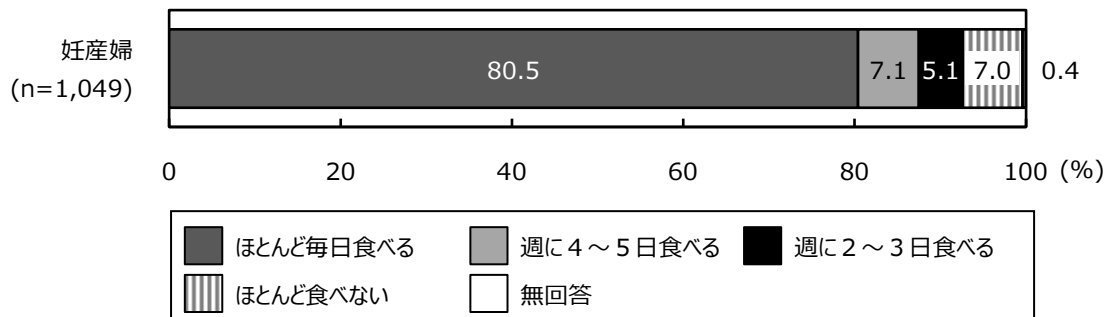
「知っている」が2.6%、「知らない」が97.4%と、「知らない」が大半を占めています。



(3) 栄養・食生活について

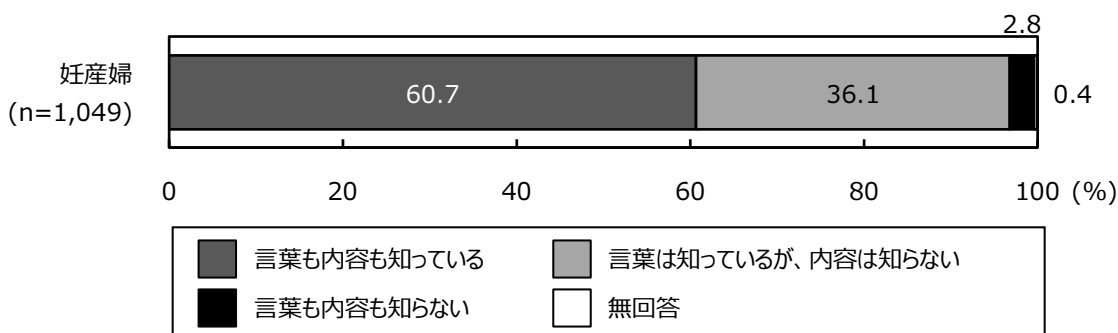
問8 朝食を食べていますか。(単数回答)

「ほとんど毎日食べる」が80.5%と、大半を占めています。



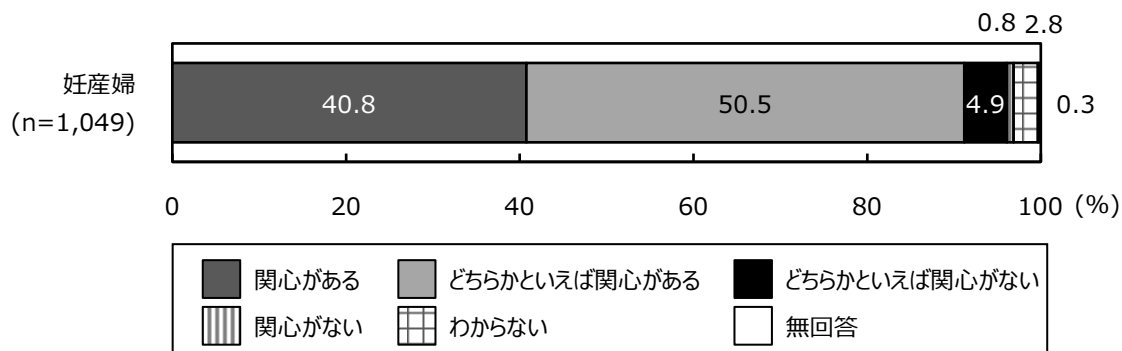
問9 「食育」という言葉を知っていますか。(単数回答)

「言葉も内容も知っている」が60.7%と最も高く、次いで、「言葉は知っているが、内容は知らない」が36.1%、「言葉も内容も知らない」が2.8%となっています。



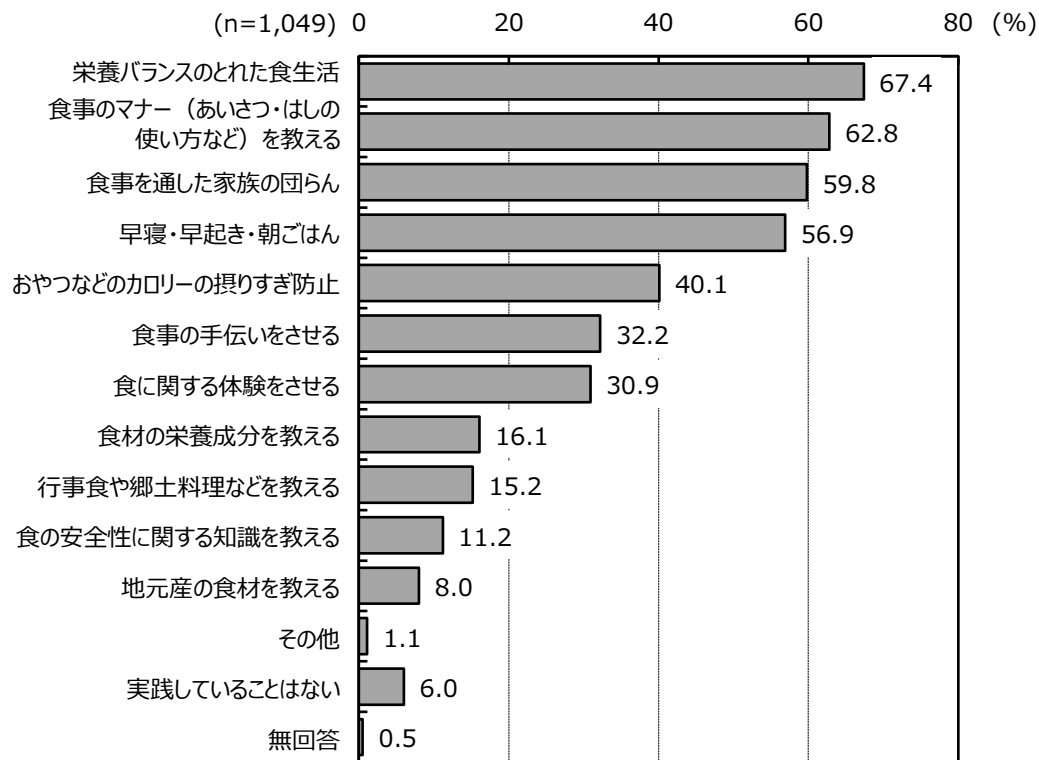
問10 「食育」に関心がありますか。(単数回答)

「どちらかといえば関心がある」が50.5%と最も高く、次いで、「関心がある」が40.8%となっており、『関心がある』(「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」)については91.3%と、大半を占めています。



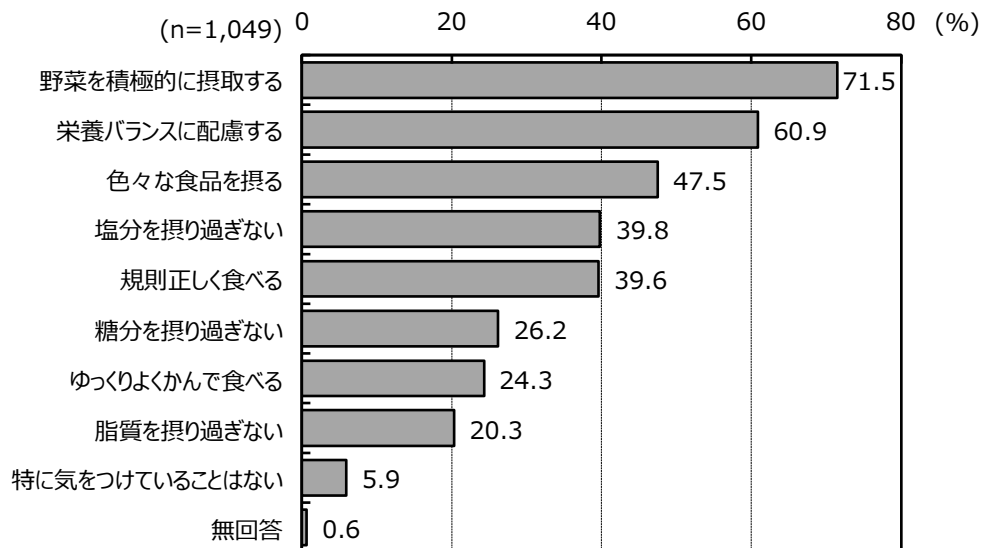
問11 「食育」として、子どもにどのようなことを実践していますか。(複数回答)
 ※妊娠中の人は出産後に実践したいこととしてお答えください。

「栄養バランスのとれた食生活」が67.4%と最も高く、次いで、「食事のマナー(あいさつ・はしの使い方など)を教える」が62.8%、「食事を通した家族の団らん」が59.8%、「早寝・早起き・朝ごはん」が56.9%、「おやつなどのカロリーの摂りすぎ防止」が40.1%となっています。



問12 食生活について、どのようなことに気をつけていますか。(複数回答)

「野菜を積極的に摂取する」が71.5%と最も高く、次いで、「栄養バランスに配慮する」が60.9%、「色々な食品を摂る」が47.5%となっています。

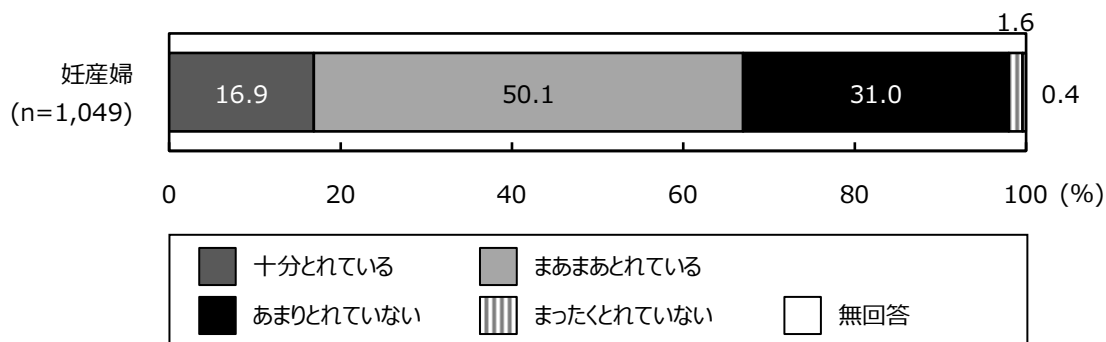


(4) 休養・こころの健康について

問13 睡眠による休養は、十分とれていますか。(単数回答)

「まあまあとれている」が50.1%と最も高く、次いで、「あまりとれていない」が31.0%、「十分とれている」が16.9%となっています。

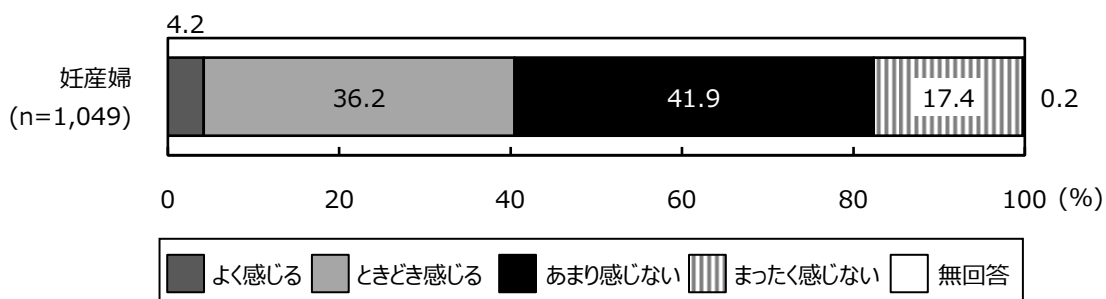
『とれている』(「十分とれている」+「まあまあとれている」)については67.0%、『とれていない』(「まったくとれていない」+「あまりとれていない」)については32.6%と、『とれている』の方が高くなっています。



問14 日常において孤独や孤立を感じることはありますか。(単数回答)

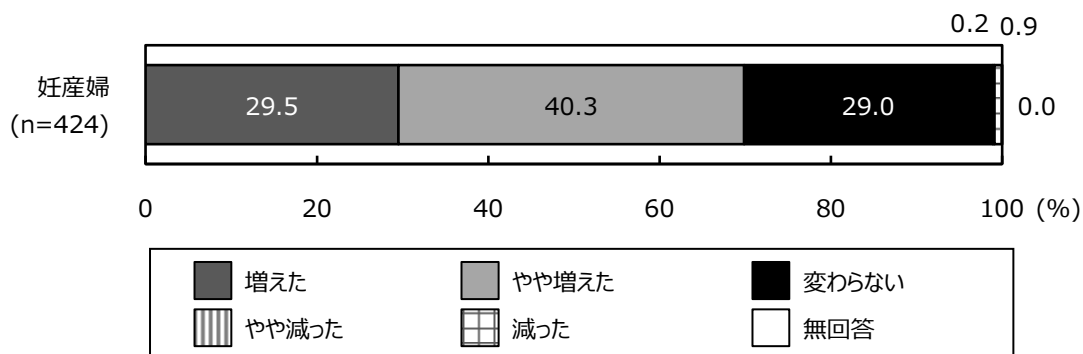
「あまり感じない」が41.9%と最も高く、次いで、「ときどき感じる」が36.2%、「まったく感じない」が17.4%となっています。

『感じる』(「よく感じる」+「ときどき感じる」)については40.4%、『感じない』(「まったく感じない」+「あまり感じない」)については59.3%と、『感じない』の方が高くなっています。



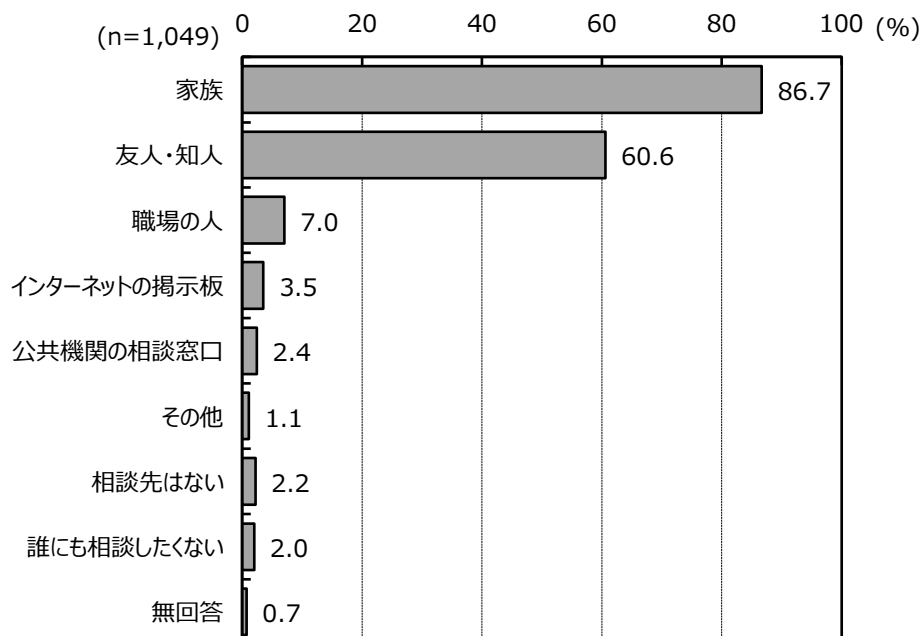
問 15 新型コロナウイルスの流行前と比べて、孤独を感じることは増えましたか。(単数回答)
 《問 14 で「よく感じる」、「ときどき感じる」と回答した人が対象》

「やや増えた」が40.3%と最も高く、次いで、「増えた」が29.5%、「変わらない」が29.0%となっており、『増えた』（「増えた」+「やや増えた」）については69.8%となっています。



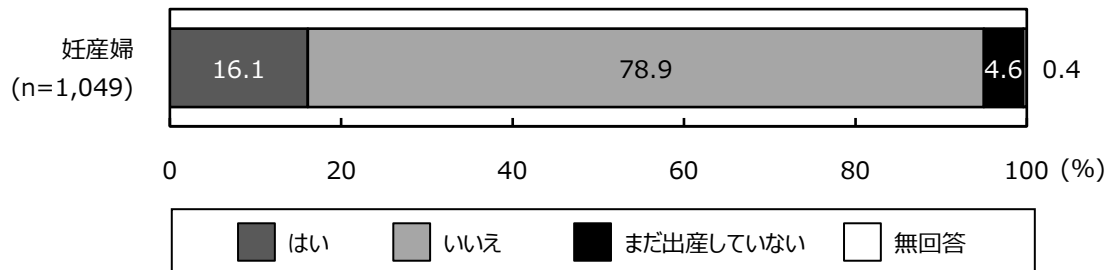
問 16 孤独や孤立を感じたとき、悩みや困りごとがあるとき、だれに相談しますか。(複数回答)

「家族」が86.7%と最も高く、次いで、「友人・知人」が60.6%となっています。



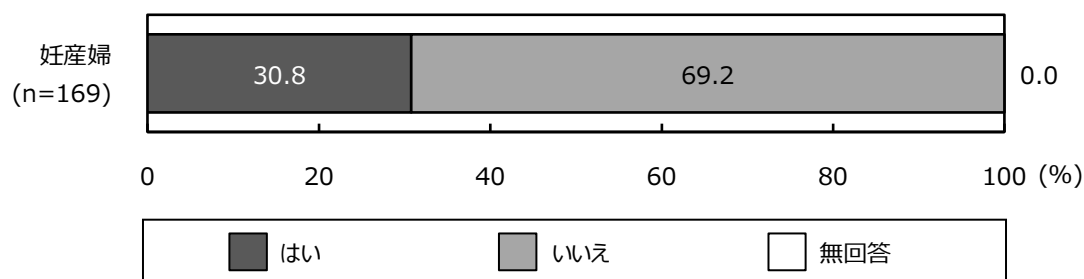
問 17 出産してから今までに2週間以上にわたり何もやる気がしない、気分が落ち込む、食欲がないなどと感じることがありますか（ありましたか）。（単数回答）

「はい」が16.1%、「いいえ」が78.9%と、「いいえ」の方が高くなっています。



問 18 産後に何もやる気がしない、気分が落ち込む、食欲がないなどを感じたとき、病院・専門機関に相談したことがありますか（ありましたか）。（単数回答）
《問 17 で「はい」と回答した人が対象》

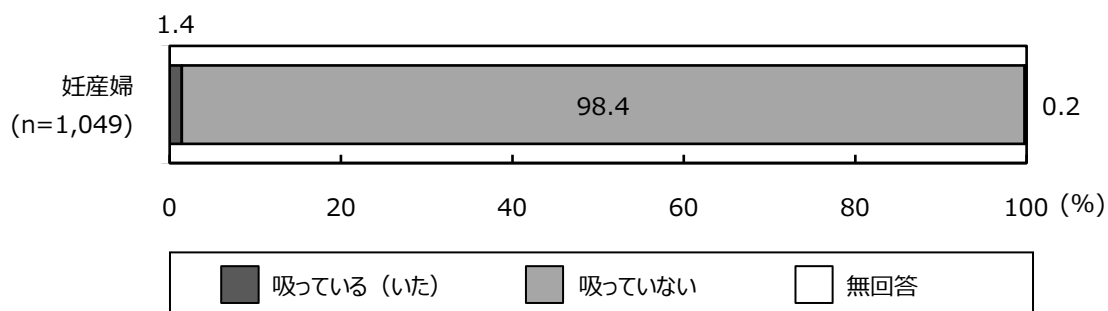
「はい」が30.8%、「いいえ」が69.2%と、「いいえ」の方が高くなっています。



(5) たばこ・アルコールについて

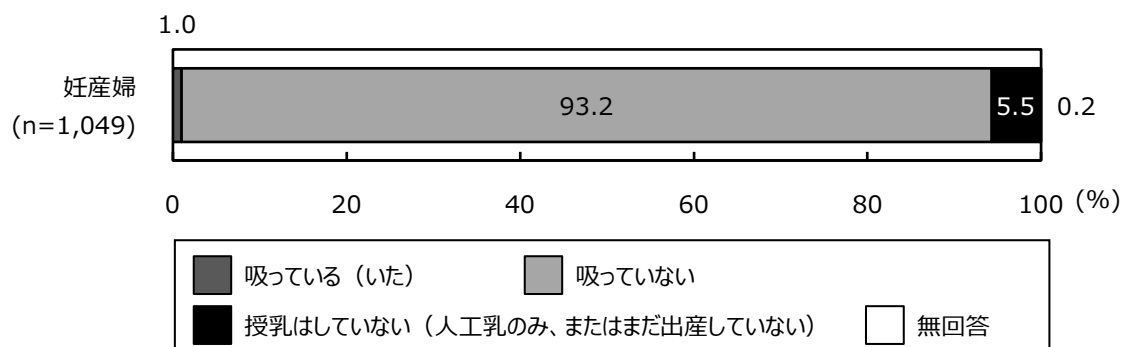
問 19 妊娠中にたばこを吸っていますか（いましたか）。（単数回答）

「吸っている（いた）」が1.4%、「吸っていない」が98.4%と、「吸っていない」が大半を占めています。



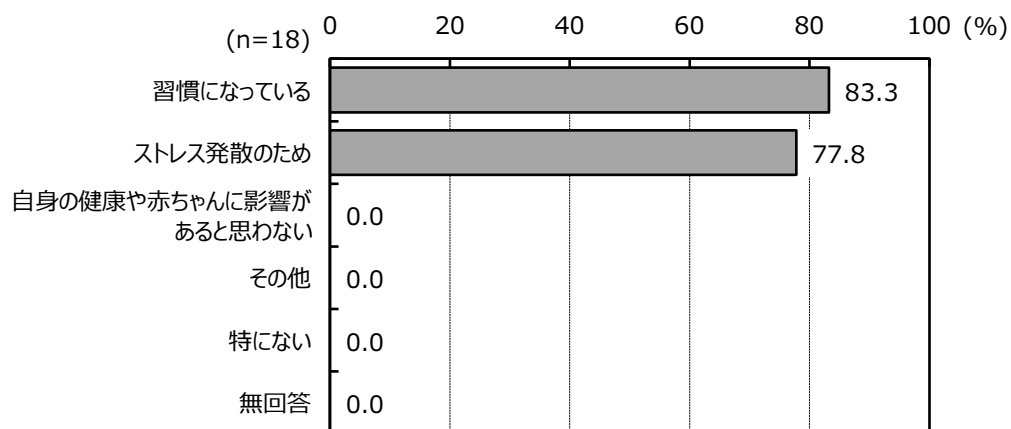
問 20 授乳中にたばこを吸っていますか（いましたか）。（単数回答）

「吸っている（いた）」が 1.0%、「吸っていない」が 93.2%と、「吸っていない」が大半を占めています。



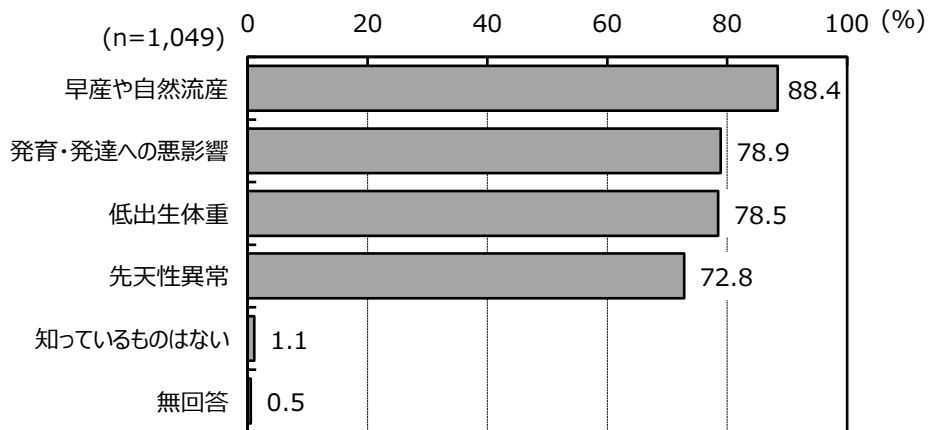
問 21 喫煙している（いた）理由は何ですか。（複数回答）
《問 19、問 20 のいずれかで「吸っている（いた）」と回答した人が対象》

「習慣になっている」が 83.3%、「ストレス発散のため」が 77.8%となっています。



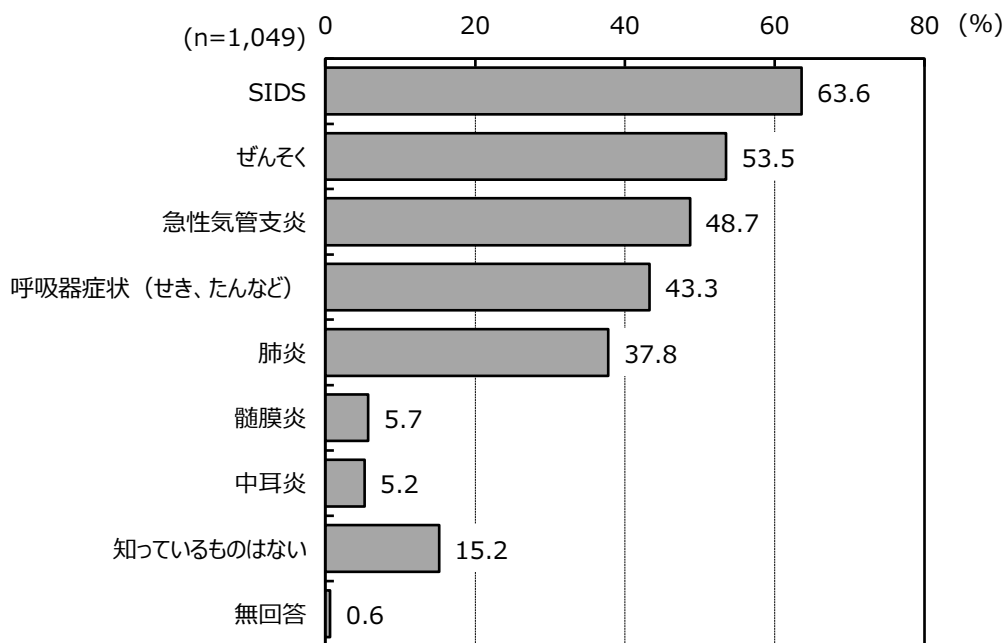
問 22 妊娠中の喫煙が、子どもに与える影響について、知っているものはどれですか。
(複数回答)

「早産や自然流産」が 88.4%と最も高く、次いで、「発育・発達への悪影響」が 78.9%、「低出生体重」が 78.5%、「先天性異常」が 72.8%となっています。



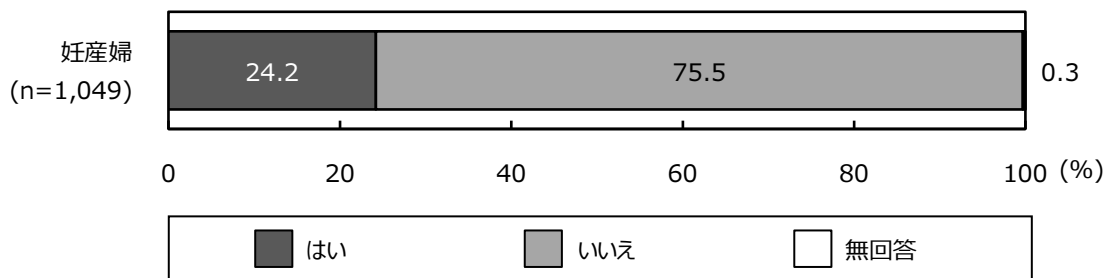
問 23 授乳中の喫煙が、子どもに与える影響について、知っているものはどれですか。
(複数回答)

「SIDS」が 63.6%と最も高く、次いで、「ぜんそく」が 53.5%、「急性気管支炎」が 48.7%、「呼吸器症状 (せき、たんなど)」が 43.3%、「肺炎」が 37.8%となっています。



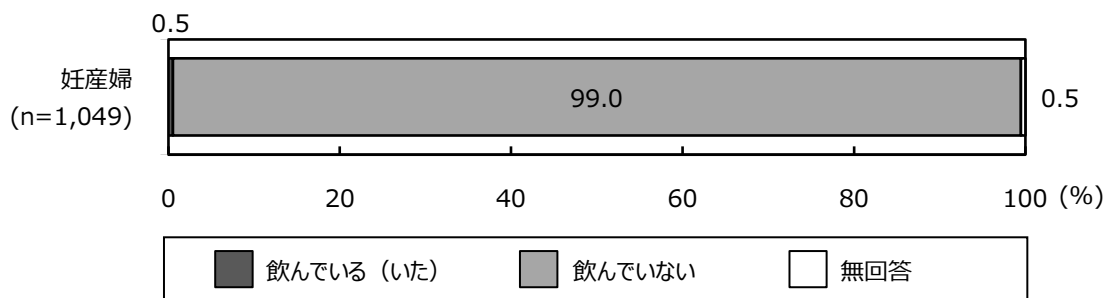
問 24 妊娠中、あなたの近くでたばこを吸う人はいます (いました) か。(単数回答)

「はい」が24.2%、「いいえ」が75.5%と、「いいえ」の方が高くなっています。



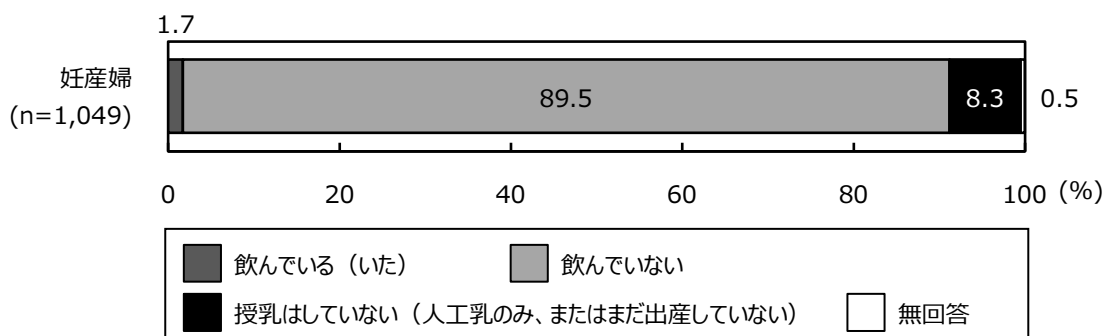
問 25 妊娠中にお酒を飲んでいますか (いましたか)。(単数回答)

「飲んでいる (いた)」が0.5%、「飲んでいない」が99.0%と、「飲んでいない」が大半を占めています。



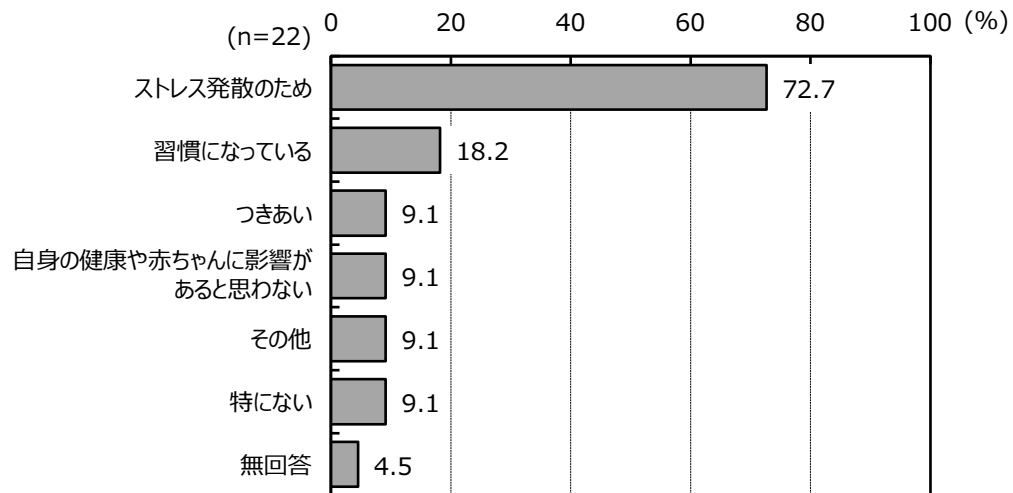
問 26 授乳中にお酒を飲んでいますか (いましたか)。(単数回答)

「飲んでいる (いた)」が1.7%、「飲んでいない」が89.5%と、「飲んでいない」が大半を占めています。



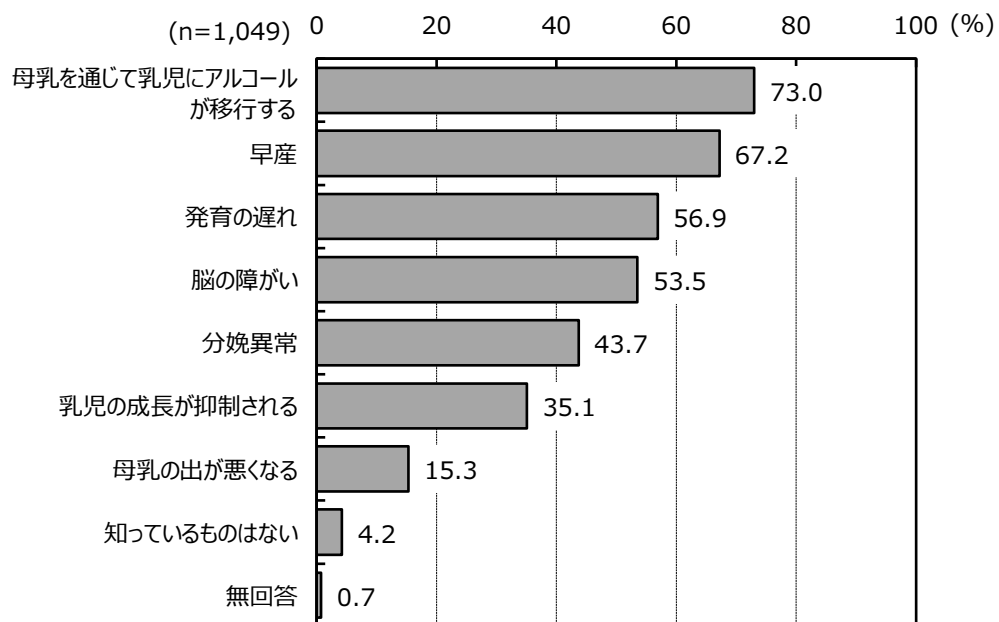
問 27 飲酒している（いた）理由は何ですか。（複数回答）
 《問 25、問 26 のいずれかで「飲んでいる（いた）」と回答した人が対象》

「ストレス発散のため」が 72.7%と最も高く、次いで、「習慣になっている」が 18.2%となっています。



問 28 妊娠中または授乳中の飲酒が、子どもに与える影響について知っているものはどれですか。（複数回答）

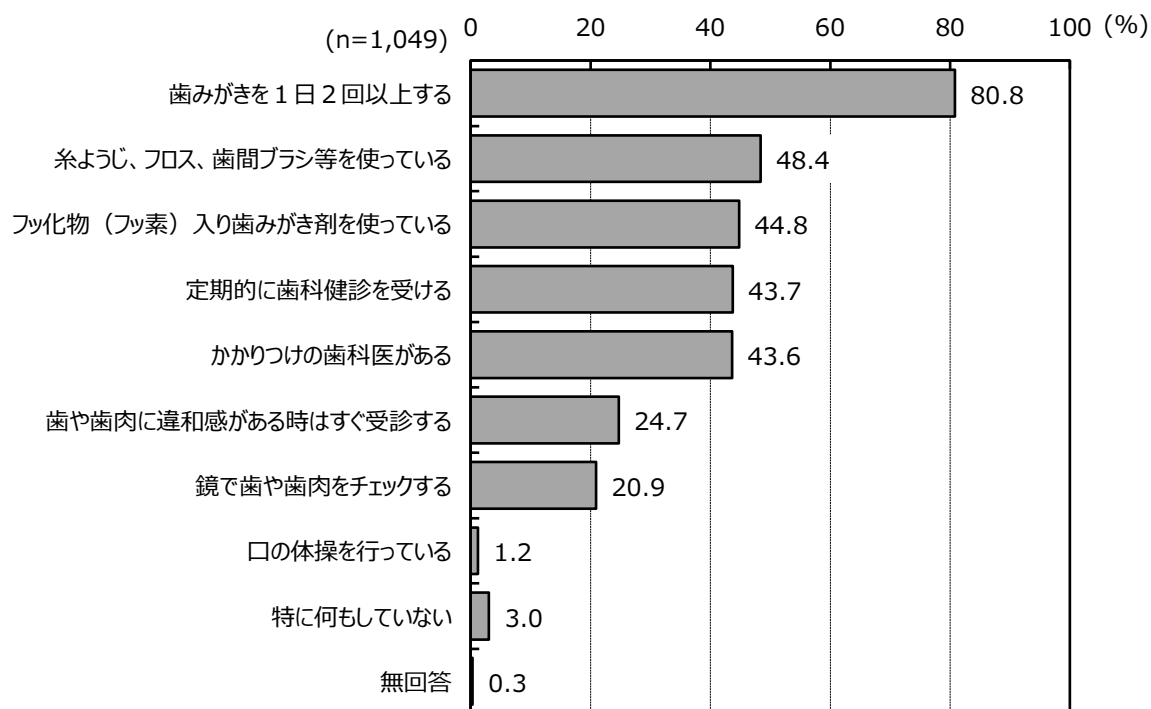
「母乳を通じて乳児にアルコールが移行する」が 73.0%と最も高く、次いで、「早産」が 67.2%、「発育の遅れ」が 56.9%、「脳の障がい」が 53.5%、「分娩異常」が 43.7%となっています。



(6) 歯と口の健康について

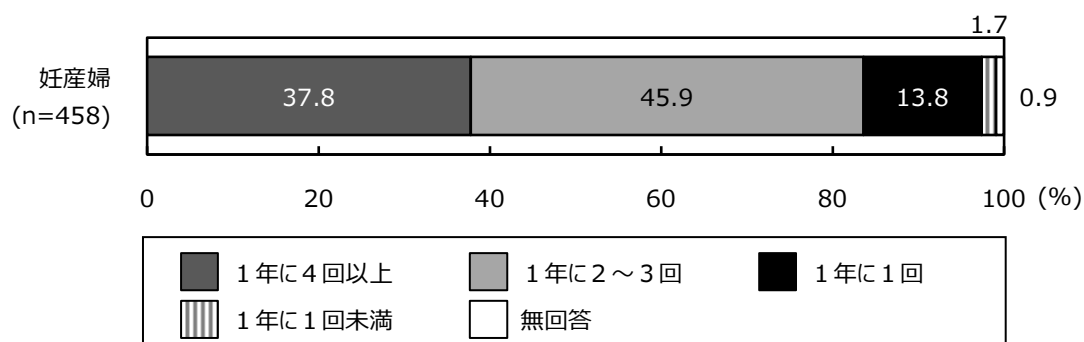
問 29 日頃、歯と口の健康管理としてどのようなことをしていますか。(複数回答)

「歯みがきを1日2回以上する」が80.8%と最も高く、次いで、「糸ようじ、フロス、歯間ブラシ等を使っている」が48.4%、「フッ化物(フッ素)入り歯みがき剤を使っている」が44.8%、「定期的に歯科健診を受ける」が43.7%、「かかりつけの歯科医がある」が43.6%となっています。



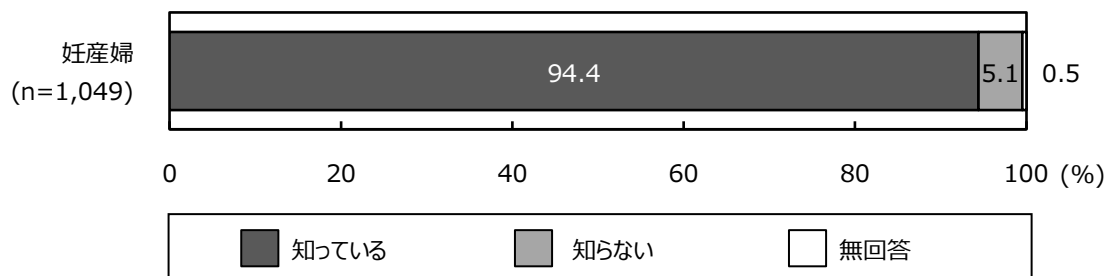
問 30 どれくらいの頻度で受診していますか。(単数回答)
《問 29 で「定期的に歯科健診を受ける」と回答した人が対象》

「1年に2～3回」が45.9%と最も高く、次いで、「1年に4回以上」が37.8%、「1年に1回」が13.8%となっています。



問 31 妊娠中は歯周病になりやすいことを知っていますか。(単数回答)

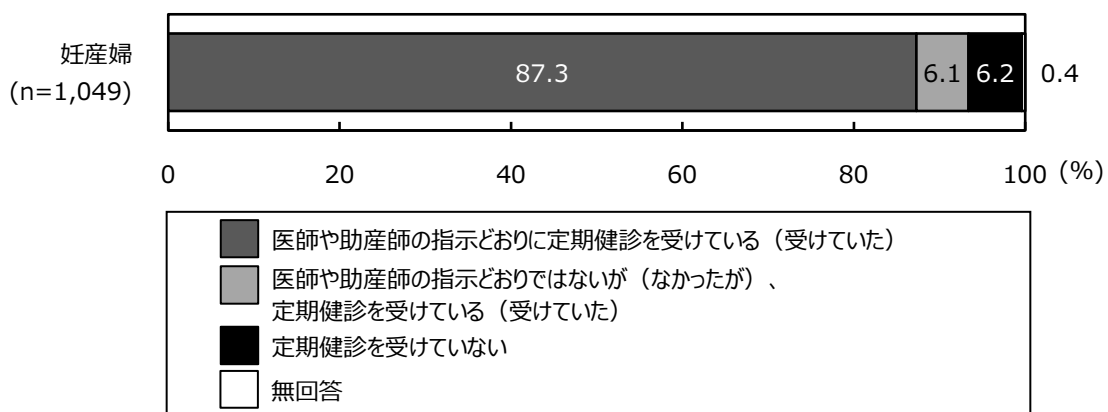
「知っている」が94.4%、「知らない」が5.1%と、「知っている」が大半を占めています。



(7) 妊娠中の健康管理について

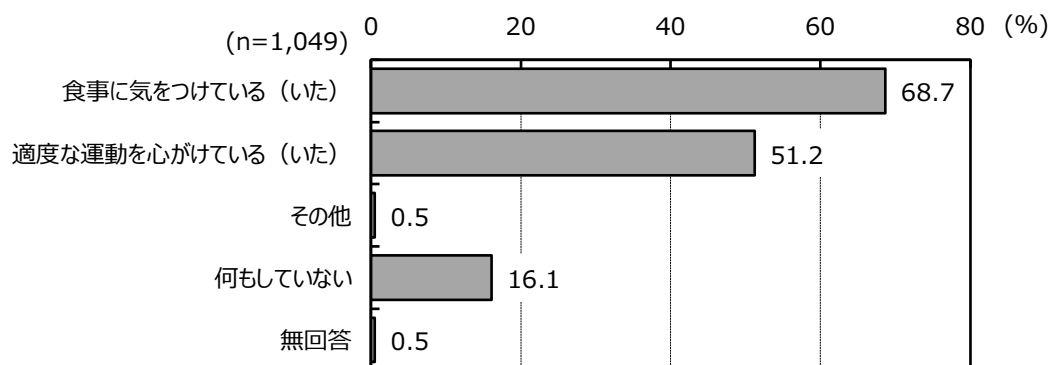
問 32 妊娠中の定期健診についてお答えください。(単数回答)

「医師や助産師の指示どおりに定期健診を受けている(受けていた)」が87.3%と、大半を占めています。



問 33 妊娠中の体重管理のために気をつけている(いた)ことがありますか。(複数回答)

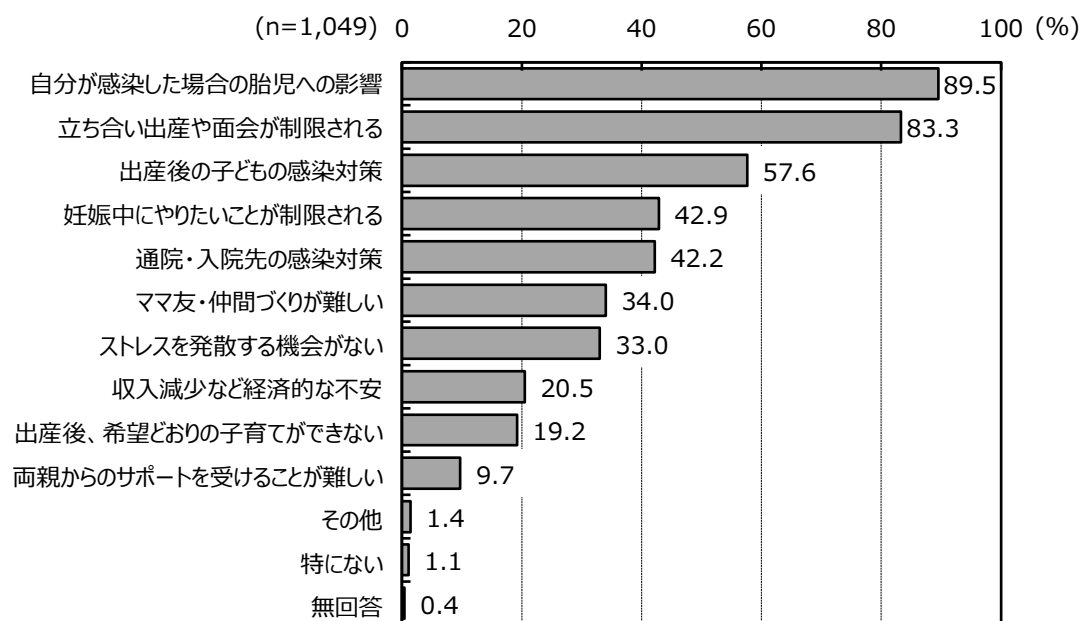
「食事に気をつけている(いた)」が68.7%と最も高く、次いで、「適度な運動を心がけている(いた)」が51.2%となっています。「何もしていない」については16.1%となっています。



(8) コロナ禍での出産について

問 34 コロナ禍の妊娠・出産で不安や心配に感じている（いた）ことは何ですか。
（複数回答）

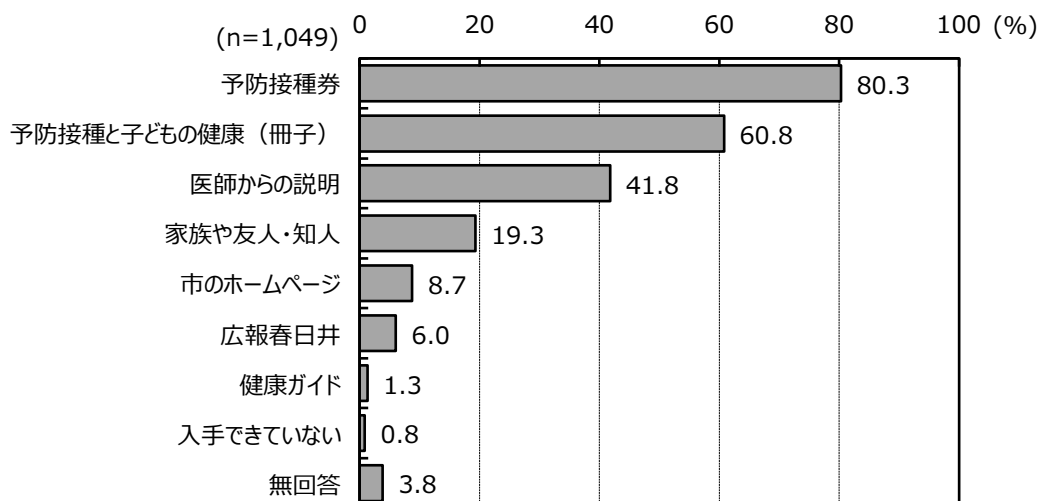
「自分が感染した場合の胎児への影響」が89.5%と最も高く、次いで、「立ち合い出産や面会が制限される」が83.3%、「出産後の子どもの感染対策」が57.6%、「妊娠中にやりたいことが制限される」が42.9%、「通院・入院先の感染対策」が42.2%となっています。



(9) 予防接種やお子さんの健康管理について

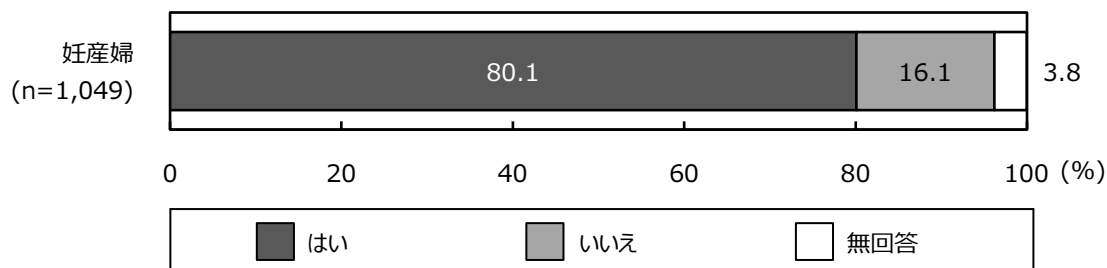
問 35 予防接種に関する情報をどこから入手していますか。（複数回答）
《子どもがいる人が対象》

「予防接種券」が80.3%と最も高く、次いで、「予防接種と子どもの健康（冊子）」が60.8%、「医師からの説明」が41.8%となっています。



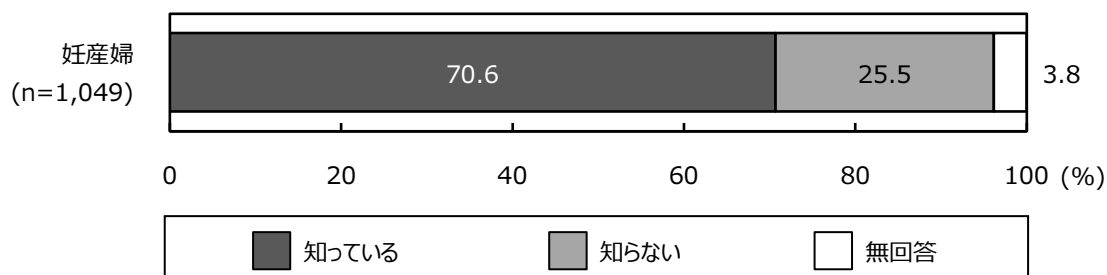
問 36 お子さんには、かかりつけの小児科医がありますか。（単数回答）
《子どもがいる人が対象》

「はい」が80.1%、「いいえ」が16.1%と、「はい」が大半を占めています。



問 37 あなたは、休日や夜間に受診できる小児救急医療機関や休日・平日夜間急病診療所を知っていますか。（単数回答）
《子どもがいる人が対象》

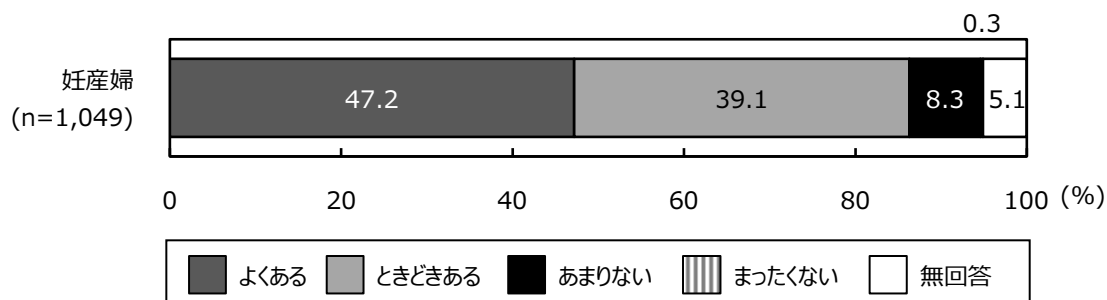
「知っている」が70.6%、「知らない」が25.5%と、「知っている」の方が高くなっています。



(10) 子育てについて

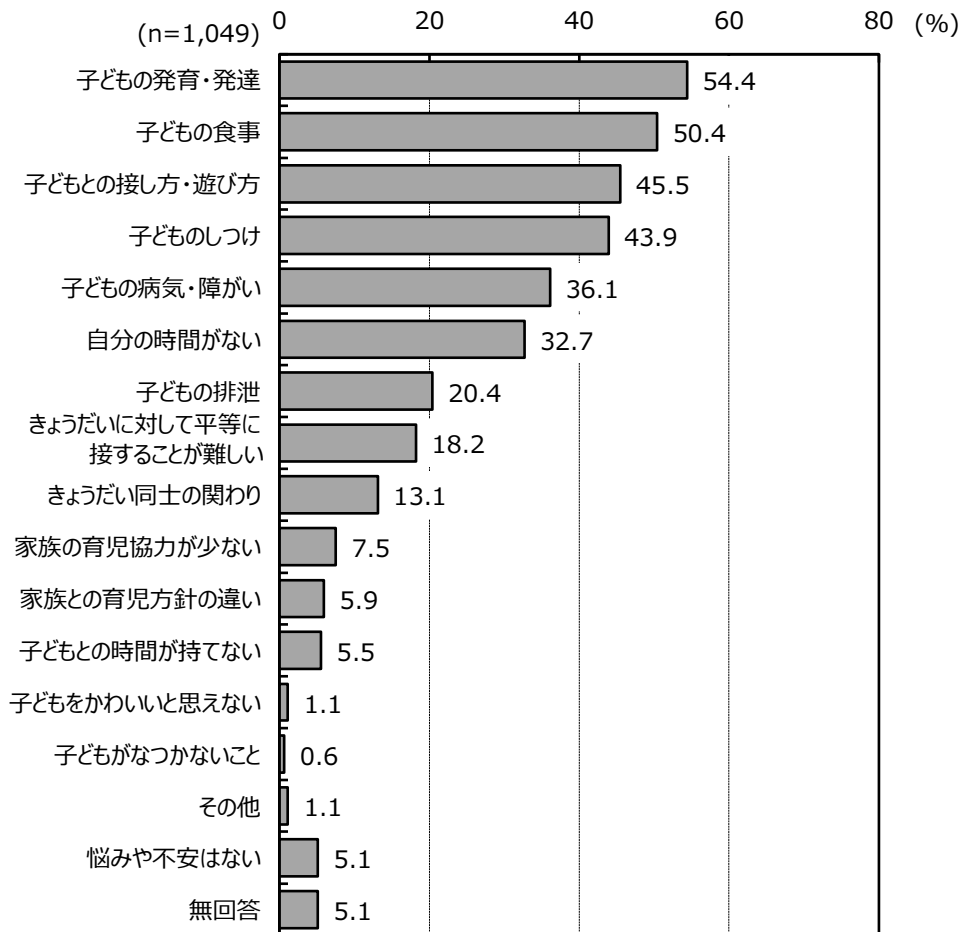
問 38 ゆったりとした気分で、お子さんと過ごす時間がありますか。（単数回答）
《子どもがいる人が対象》

「よくある」が47.2%と最も高く、次いで、「ときどきある」が39.1%となっており、『ある』（「よくある」+「ときどきある」）については86.3%と、大半を占めています。



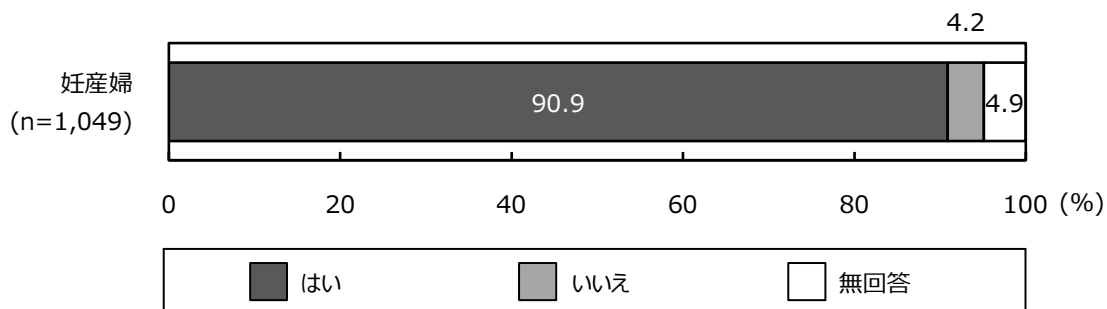
問 39 子育ての悩みや不安はどんなことですか。（複数回答）
《子どもがいる人が対象》

「子どもの発育・発達」が54.4%と最も高く、次いで、「子どもの食事」が50.4%、「子どもとの接し方・遊び方」が45.5%、「子どものしつけ」が43.9%となっています。



問 40 子育てに困ったとき相談する人がいますか。（単数回答）
《子どもがいる人が対象》

「はい」が90.9%、「いいえ」が4.2%と、「はい」が大半を占めています。

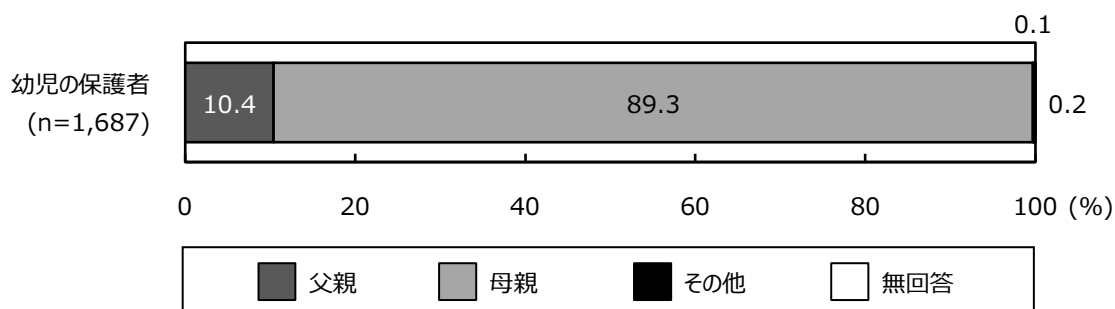


2. 幼児保護者アンケート

(1) 回答者について

問1 アンケートに回答していただいているのはどなたですか。(単数回答)

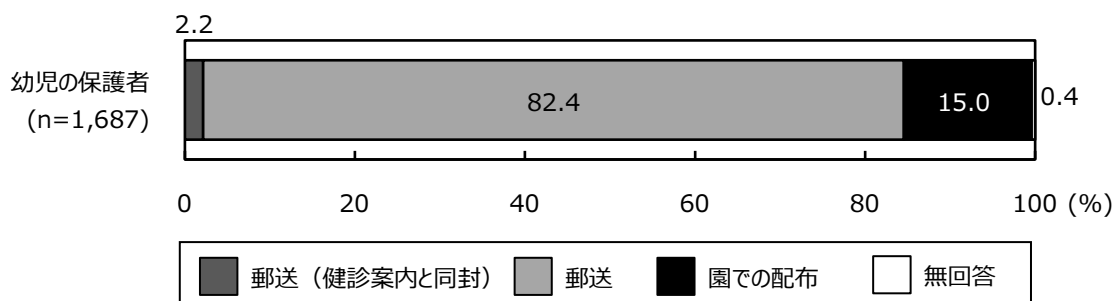
「父親」が10.4%、「母親」が89.3%、「その他」が0.1%となっています。



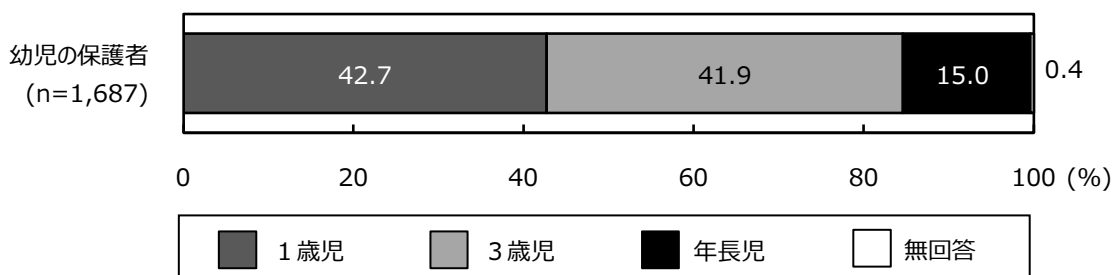
(2) お子さんのことについて

問2 このアンケートの案内をどこで受け取りましたか。(単数回答)

「郵送」が82.4%と、大半を占めています。

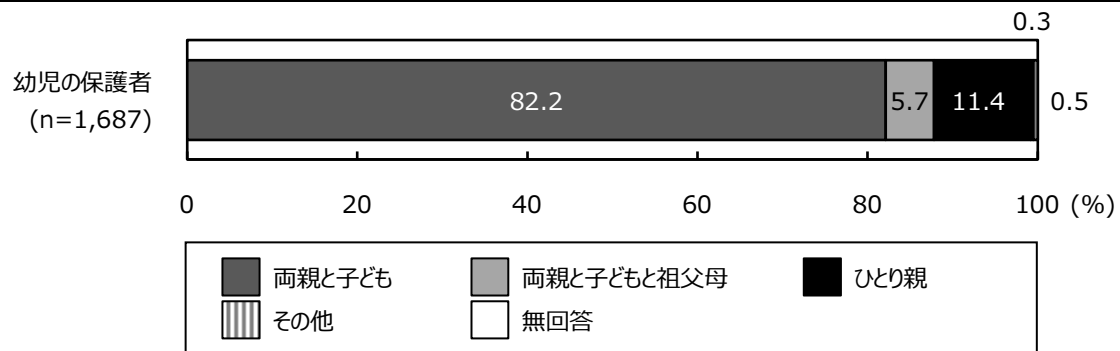


受取方法から子どもの年齢をみると、「1歳児」が42.7%、「3歳児」が41.9%、「年長児」が15.0%となっています。



問3 同居している方をお教えてください。（複数回答）

同居者から世帯構成をみると、「両親と子ども」が82.2%と最も高く、次いで、「ひとり親」が11.4%、「両親と子どもと祖父母」が5.7%となっています。

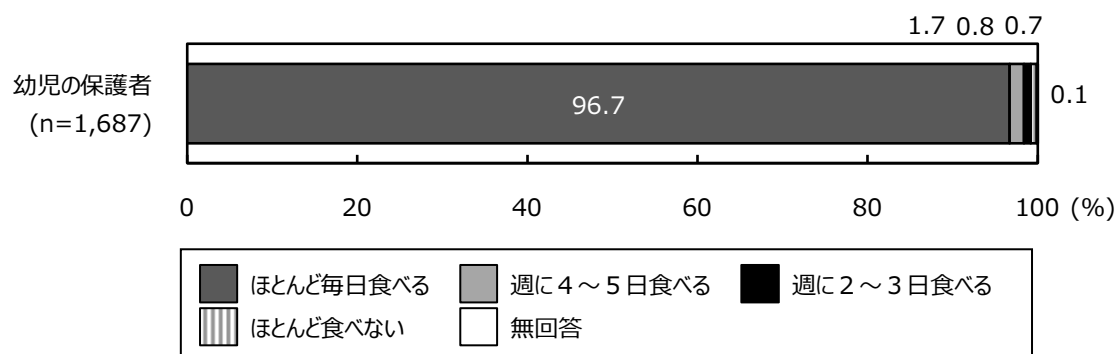


注：「両親と子ども」、「両親と子どもと祖父母」、「ひとり親」には他の同居者がいる場合も含めている。

(3) お子さんの食生活について

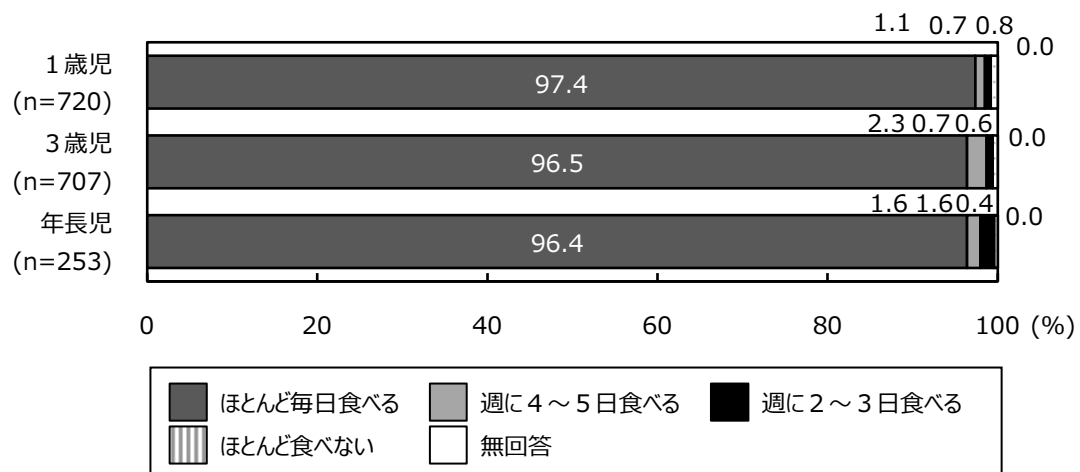
問4 お子さんは、朝食を食べていますか。（単数回答）

「ほとんど毎日食べる」が96.7%と、大半を占めています。



【朝食を食べる頻度（子どもの年齢別）】

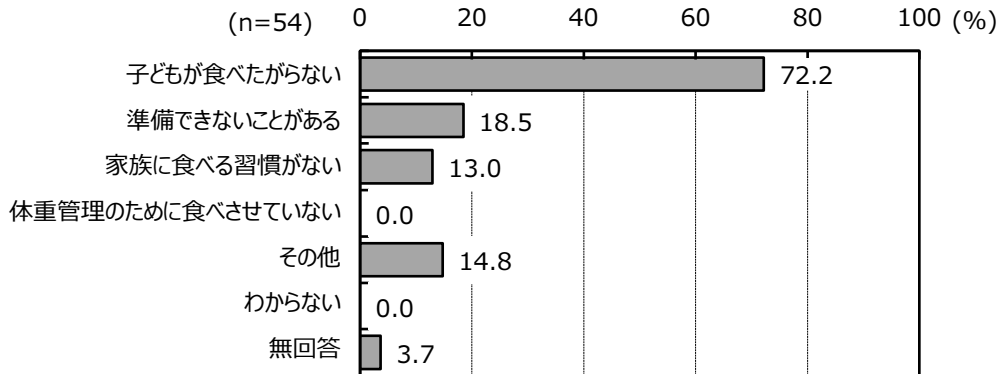
どの年齢も「ほとんど毎日食べる」が大半を占めていますが、年齢が上がるほど割合が低くなり、1歳児では97.4%、3歳児では96.5%、年長児では96.4%となっています。



問5 お子さんが朝食を食べないことがあるのはなぜですか。(複数回答)

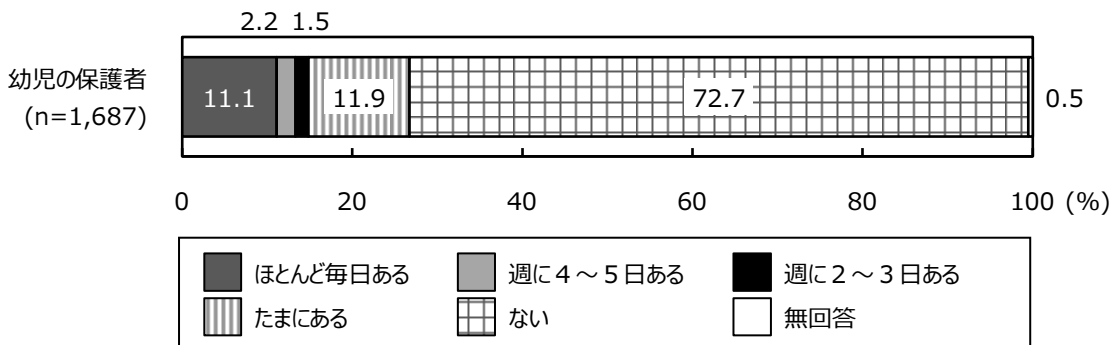
《問4で「週に4～5日食べる」、「週に2～3日食べる」、「ほとんど食べない」と回答した人が対象》

「子どもが食べたがらない」が72.2%と最も高く、次いで、「準備できないことがある」が18.5%となっています。



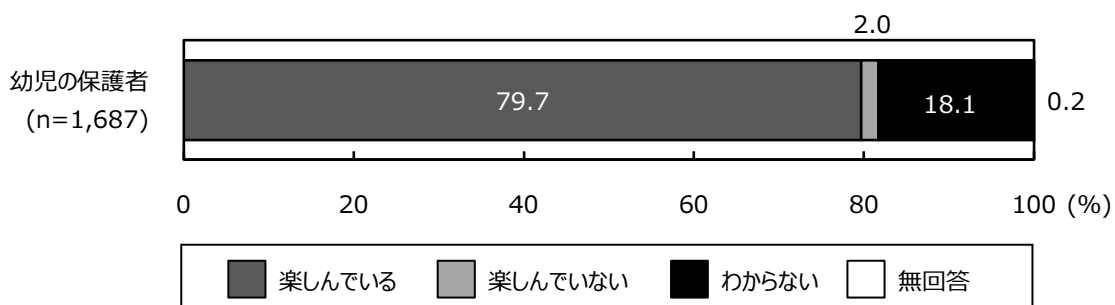
問6 お子さんは一人で食事をすることがありますか。誰かが食べさせる場合は除きます。(単数回答)

「ない」が72.7%と最も高く、次いで、「たまにある」が11.9%、「ほとんど毎日ある」が11.1%となっています。



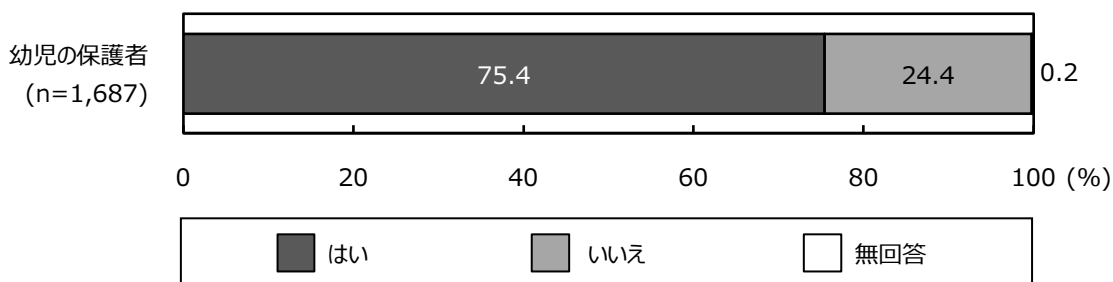
問7 お子さんは、食事を楽しんでいますか。(単数回答)

「楽しんでいる」が79.7%、「楽しんでいない」が2.0%と、「楽しんでいる」の方が高くなっています。「わからない」については18.1%となっています。



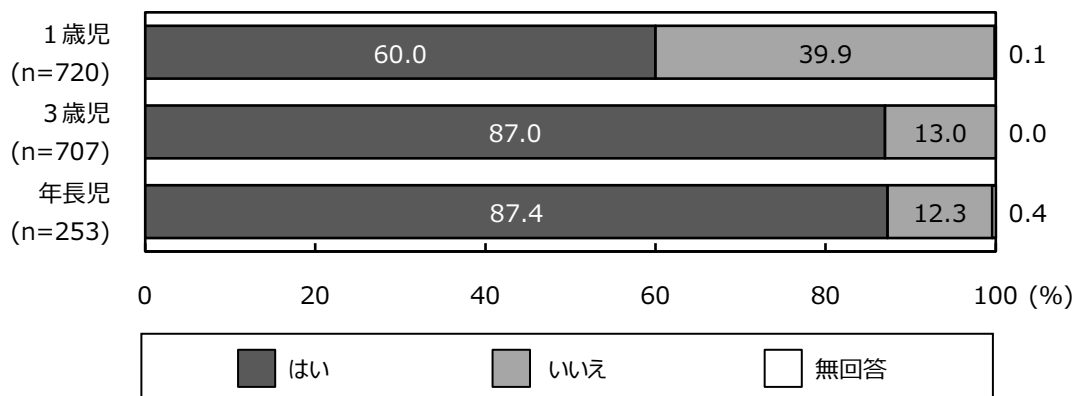
問8 お子さんは、「いただきます」「ごちそうさま」を言っていますか。(単数回答)

「はい」が75.4%、「いいえ」が24.4%となっています。



【「いただきます」「ごちそうさま」を言っているか (子どもの年齢別)】

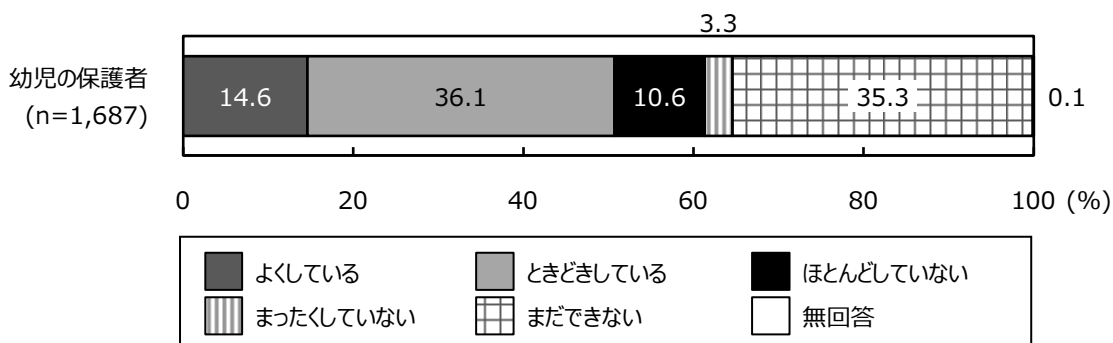
どの年齢も「はい」の方が高くなっていますが、年齢が上がるほど割合が高くなり、1歳児では60.0%、3歳児では87.0%、年長児では87.4%となっています。



問9 お子さんは、家で料理のお手伝い(食器運び・片付け・盛り付けるなどを含む)をしていますか。(単数回答)

「ときどきしている」が36.1%と最も高く、次いで、「まだできない」が35.3%、「よくしている」が14.6%となっています。

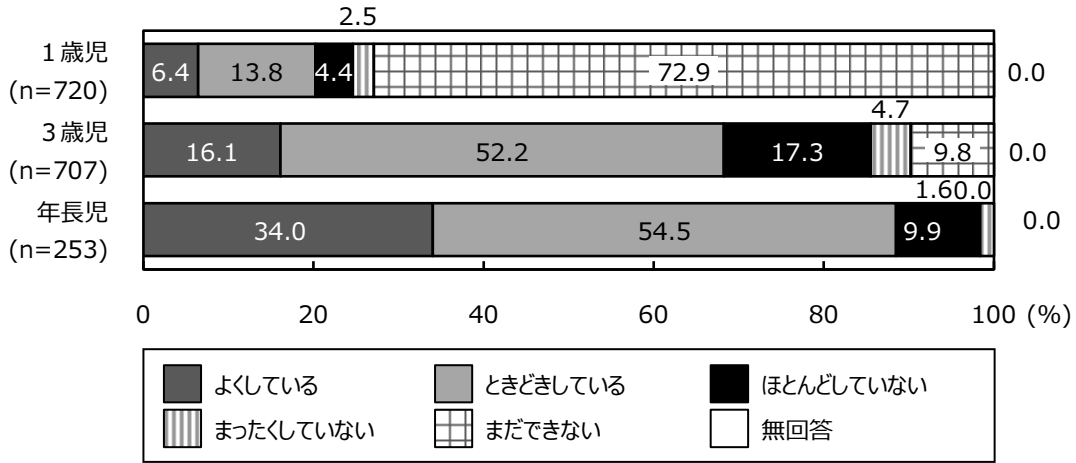
『している』(「よくしている」+「ときどきしている」)については50.7%、『していない』(「まったくしていない」+「ほとんどしていない」)については13.9%と、『している』の方が高くなっています。



【料理の手伝いの頻度（子どもの年齢別）】

1歳児では「まだできない」が最も高く（72.9%）、3歳児、年長児では「ときどきしている」が最も高くなっています（3歳児：52.2%、年長児：54.5%）。

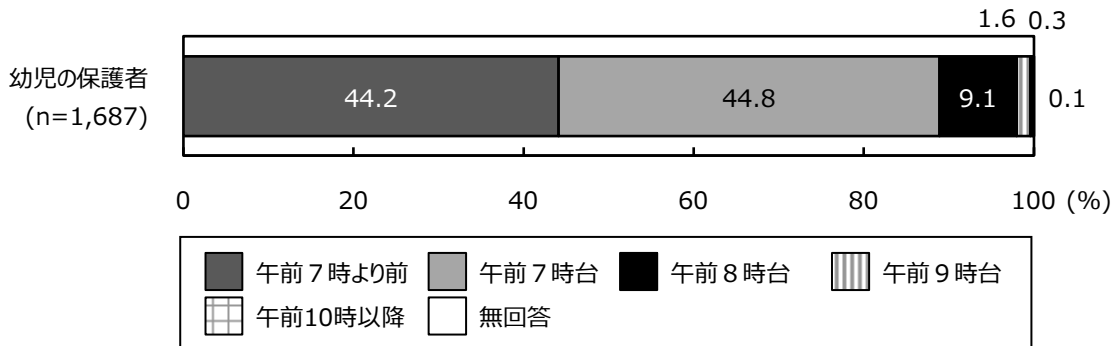
『している』については年齢が上がるほど割合が高くなり、1歳児では20.2%、3歳児では68.3%、年長児では88.5%となっています。



(4) お子さんの生活習慣・環境について

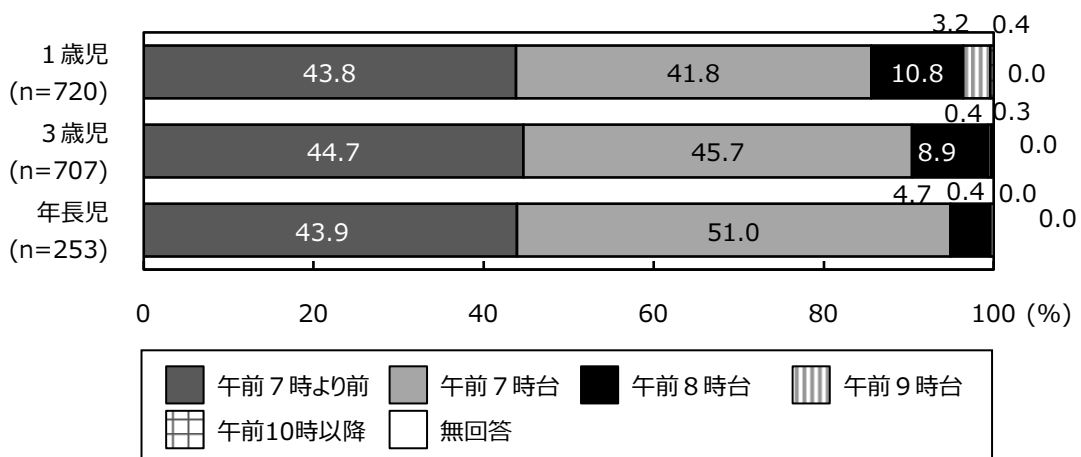
問10 お子さんは、朝何時ごろ起きますか。（単数回答）

「午前7時台」が44.8%と最も高く、次いで、「午前7時より前」が44.2%となっています。



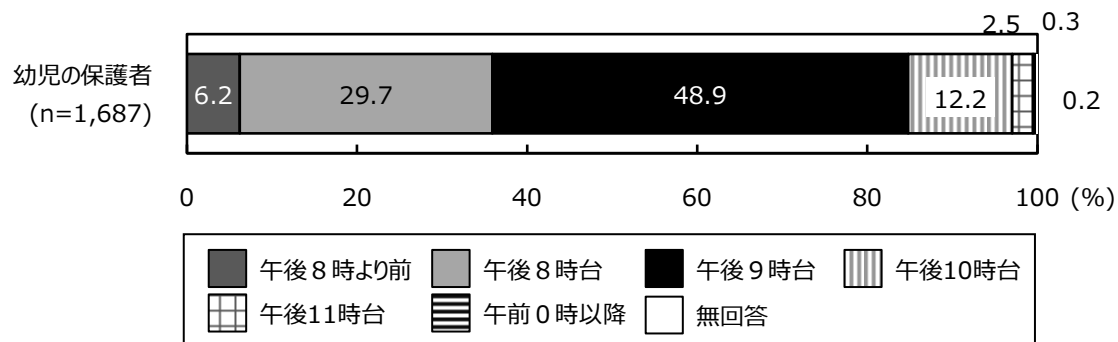
【起床時間（子どもの年齢別）】

1歳児では「午前7時より前」が最も高く（43.8%）、3歳児、年長児では「午前7時台」が最も高くなっています（3歳児：45.7%、年長児：51.0%）。



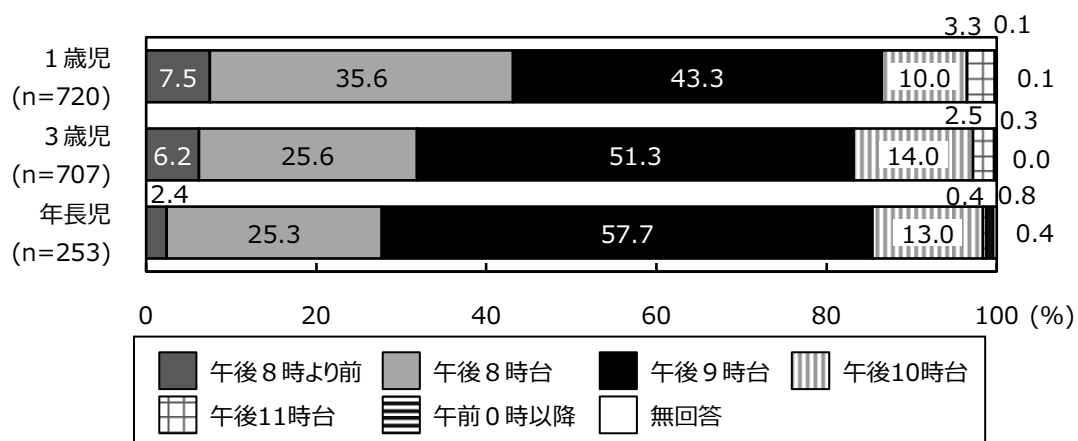
問11 お子さんは、夜何時ごろ寝ますか。（単数回答）

「午後9時台」が48.9%と最も高く、次いで、「午後8時台」が29.7%、「午後10時台」が12.2%となっています。



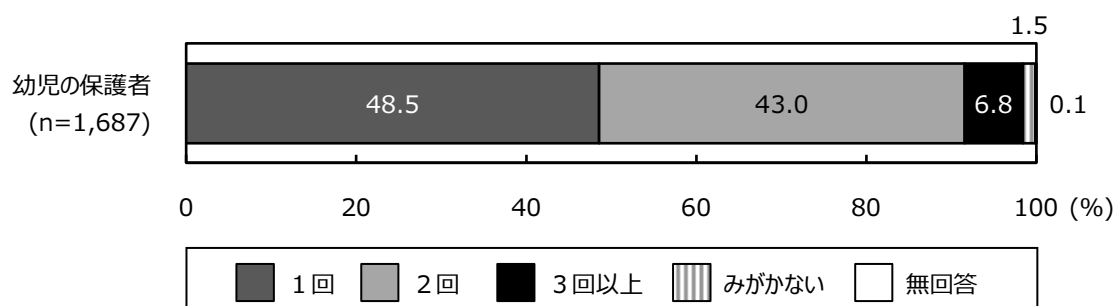
【就寝時間（子どもの年齢別）】

どの年齢も「午後9時台」が最も高くなっています（1歳児：43.3%、3歳児：51.3%、年長児：57.7%）。



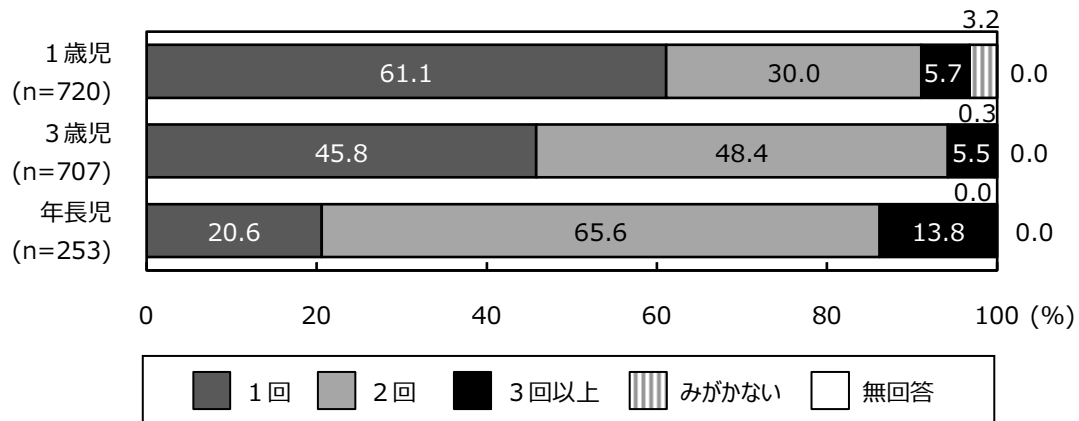
問12 お子さんは、1日何回歯をみがきますか。（単数回答）

「1回」が48.5%と最も高く、次いで、「2回」が43.0%となっています。



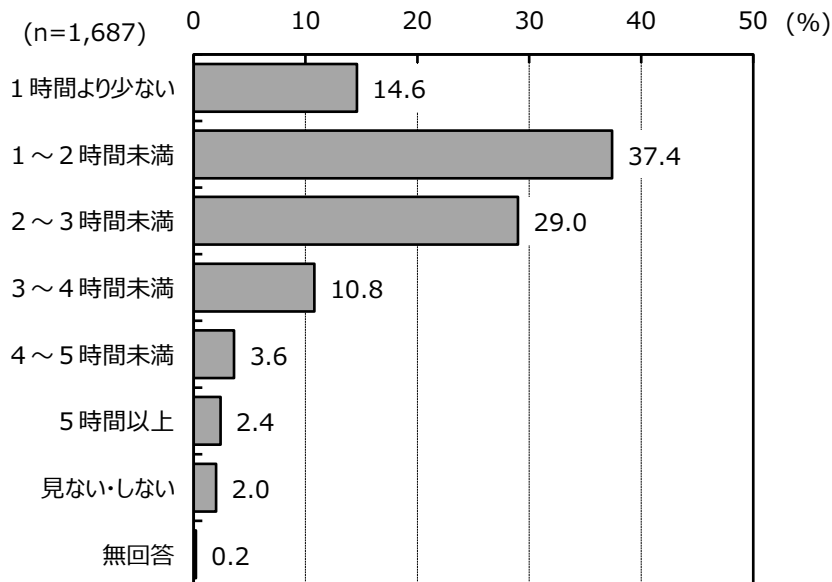
【1日の歯みがき回数（子どもの年齢別）】

1歳児では「1回」が最も高く（61.1%）、3歳児、年長児では「2回」が最も高くなっています（3歳児：48.4%、年長児：65.6%）。



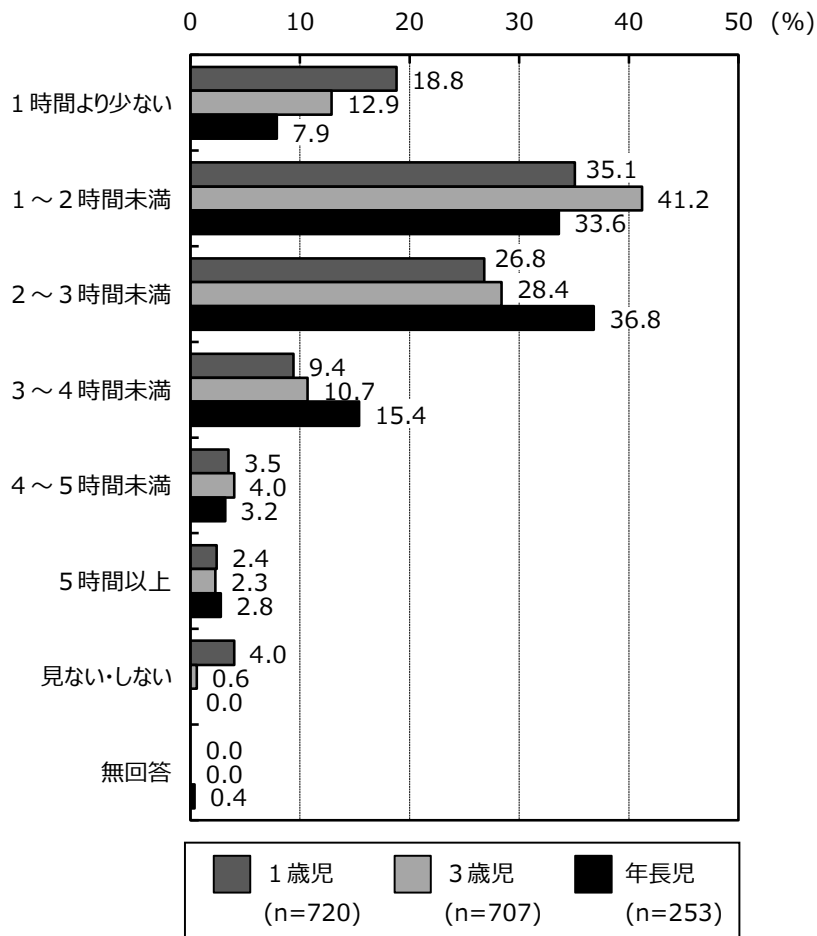
問13 お子さんがテレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲーム、インターネットなどをする時間は1日に何時間くらいですか。（単数回答）

「1～2時間未満」が37.4%と最も高く、次いで、「2～3時間未満」が29.0%、「1時間より少ない」が14.6%となっています。



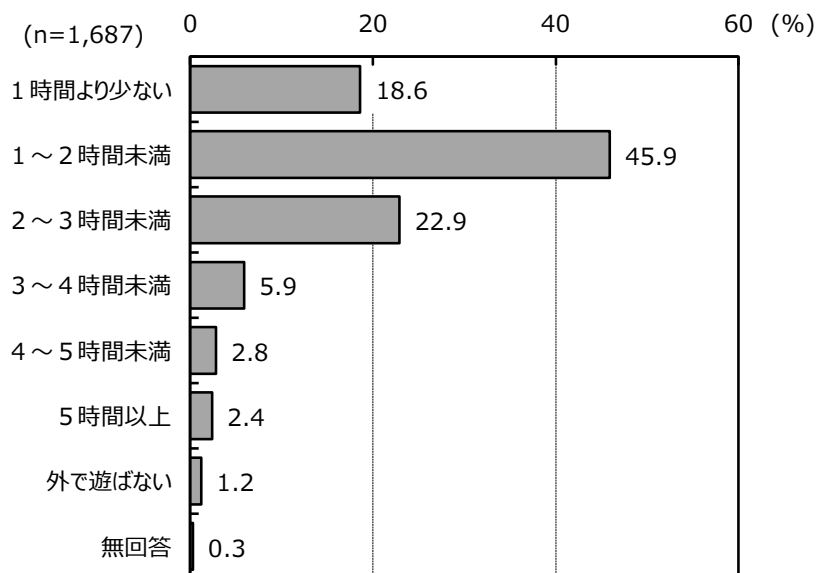
【テレビやテレビ・携帯ゲーム、インターネットに費やす時間（子どもの年齢別）】

1歳児、3歳児では「1～2時間未満」が最も高く（1歳児：35.1%、3歳児：41.2%）、年長児では「2～3時間未満」が最も高くなっています（36.8%）。



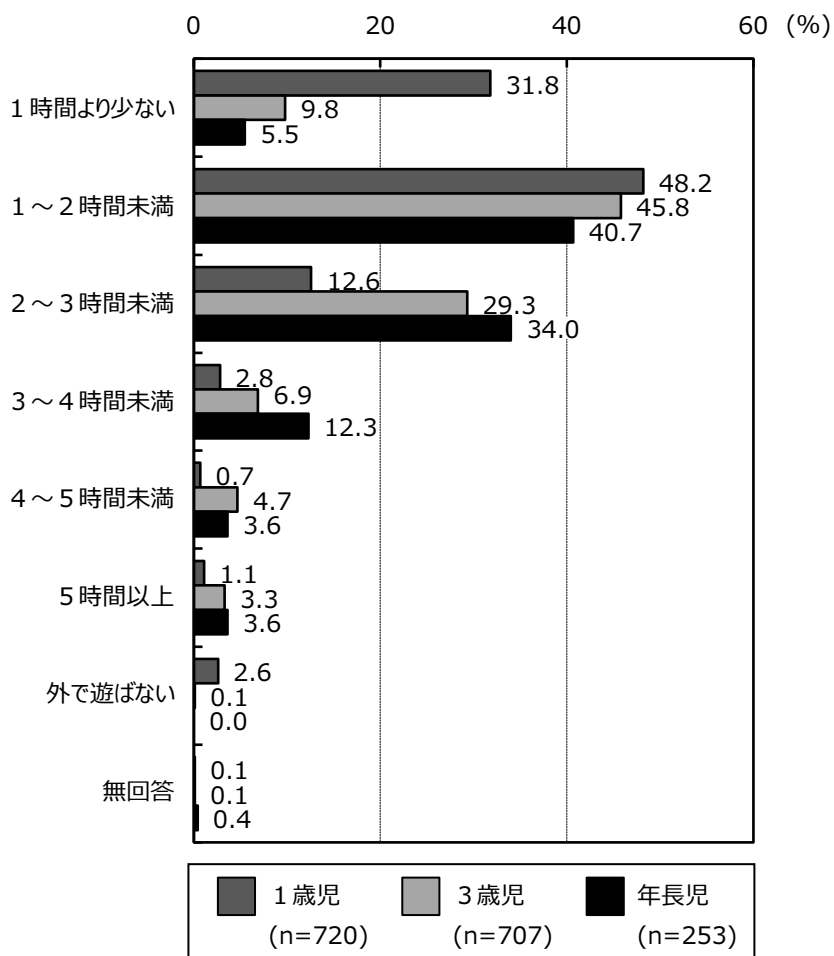
問14 お子さんが外で遊ぶ時間は、1日何時間くらいですか。（単数回答）
 ※園児の場合は、園での活動を含む

「1～2時間未満」が45.9%と最も高く、次いで、「2～3時間未満」が22.9%、「1時間より少ない」が18.6%となっています。



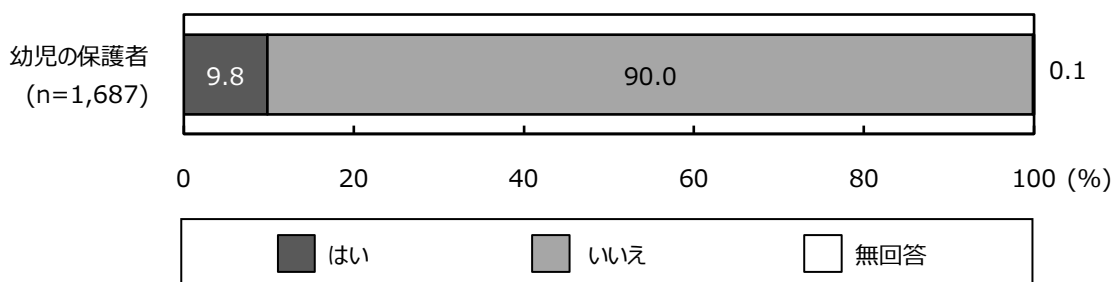
【外で遊ぶ時間（子どもの年齢別）】

どの年齢も「1～2時間未満」が最も高くなっています（1歳児：48.2%、3歳児：45.8%、年長児：40.7%）。



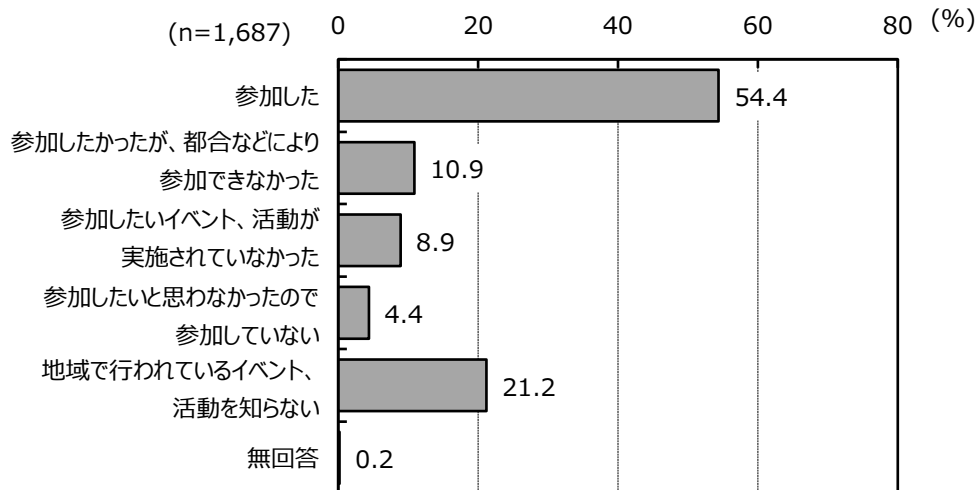
問15 同居の家族の中で、お子さんの前でたばこを吸う人がいますか。（単数回答）

「はい」が9.8%、「いいえ」が90.0%と、「いいえ」が大半を占めています。



問 16 お子さんは、これまでに、地域で行われた運動会、お祭り、盆踊り、ボランティア活動などに参加したことがありますか。（単数回答）

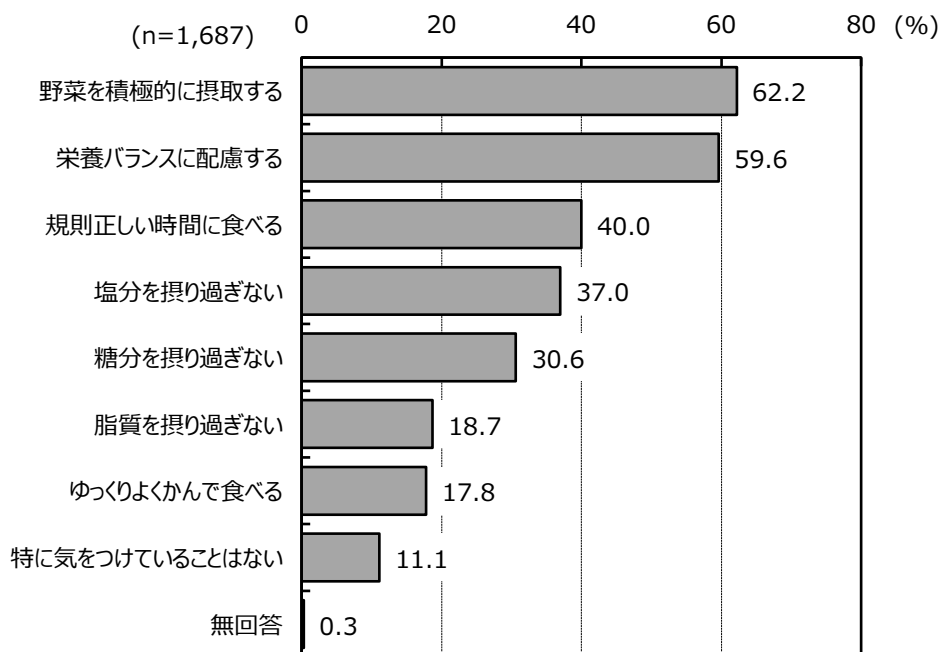
「参加した」が54.4%と最も高く、次いで、「地域で行われているイベント、活動を知らない」が21.2%、「参加したかったが、都合などにより参加できなかった」が10.9%となっています。



(5) 保護者の食生活・食育について

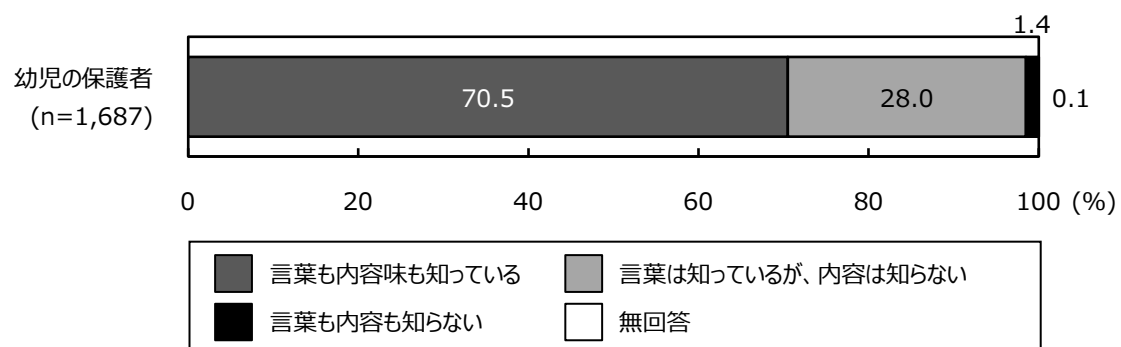
問 17 あなたは、食生活でどのようなことに気をつけていますか。（複数回答）

「野菜を積極的に摂取する」が62.2%と最も高く、次いで、「栄養バランスに配慮する」が59.6%、「規則正しい時間に食べる」が40.0%となっています。



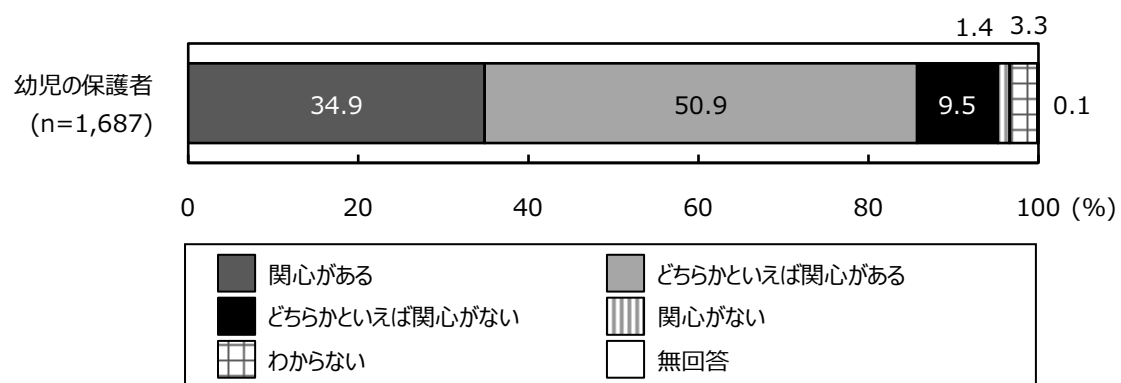
問 18 「食育」という言葉を知っていますか。(単数回答)

「言葉も内容も知っている」が70.5%と最も高く、次いで、「言葉は知っているが、内容は知らない」が28.0%、「言葉も内容も知らない」が1.4%となっています。



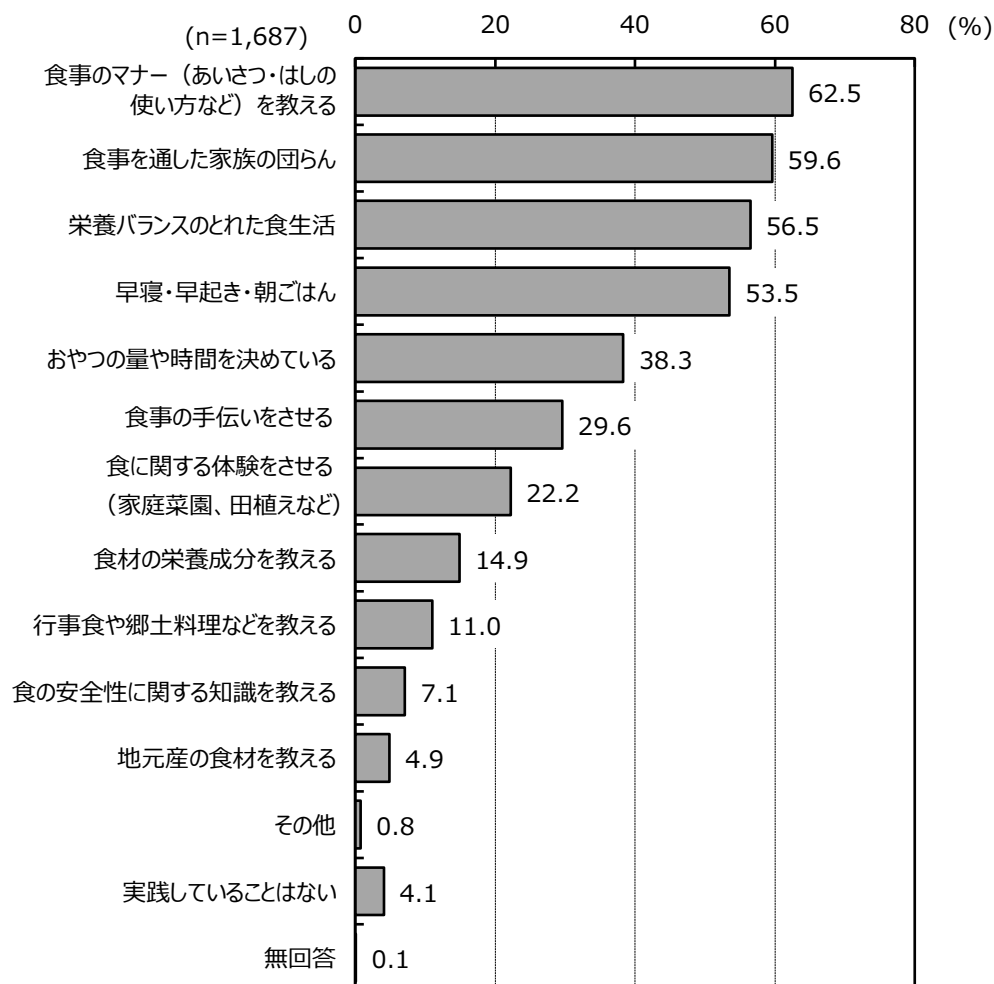
問 19 「食育」に関心がありますか。(単数回答)

「どちらかといえば関心がある」が50.9%と最も高く、次いで、「関心がある」が34.9%となっており、『関心がある』(「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」)については85.8%と、大半を占めています。



問 20 「食育」として、子どもにどのようなことを実践していますか。（複数回答）

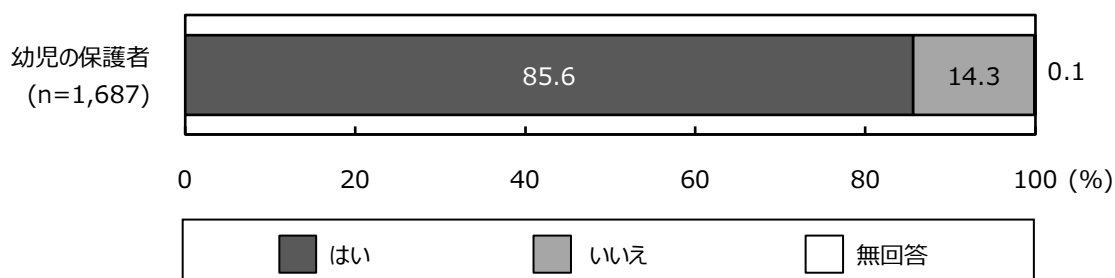
「食事のマナー（あいさつ・はしの使い方など）を教える」が62.5%と最も高く、次いで、「食事を通じた家族の団らん」が59.6%、「栄養バランスのとれた食生活」が56.5%、「早寝・早起き・朝ごはん」が53.5%となっています。



(6) 保護者の普段の生活について

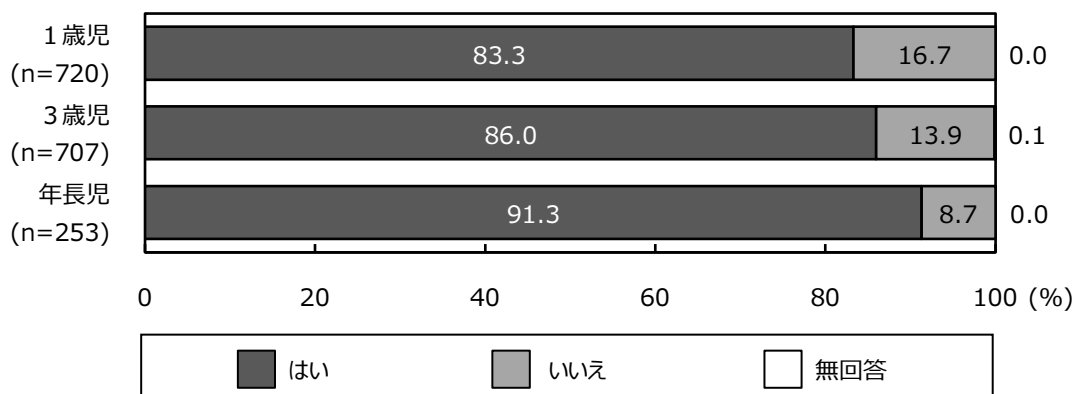
問 21 自分なりのストレス解消法はありますか。(単数回答)

「はい」が85.6%、「いいえ」が14.3%と、「はい」が大半を占めています。



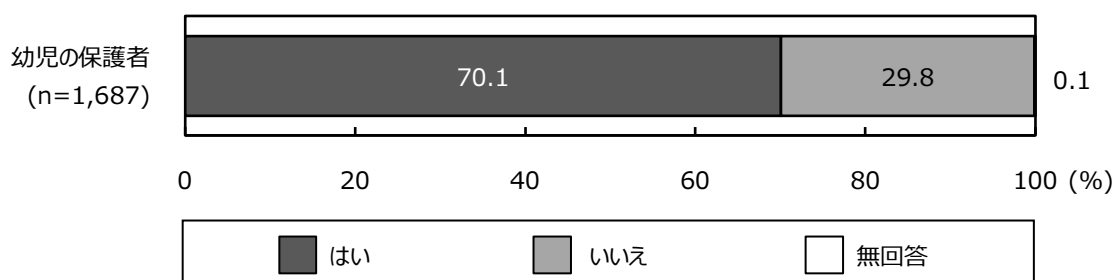
【ストレス解消法の有無 (子どもの年齢別)】

どの年齢も「はい」の方が高くなっていますが、年齢が上がるほど割合が高くなり、1歳児では83.3%、3歳児では86.0%、年長児では91.3%となっています。



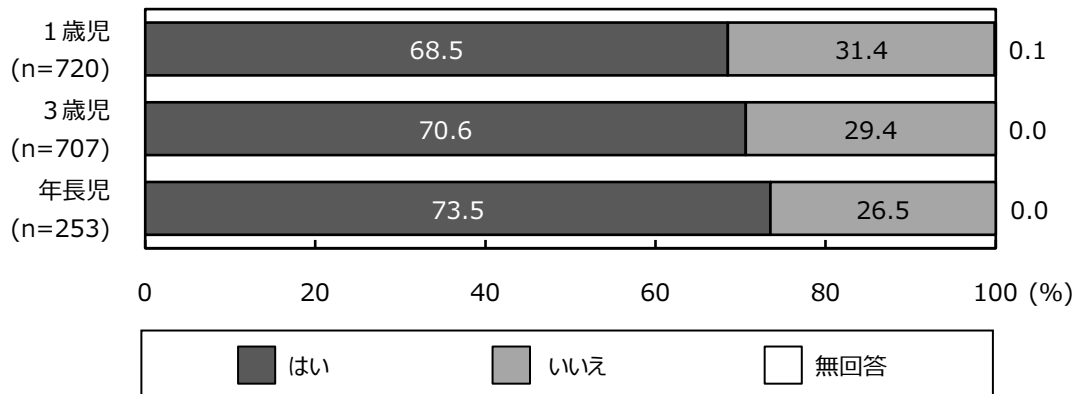
問 22 趣味はありますか。(単数回答)

「はい」が70.1%、「いいえ」が29.8%と、「はい」の方が高くなっています。



【趣味の有無（子どもの年齢別）】

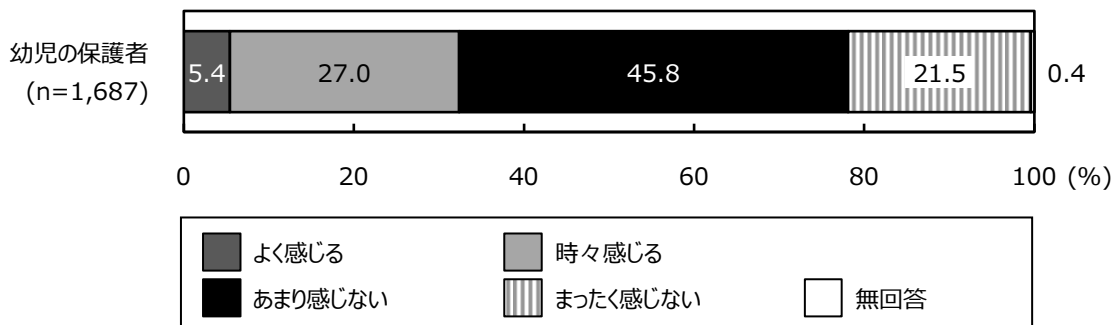
どの年齢も「はい」の方が高くなっていますが、年齢が上がるほど割合が高くなり、1歳児では68.5%、3歳児では70.6%、年長児では73.5%となっています。



問 23 日常において孤独や孤立を感じることはありますか。（単数回答）

「あまり感じない」が45.8%と最も高く、次いで、「時々感じる」が27.0%、「まったく感じない」が21.5%となっています。

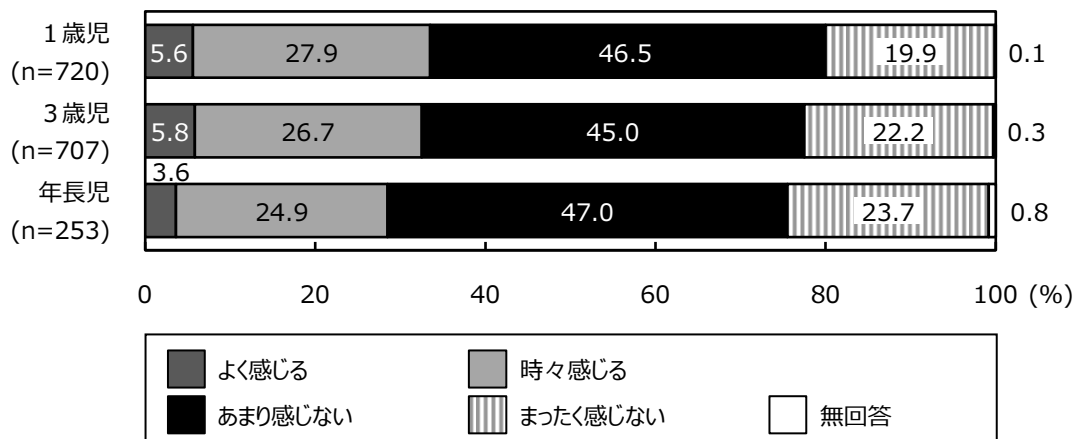
『感じる』（「よく感じる」+「時々感じる」）については32.4%、『感じない』（「まったく感じない」+「あまり感じない」）については67.3%と、『感じない』の方が高くなっています。



【孤独・孤立感の有無（子どもの年齢別）】

どの年齢も「あまり感じない」が最も高くなっています（1歳児：46.5%、3歳児：45.0%、年長児：47.0%）。

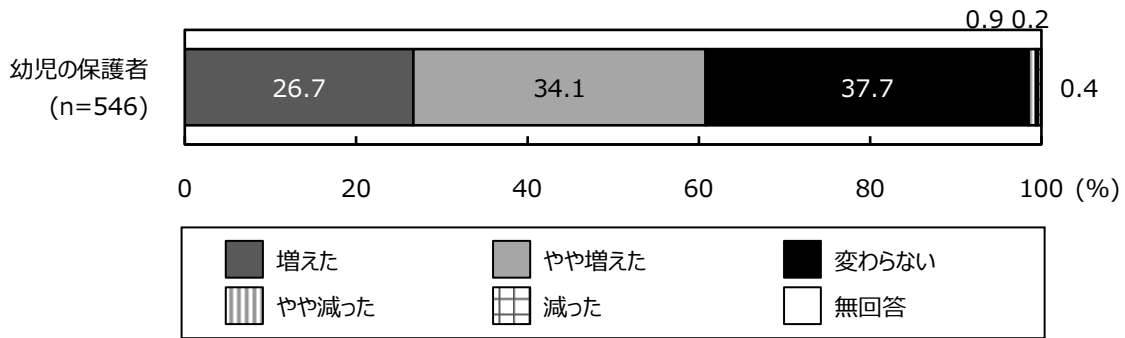
『感じる』については年齢が上がるほど割合が低くなり、1歳児では33.5%、3歳児では32.5%、年長児では28.5%となっています。



問 24 新型コロナウイルスの流行前と比べて、孤独や孤立を感じることは増えましたか。
 (単数回答)
 《問 23で「よく感じる」、「時々感じる」と回答した人が対象》

「変わらない」が37.7%と最も高く、次いで、「やや増えた」が34.1%、「増えた」が26.7%となっています。

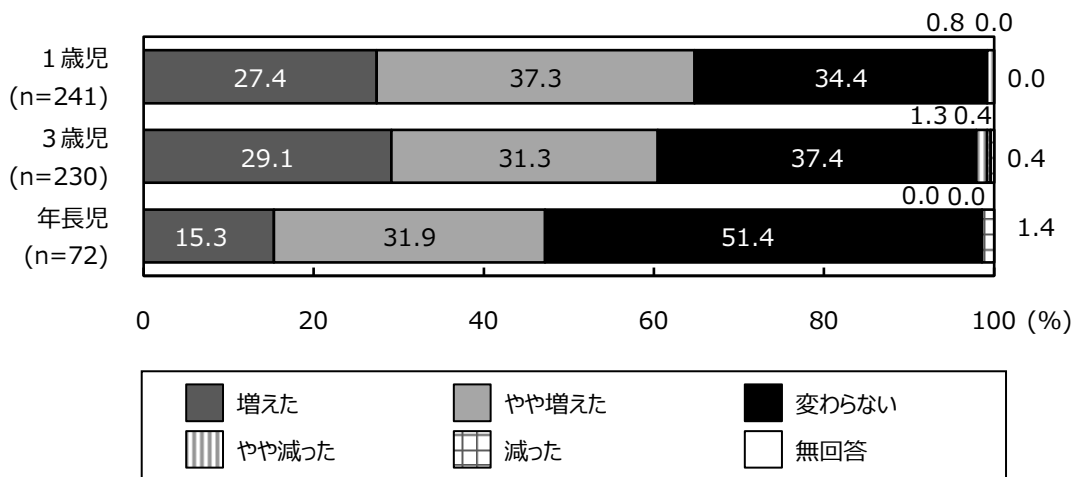
『増えた』(「増えた」+「やや増えた」)については60.8%、『減った』(「減った」+「やや減った」)については1.1%と、『増えた』の方が高くなっています。



【コロナ禍による孤独・孤立感の変化(子どもの年齢別)】

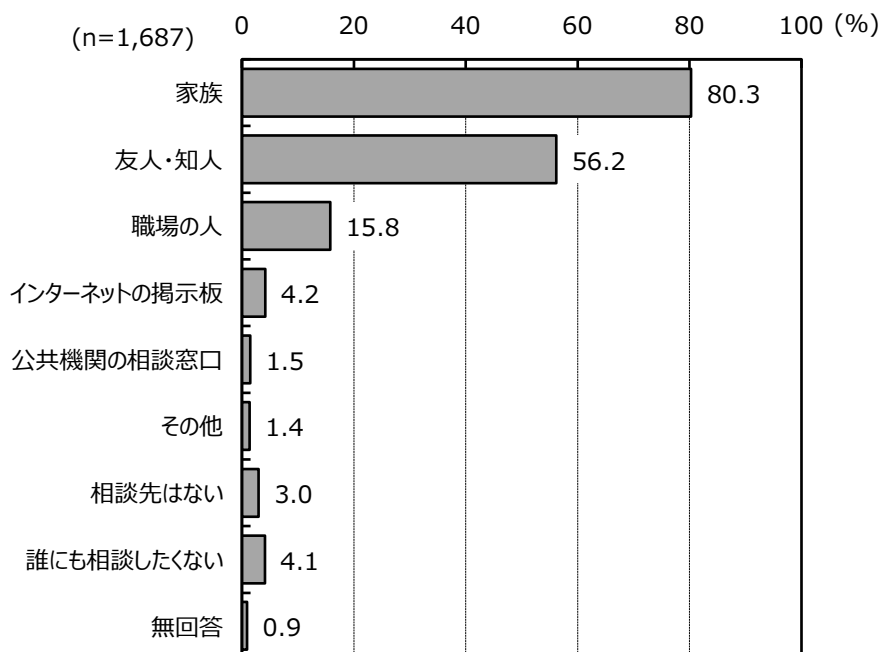
1歳児では「やや増えた」が最も高く(37.3%)、3歳児、年長児では「変わらない」が最も高くなっています(3歳児:37.4%、年長児:51.4%)。

『増えた』と『減った』を比べると、どの年齢も『増えた』の方が高くなっています。『増えた』については年齢が上がるほど割合が低くなり、1歳児では64.7%、3歳児では60.4%、年長児では47.2%と、特に3歳児から年長児にかけての減少が大きくなっています。



問 25 孤独や孤立を感じたとき、悩みや困りごとがあるとき、だれに相談しますか。
(複数回答)

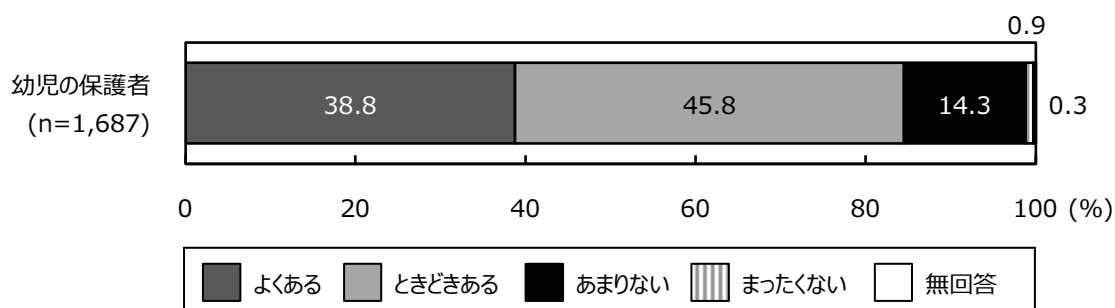
「家族」が80.3%と最も高く、次いで、「友人・知人」が56.2%、「職場の人」が15.8%となっています。



(7) 子育てについて

問 26 ゆったりとした気分で、お子さんと過ごす時間がありますか。(単数回答)

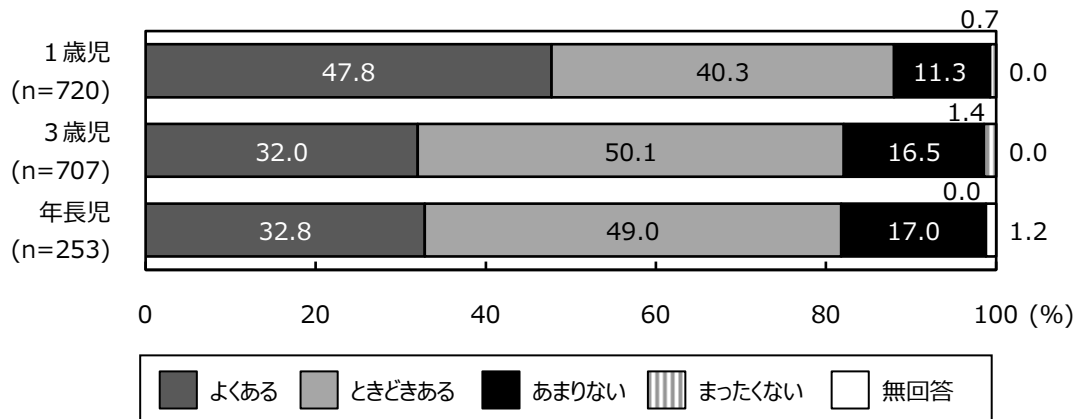
「ときどきある」が45.8%と最も高く、次いで、「よくある」が38.8%となっており、『ある』(「よくある」+「ときどきある」)については84.6%と、大半を占めています。



【ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間の有無（子どもの年齢別）】

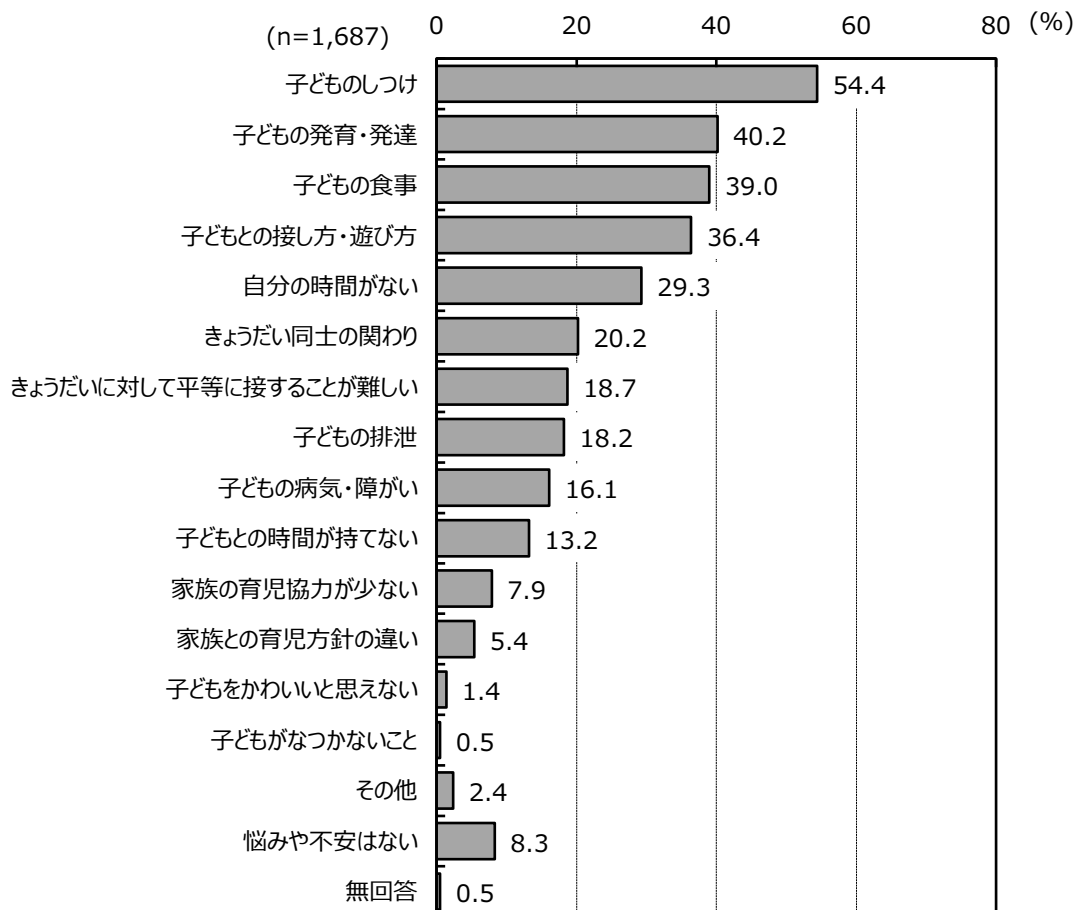
1歳児では「よくある」が最も高く（47.8%）、3歳児、年長児では「ときどきある」が最も高くなっています（3歳児：50.1%、年長児：49.0%）。

『ある』についてはどの年齢でも大半を占めていますが、年齢が上がるほど割合が低くなり、1歳児では88.1%、3歳児では82.1%、年長児では81.8%となっています。



問 27 子育ての悩みや不安はどんなことですか。（複数回答）

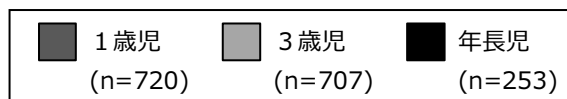
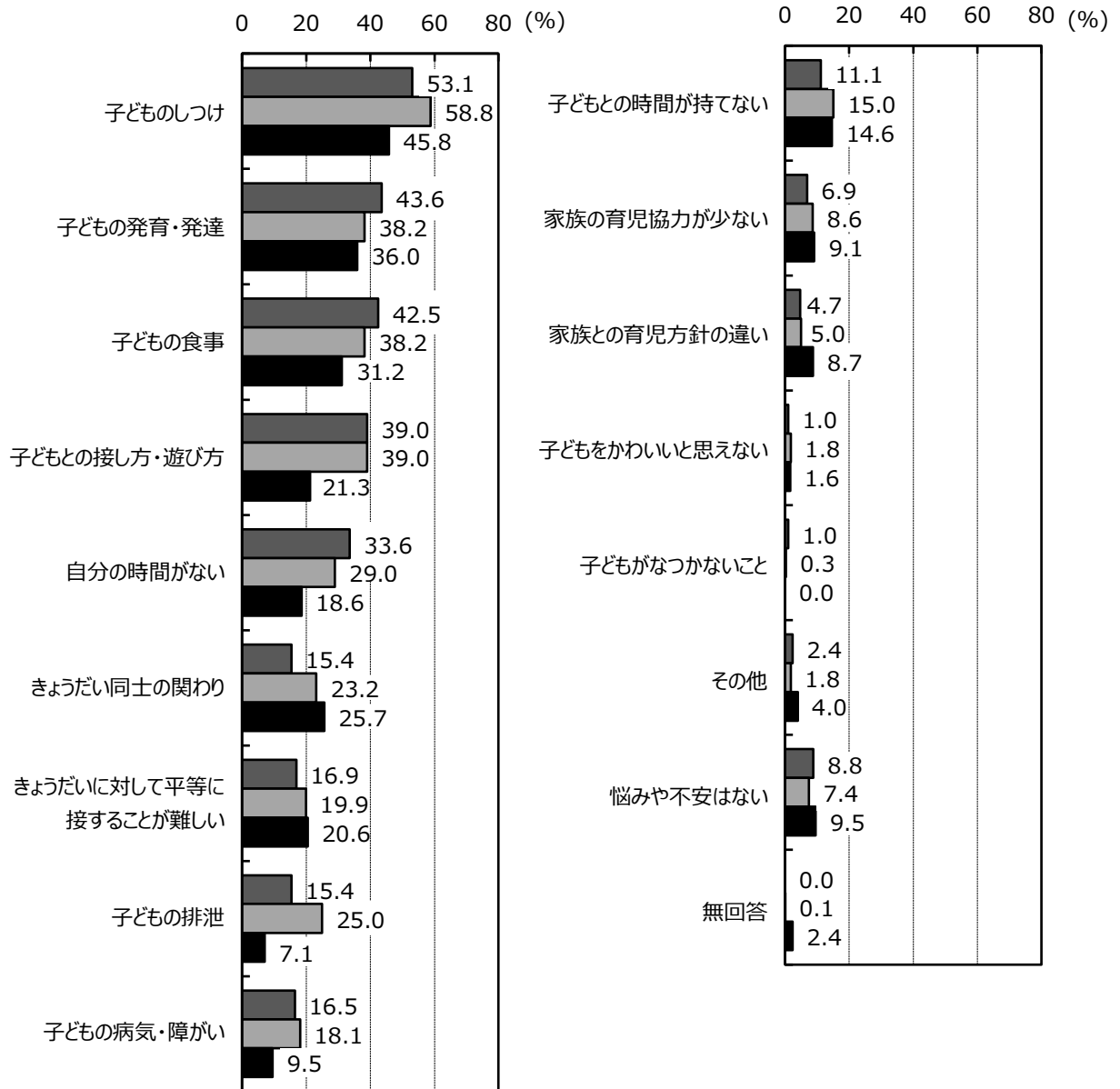
「子どものしつけ」が54.4%と最も高く、次いで、「子どもの発育・発達」が40.2%、「子どもの食事」が39.0%、「子どもとの接し方・遊び方」が36.4%となっています。



【子育ての悩みや不安（子どもの年齢別）】

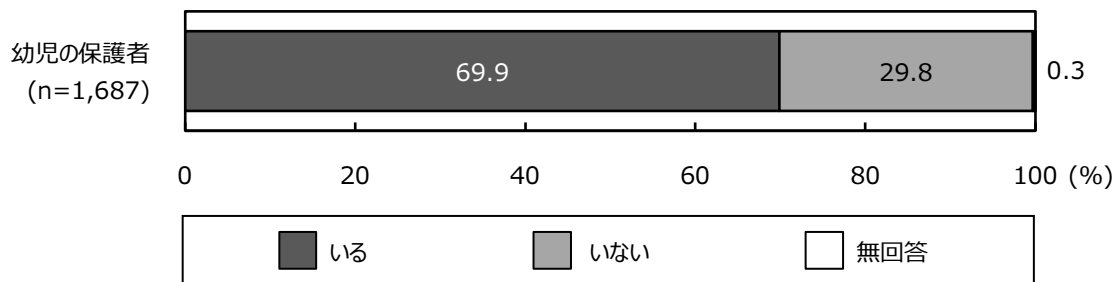
どの年齢も「子どものしつけ」が最も高くなっていますが（1歳児：53.1%、3歳児：58.8%、年長児：45.8%）、1歳児、3歳児での割合が特に高くなっています。

次に割合が高いものをみると、1歳児は「子どもの発育・発達」（43.6%）、「子どもの食事」（42.5%）の順、3歳児は「子どもとの接し方・遊び方」（39.0%）、「子どもの発育・発達」、「子どもの食事」（それぞれ38.2%）の順、年長児は「子どもの発育・発達」（36.0%）、「子どもの食事」（31.2%）の順となっています。



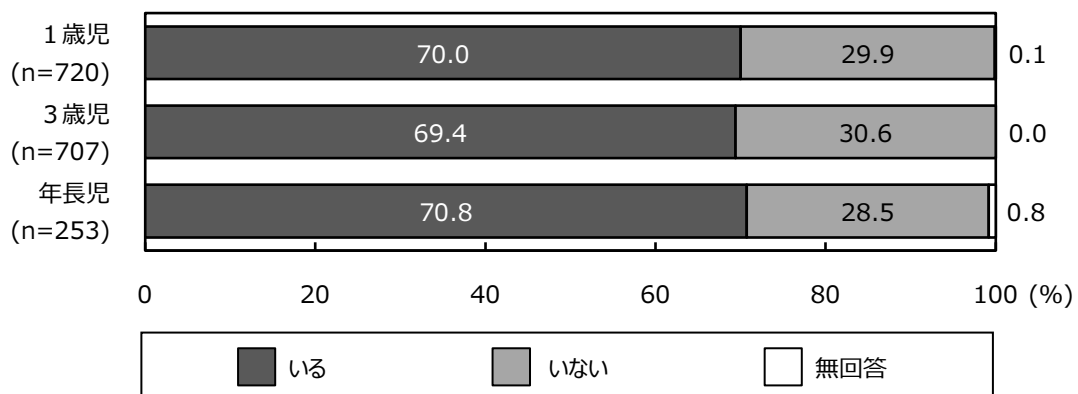
問 28 配偶者以外で子育てのお手伝いをしてくれる人はいますか。(単数回答)

「いる」が69.9%、「いない」が29.8%と、「いる」の方が高くなっています。



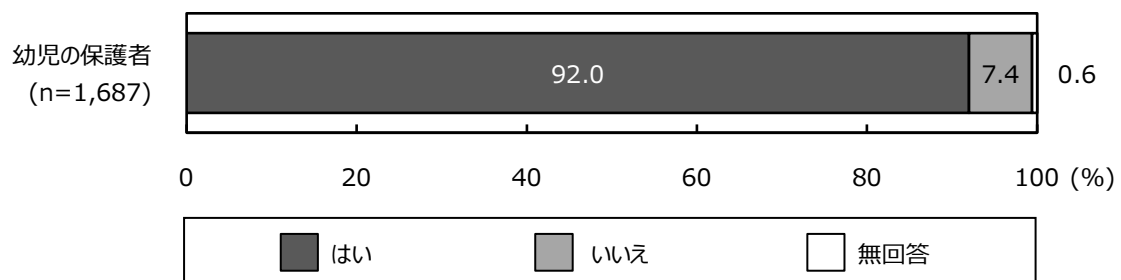
【子育てのお手伝いをしてくれる人の有無 (子どもの年齢別)】

どの年齢も「いる」の方が高く、1歳児では70.0%、3歳児では69.4%、年長児では70.8%となっています。



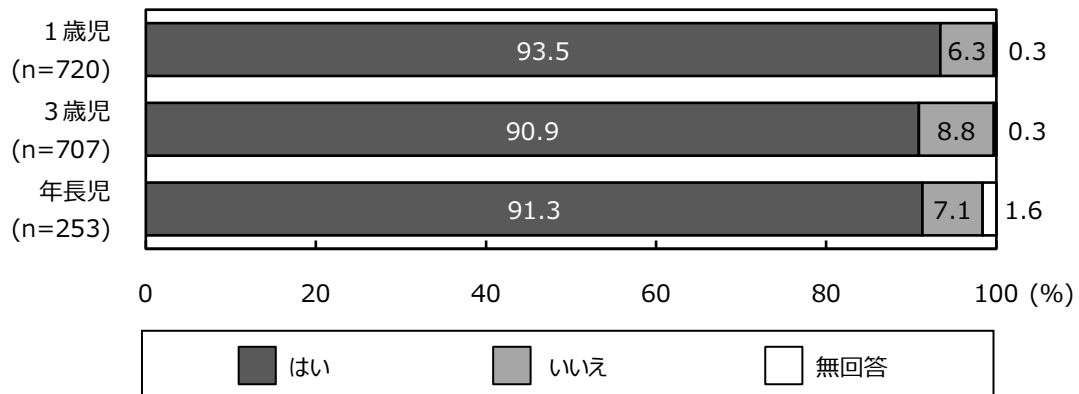
問 29 子育てに困ったとき相談する人がいますか。(単数回答)

「はい」が92.0%、「いいえ」が7.4%と、「はい」が大半を占めています。



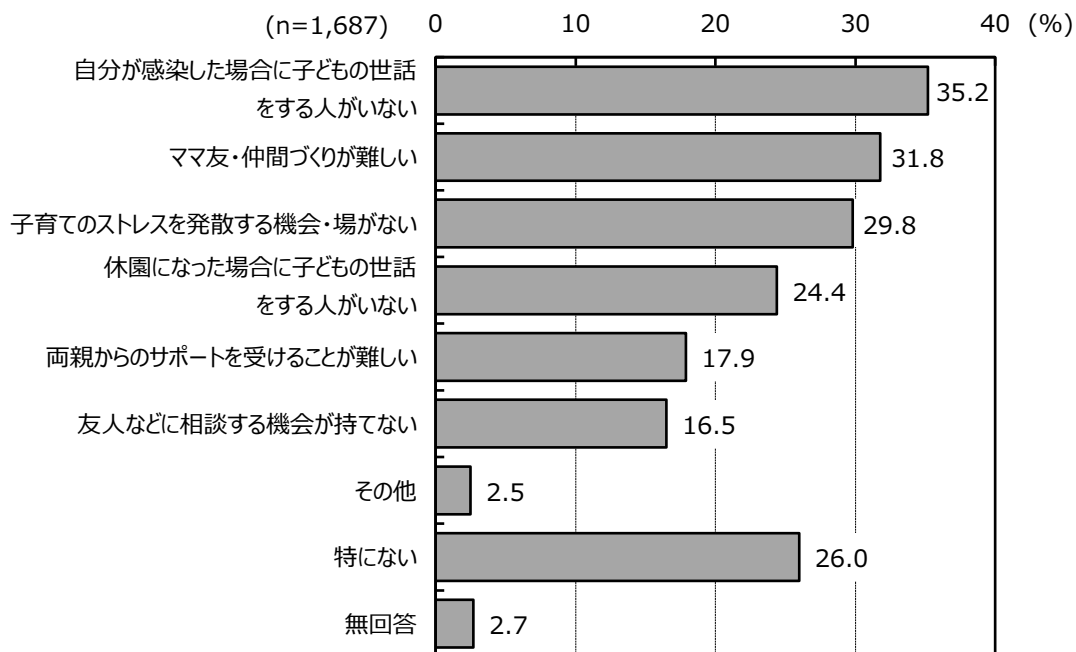
【子育てに困ったときに相談する人の有無（子どもの年齢別）】

どの年齢も「はい」が大半を占めていますが、1歳児では93.5%、3歳児では90.9%、年長児では91.3%と、1歳児での割合が最も高くなっています。



問30 コロナ禍の現在、子育てに関して不安に感じていることは何ですか。（複数回答）

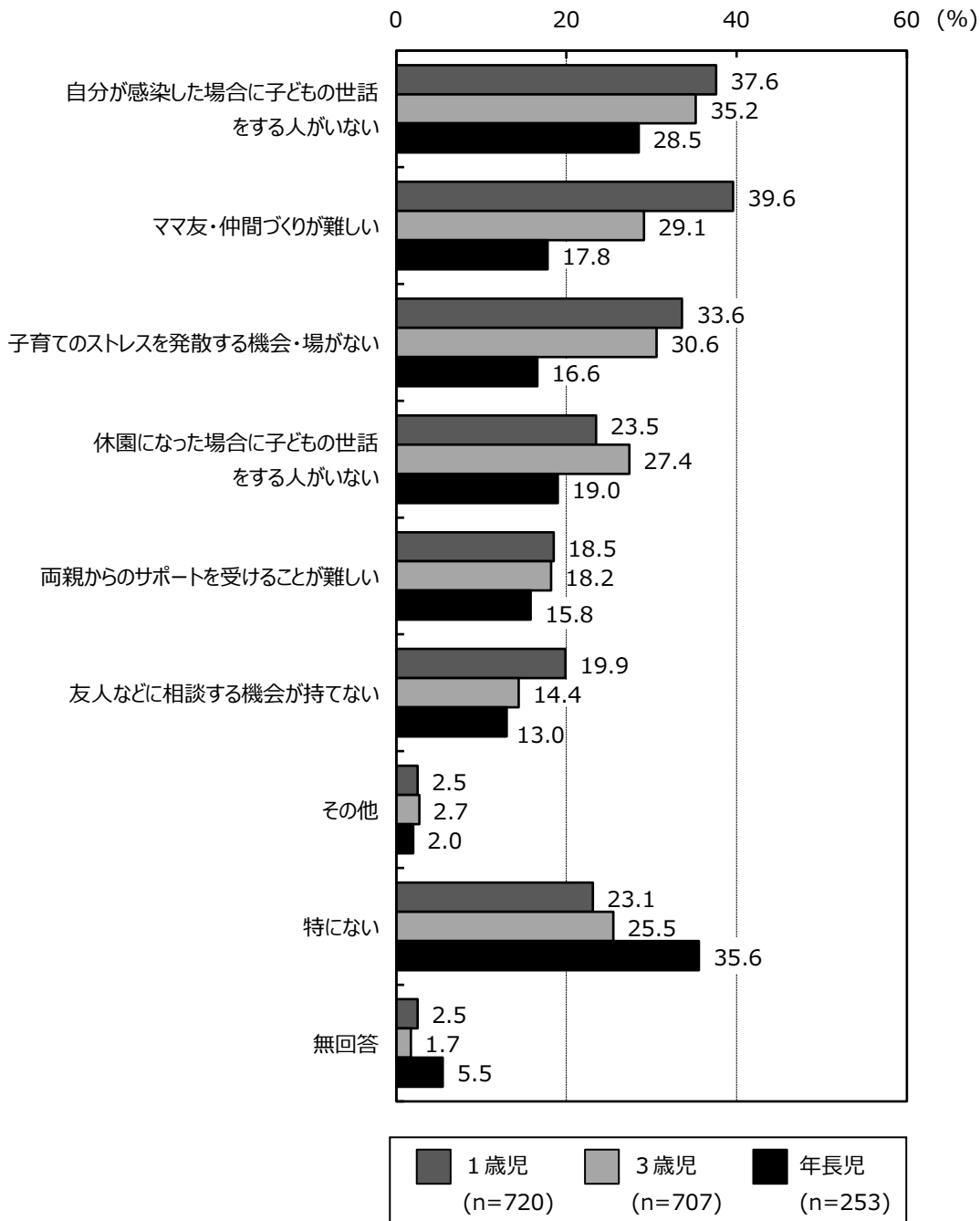
「自分が感染した場合に子どもの世話をする人がいない」が35.2%と最も高く、次いで、「ママ友・仲間づくりが難しい」が31.8%、「子育てのストレスを発散する機会・場がない」が29.8%となっています。



【コロナ禍で子育てに関して不安に感じていること（子どもの年齢別）】

1歳児、3歳児では「自分が感染した場合に子どもの世話をする人がいない」（1歳児：37.6%、3歳児：35.2%）、「ママ友・仲間づくりが難しい」（1歳児：39.6%、3歳児：29.1%）、「子育てのストレスを発散する機会・場がない」（1歳児：33.6%、3歳児：30.6%）が上位3位となっていますが、1歳児では「ママ友・仲間づくりが難しい」が最も高く、3歳児では「自分が感染した場合に子どもの世話をする人がいない」が最も高くなっています。

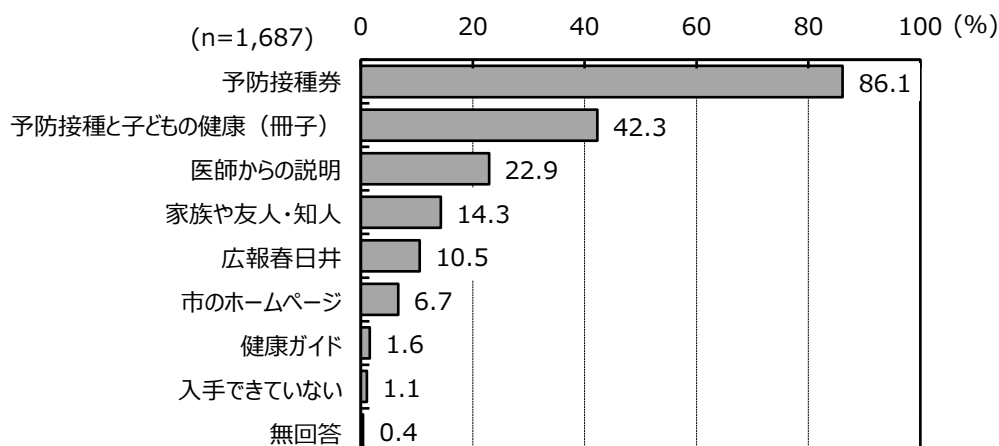
年長児については「特にない」（35.6%）、「自分が感染した場合に子どもの世話をする人がいない」（28.5%）、「休園になった場合に子どもの世話をする人がいない」（19.0%）が上位3位となっています。



(8) 予防接種・幼児健診について

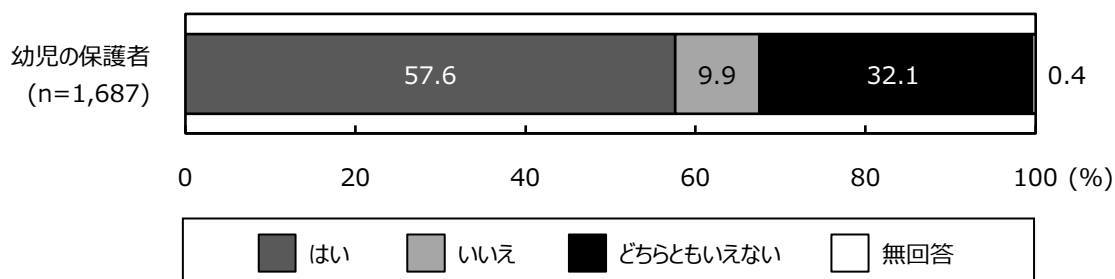
問 31 予防接種に関する情報はどこから入手していますか。(複数回答)

「予防接種券」が86.1%と最も高く、次いで、「予防接種と子どもの健康(冊子)」が42.3%、「医師からの説明」が22.9%となっています。



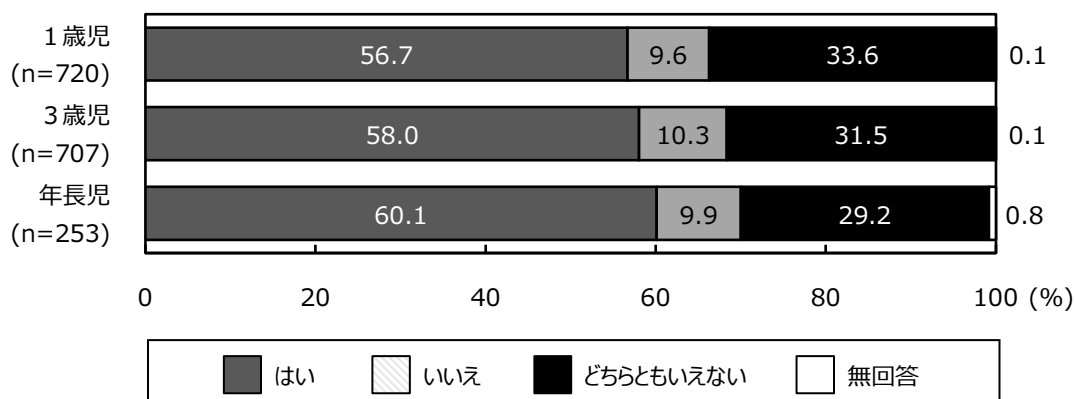
問 32 あなたは、市の乳幼児健診について満足していますか。(単数回答)

「はい」が57.6%、「いいえ」が9.9%、「どちらともいえない」が32.1%と、「はい」が最も高くなっています。



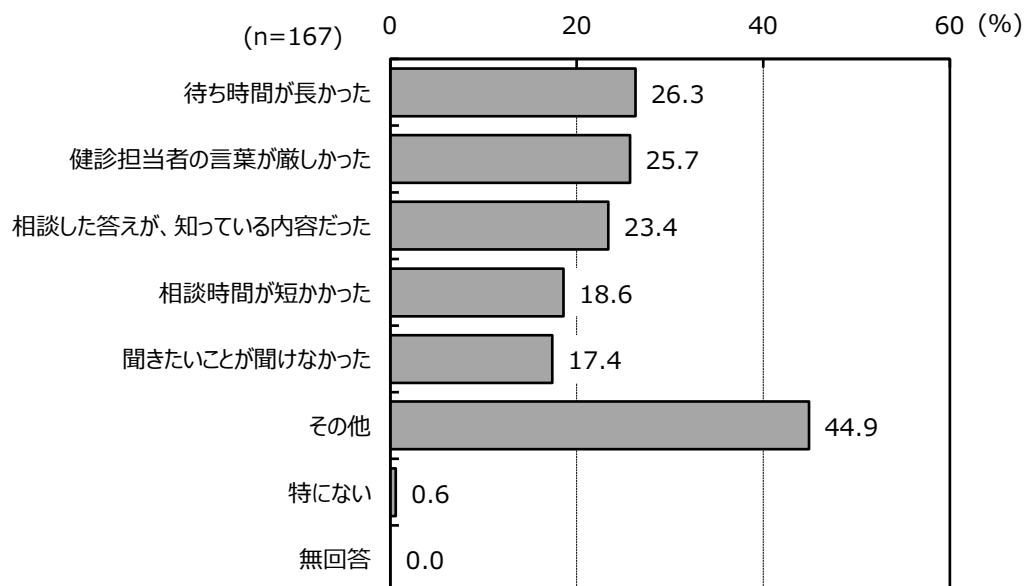
【市の乳幼児健診に満足しているか(子どもの年齢別)】

どの年齢も「はい」が最も高くなっていますが、年齢が上がるほど割合が高くなり、1歳児では56.7%、3歳児では58.0%、年長児は60.1%となっています。



問 33 満足していない理由をお教えてください。(複数回答)
 《問 32 で「いいえ」と回答した人が対象》

「その他」が 44.9%と最も高くなっています。「その他」以外では「待ち時間が長かった」が 26.3%と最も高く、次いで、「健診担当者の言葉が厳しかった」が 25.7%、「相談した答えが、知っている内容だった」が 23.4%となっています。

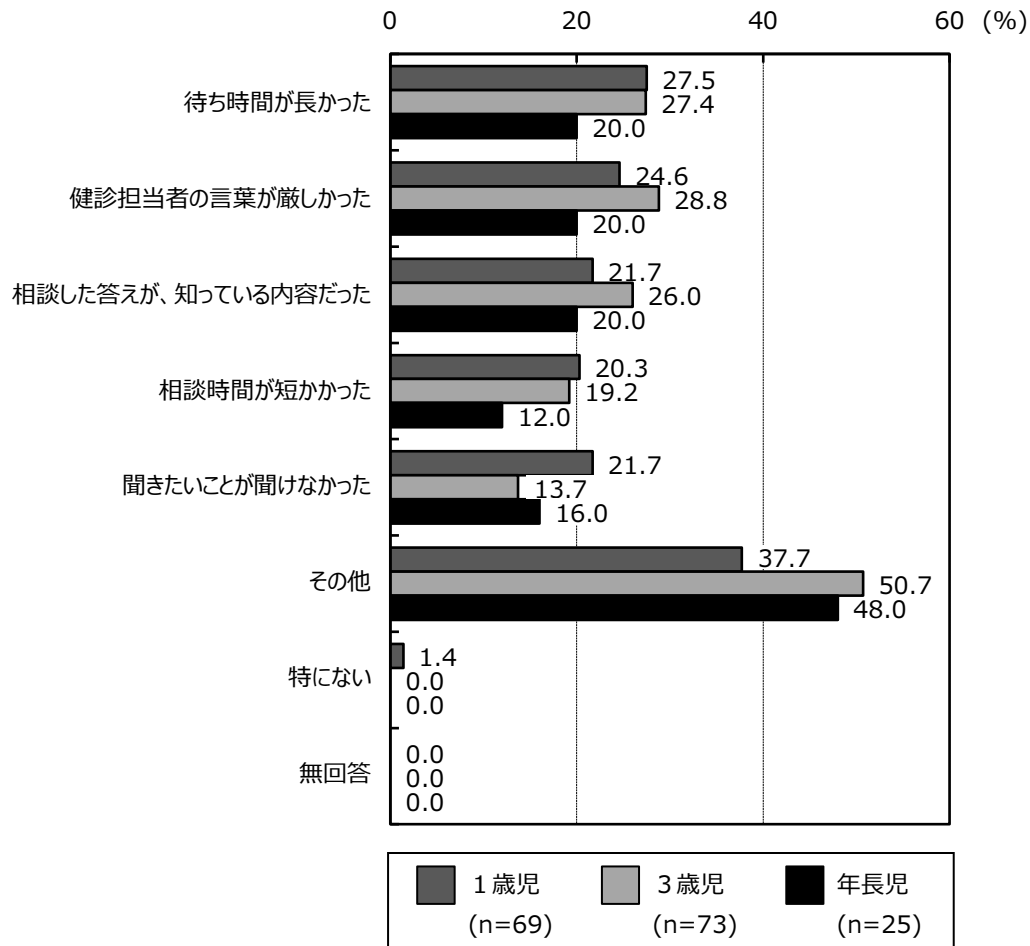


【その他の回答】

主な回答	件数
昼寝の時間に健診が実施される。午前中に実施してほしい。	17 件
時間帯が限られている。仕事をしていると参加しにくい。	7 件
コロナが疑われる症状が少しでもあると帰らされる。	7 件
流れ作業のように感じる。	5 件
乳幼児健診の回数が少ない。	3 件
教科書通りの内容での返答しかもらえない。	3 件
視力検査や聴力検査を会場でも行える場を作ってほしい。	3 件
プライバシーへの配慮が足りない。	2 件
高圧的な態度に感じた。	2 件
不安になるようなことを言われた。	2 件

【市の乳幼児健診に満足していない理由（子どもの年齢別）】

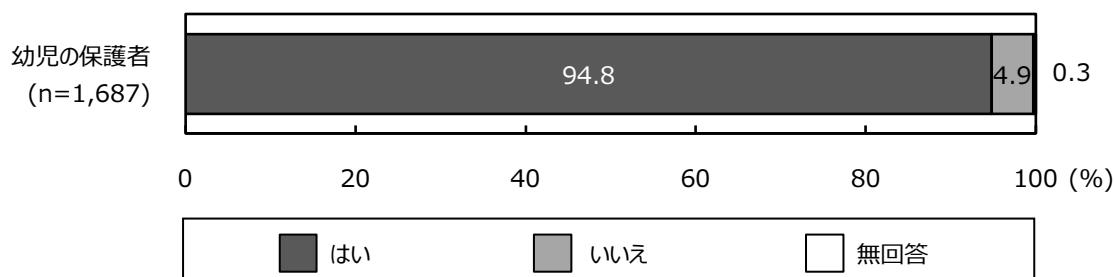
「その他」以外では、どの年齢も「待ち時間が長かった」（1歳児：27.5%、3歳児：27.4%、年長児：20.0%）、「健診担当者の言葉が厳しかった」（1歳児：24.6%、3歳児：28.8%、年長児：20.0%）、「相談した答えが、知っている内容だった」（1歳児：21.7%、3歳児：26.0%、年長児：20.0%）が上位3位となっています。



(9) お子さんの健康管理について

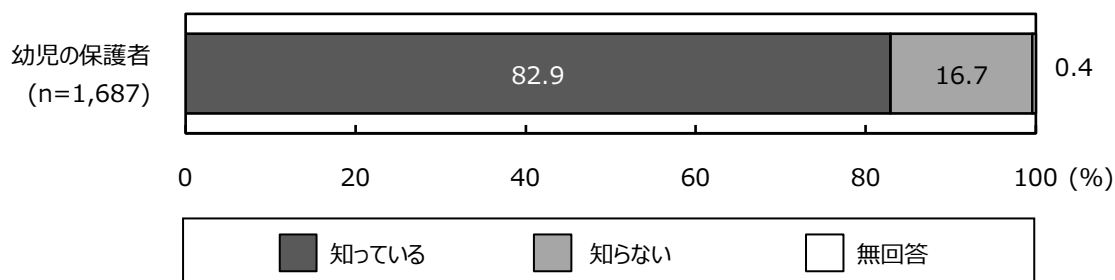
問 34 お子さんには、かかりつけの小児科医がありますか。(単数回答)

「はい」が94.8%、「いいえ」が4.9%と、「はい」が大半を占めています。



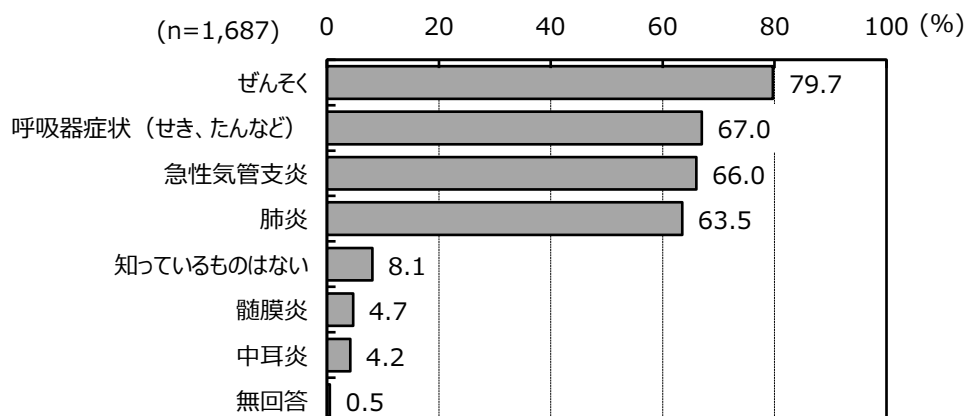
問 35 休日や夜間に受診できる小児救急医療機関や休日・平日夜間急病診療所を知っていますか。(単数回答)

「知っている」が82.9%、「知らない」が16.7%と、「知っている」が大半を占めています。



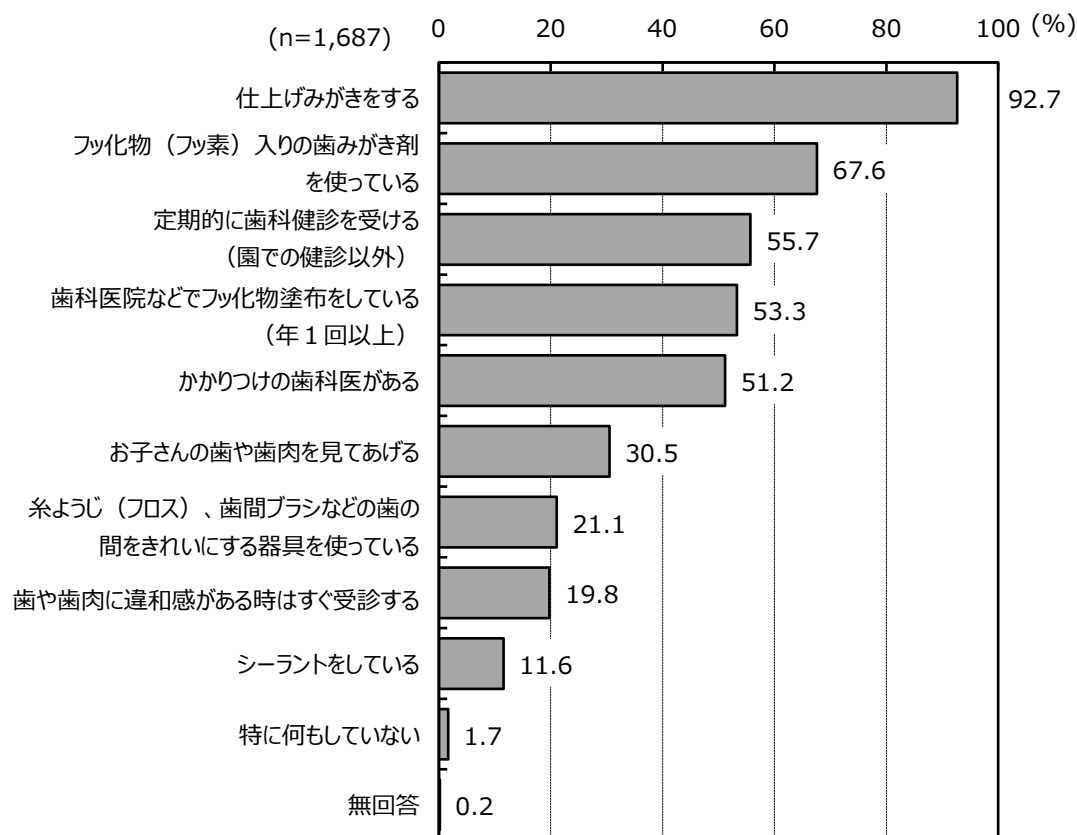
問 36 たばこの煙が子どもの健康に与える影響について、知っているものはどれですか。(複数回答)

「ぜんそく」が79.7%と最も高く、次いで、「呼吸器症状(せき、たんなど)」が67.0%、「急性気管支炎」が66.0%、「肺炎」が63.5%となっています。



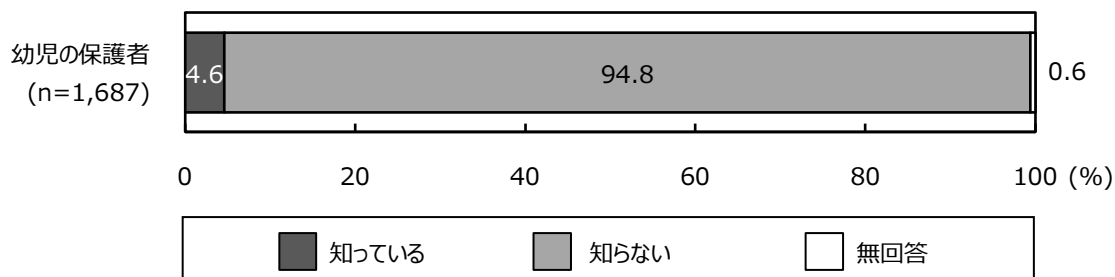
問 37 お子さんの歯と口の健康管理として、どのようなことをしていますか。（複数回答）

「仕上げみがきをする」が92.7%と最も高く、次いで、「フッ化物（フッ素）入りの歯みがき剤を使っている」が67.6%、「定期的に歯科健診を受ける（園での健診以外）」が55.7%、「歯科医院などでフッ化物塗布をしている（年1回以上）」が53.3%、「かかりつけの歯科医がある」が51.2%となっています。



問 38 「かすがい健康計画 2023」を知っていますか。（単数回答）

「知っている」が4.6%、「知らない」が94.8%と、「知らない」が大半を占めています。

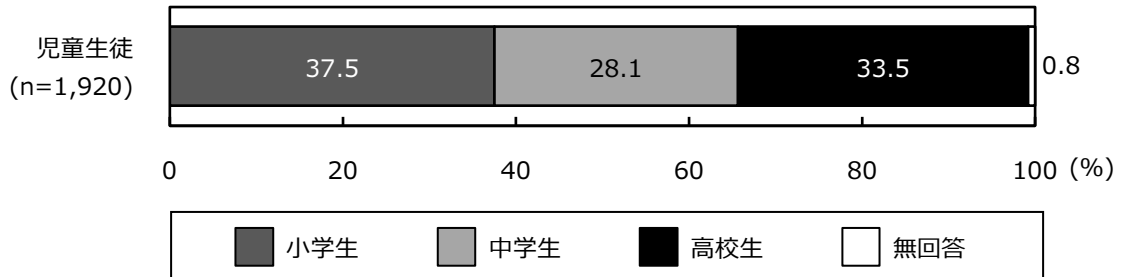


3. 児童生徒アンケート

(1) あなたのことについて

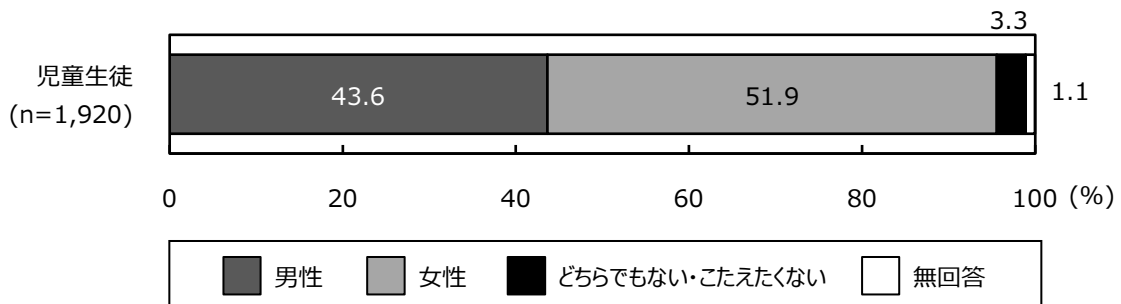
問1 あなたはどれにあてはまりますか。(単数回答)

「小学生」が37.5%、「中学生」が28.1%、「高校生」が33.5%となっています。



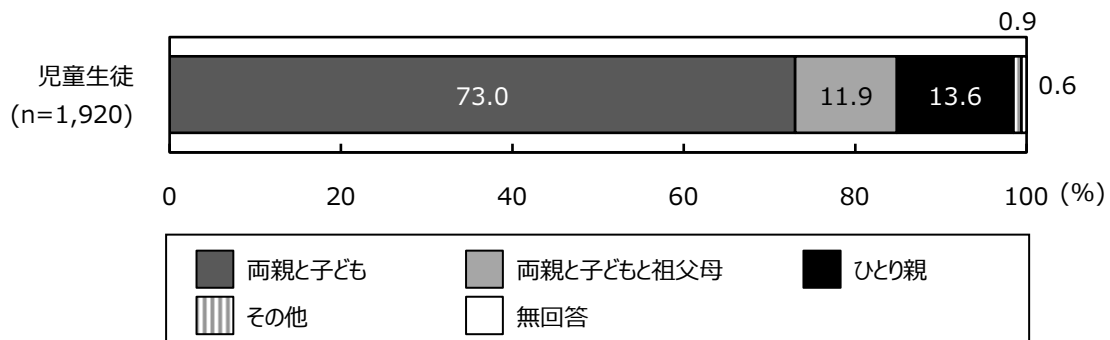
問2 性別をおしえてください。(単数回答)

「男性」が43.6%、「女性」が51.9%、「どちらでもない・こたえたくない」が3.3%となっています。



問3 だれといっしょに住んでいますか。(複数回答)

同居者から世帯構成をみると、「両親と子ども」が73.0%と最も高く、次いで、「ひとり親」が13.6%、「両親と子どもと祖父母」が11.9%となっています。

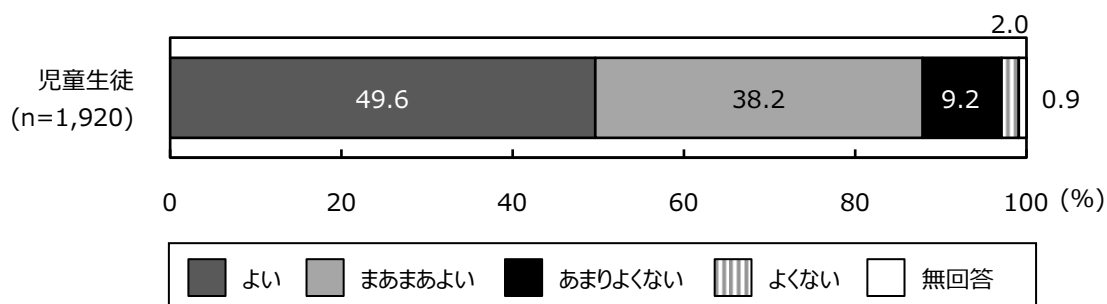


注：「両親と子ども」、「両親と子どもと祖父母」、「ひとり親」には他の同居者がいる場合も含めている。

(2) 体調や健康づくりについて

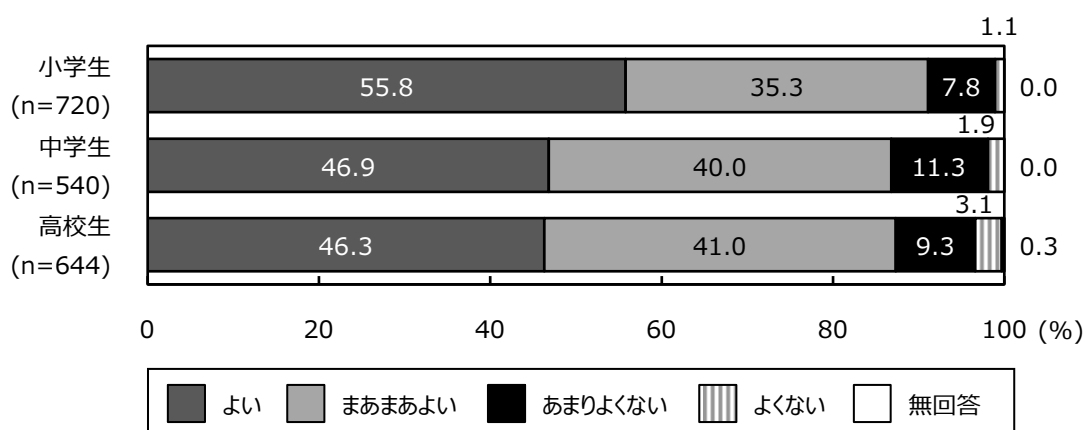
問4 自分のからだの調子をどう思いますか。(単数回答)

「よい」が49.6%と最も高く、次いで、「まあまあよい」が38.2%となっており、『よい』（「よい」+「まあまあよい」）については87.8%と、大半を占めています。



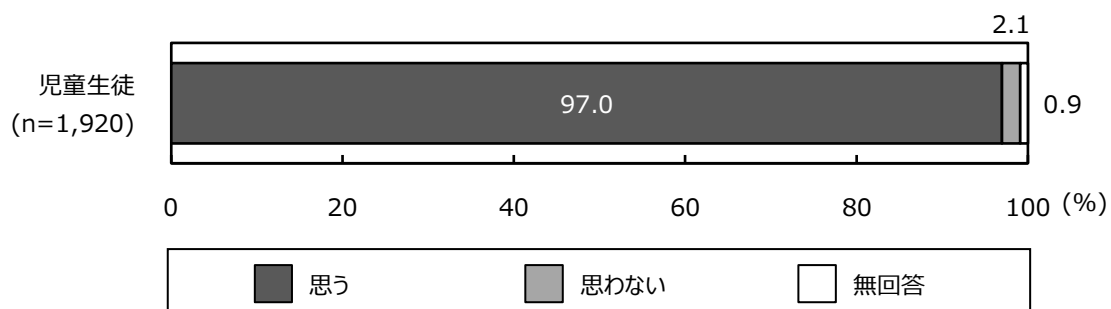
【自分のからだの調子（学年別）】

どの学年も「よい」が最も高くなっています（小学生：55.8%、中学生：46.9%、高校生：46.3%）。『よい』についてはどの学年も大半を占めていますが、小学生では91.1%、中学生では86.9%、高校生では87.3%と、小学生での割合が最も高くなっています。



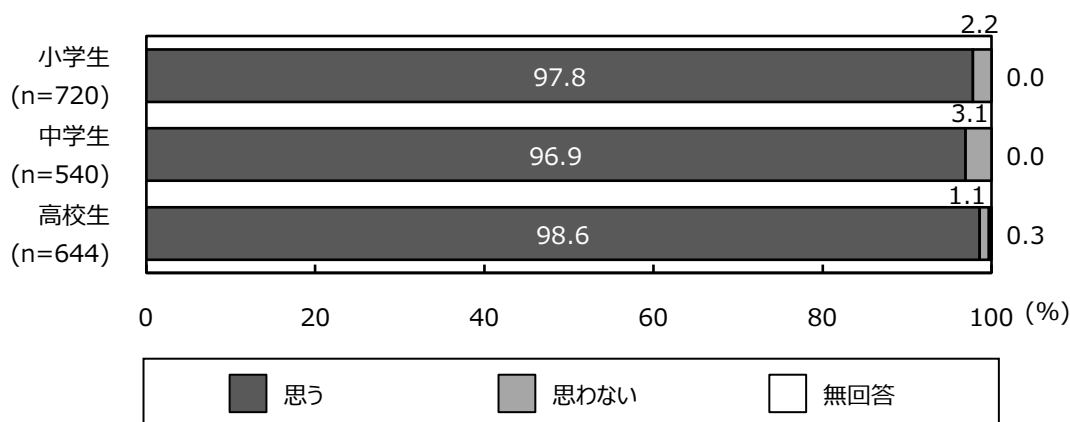
問5 健康でいることは大切だと思いますか。(単数回答)

「思う」が97.0%、「思わない」が2.1%と、「思う」が大半を占めています。



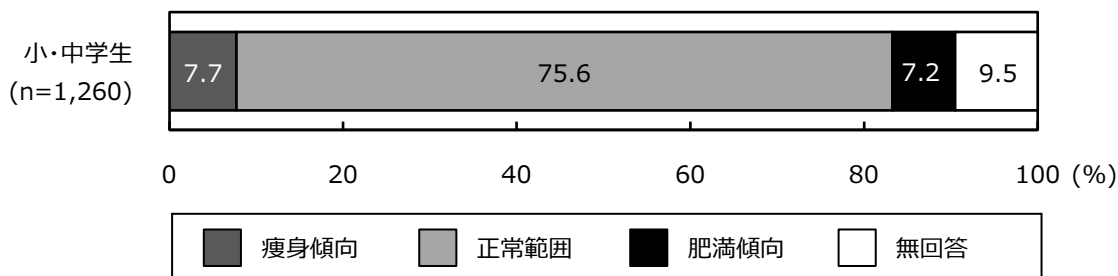
【健康でいることは大切だと思うか（学年別）】

どの学年も「思う」が大半を占めていますが、小学生では97.8%、中学生では96.9%、高校生では98.6%と、高校生での割合が最も高くなっています。



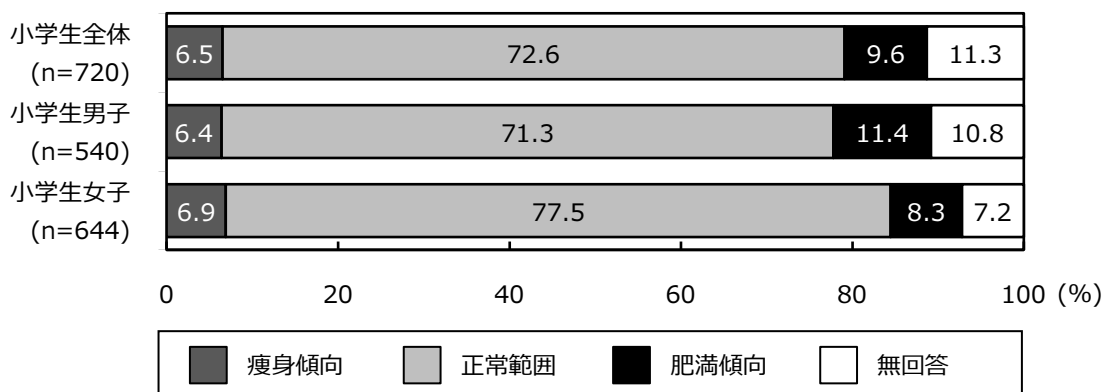
問6 身長と体重をおしえてください。（数字記入）

身長・体重から小・中学生の肥満度をみると、「痩身傾向」が7.7%、「正常範囲」が75.6%、「肥満傾向」が7.2%となっています。



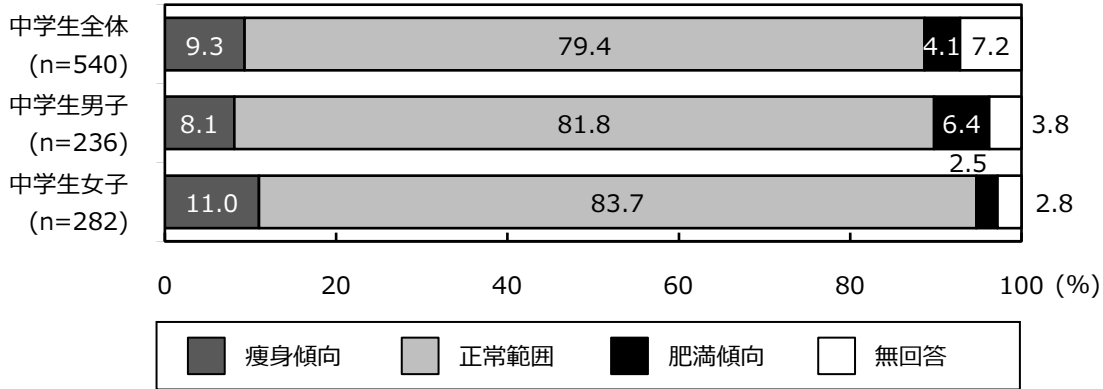
【小学生の肥満度（性別）】

小学生全体では、「痩身傾向」が6.5%、「正常範囲」が72.6%、「肥満傾向」が9.6%となっています。性別でみると、「痩身傾向」については大きな差はみられませんが（男子：6.4%、女子：6.9%）、「肥満傾向」は男子の割合の方が高くなっています（男子：11.4%、女子：8.3%）。



【中学生の肥満度（性別）】

中学生全体では、「痩身傾向」が9.3%、「正常範囲」が79.4%、「肥満傾向」が4.1%となっています。性別でみると、「痩身傾向」は女性の割合の方が高く（男子：8.1%、女子：11.0%）、「肥満傾向」は男子の割合の方が高くなっています（男子：6.4%、女子：2.5%）。



★小・中学生の肥満度（過体重度）

文部科学省が実施する学校保健統計調査では、性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度を算出し、肥満度が20%以上の者を「肥満傾向」、-20%以下の者を「痩身傾向」としている。肥満度の求め方は以下のとおりであり、本調査では、小学5年生は11歳、中学校2年生は14歳の係数を使用して計算している。

肥満度(過体重度) = [実測体重(kg) - 身長別標準体重(kg)] ÷ 身長別標準体重(kg) × 100(%)

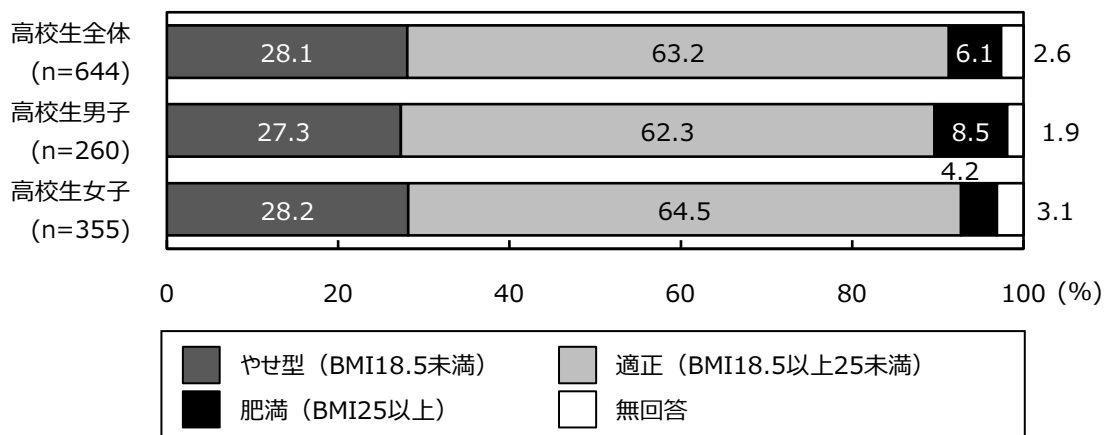
※身長別標準体重(kg) = a × 実測身長(cm) - b (下表係数を用いる)

	男子		女子	
	a	b	a	b
11歳	0.782	75.106	0.803	78.846
14歳	0.832	83.695	0.594	43.264

【高校生のBMI（性別）】

高校生全体では「やせ型（BMI 18.5未満）」が28.1%、「適正（BMI 18.5以上25未満）」が63.2%、「肥満（BMI 25以上）」が6.1%となっています。

性別でみると、「やせ型（BMI 18.5未満）」は女性の割合の方が高く（男子：27.3%、女子：28.2%）、「肥満（BMI 25以上）」は男子の割合の方が高くなっています（男子：8.5%、女子：4.2%）。

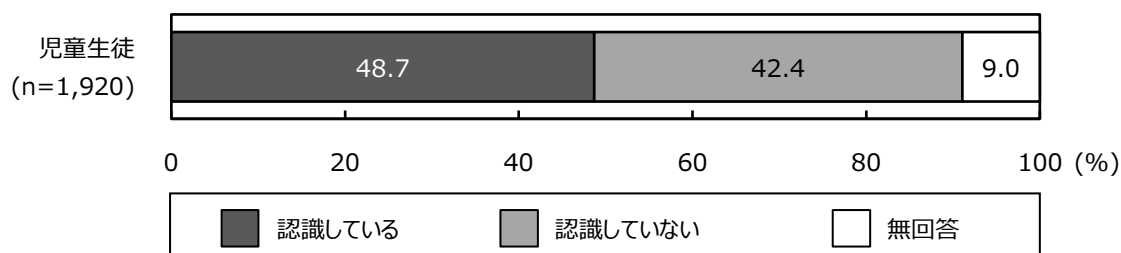


★BMI（ボディマス指数）

高校生、成人については、BMI（BMI = [体重(kg)] ÷ [身長(m)の2乗]）により肥満度を判定している。BMIは肥満度の判定に用いられている指標で、広く国際的に使用されている。

問7 自分は太っていると思いますか。やせていると思いますか。(単数回答)

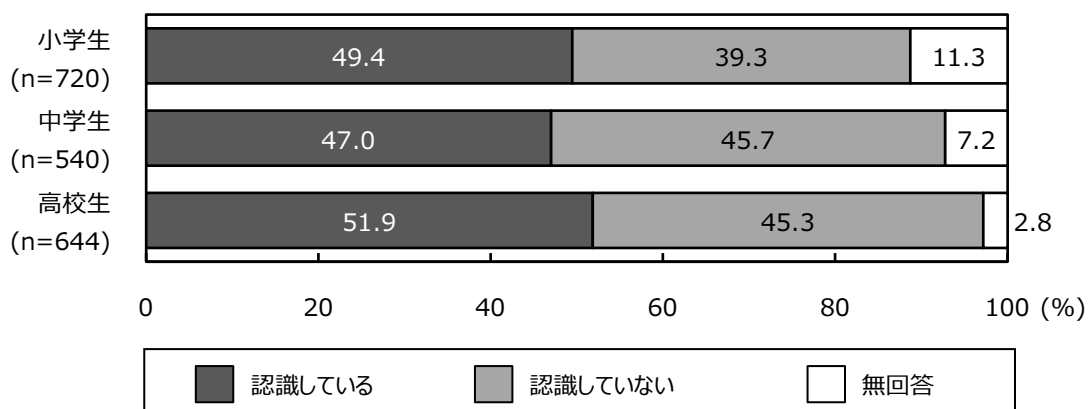
肥満度・BMIと自分の体型をどう思うかから、体型への認識度をみると、「認識している」が48.7%、「認識していない」が42.4%と、「認識している」の方が高くなっています。



注：小・中学生については、痩身傾向で「やせている」、正常範囲で「普通」、肥満傾向で「太っている」と回答した人を「認識している」として集計。高校生については、やせ型 (BMI 18.5未満) で「やせている」、適正 (BMI 18.5以上25未満) で「普通」、肥満 (BMI 25以上) で「太っている」と回答した人を「認識している」として集計。

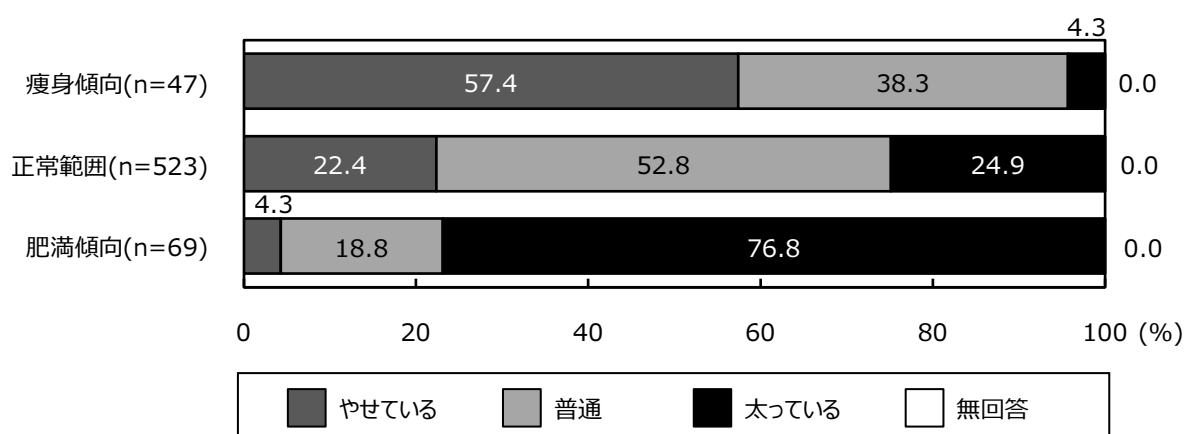
【自分の体型に対する認識 (学年別)】

どの学年も「認識している」の方が高くなっていますが、小学生では49.4%、中学生では47.0%、高校生では51.9%と、高校生での割合が最も高くなっています。



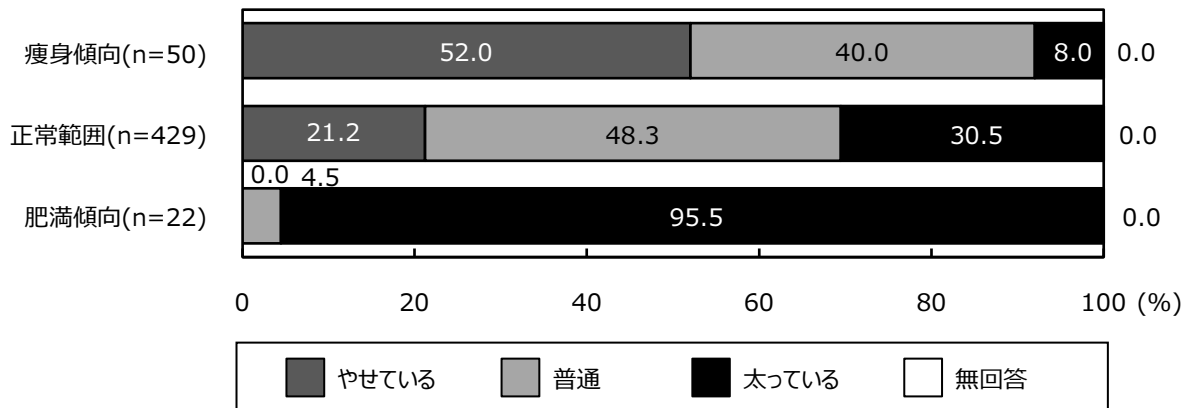
【自分の体型に対する認識 (小学生・肥満度別)】

痩身傾向で「やせている」と回答した人は57.4%、正常範囲で「普通」と回答した人は52.8%、肥満傾向で「太っている」と回答した人は76.8%となっています。



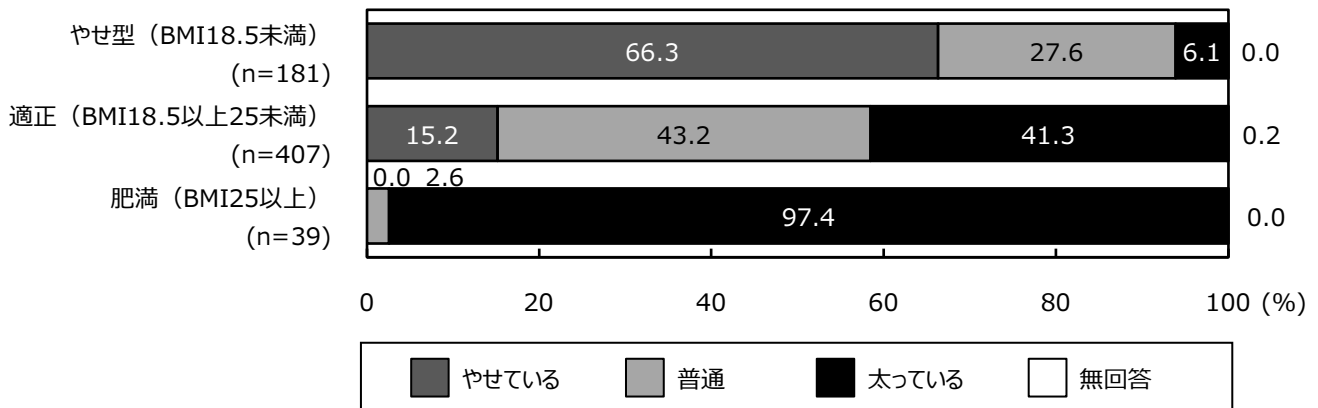
【自分の体型に対する認識（中学生・肥満度別）】

痩身傾向で「やせている」と回答した人は52.0%、正常範囲で「普通」と回答した人は48.3%、肥満傾向で「太っている」と回答した人は95.5%となっています。



【自分の体型に対する認識（高校生・BMI別）】

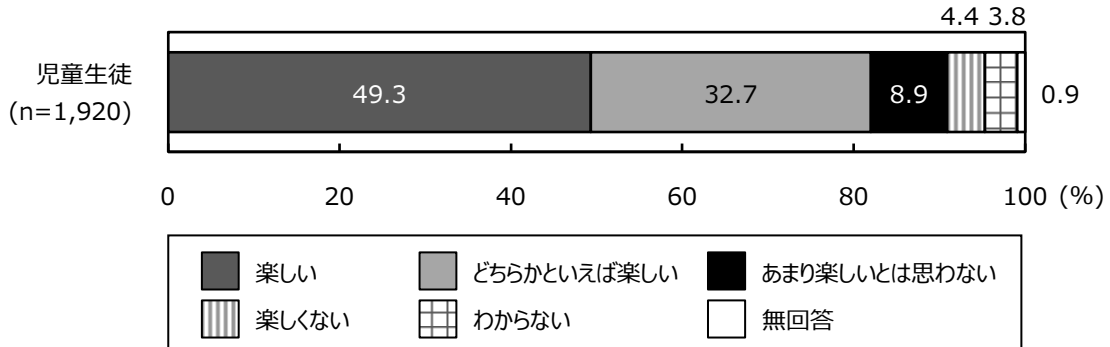
やせ型（BMI18.5未満）で「やせている」と回答した人は66.3%、適正（BMI18.5以上25未満）で「普通」と回答した人は43.2%、肥満（BMI25以上）で「太っている」と回答した人は97.4%となっています。



(3) ふだんの生活について

問8 学校は楽しいですか。(単数回答)

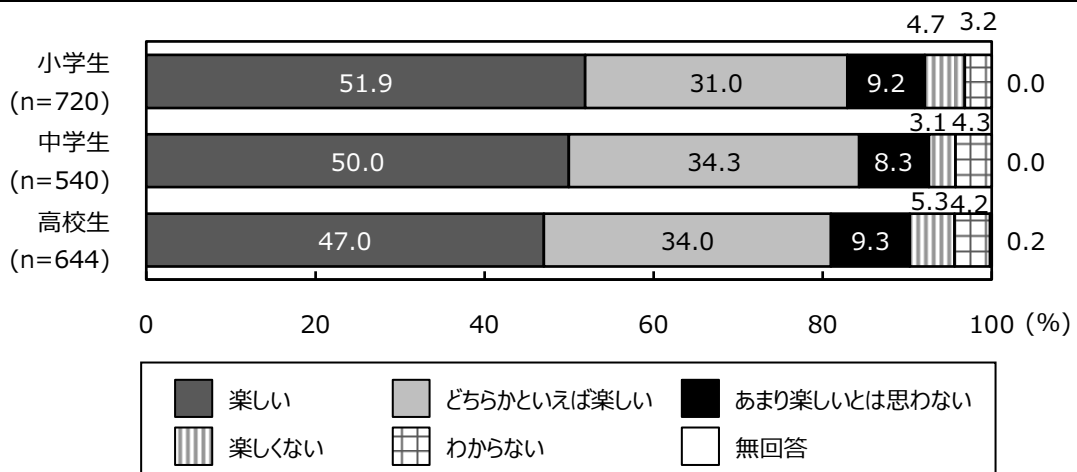
「楽しい」が49.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば楽しい」が32.7%となっており、『楽しい』（「楽しい」+「どちらかといえば楽しい」）については82.0%と、大半を占めています。



【学校は楽しいか（学年別）】

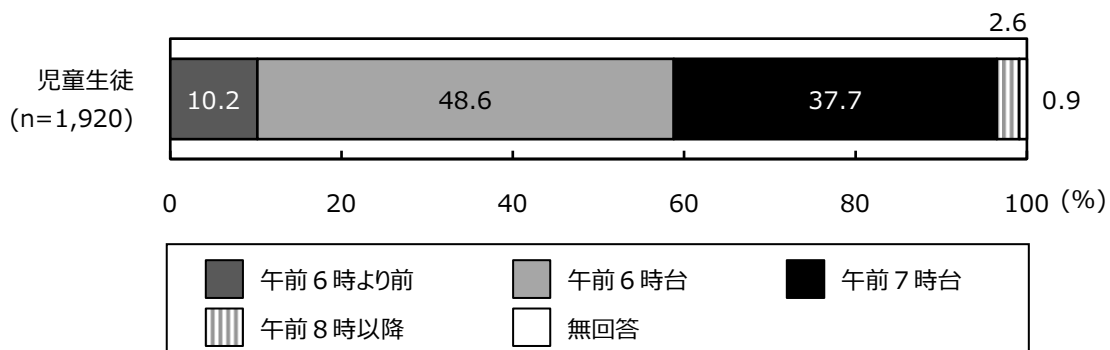
どの学年も「楽しい」が最も高くなっています（小学生：51.9%、中学生：50.0%、高校生：47.0%）。

『楽しい』についてはどの学年でも大半を占めていますが、小学生では82.9%、中学生では84.3%、高校生では81.0%と、中学生での割合が最も高くなっています。



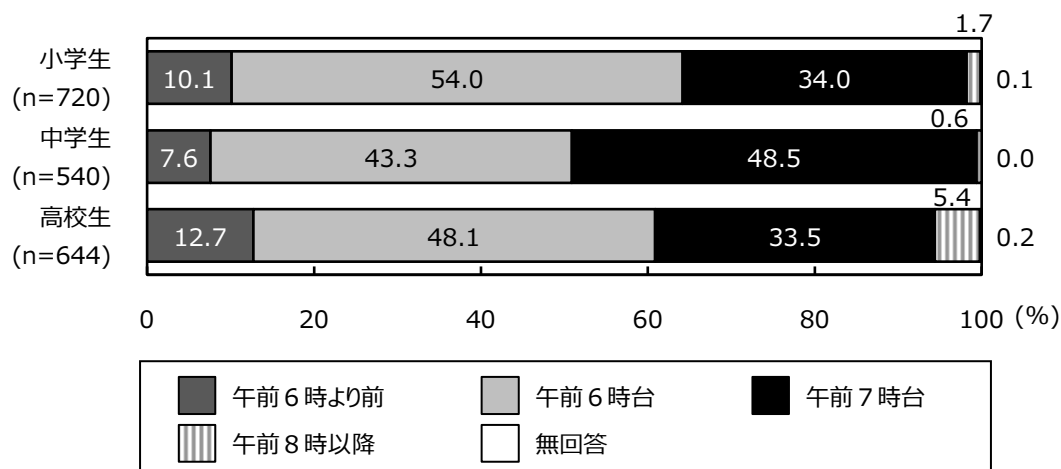
問9 朝は何時ごろおきますか。(単数回答)

「午前6時台」が48.6%と最も高く、次いで、「午前7時台」が37.7%、「午前6時より前」が10.2%となっています。



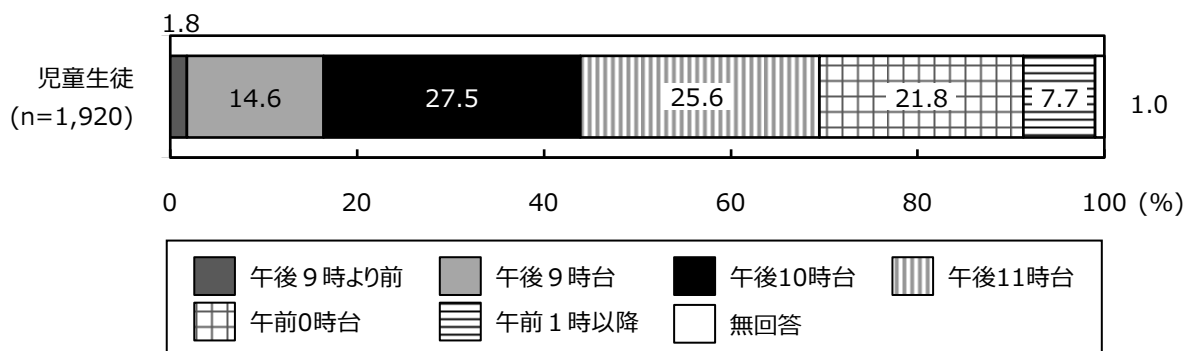
【起床時間（学年別）】

小学生、高校生では「午前6時台」が最も高く（小学生：54.0%、高校生：48.1%）、中学生では「午前7時台」が最も高くなっています（48.5%）。



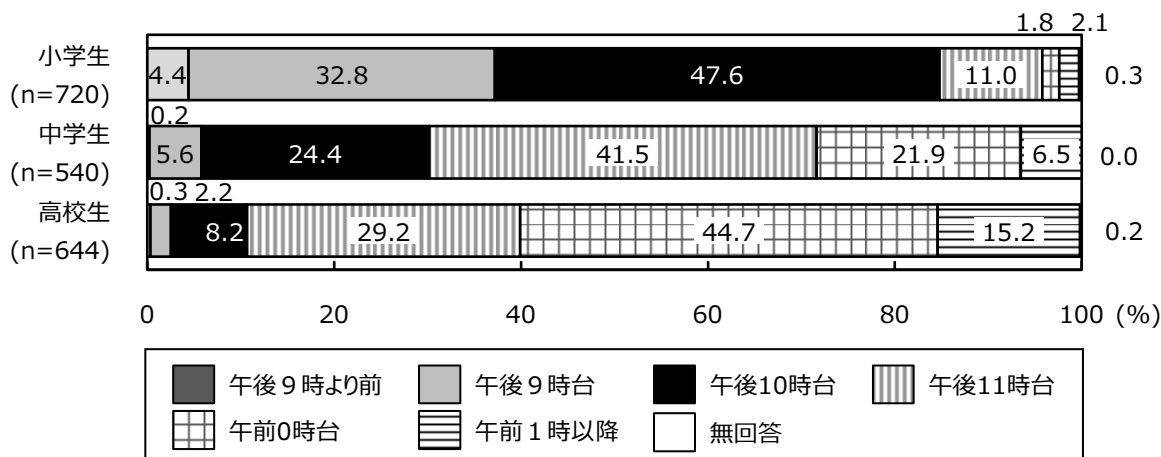
問10 夜は何時ごろねますか。（単数回答）

「午後10時台」が27.5%と最も高く、次いで、「午後11時台」が25.6%、「午前0時台」が21.8%となっています。



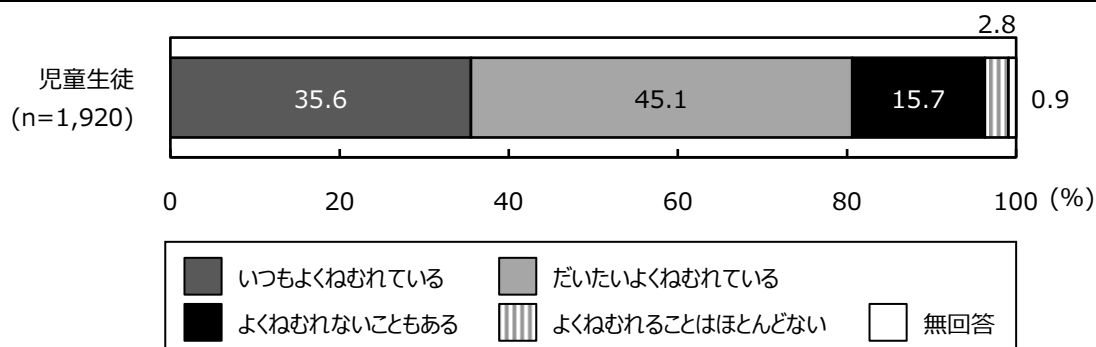
【就寝時間（学年別）】

小学生では「午後10時台」（47.6%）、中学生では「午後11時台」（41.5%）、高校生では「午後0時台」（44.7%）」が最も高くなっています。



問11 よくねむれていますか。(単数回答)

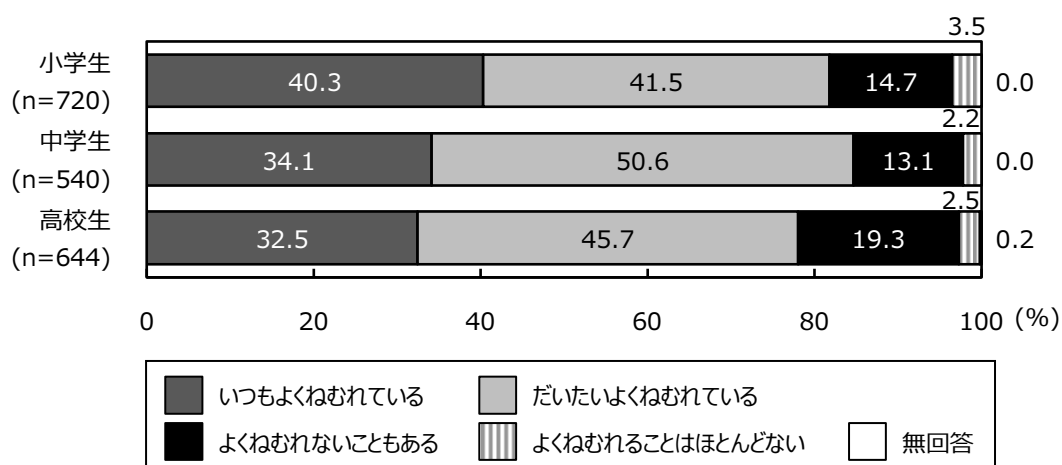
「だいたいよくねむれている」が45.1%と最も高く、次いで、「いつもよくねむれている」が35.6%となっており、『ねむれている』（「いつもよくねむれている」+「だいたいよくねむれている」）については80.7%と、大半を占めています。



【睡眠の状況（学年別）】

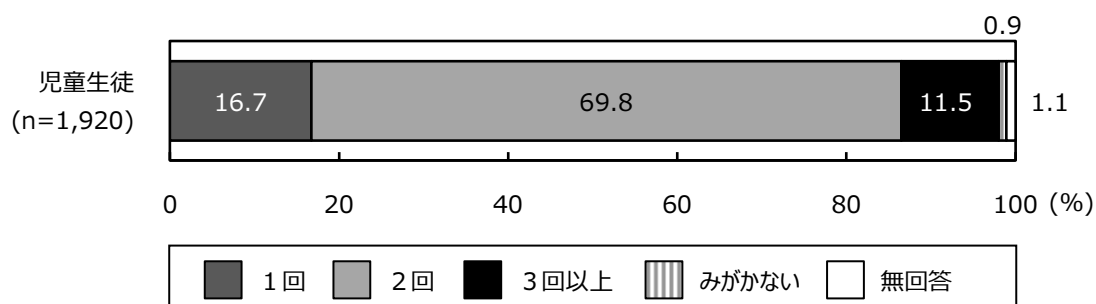
どの学年も「だいたいよくねむれている」が最も高くなっています（小学生：41.5%、中学生：50.6%、高校生：45.7%）。

『ねむれている』については、小学生では81.8%、中学生では84.7%、高校生では78.2%と、中学生での割合が最も高くなっています。「いつもよくねむれている」については学年が上がるほど割合が低くなっています（小学生：40.3%、中学生：34.1%、高校生：32.5%）。



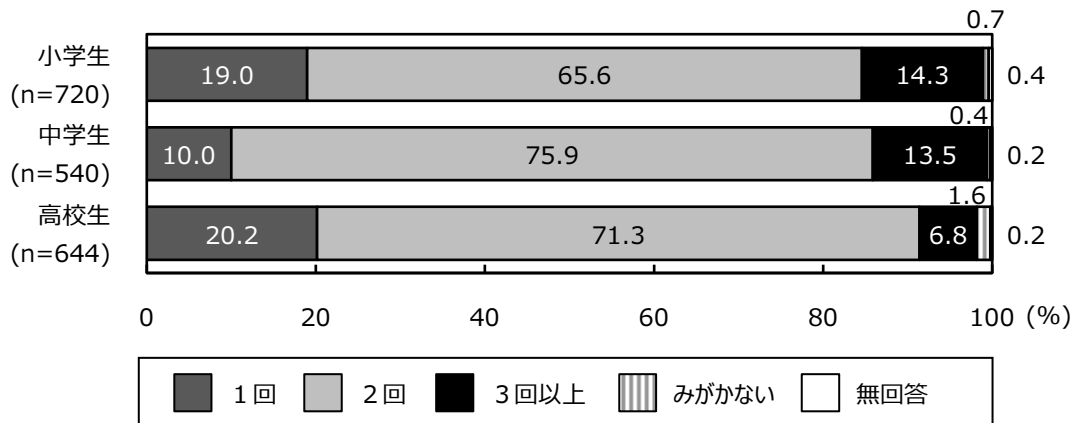
問12 1日何回歯をみがきますか。(単数回答)

「2回」が69.8%と最も高く、次いで、「1回」が16.7%、「3回以上」が11.5%となっています。



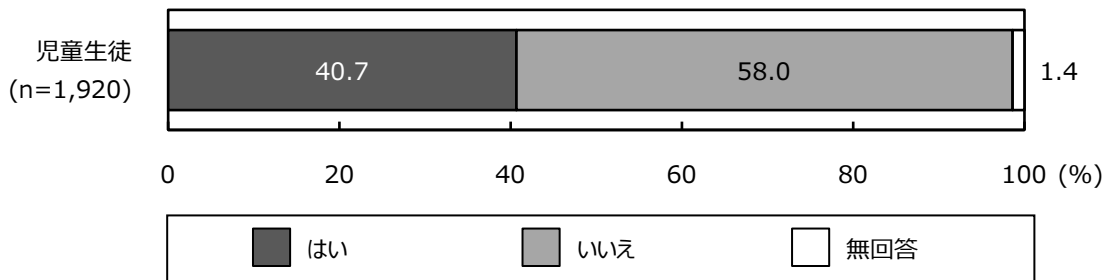
【1日の歯みがきの回数（学年別）】

どの学年も「2回」が最も高くなっています（小学生：65.6%、中学生：75.6%、高校生：71.3%）。



問13 歯ブラシ以外で、歯の間をきれいにする器具（糸ようじ、フロス、歯間ブラシなど）を使っていますか。（単数回答）

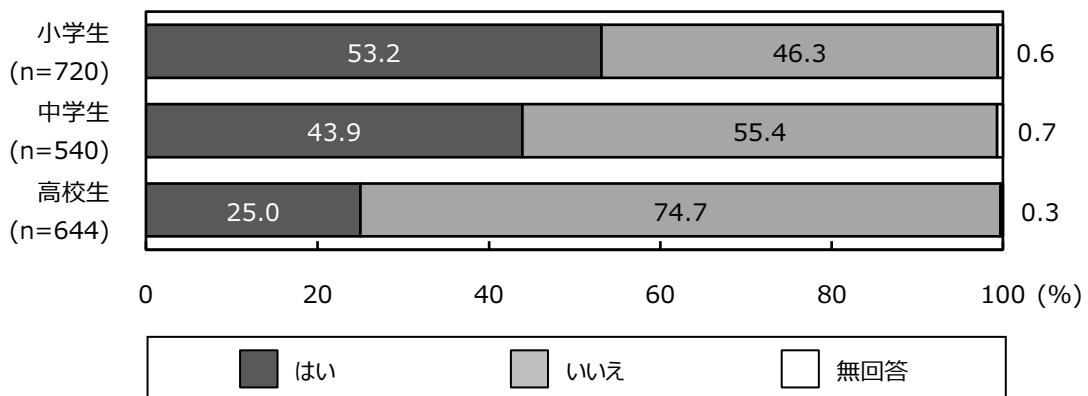
「はい」が40.7%、「いいえ」が58.0%と、「いいえ」の方が高くなっています。



【歯間部清掃具を使用しているか（学年別）】

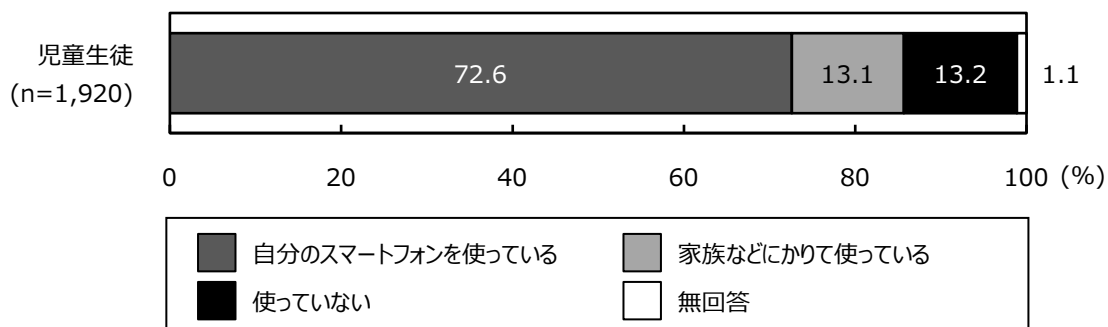
小学生では「はい」の方が高く（53.2%）、中学生、高校生では「いいえ」の方が高くなっています（中学生：55.4%、高校生：74.7%）。

「はい」については学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では53.2%、中学生では43.9%、高校生では25.0%となっています。



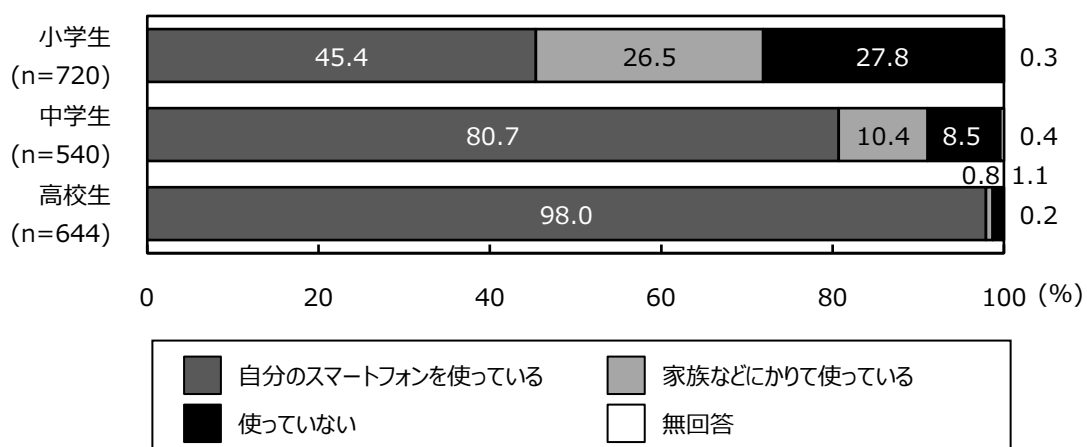
問14 スマートフォンを使っていますか。(単数回答)

「自分のスマートフォンを使っている」が72.6%と最も高く、次いで、「使っていない」が13.2%、「家族などにかりて使っている」が13.1%となっています。



【スマートフォンの使用状況(学年別)】

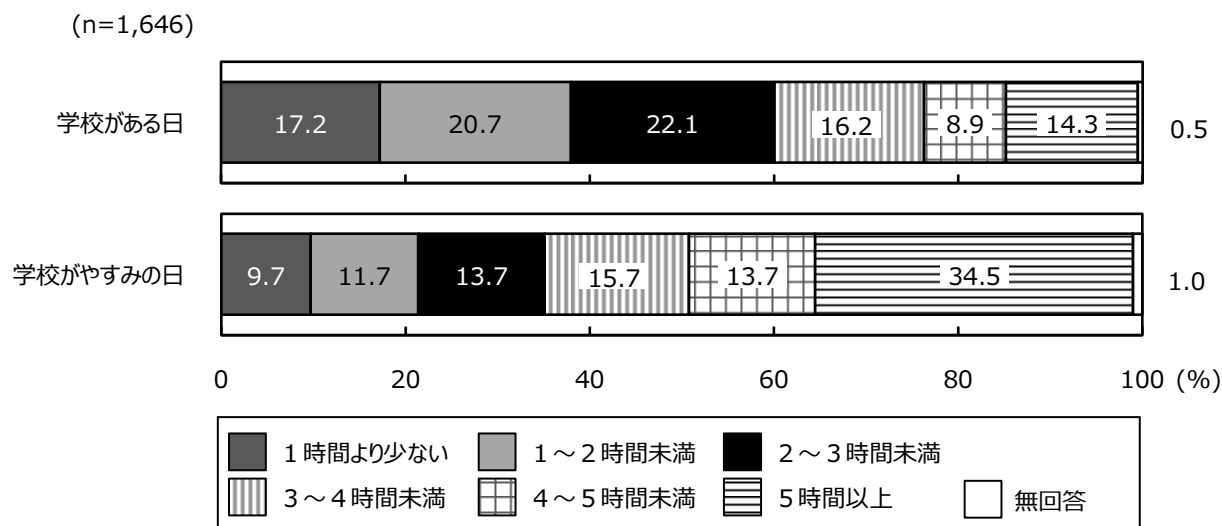
どの学年も「自分のスマートフォンを使っている」が最も高くなっていますが、学年が上がるほど割合が高くなり、小学生では45.4%、中学生では80.7%、高校生では98.0%となっています。



問15 スマートフォンを使っている時間はおよそ1日にどれくらいですか。(単数回答)
 《問14で「自分のスマートフォンを使っている」、「家族などにかりて使っている」と回答した人が対象》

学校がある日については、「2～3時間未満」が22.1%と最も高く、次いで、「1～2時間未満」が20.7%、「1時間より少ない」が17.2%となっています。

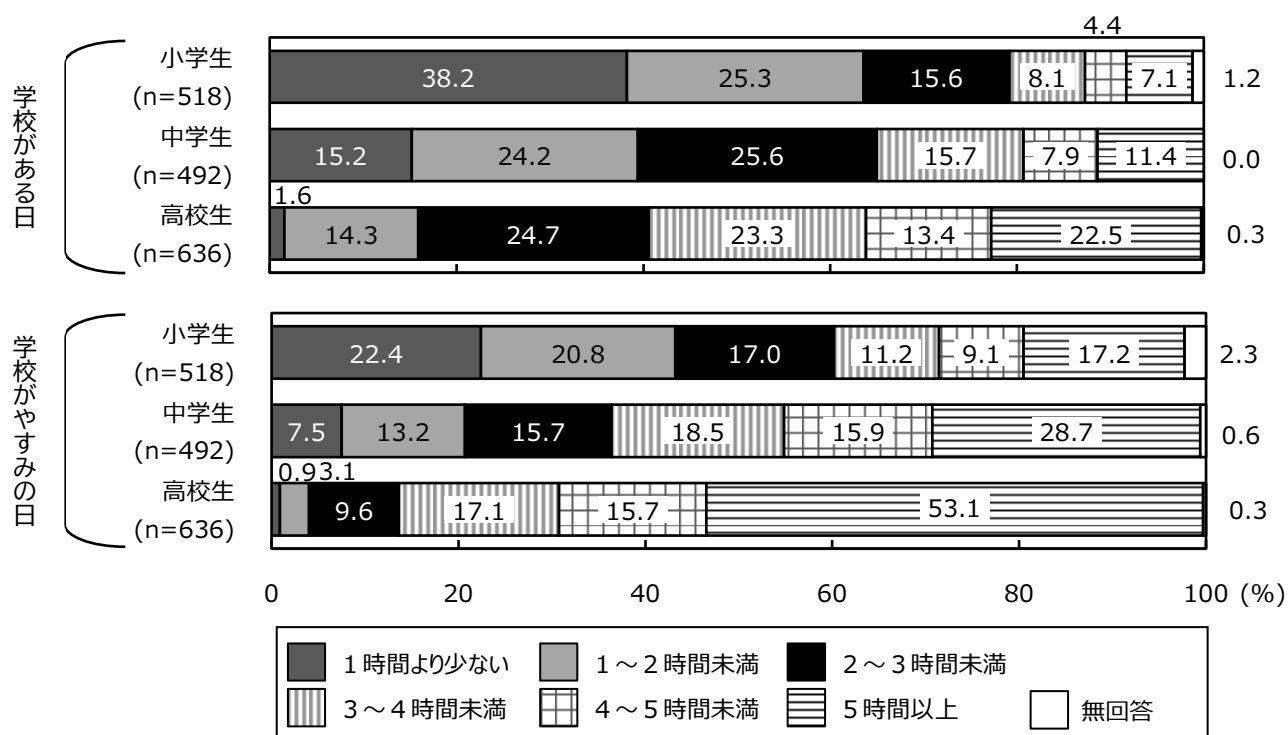
学校がやすみの日については、「5時間以上」が34.5%と最も高く、次いで、「3～4時間未満」が15.7%、「2～3時間未満」、「4～5時間未満」がそれぞれ13.7%となっています。



【スマートフォンの利用時間（学年別）】

学校がある日については、小学生では「1時間より少ない」が最も高く（38.2%）、中学生、高校生では「2～3時間未満」が最も高くなっています（中学生：25.6%、高校生：24.7%）。

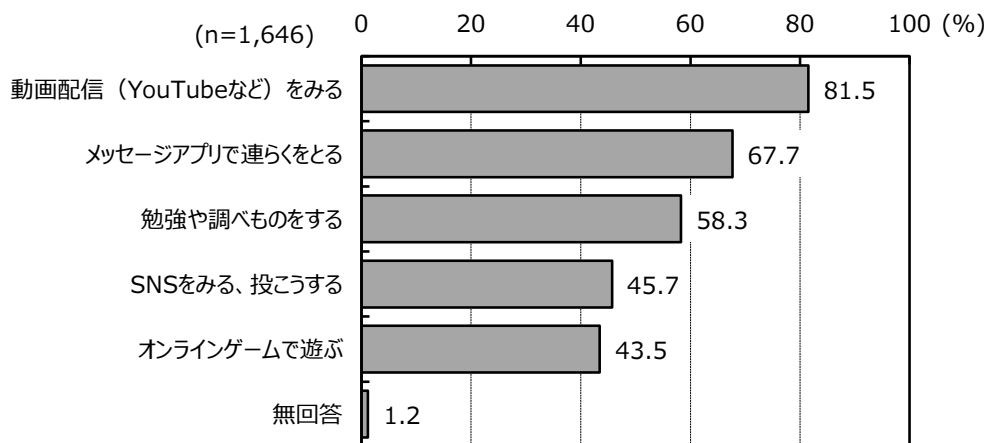
学校が休みの日については、小学生では「1時間より少ない」が最も高く（22.4%）、中学生、高校生では「5時間以上」が最も高くなっています（中学生：28.7%、高校生：53.1%）。



問16 何のためにスマートフォンを使うことが多いですか。(複数回答)

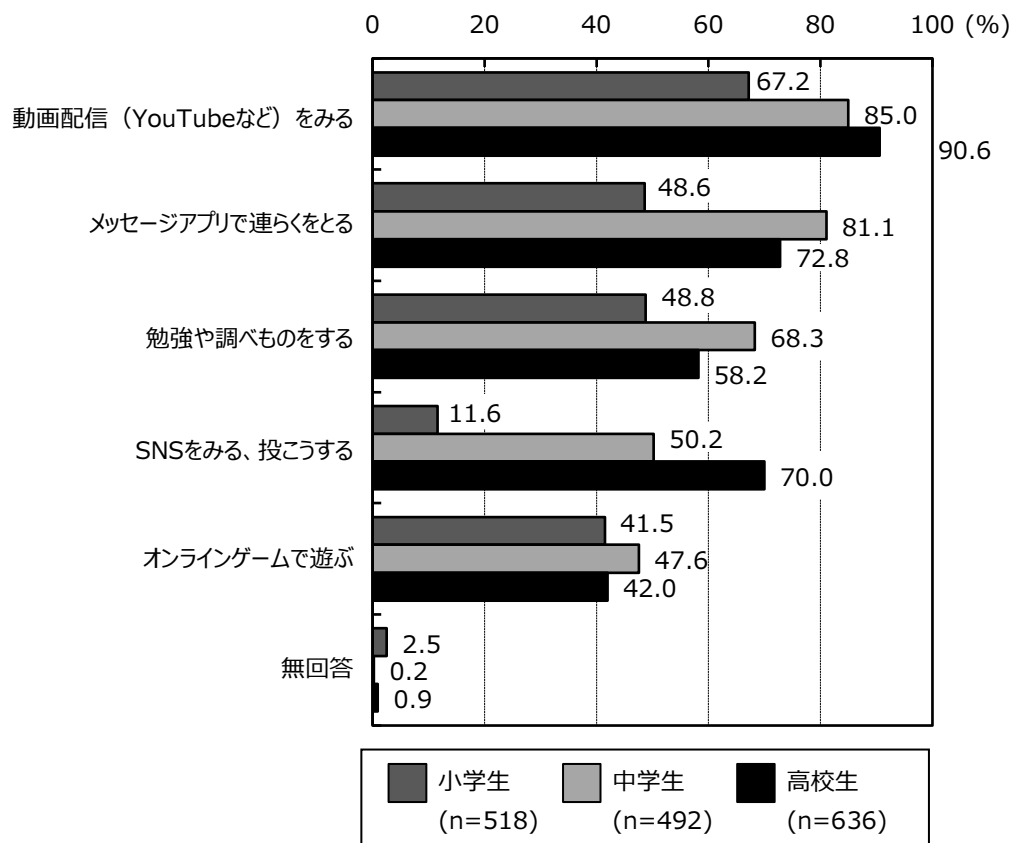
《問14で「自分のスマートフォンを使っている」、「家族などにかりて使っている」と回答した人が対象》

「動画配信 (YouTube など) をみる」が81.5%と最も高く、次いで、「メッセージアプリで連らくをとる」が67.7%、「勉強や調べものをする」が58.3%、「SNSをみる、投こうする」が45.7%、「オンラインゲームで遊ぶ」が43.5%となっています。



【スマートフォンを使う目的 (学年別)】

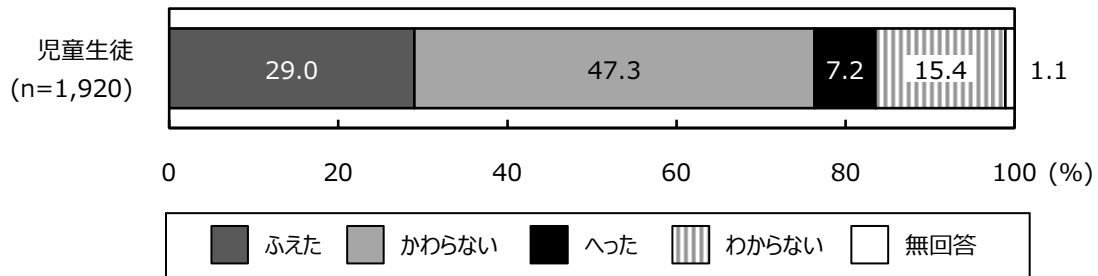
小学生、中学生では「動画配信 (YouTube など) をみる」(小学生: 67.2%、中学生: 85.0%)、「メッセージアプリで連らくをとる」(小学生: 48.6%、中学生: 81.1%)、「勉強や調べものをする」(小学生: 48.8%、中学生: 68.3%)が上位3位となっており、高校生では「動画配信 (YouTube など) をみる」(90.6%)、「メッセージアプリで連らくをとる」(72.8%)、「SNSをみる、投こうする」(70.0%)が上位3位となっていますが、どの学年も「動画配信 (YouTube など) をみる」が最も高くなっています。



問17 コロナのえいきょうでふえたこと、へったことはありますか。(単数回答)

①体重

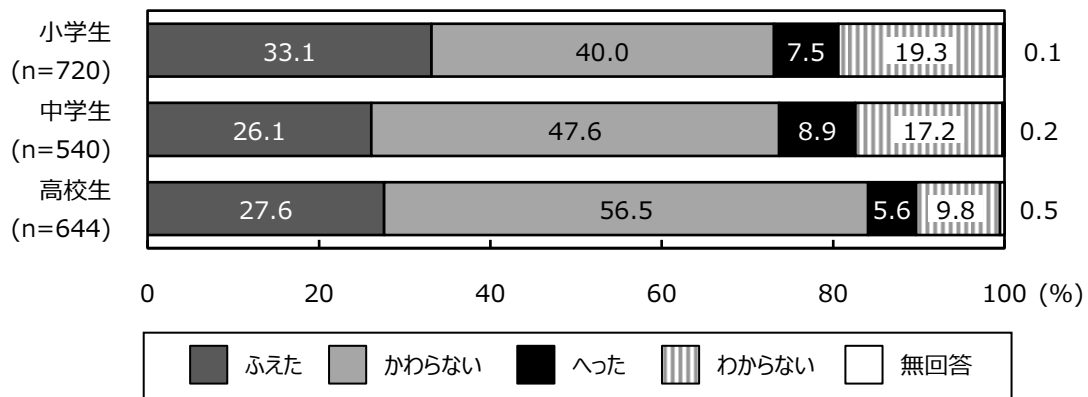
「かわらない」が47.3%と最も高く、次いで、「ふえた」が29.0%、「へった」が7.2%となっています。



【体重の変化 (学年別)】

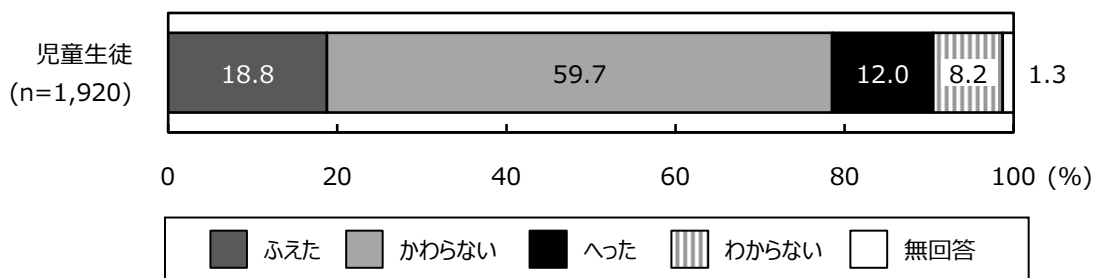
どの学年も「かわらない」が最も高くなっています (小学生：40.0%、中学生：47.6%、高校生：56.5%)。

「ふえた」と「へった」を比べると、どの学年も「ふえた」の方が高く、小学生では33.1%、中学生では26.1%、高校生では27.6%と、小学生での割合が最も高くなっています。



②1日におやつを食べる回数

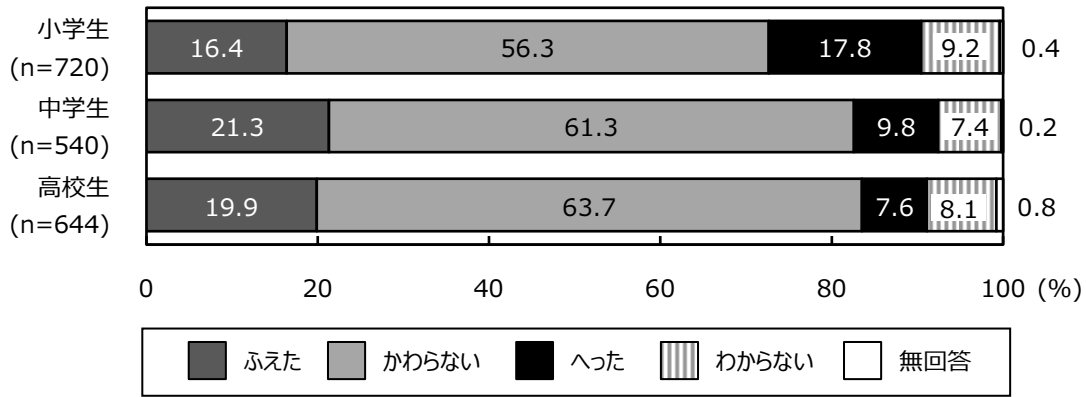
「かわらない」が59.7%と最も高く、次いで、「ふえた」が18.8%、「へった」が12.0%となっています。



【1日におやつを食べる回数の変化（学年別）】

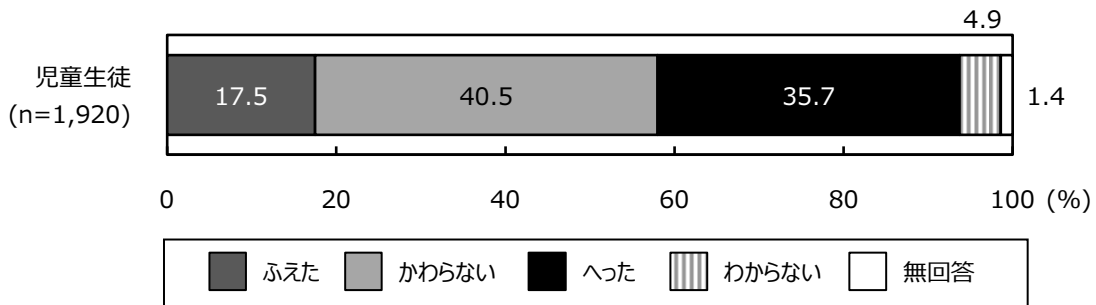
どの学年も「かわらない」が最も高くなっています（小学生：56.3%、中学生：61.3%、高校生：63.7%）。

「ふえた」と「へった」を比べると、小学生では「へった」の方が高く、中学生、高校生では「ふえた」の方が高くなっています。「ふえた」については、小学生では16.4%、中学生では21.3%、高校生では19.9%と、中学生での割合が最も高くなっています。



③体を動かすこと

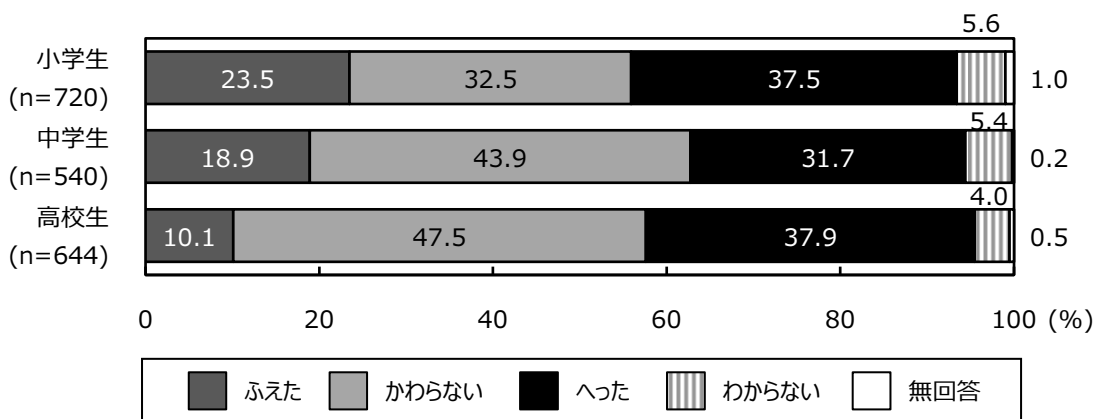
「かわらない」が40.5%と最も高く、次いで、「へった」が35.7%、「ふえた」が17.5%となっています。



【体を動かすことに対する変化（学年別）】

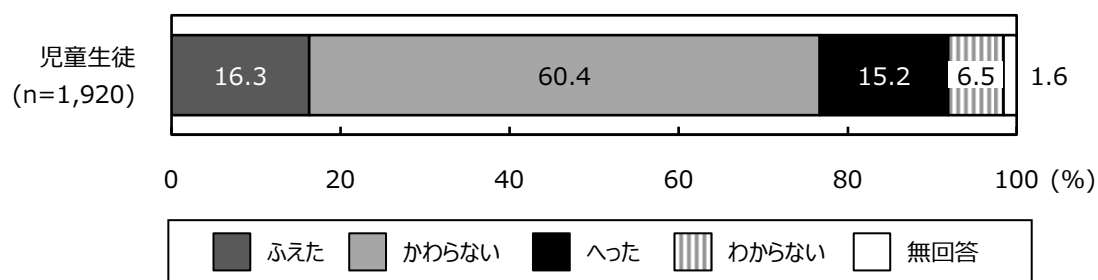
小学生では「へった」が最も高くなっていますが（37.5%）、中学生、高校生では「かわらない」が最も高くなっています（中学生：43.9%、高校生：47.5%）。

「ふえた」と「へった」を比べると、どの学年も「へった」の方が高く、小学生では37.5%、中学生では31.7%、高校生では37.9%と、高校生での割合が最も高くなっています。



④すいみん時間

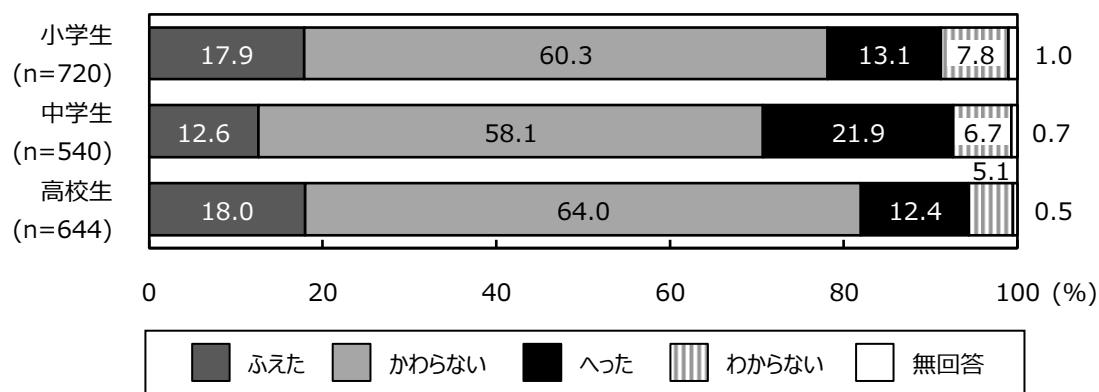
「かわらない」が60.4%と最も高く、次いで、「ふえた」が16.3%、「へった」が15.2%となっています。



【すいみん時間の変化（学年別）】

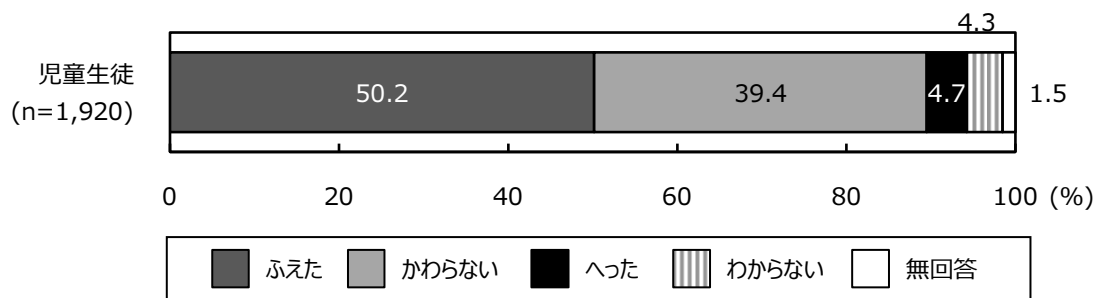
どの学年も「かわらない」が最も高くなっています（小学生：60.3%、中学生：58.1%、高校生：64.0%）。

「ふえた」と「へった」を比べると、小学生、高校生では「ふえた」の方が高く、中学生では「へった」の方が高くなっています。「へった」については、小学生では13.1%、中学生では21.9%、高校生では12.4%と、中学生での割合が最も高くなっています。



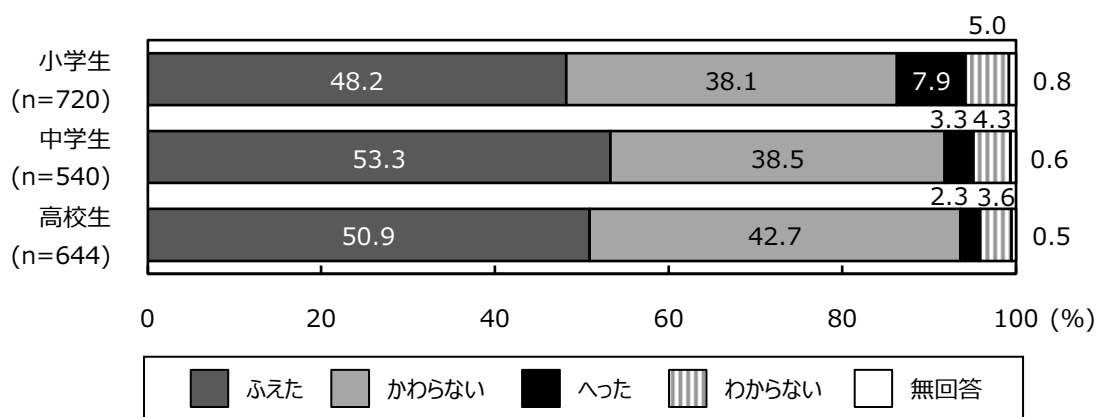
⑤スマートフォンやテレビ、ゲームなどの時間

「ふえた」が50.2%と最も高く、次いで、「かわらない」が39.4%、「へった」が4.7%となっています。



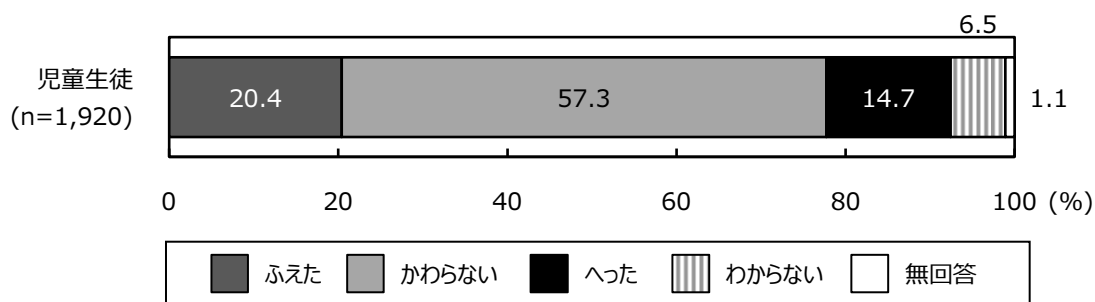
【スマートフォンやテレビ、ゲームなどの時間の変化（学年別）】

どの学年も「ふえた」が最も高く、小学生では48.2%、中学生では53.3%、高校生では50.9%と、中学生での割合が最も高くなっています。



⑥べんきょうの時間

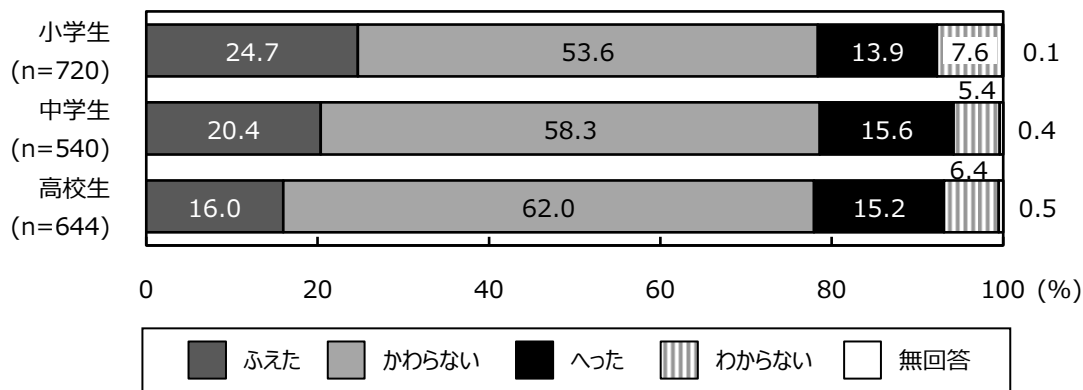
「かわらない」が57.3%と最も高く、次いで、「ふえた」が20.4%、「へった」が14.7%となっています。



【べんきょうの時間の変化（学年別）】

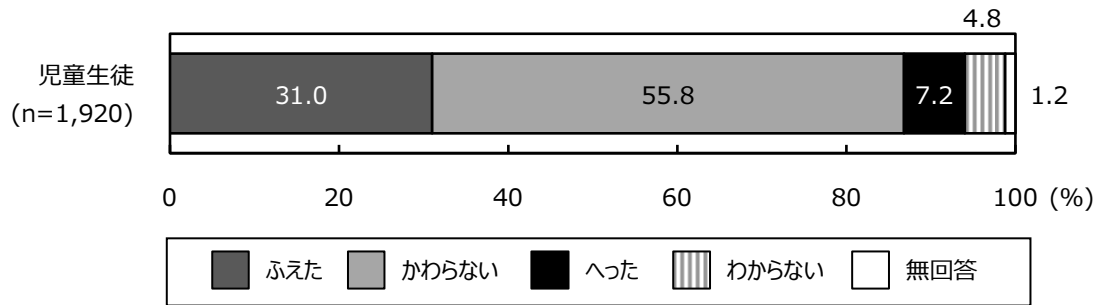
どの学年も「かわらない」が最も高くなっています（小学生：53.6%、中学生：58.3%、高校生：62.0%）。

「ふえた」と「へった」を比べると、どの学年も「ふえた」の方が高くなっています。「へった」については、小学生では13.9%、中学生では15.6%、高校生では15.2%となっています。



⑦家族とはなす時間

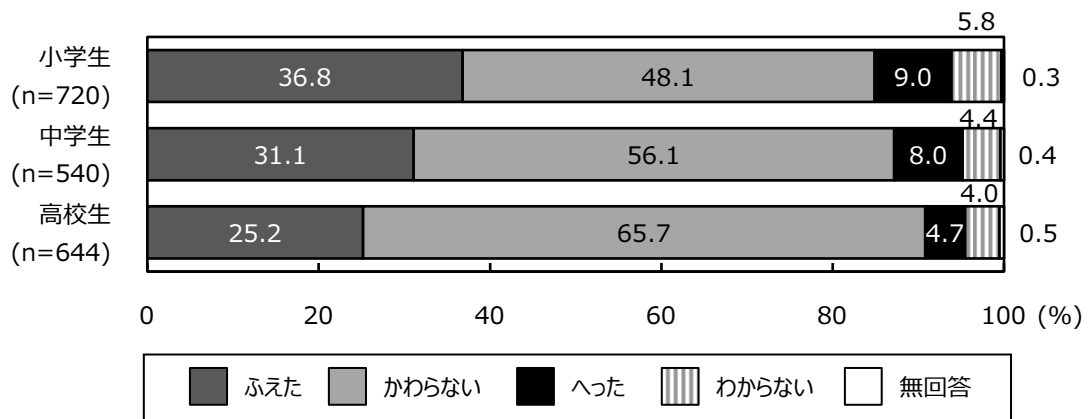
「かわらない」が55.8%と最も高く、次いで、「ふえた」が31.0%、「へった」が7.2%となっています。



【家族とはなす時間の変化（学年別）】

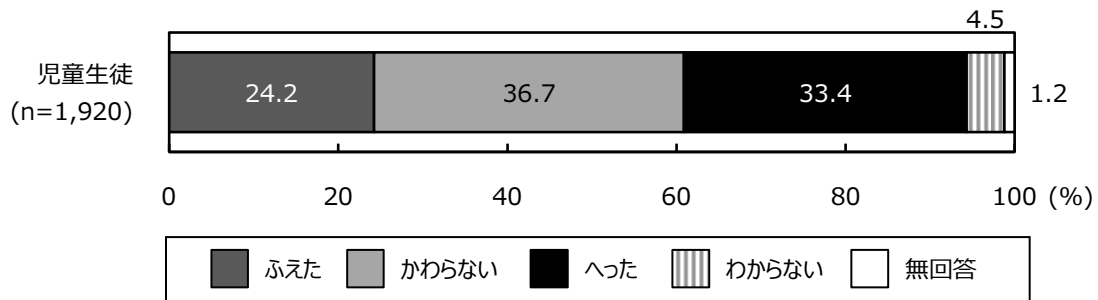
どの学年も「かわらない」が最も高くなっています（小学生：48.1%、中学生：56.1%、高校生：65.7%）。

「ふえた」と「へった」を比べると、どの学年も「ふえた」の方が高く、「へった」についてはどの学年も10%未満となっています。



⑧友だちと遊ぶ時間

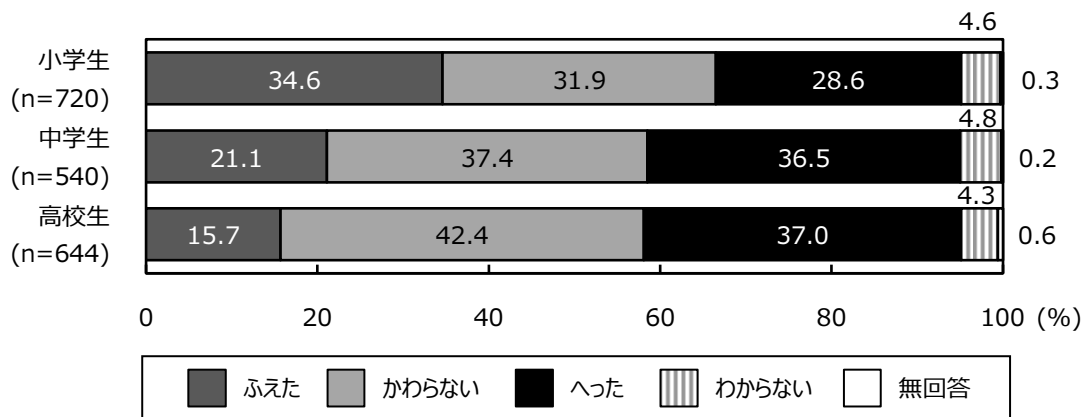
「かわらない」が36.7%と最も高く、次いで、「へった」が33.4%、「ふえた」が24.2%となっています。



【友だちと遊ぶ時間の変化（学年別）】

小学生では「ふえた」が最も高く（34.6%）、中学生、高校生では「かわらない」が最も高くなっています（中学生：37.4%、高校生：42.4%）。

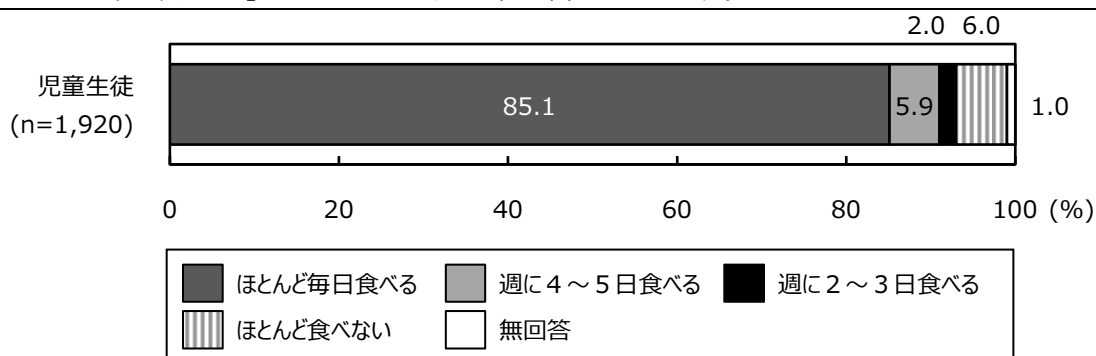
「ふえた」と「へった」を比べると、小学生では「ふえた」の方が高く、中学生、高校生では「へった」の方が高くなっています。「へった」については、小学生では28.6%、中学生では36.5%、高校生では37.0%と、高校生での割合が最も高くなっています。



(4) 食事について

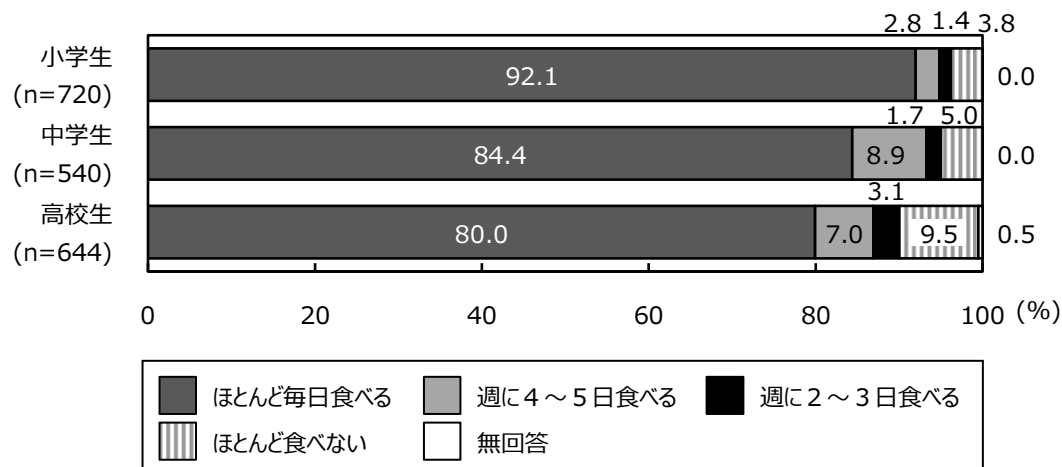
問 18 朝ごはんを食べていますか。（単数回答）

「ほとんど毎日食べる」が85.1%と、大半を占めています。



【朝食を食べる頻度（学年別）】

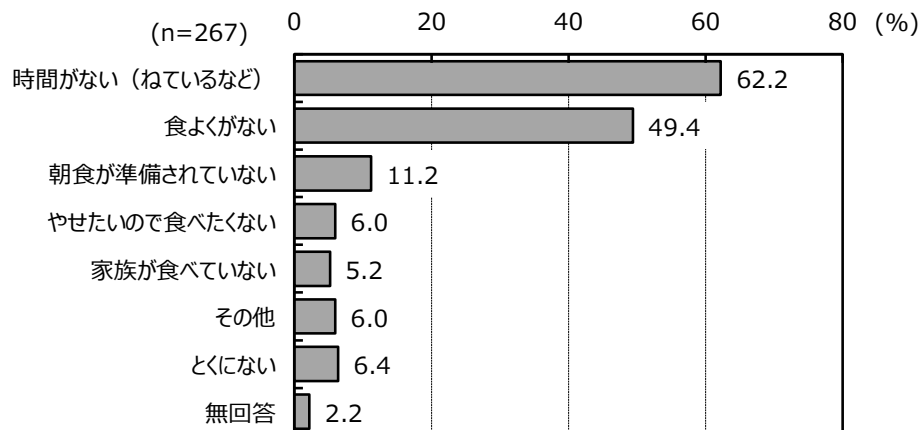
どの学年も「ほとんど毎日食べる」が大半を占めていますが、学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では92.1%、中学生では84.4%、高校生では80.0%となっています。



問19 朝ごはんを食べないのはどうしてですか。(複数回答)

《問18で「週に4～5日食べる」、「週に2～3日食べる」、「ほとんど食べない」と回答した人が対象》

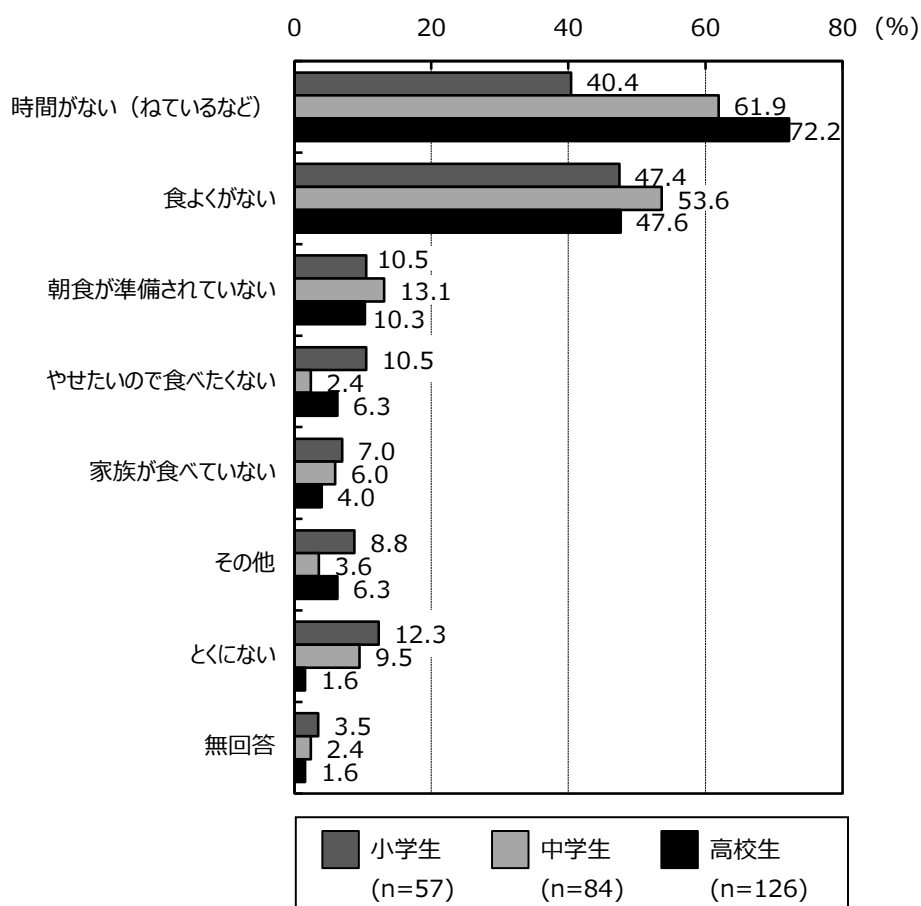
「時間がない(ねているなど)」が62.2%と最も高く、次いで、「食よくがない」が49.4%となっています。



【朝食を食べない理由(学年別)】

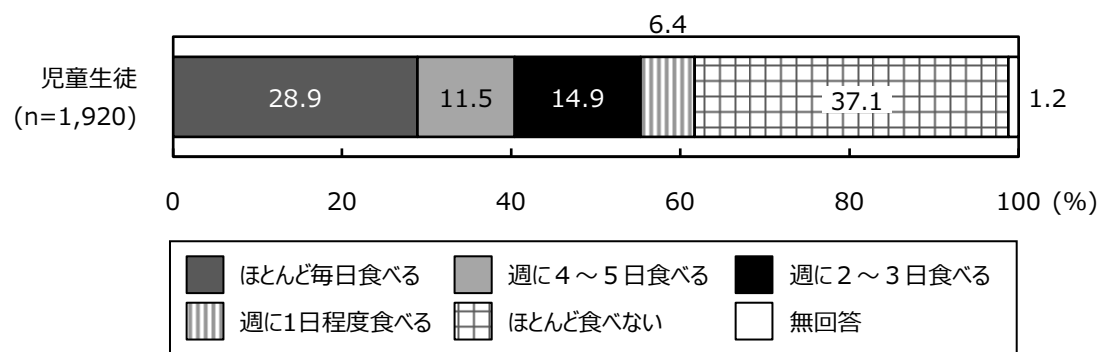
どの学年も「時間がない(ねているなど)」(小学生:40.4%、中学生:61.9%、高校生:72.2%)、「食よくがない」(小学生:47.4%、中学生:53.6%、高校生:47.6%)が上位2位となっていますが、小学生では「食よくがない」が最も高く、中学生、高校生では「時間がない(ねているなど)」が最も高くなっています。

「時間がない(ねているなど)」については、学年が上がるほど割合が高くなっています。



問 20 朝ごはんをやさいを食べていますか。(単数回答)

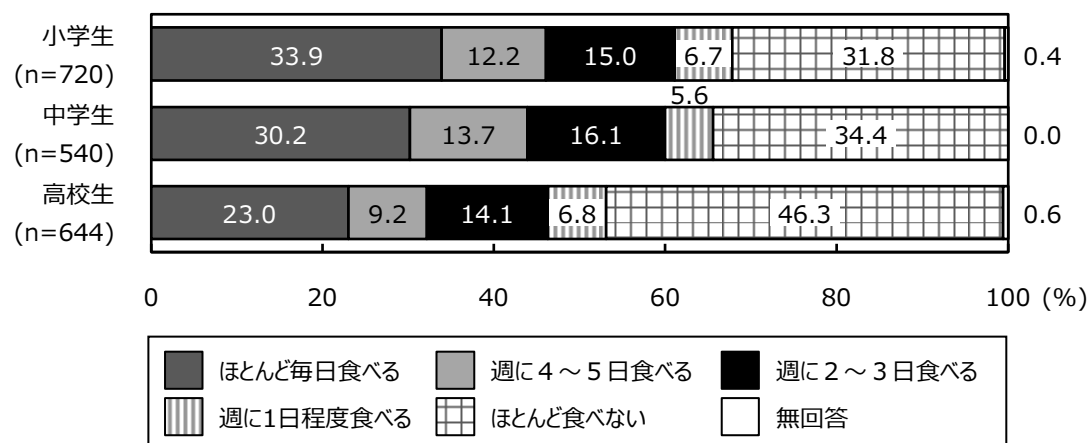
「ほとんど食べない」が37.1%と最も高く、次いで、「ほとんど毎日食べる」が28.9%、「週に2～3日食べる」が14.9%となっています。



【朝食でやさいを食べる頻度(学年別)】

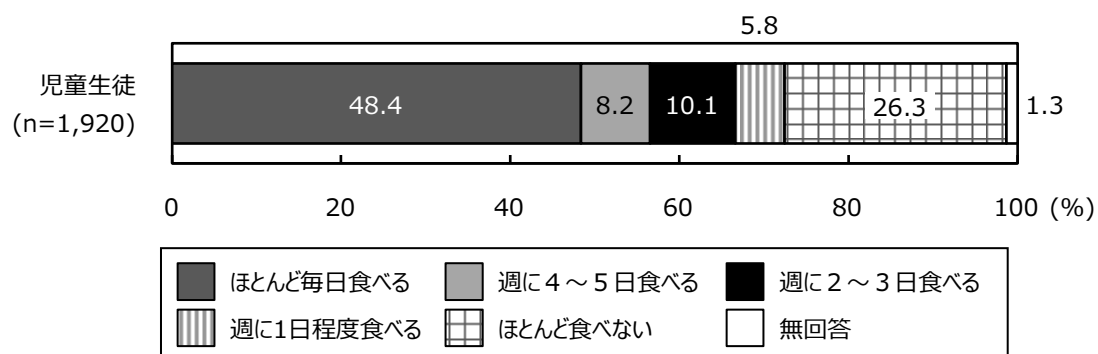
小学生では「ほとんど毎日食べる」が最も高く(33.9%)、中学生、高校生では「ほとんど食べない」が最も高くなっています(中学生:34.4%、高校生:46.3%)。

「ほとんど毎日食べる」については、学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では33.9%、中学生では30.2%、高校生では23.0%となっています。



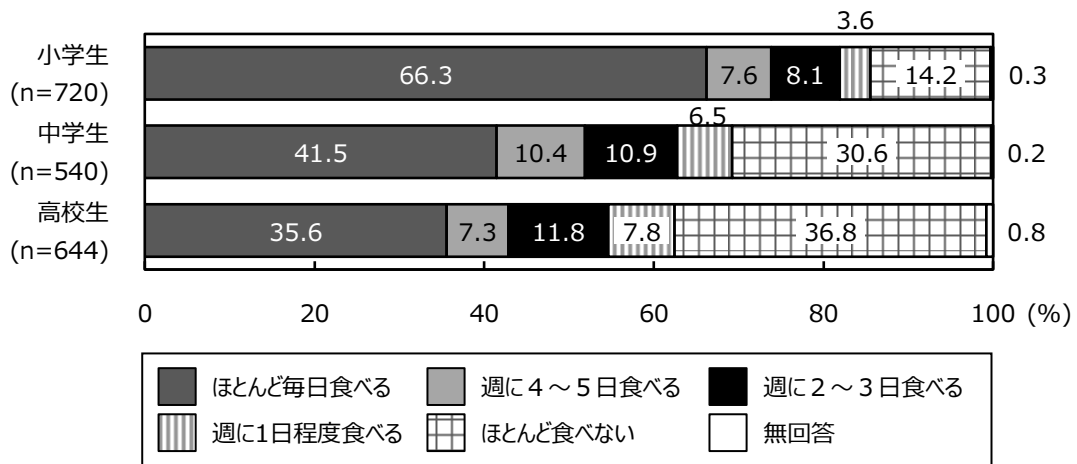
問 21 朝ごはんを家族のだれかと食べることはどのくらいありますか。(単数回答)

「ほとんど毎日食べる」が48.4%と最も高く、次いで、「ほとんど食べない」が26.3%、「週に2～3日食べる」が10.1%となっています。



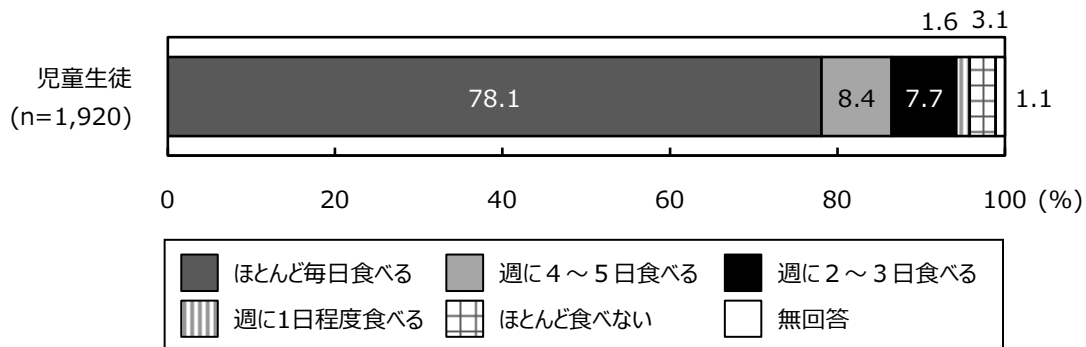
【朝食での共食の頻度（学年別）】

小学生、中学生は「ほとんど毎日食べる」が最も高くなっていますが、高校生は「ほとんど食べない」が最も高くなっています。「ほとんど食べる」については学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では66.3%、中学生では41.5%、高校生では35.6%と、特に小学生から中学生にかけての減少が大きくなっています。



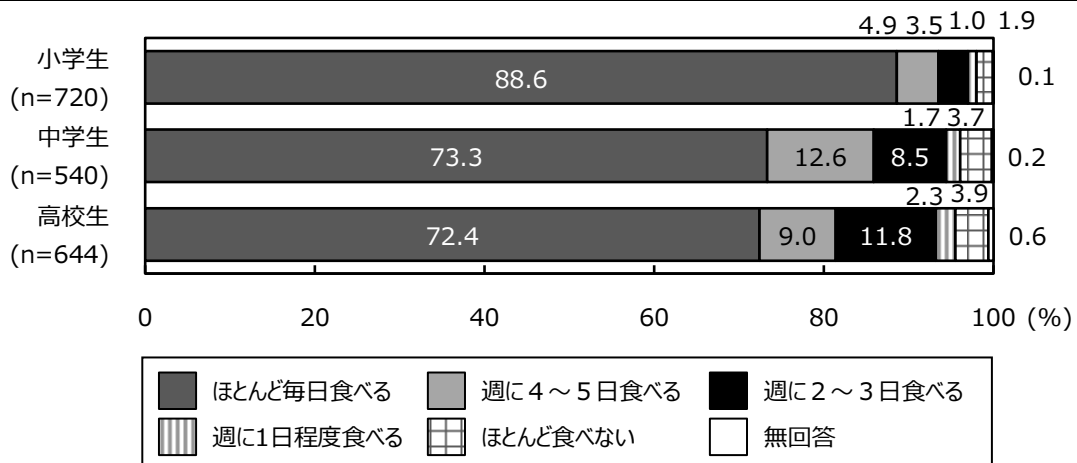
問 22 夜ごはんを家族のだれかと食べることはどのくらいありますか。（単数回答）

「ほとんど毎日食べる」が78.1%と最も高くなっています。次いで、「週に4~5日食べる」、「週に2~3日食べる」の順で高くなっていますが、いずれも10%未満となっています。



【夕食での共食の頻度（学年別）】

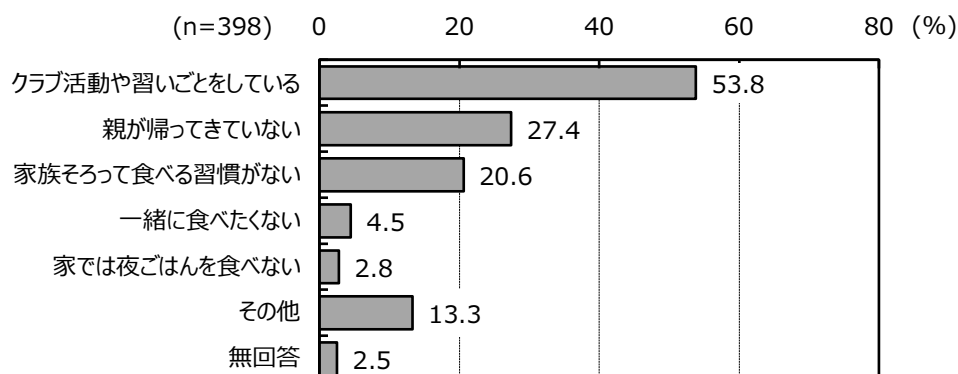
どの学年も「ほとんど毎日食べる」が最も高くなっていますが、学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では88.6%、中学生では73.3%、高校生では72.4%と、特に小学生から中学生にかけての減少が大きくなっています。



問 23 その理由は何ですか。(複数回答)

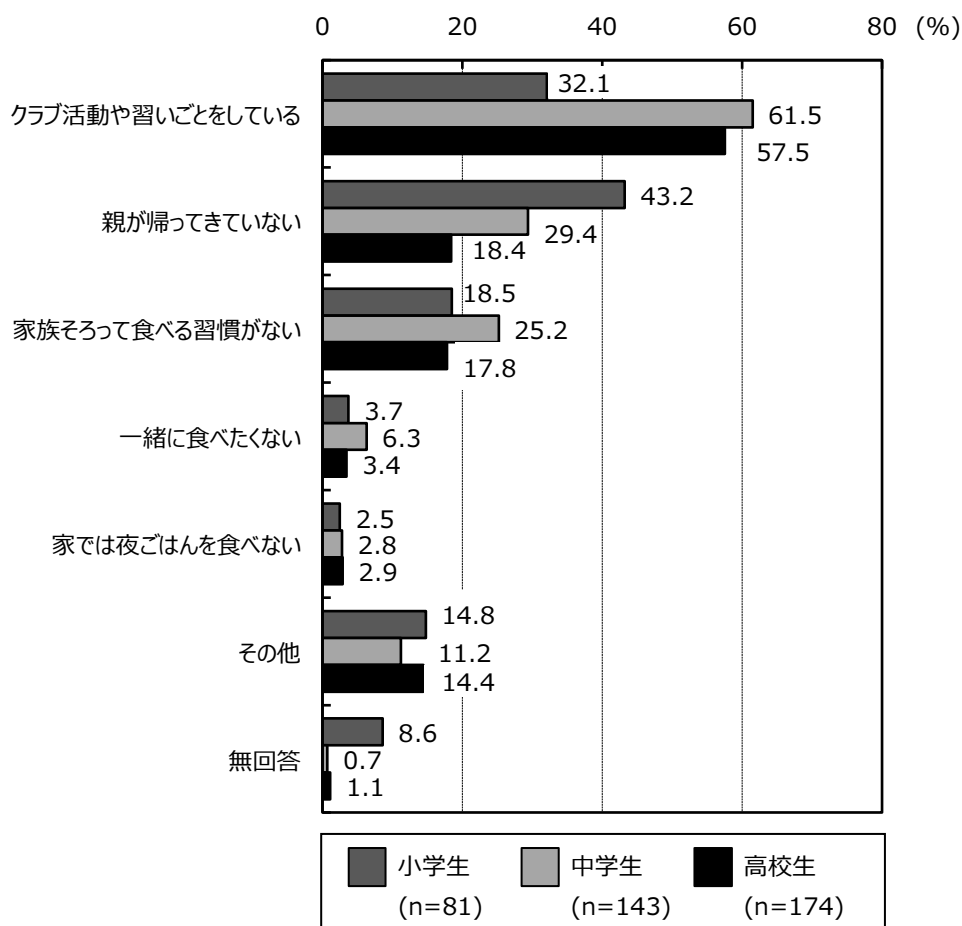
《問 22 で「週に4～5日食べる」、「週に2～3日食べる」、「週に1日程度食べる」、「ほとんど食べない」と回答した人が対象》

「クラブ活動や習いごとをしている」が53.8%と最も高く、次いで、「親が帰ってきていない」が27.4%、「家族そろって食べる習慣がない」が20.6%となっています。



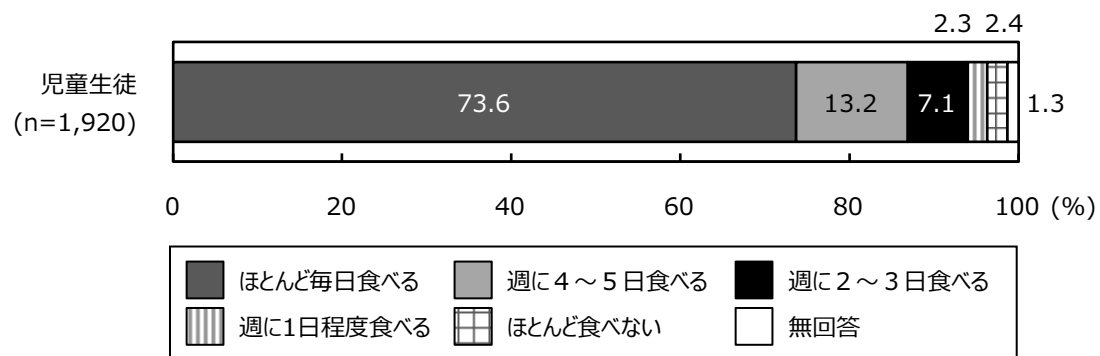
【夕食で共食をしない理由(学年別)】

どの学年も「クラブ活動や習いごとをしている」(小学生:32.1%、中学生:61.5%、高校生:57.5%)、「親が帰ってきていない」(小学生:43.2%、中学生:29.4%、高校生:18.4%)、「家族そろって食べる習慣がない」(小学生:18.5%、中学生:25.2%、高校生:17.8%)が上位3位となっていますが、小学生では「親が帰ってきていない」が最も高く、中学生、高校生では「クラブ活動や習いごとをしている」が最も高くなっています。



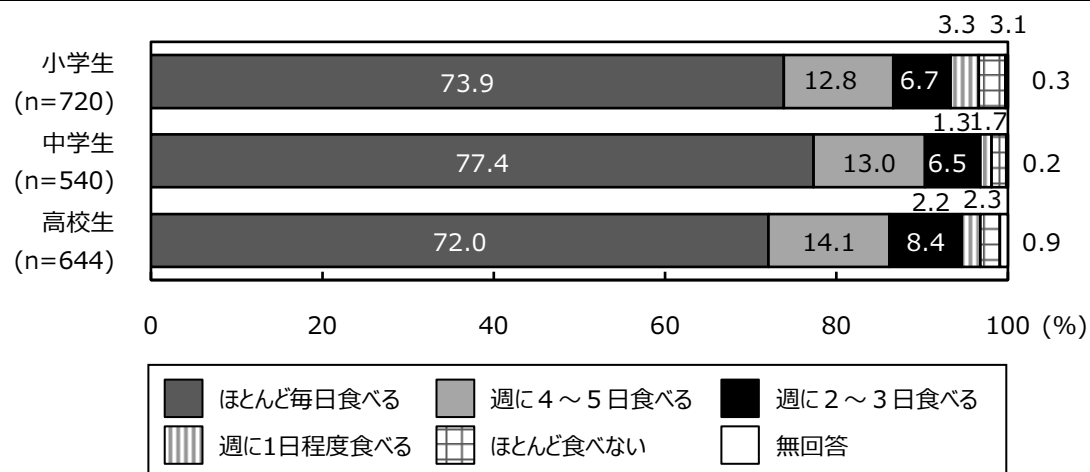
問 24 夜ごはんをやさいを食べていますか。(単数回答)

「ほとんど毎日食べる」が73.6%と最も高く、次いで、「週に4～5日食べる」が13.2%となっています。



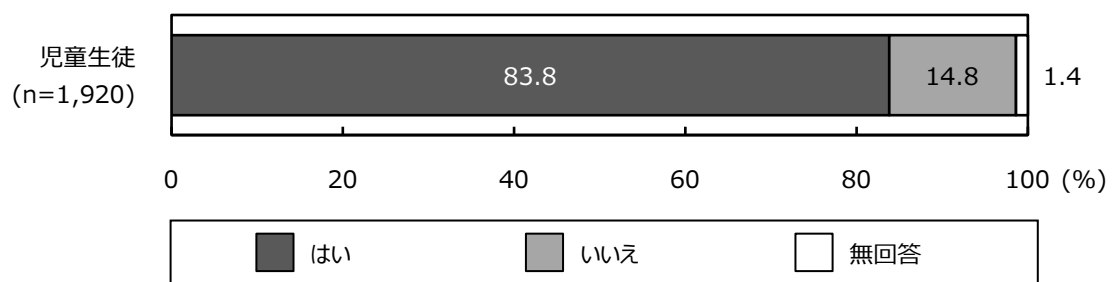
【夕食でやさいを食べる頻度 (学年別)】

どの学年も「ほとんど毎日食べる」が最も高くなっていますが、小学生では73.9%、中学生では77.4%、高校生では72.0%と、中学生での割合が最も高くなっています。



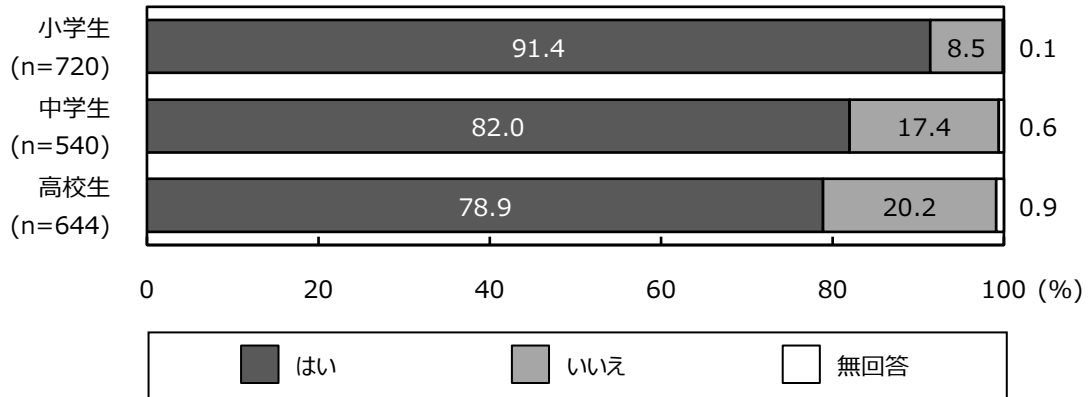
問 25 1日3回の食事(朝ごはん、昼ごはん、夜ごはん)を必ず食べるようにしていますか。(単数回答)

「はい」が83.8%、「いいえ」が14.8%と、「はい」が大半を占めています。



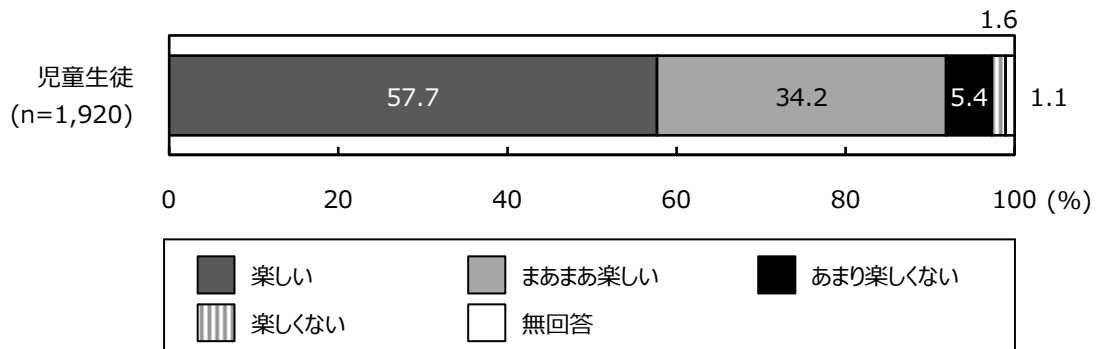
【1日3食の食事を必ず食べているか（学年別）】

どの学年も「はい」の方が高くなっていますが、学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では91.4%、中学生では82.0%、高校生では78.9%となっています。



問 26 食事は楽しいですか。（単数回答）

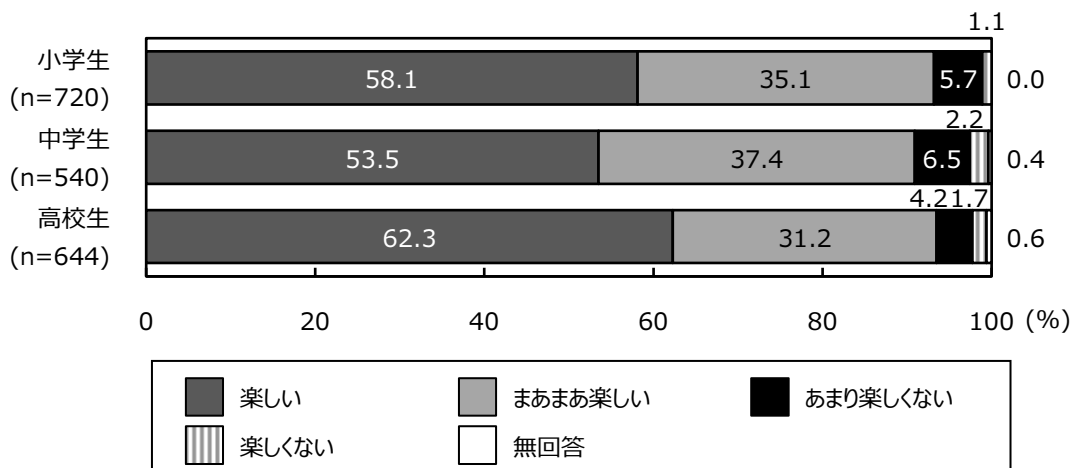
「楽しい」が57.7%と最も高く、次いで、「まあまあ楽しい」が34.2%となっており、『楽しい』（「楽しい」+「まあまあ楽しい」）については91.9%と、大半を占めています。



【食事が楽しいか（学年別）】

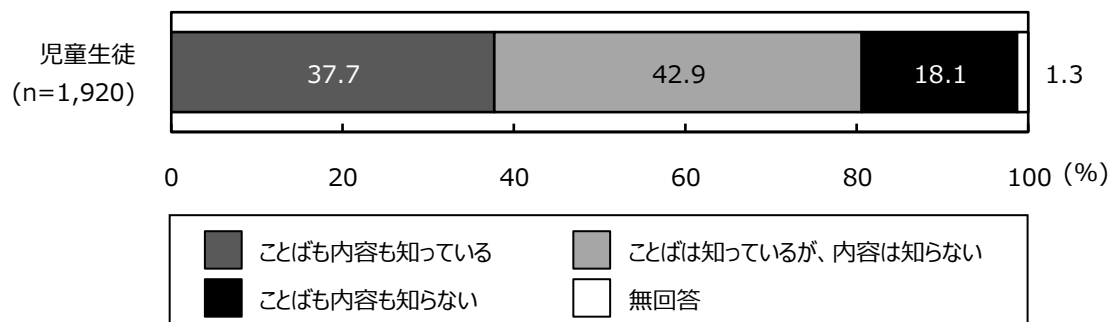
どの学年も「楽しい」が最も高くなっています(小学生:58.1%、中学生:53.5%、高校生 62.3%)。

『楽しい』についてはどの学年も大半を占めていますが、小学生では93.2%、中学生では90.9%、高校生では93.5%と、小学生、高校生での割合が特に高くなっています。



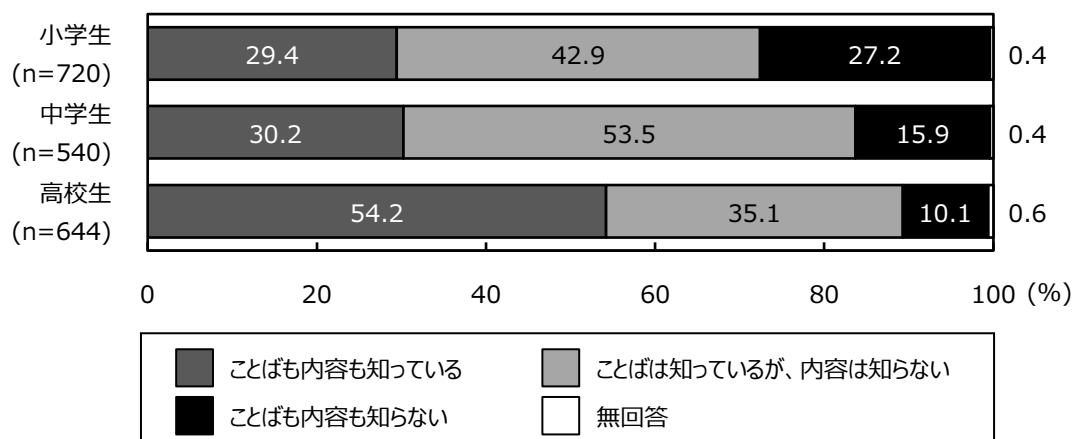
問 27 「食育」ということばを知っていますか。（単数回答）

「ことばは知っているが、内容は知らない」が42.9%と最も高く、次いで、「ことばも内容も知っている」が37.7%、「ことばも内容も知らない」が18.1%となっています。



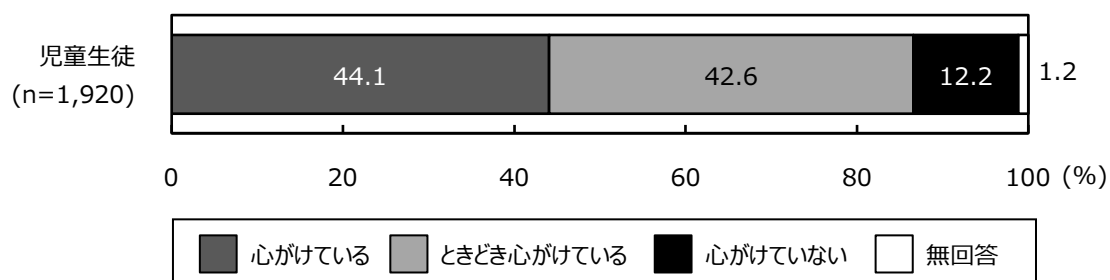
【食育ということばの認知度（学年別）】

小学生、中学生では「ことばは知っているが、内容は知らない」が最も高く（小学生：42.9%、中学生：53.5%）、高校生では「ことばも内容も知っている」が最も高くなっています（54.2%）。



問 28 よくかんで、味わって食べるよう心がけていますか。（単数回答）

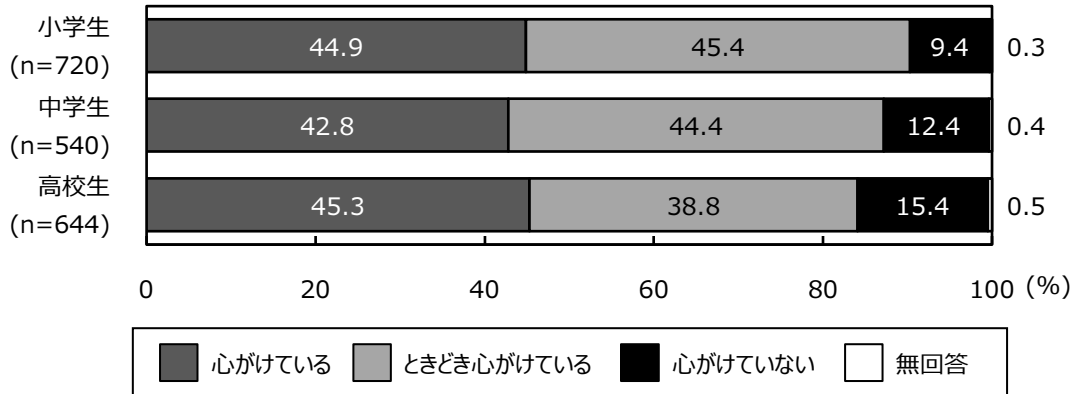
「心がけている」が44.1%と最も高く、次いで、「ときどき心がけている」が42.6%となっており、『心がけている』（「心がけている」+「ときどき心がけている」）については86.7%と、大半を占めています。



【よくかんで、味わって食べるよう心がけているか（学年別）】

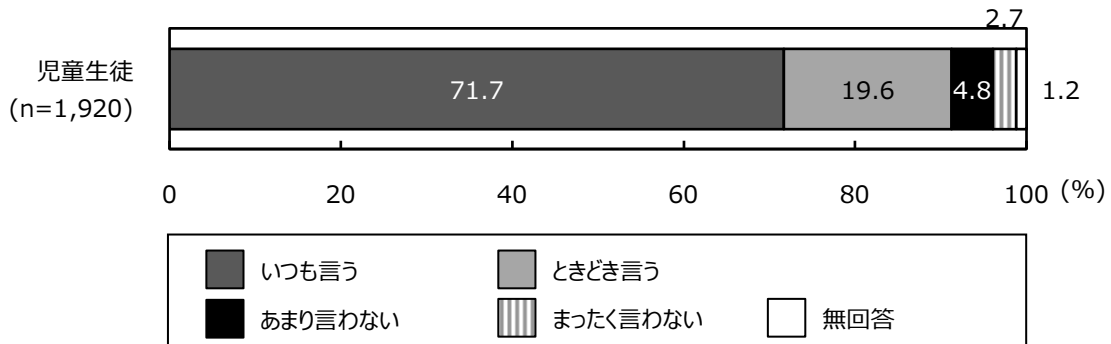
小学生、中学生では「ときどき心がけている」が最も高く（小学生：45.4%、中学生：44.4%）、高校生では「心がけている」が最も高くなっています（45.3%）。

『心がけている』についてはどの学年も大半を占めていますが、学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では90.3%、中学生では87.2%、高校生では84.1%となっています。



問 29 ごはんを食べるとき（家や外食時など）に「いただきます」「ごちそうさま」を言っていますか。（単数回答）

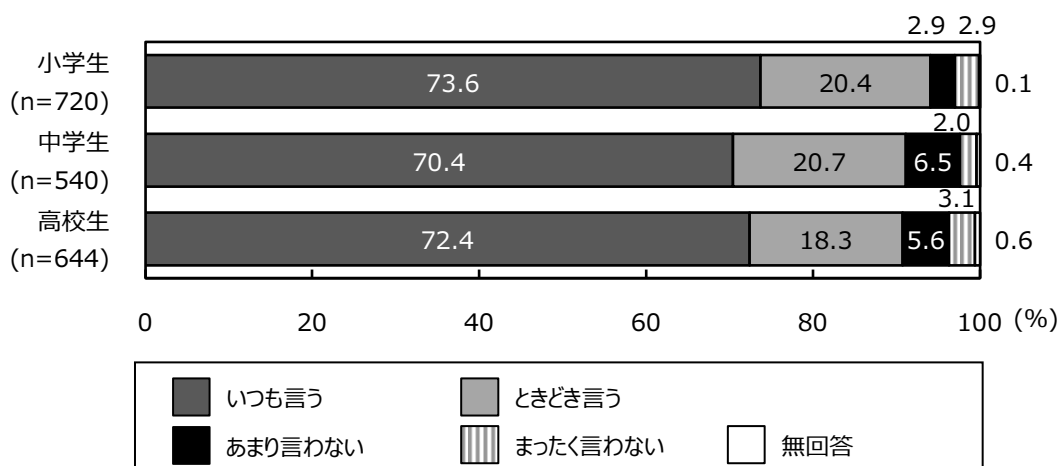
「いつも言う」が71.7%と最も高く、次いで、「ときどき言う」が19.6%となっており、『言う』（「いつも言う」+「ときどき言う」）は91.3%と、大半を占めています。



【「いただきます」「ごちそうさま」を言っているか（学年別）】

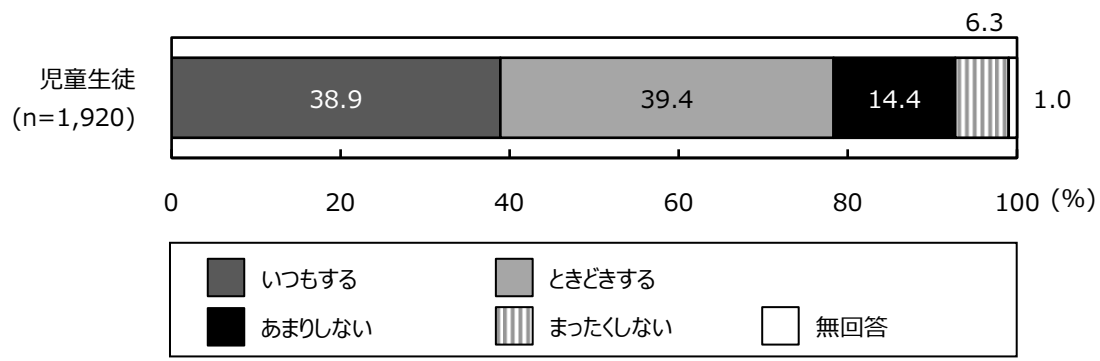
どの学年も「いつも言う」が最も高くなっています（小学生：73.6%、中学生：70.4%、高校生 72.4%）。

『言う』についてはどの学年も大半を占めていますが、小学生では94.0%、中学生では91.1%、高校生では90.7%と、小学生での割合が最も高くなっています。



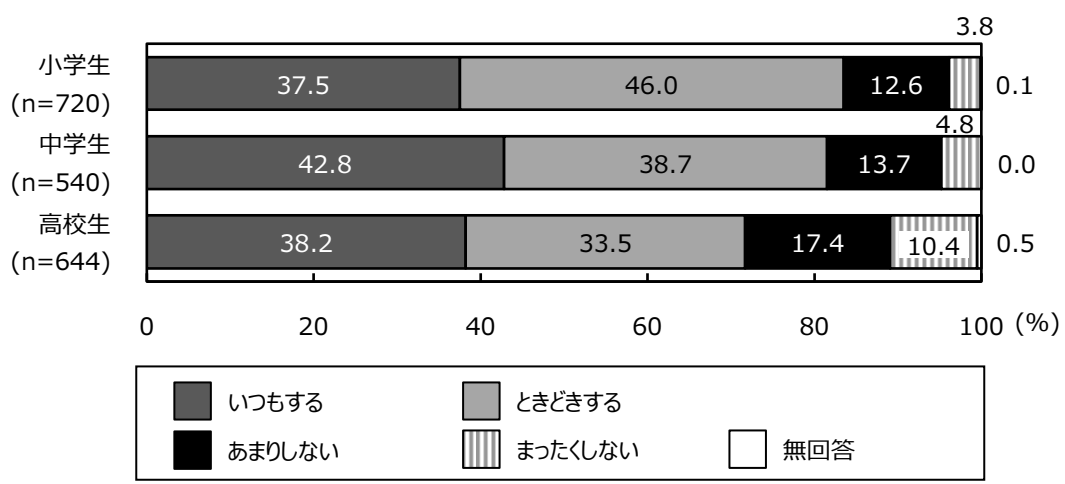
問 30 家で料理のお手伝い（食器運び・かたづけ・もりつけるなどのかんたんなお手伝いもふくむ）をしていますか。（単数回答）

「ときどきする」が 39.4%と最も高く、次いで、「いつもする」が 38.9%、「あまりしない」が 14.4%となっています。
 『する』（「いつもする」＋「ときどきする」）については 78.3%、『しない』（「まったくしない」＋「あまりしない」）については 20.7%と、『する』の方が高くなっています。



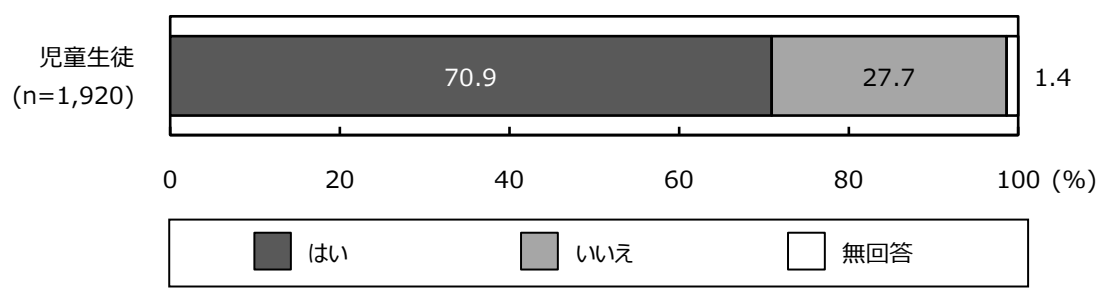
【料理のお手伝いの頻度（学年別）】

小学生では「ときどきする」が最も高く（46.0%）、中学生、高校生では「いつもする」が最も高くなっています（中学生：42.8%、高校生：38.2%）。
 『している』については学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では 83.5%、中学生では 81.5%、高校生では 71.7%となっています。



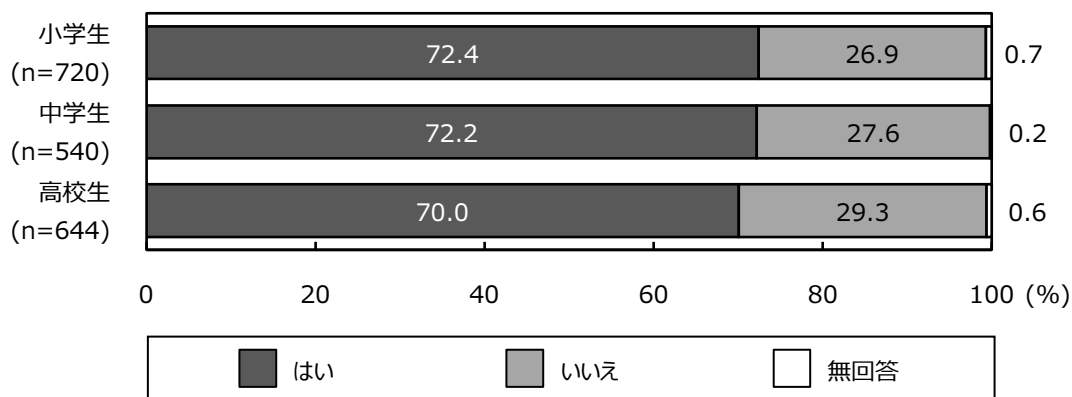
問 31 学校以外で、食べものに関する体験（家庭菜園、果物のしゅうかく、田植え、しおひがりなど）をしたことはありますか。（単数回答）

「はい」が 70.9%、「いいえ」が 27.7%と、「はい」の方が高くなっています。



【食べものに関する体験をしたことがあるか（学年別）】

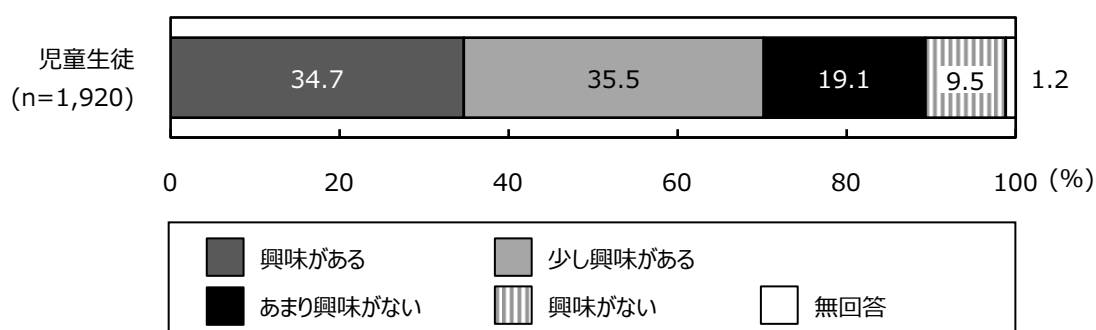
どの学年も「はい」の方が高くなっていますが、学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では72.4%、中学生では72.2%、高校生では70.0%となっています。



問32 行事食（お正月のおせち、ちまき、おはぎなど）や、昔ながらの料理（箱ずし、五平もちなど）に興味はありますか。（単数回答）

「少し興味がある」が35.5%と最も高く、次いで、「興味がある」が34.7%、「あまり興味がない」が19.1%となっています。

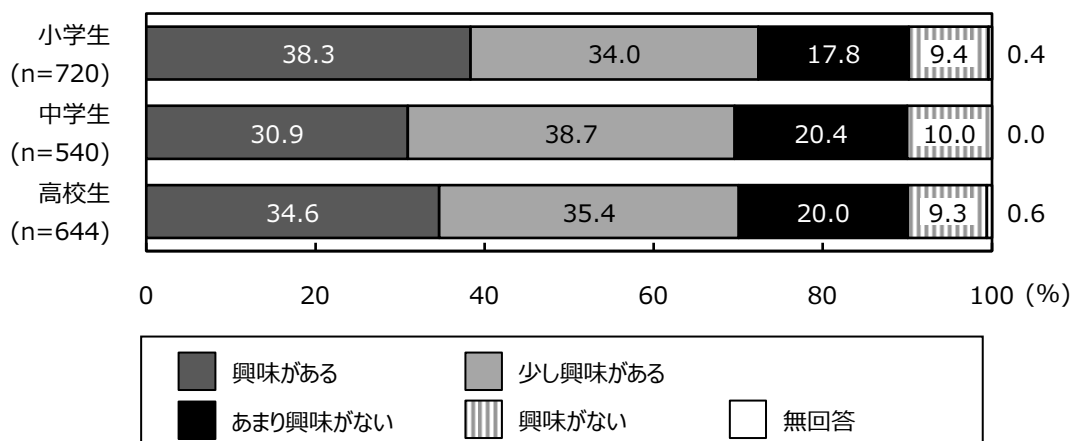
『興味がある』（「興味がある」+「少し興味がある」）については70.2%、『興味がない』（「興味がない」+「あまり興味がない」）については28.6%と、『興味がある』の方が高くなっています。



【行事食や昔ながらの料理に対する関心度（学年別）】

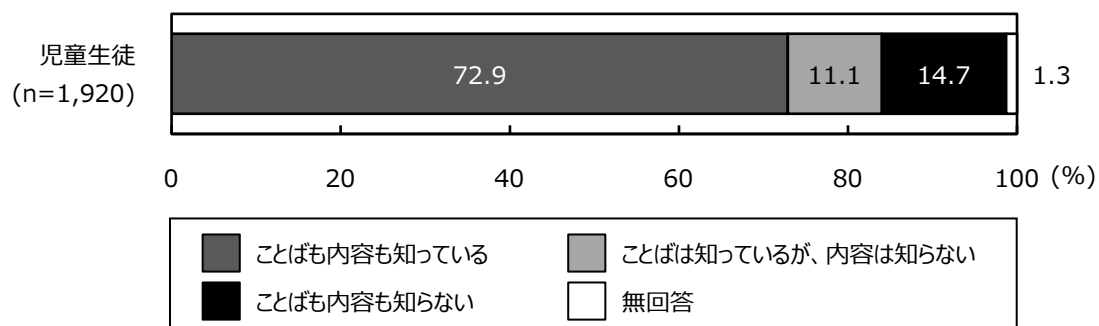
小学生では「興味がある」が最も高く（38.3%）、中学生、高校生では「少し興味がある」が最も高くなっています（中学生：38.7%、高校生：35.4%）。

『興味がある』については、小学生では72.3%、中学生では69.6%、高校生では70.0%と、小学生での割合が最も高くなっています。



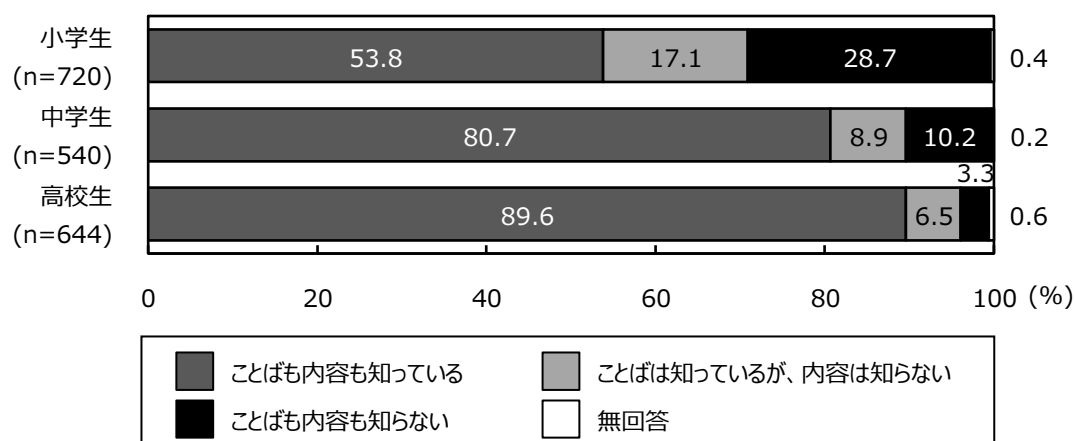
問 33 「地産地消（ちさんちしょう）」ということばを知っていますか。（単数回答）

「ことばも内容も知っている」が72.9%と最も高く、次いで、「ことばも内容も知らない」が14.7%、「ことばは知っているが、内容は知らない」が11.1%となっています。



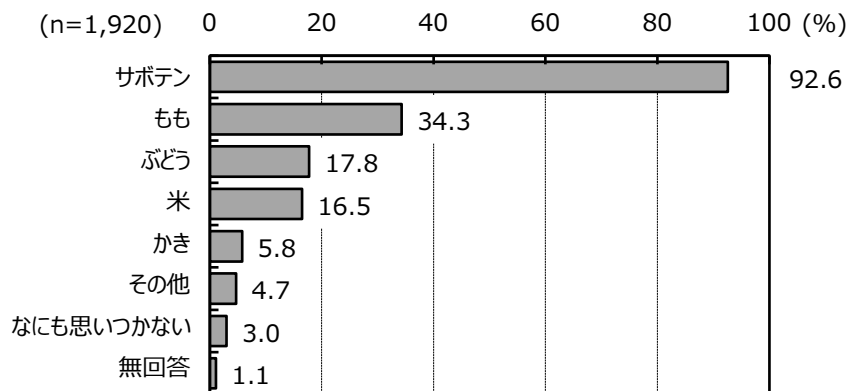
【地産地消ということばの認知度（学年別）】

どの学年も「ことばも内容も知っている」が最も高くなっていますが、学年が上がるほど割合が高くなり、小学生では53.8%、中学生では80.7%、高校生では89.6%と、特に小学生から中学生にかけての増加が大きくなっています。



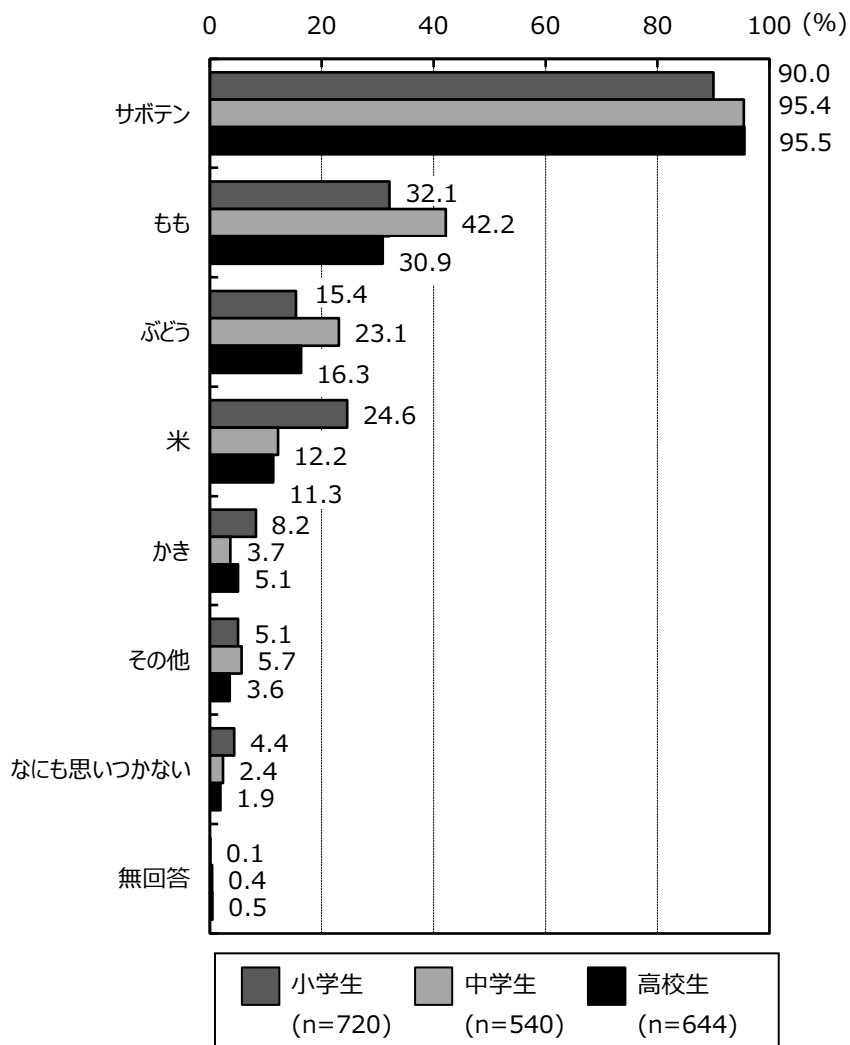
問 34 春日井市内で生産されている農産物といえば何を思いますか。（複数回答）

「サボテン」が92.6%と最も高くなっています。次いで、「もも」が34.3%、「ぶどう」が17.8%、「米」が16.5%となっています。



【春日井市内で生産されている農産物として思いつくもの（学年別）】

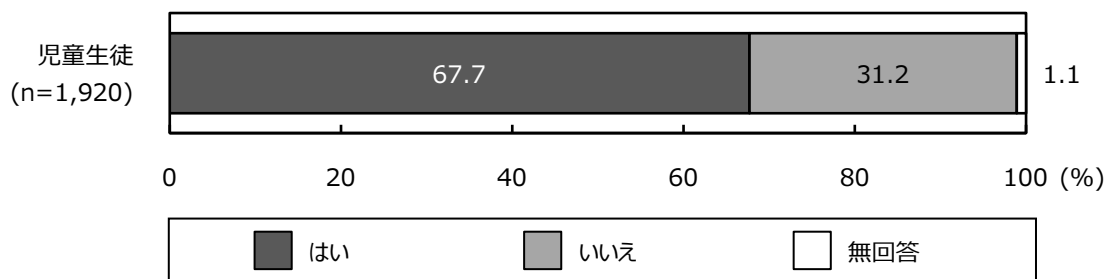
どの学年も「サボテン」が最も高くなっています（小学生：90.0%、中学生 95.4%、高校生：95.5%）。次に割合が高いのは「もも」となっています（小学生：32.1%、中学生：42.2%、高校生：30.9%）。



(5) 運動について

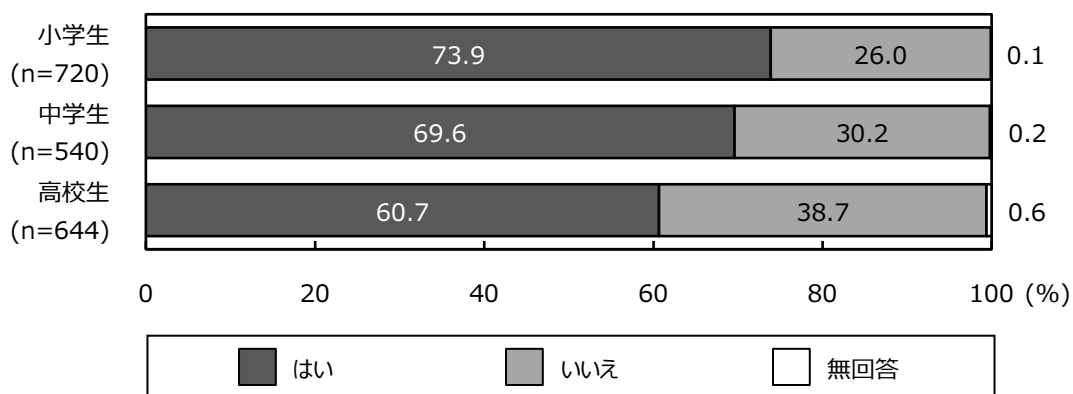
問 35 心だん、体を動かすよう心がけていますか。(単数回答)

「はい」が67.7%、「いいえ」が31.2%と、「はい」の方が高くなっています。



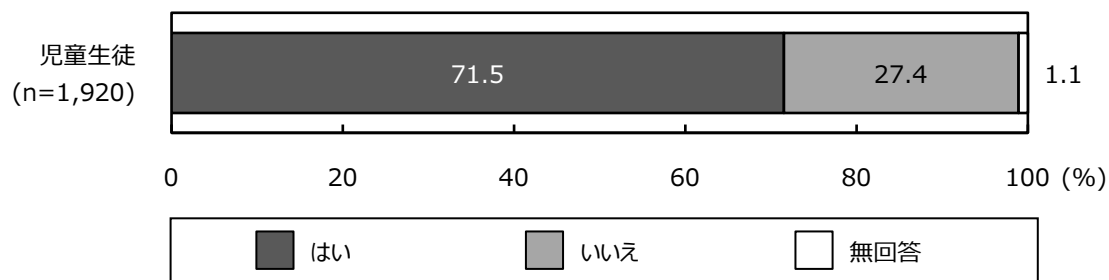
【心だん体を動かすように心がけているか(学年別)】

どの学年も「はい」の方が高くなっていますが、学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では73.9%、中学生では69.6%、高校生では60.7%となっています。



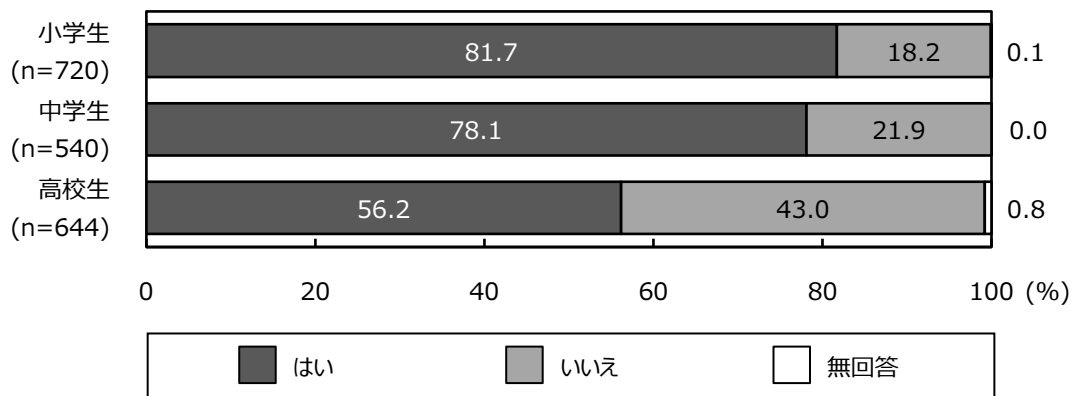
問 36 学校の保健体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを、週に1回以上していますか。(単数回答)

「はい」が71.5%、「いいえ」が27.4%と、「はい」の方が高くなっています。



【学校の授業以外で運動やスポーツを週1回以上するか（学年別）】

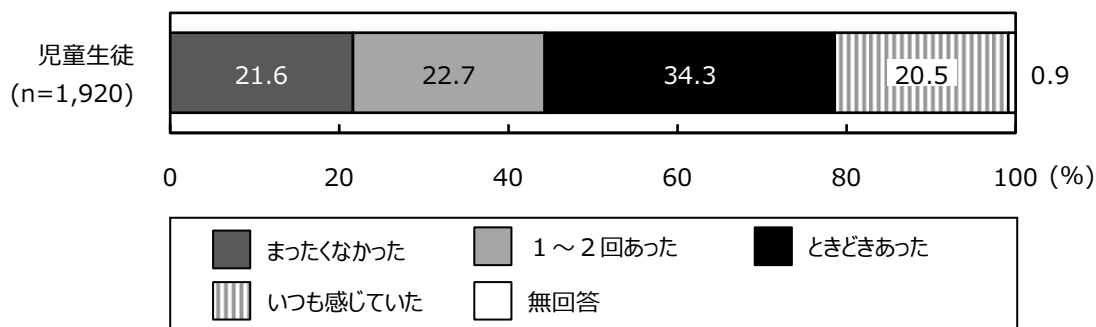
どの学年も「はい」の方が高くなっていますが、学年が上がるほど割合が低くなり、小学生では81.7%、中学生では78.1%、高校生では56.2%と、特に中学生から高校生にかけての減少が大きくなっています。



(6) こころの健康について

問 37 この1か月の間に、ストレス（不満・なやみ・つらかったことなど）はありましたか。
（単数回答）

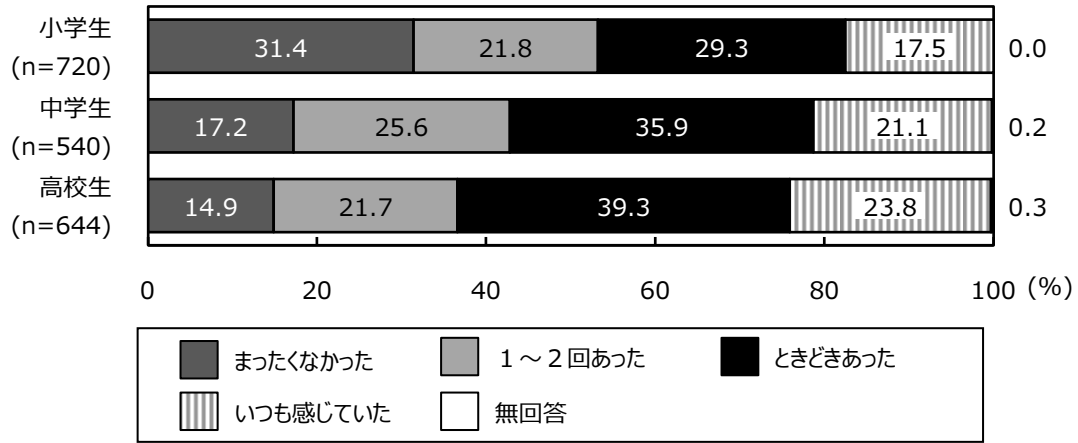
「ときどきあった」が34.3%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が22.7%、「まったくなかった」が21.6%、「いつも感じていた」が20.5%となっており、『あった』（「いつも感じていた」+「ときどきあった」+「1～2回あった」）については77.5%となっています。



【この1か月のストレスの有無（学年別）】

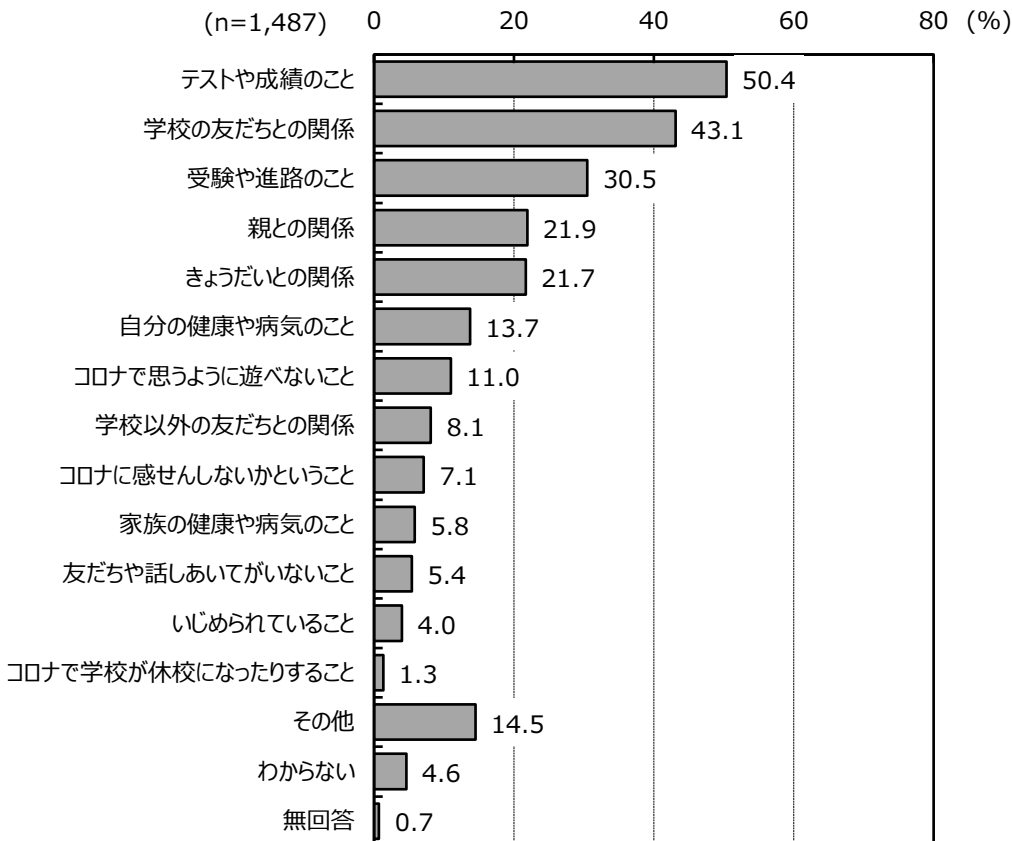
小学生では「まったくなかった」が最も高く（31.4%）、中学生、高校生では「ときどきあった」が最も高くなっています（中学生：35.9%、高校生：39.3%）。

『あった』については学年が上がるほど高くなり、小学生では68.6%、中学生では82.6%、高校生では84.8%となっています。



問 38 どんなことがストレス（不満・なやみ・つらかったことなど）でしたか。（複数回答）
 《問37で「1～2回あった」、「ときどきあった」、「いつも感じていた」と回答した人が対象》

「テストや成績のこと」が50.4%と最も高く、次いで、「学校の友だちとの関係」が43.1%、「受験や進路のこと」が30.5%、「親との関係」が21.9%、「きょうだいとの関係」が21.7%となっています。

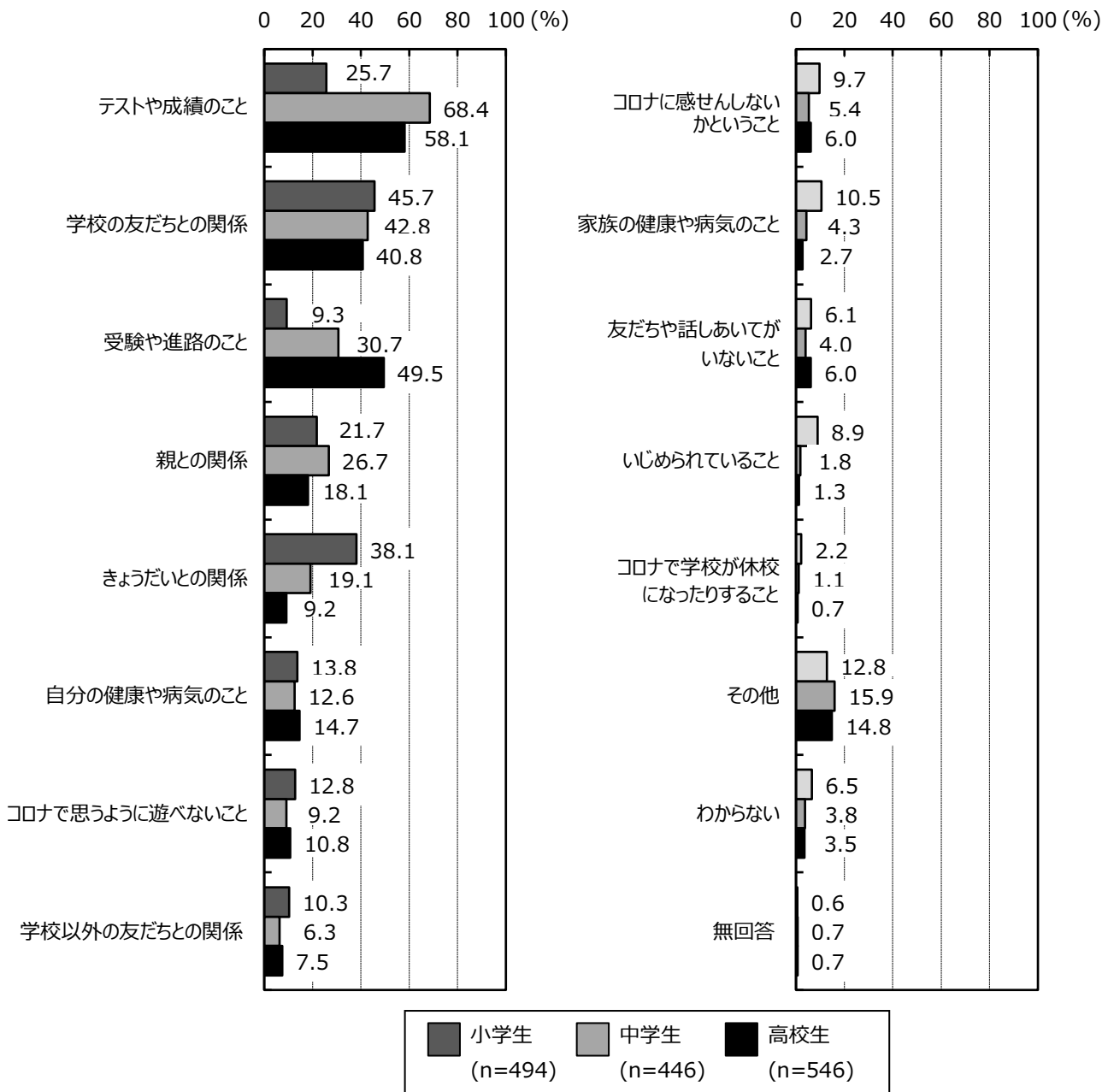


【ストレスの内容（学年別）】

小学生では「テストや成績のこと」（25.7%）、「学校の友だちとの関係」（45.7%）、「きょうだいとの関係」（38.1%）が上位3位となっており、「学校の友だちとの関係」が最も高くなっています。

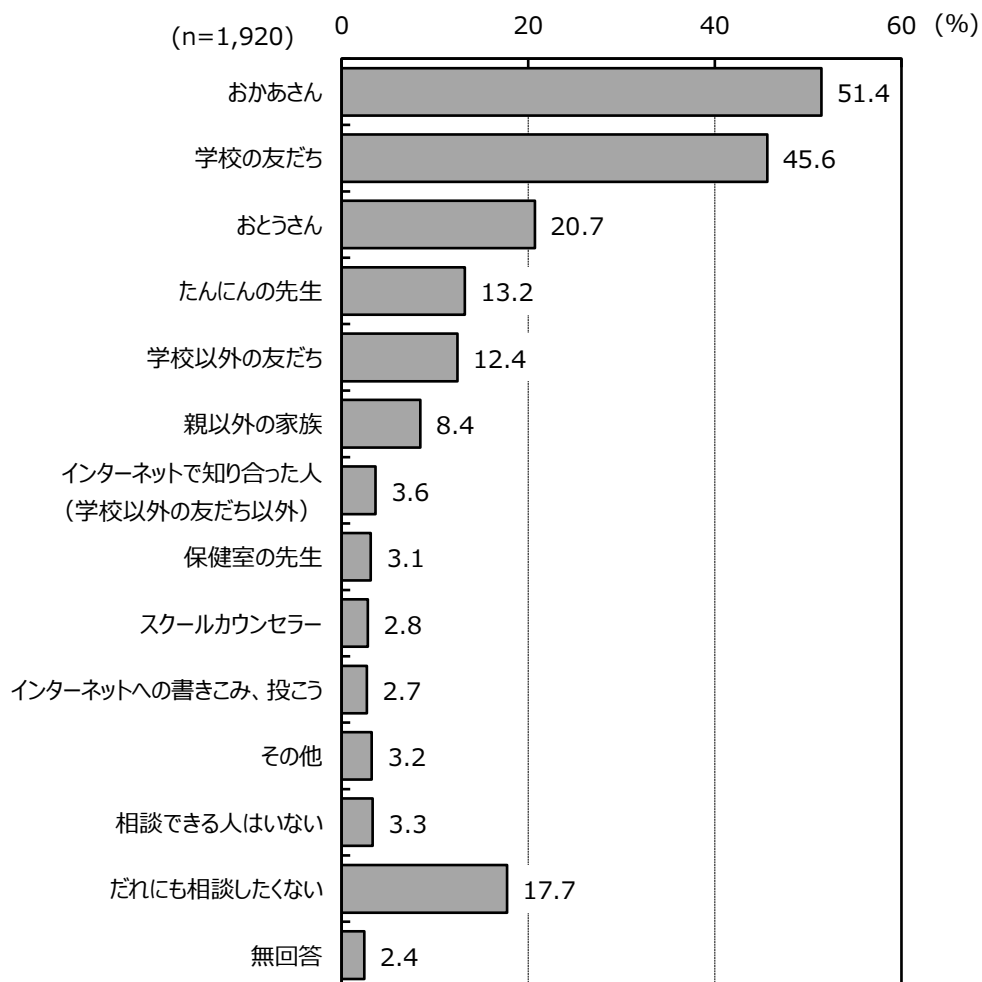
中学生、高校生では「テストや成績のこと」（中学生：68.4%、高校生：58.1%）、「学校の友だちとの関係」（中学生：42.8%、高校生：40.8%）、「受験や進路のこと」（中学生：30.7%、高校生：49.5%）が上位3位となっており、ともに「テストや成績のこと」が最も高くなっています。

「テストや成績のこと」については中学生以降で割合が高く、「受験や進路のこと」については学年が上がるほど割合が高くなっています。一方、「学校や友だちとの関係」、「きょうだいとの関係」については、学年が下がるほど割合が高くなっています。



問 39 不満・なやみ・つらかったことなどがあるときはだれに相談しますか。(複数回答)

「おかあさん」が 51.4%と最も高く、次いで、「学校の友だち」が 45.6%、「おとうさん」が 20.7%、「たんにんの先生」が 13.2%、「学校以外の友だち」が 12.4%となっています。

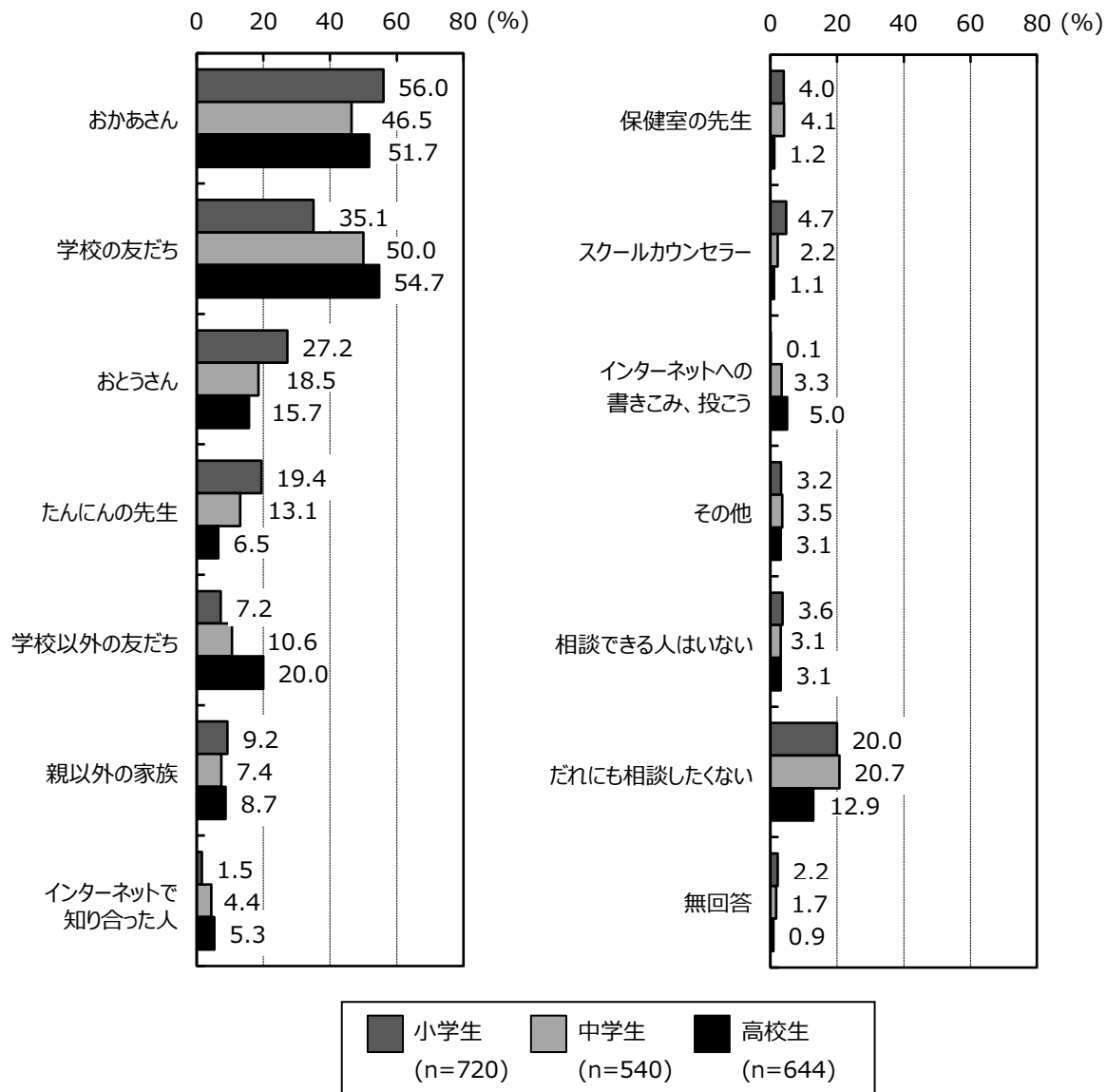


【不満や悩みごとなどがあつたときの相談相手（学年別）】

小学生では「おかあさん」（56.0%）、「学校の友だち」（35.1%）の順で高く、中学生、高校生では「学校の友だち」（中学生：50.0%、高校生：54.7%）、「おかあさん」（中学生：46.5%、高校生：51.7%）の順で高くなっています。

どの学年でも割合が高い「学校のともだち」については、学年が上がるほど割合が高くなっています。一方で、全体で上位4位であつた「たんじんの先生」については学年が下がるほど割合が高くなっています。

そのほか、小学生、中学生については、「だれにも相談したくない」の割合が高校生に比べて高くなっています（小学生：20.0%、中学生：20.7%、高校生：12.9%）。

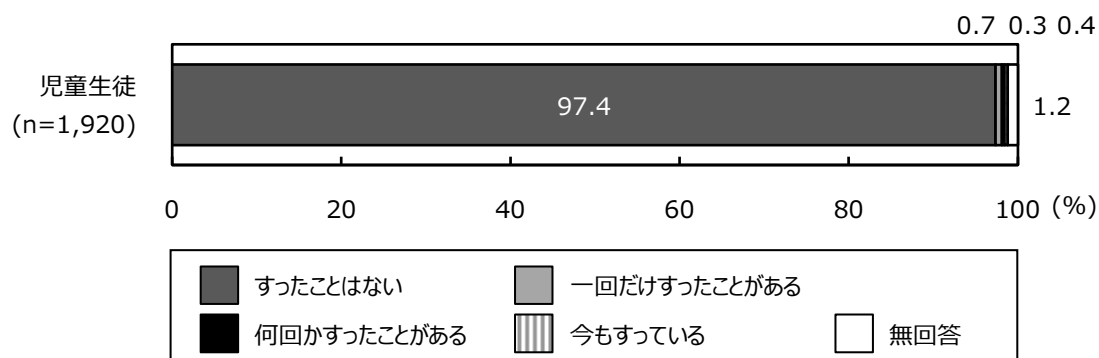


(7) たばこについて

問 40 たばこをすったことがありますか。(単数回答)

「すったことはない」が97.4%と、大半を占めています。

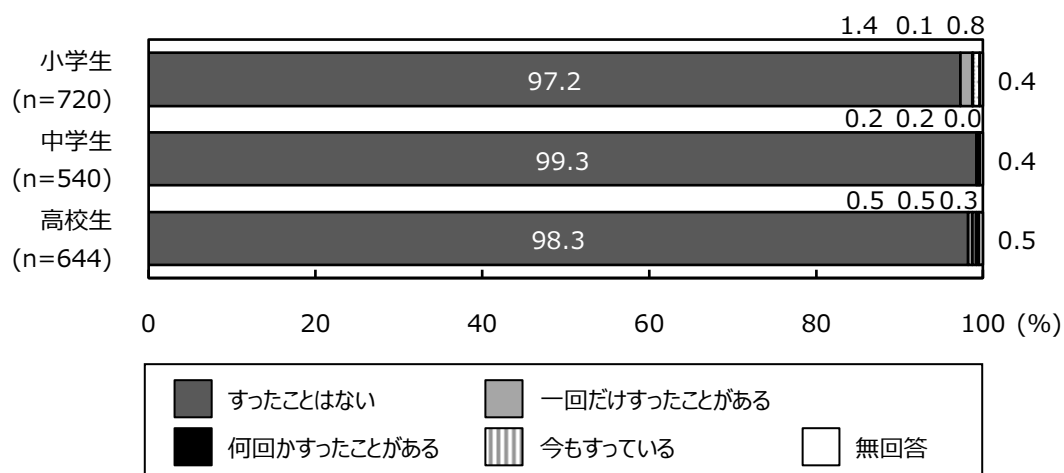
『すったことがある』(「一回だけすったことがある」+「何回かすったことがある」+「今もすっている」)については1.4%となっています。



【喫煙経験の有無(学年別)】

どの学年も「すったことがない」が大半を占めていますが、小学生では97.2%、中学生では99.3%、高校生では98.3%と、中学生での割合が最も高くなっています。

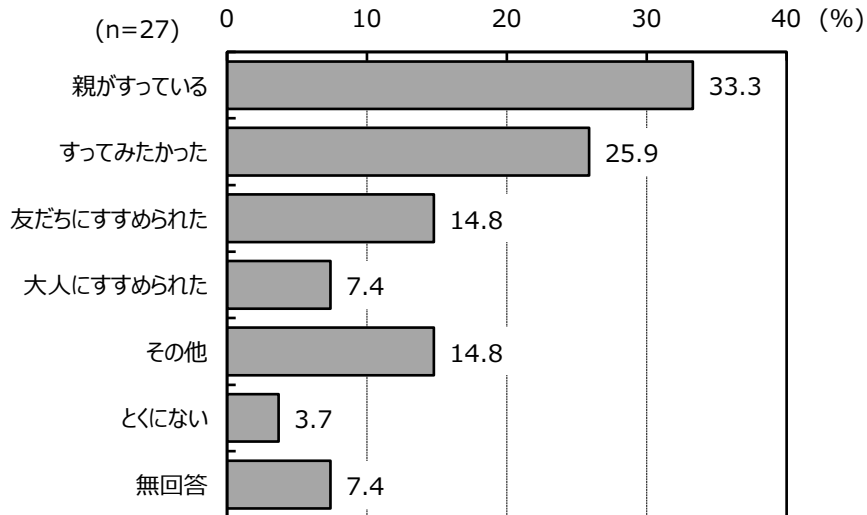
『すったことがある』については、小学生では2.3%、中学生では0.4%、高校生では1.3%と、小学生での割合が最も高くなっています。



問 41 たばこをすったきっかけは何ですか。(複数回答)

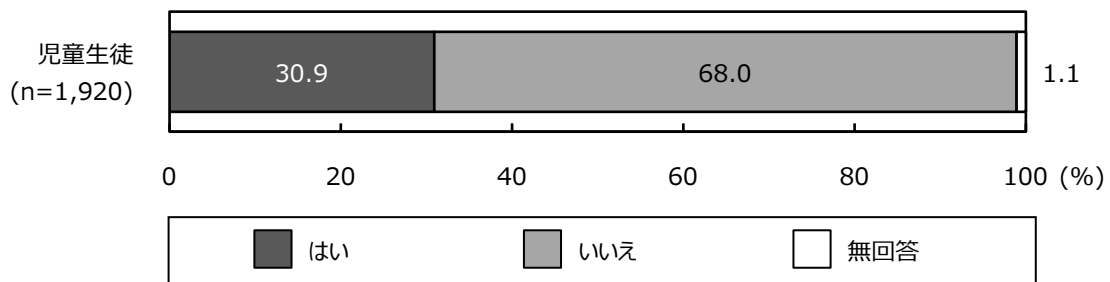
《問 40 で「一回だけすったことがある」、「何回かすったことがある」、「今もすっている」と回答した人が対象》

「親がすっている」が 33.3% と最も高く、次いで、「すって見たかった」が 25.9%、「友だちにすすめられた」が 14.8% となっています。



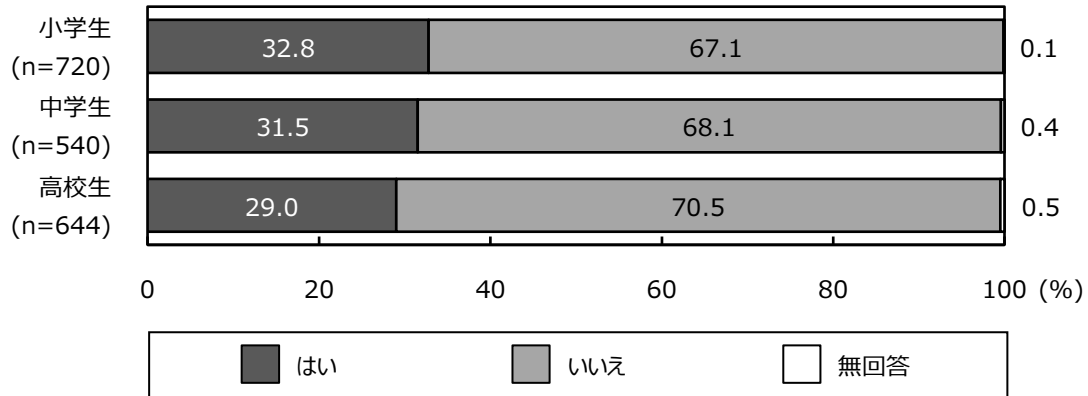
問 42 一緒にすんでいる人の中にたばこをすう人はいますか。(単数回答)

「はい」が 30.9%、「いいえ」が 68.0%と、「いいえ」の方が高くなっています。



【同居者で喫煙する人はいるか（学年別）】

どの学年も「いいえ」の方が高くなっていますが、学年が上がるほど割合が高くなり、小学生では67.1%、中学生では68.1%、高校生では70.5%となっています。

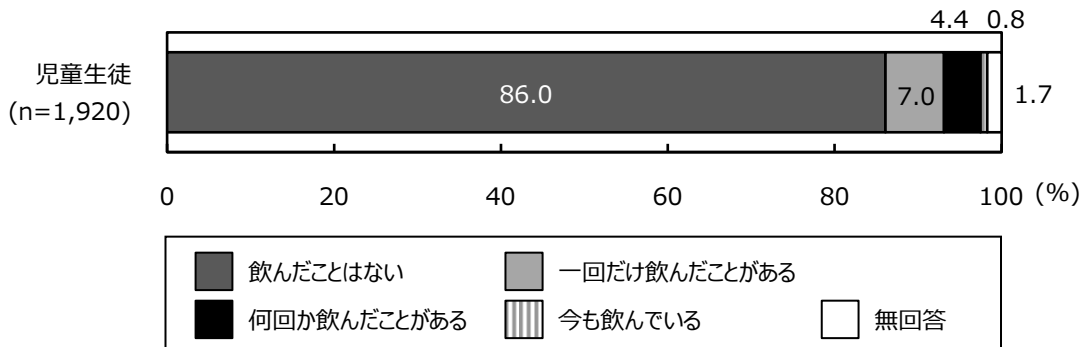


(8) お酒について

問 43 お酒（アルコールの入った飲みもの）を飲んだことがありますか。（単数回答）

「飲んだことはない」が86.0%と、大半を占めています。

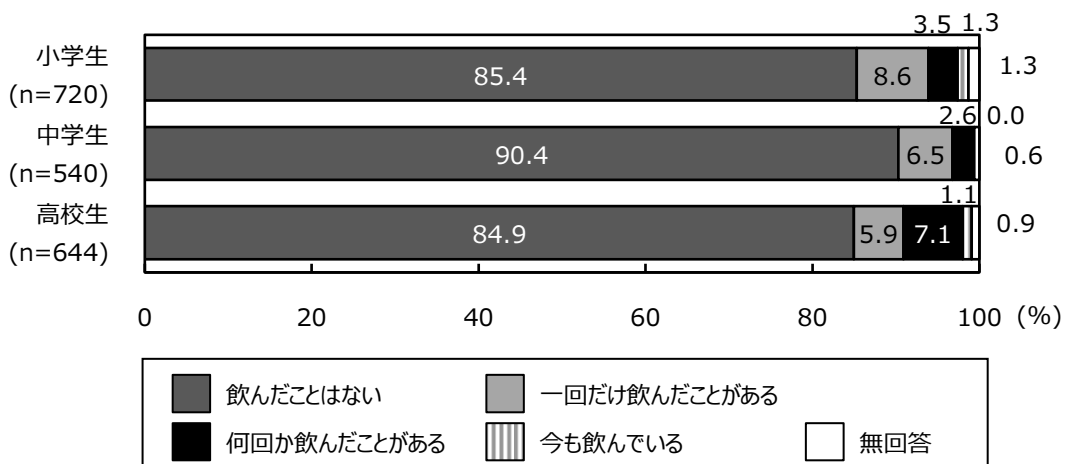
『飲んだことがある』（「一回だけ飲んだことがある」+「何回か飲んだことがある」+「今も飲んでいる」）については12.2%となっています。



【飲酒経験の有無（学年別）】

どの学年も「飲んだことはない」が大半を占めていますが、小学生では85.4%、中学生では90.4%、高校生では84.9%と、中学生での割合が最も高くなっています。

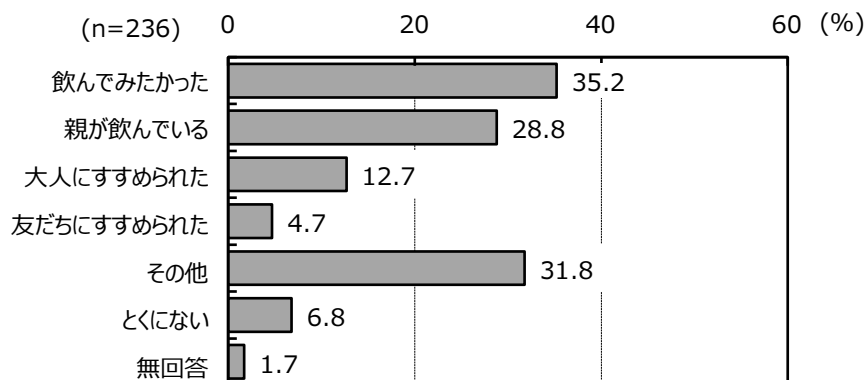
『飲んだことがある』については、小学生では13.4%、中学生では9.1%、高校生では14.1%と、高校生での割合が最も高くなっています。



問 44 お酒を飲んだきっかけは何ですか。(複数回答)

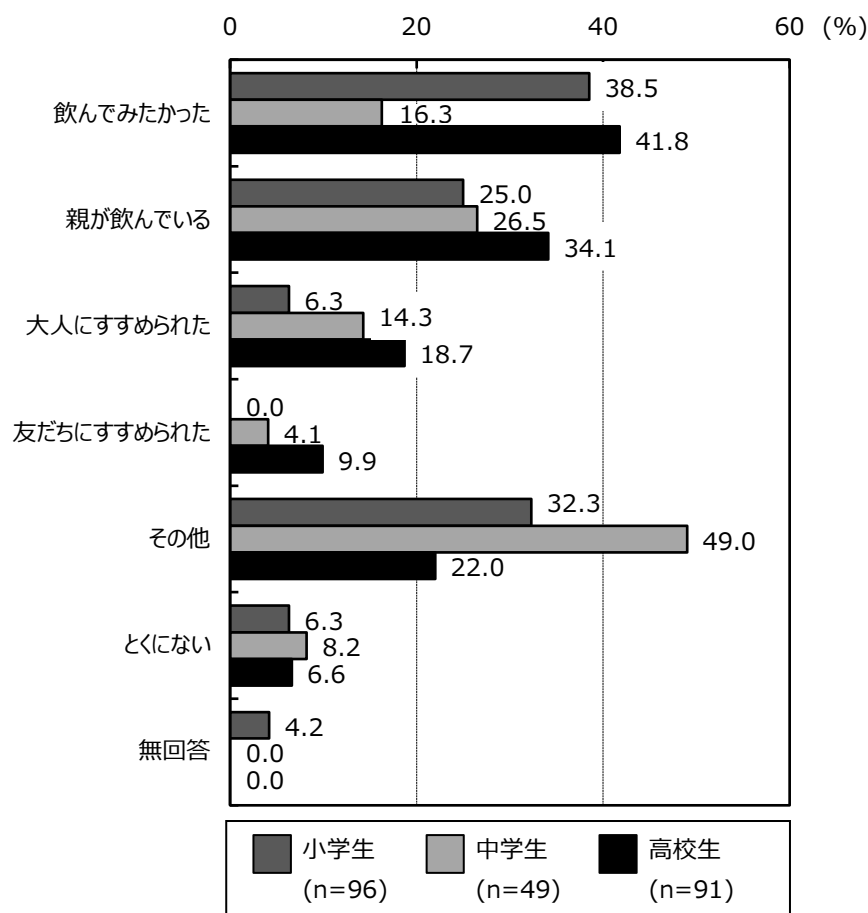
《問 43 で「一回だけ飲んだことがある」、「何回か飲んだことがある」、「今も飲んでいる」と回答した人が対象》

「飲んでみたかった」が 35.2%と最も高く、次いで、「その他」が 31.8%、「親が飲んでいる」が 28.8%となっています。「その他」では「ジュースやお茶と間違えた」という回答が大半となっています。



【飲酒したきっかけ (学年別)】

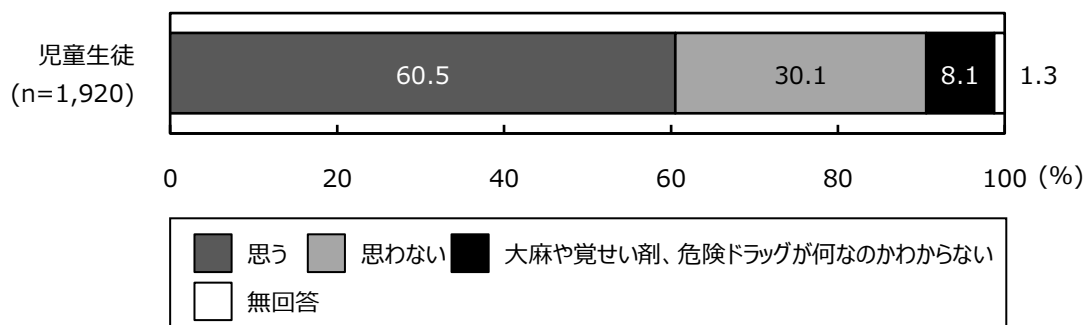
「その他」を除くと、どの学年も「飲んでみたかった」(小学生: 38.5%、中学生: 16.3%、高校生: 41.8%)、「親が飲んでいる」(小学生: 25.0%、中学生: 26.5%、高校生: 34.1%)が上位2位となっています。



(9) 薬物について

問 45 大麻や覚せい剤、危険ドラッグは身近なものだと思いますか。(単数回答)

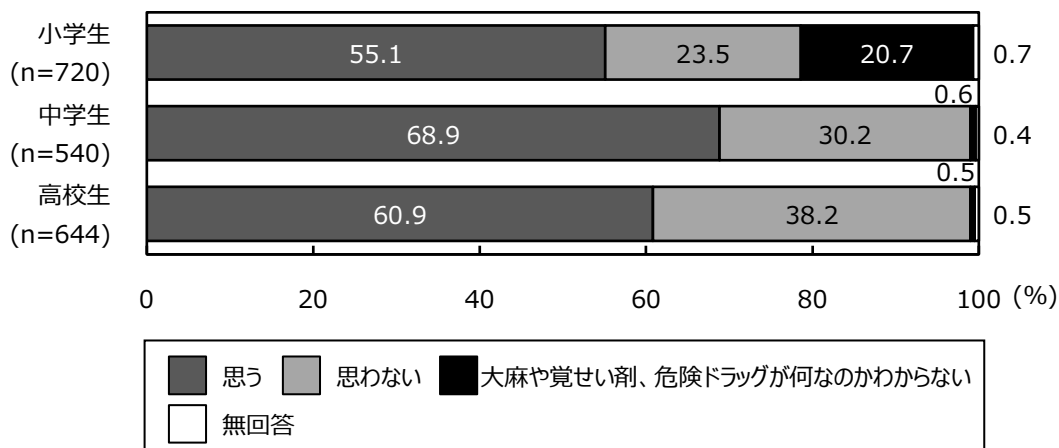
「思う」が60.5%、「思わない」が30.1%と、「思う」の方が高くなっています。「大麻や覚せい剤、危険ドラッグが何なのかわからない」については8.1%となっています。



【大麻や覚せい剤、危険ドラッグを身近なものだと思うか(学年別)】

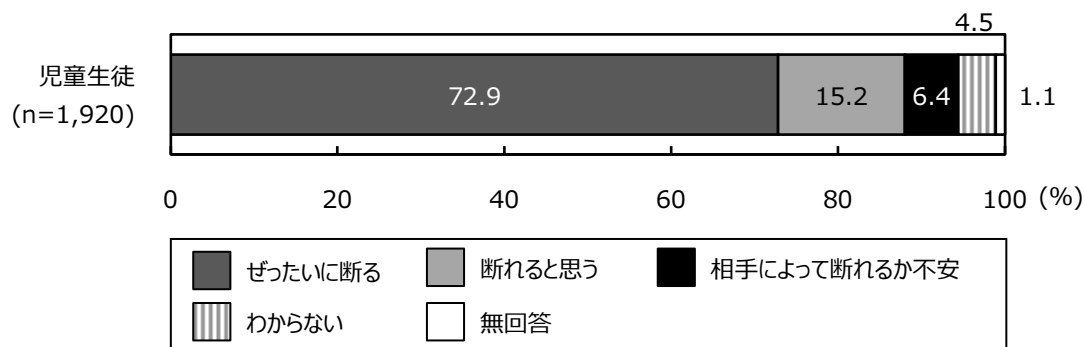
どの学年も「思う」が最も高くなっていますが、小学生では55.1%、中学生では68.9%、高校生では60.9%と、中学生での割合が最も高くなっています。

小学生については、他の学年に比べて「大麻や覚せい剤、危険ドラッグが何なのかわからない」の割合が高くなっています。



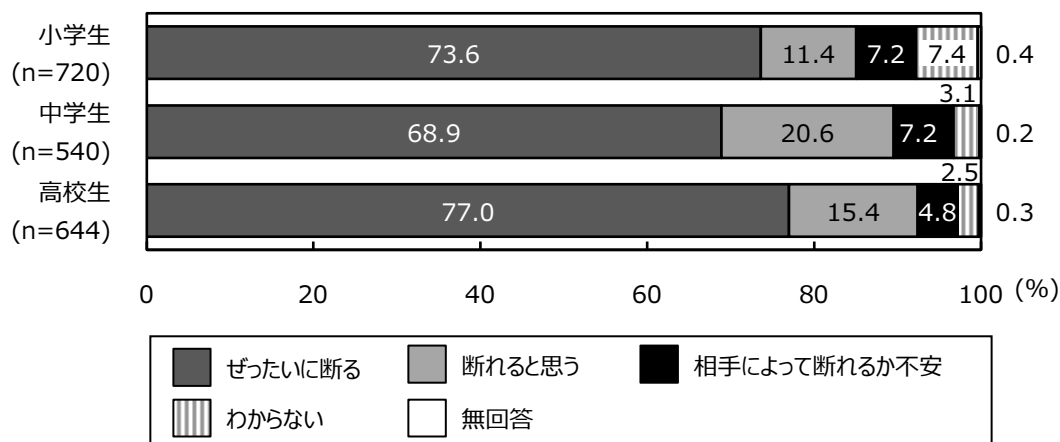
問 46 大麻や覚せい剤、危険ドラッグなどをすすめられたら、断れますか。(単数回答)

「ぜったいに断る」が72.9%と最も高く、次いで、「断れると思う」が15.2%、「相手によって断れるか不安」が6.4%、「相手によって断れるか不安」が6.4%となっています。



【大麻や覚せい剤、危険ドラッグをすすめられたら断れるか(学年別)】

どの学年も「ぜったいに断る」が最も高くなっていますが、小学生では73.6%、中学生では68.9%、高校生では77.0%と、高校生での割合が最も高くなっています。



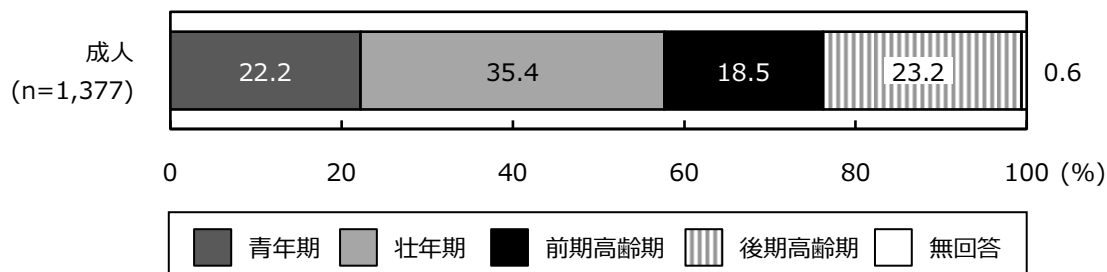
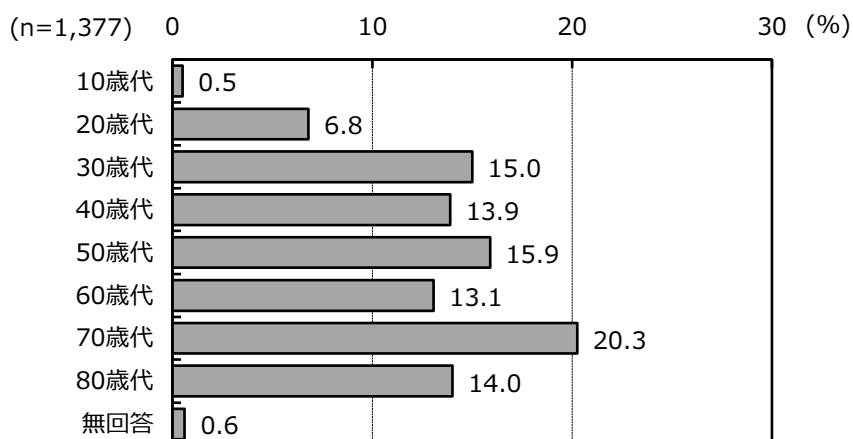
4. 成人アンケート

(1) あなた自身のことについて

問1 年齢はおいくつですか。(単数回答)

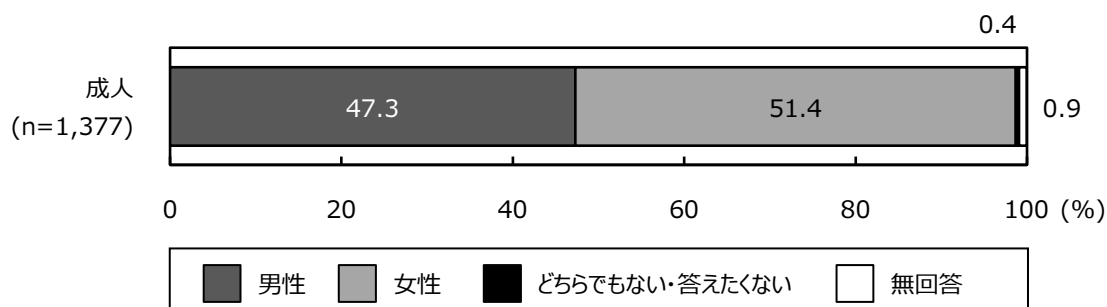
「70歳代」が20.3%と最も高く、次いで、「50歳代」が15.9%、「30歳代」が15.0%となっています。

ライフステージで見ると、「青年期」が22.2%、「壮年期」が35.4%、「前期高齢期」が18.5%、「後期高齢期」が23.2%となっています。



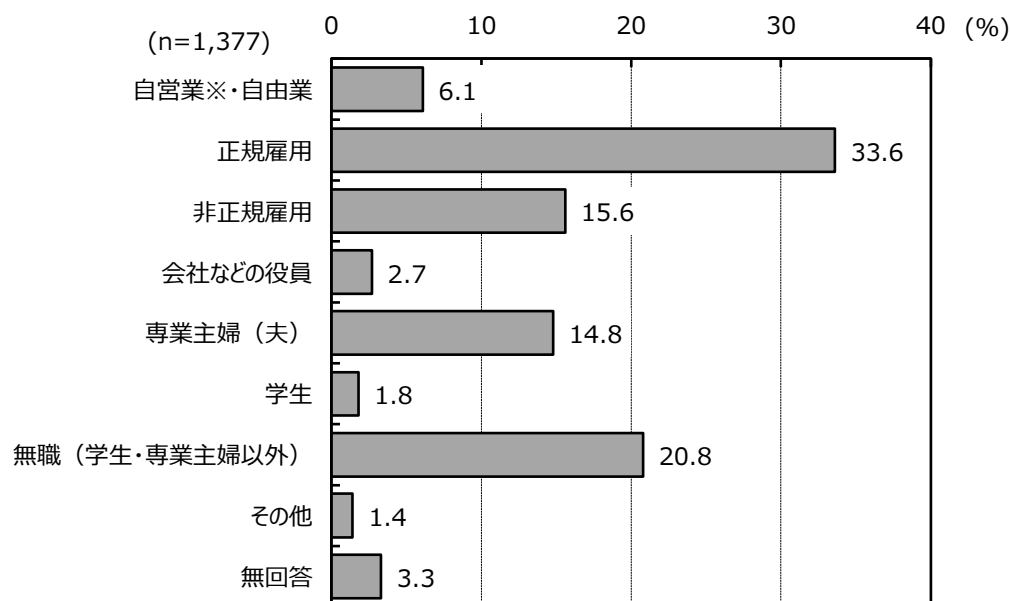
問2 性別をお教えてください。(単数回答)

「男性」が47.3%、「女性」が51.4%、「どちらでもない・答えたくない」が0.4%となっています。



問3 現在の職業（勤務形態）をお教えてください。（単数回答）

「正規雇用」が33.6%と最も高く、次いで、「無職（学生・専業主婦以外）」が20.8%、「非正規雇用」が15.6%、「専業主婦（夫）」が14.8%となっています。



※自営業には家族従業者・手伝いを含む。

【職業（性・ライフステージ別）】

壮年期までは男女とも「正規雇用」が最も高くなっていますが（男性青年期：73.5%、男性壮年期：79.1%、女性青年期：43.5%、女性壮年期：35.8%）、女性の壮年期については、「正規雇用」と「非正規雇用」の割合が同程度となっています。

高齢期については、男性では「無職（学生・専業主婦（夫）以外）」（54.6%）、女性では「専業主婦（夫）」（42.2%）が最も高くなっています。

「正規雇用」については、どの世代においても男性での割合の方が高くなっています。

		自営業※・自由業	正規雇用	非正規雇用	会社などの役員	専業主婦（夫）	学生	無職（学生・専業主婦（夫）以外）	その他	無回答
男性	青年期 (n=117)	0.9	73.5	4.3	3.4	0.0	12.0	2.6	3.4	0.0
	壮年期 (n=230)	8.3	79.1	3.0	4.8	0.0	0.0	4.3	0.4	0.0
	高齢期 (n=304)	11.5	4.9	15.1	3.6	3.3	0.0	54.6	1.0	5.9
女性	青年期 (n=186)	3.2	43.5	23.1	2.2	18.8	5.4	2.7	1.1	0.0
	壮年期 (n=254)	4.7	35.8	35.0	2.0	18.1	0.0	3.9	0.4	0.0
	高齢期 (n=269)	4.1	0.7	9.0	0.4	42.2	0.4	33.6	3.0	6.7

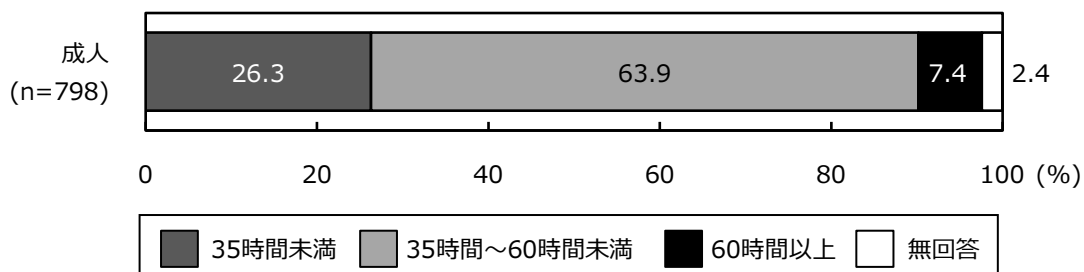
※自営業には家族従業者・手伝いを含む。

※家族従業者・手伝いを含む

問4 1週間あたりの労働時間はどのくらいですか。(単数回答)

《問3で「自営業・自由業」、「正規雇用」「非正規雇用」、「会社などの役員」と回答した人が対象》

「35時間～60時間未満」が63.9%と最も高く、次いで、「35時間未満」が26.3%、「60時間以上」が7.4%となっています。

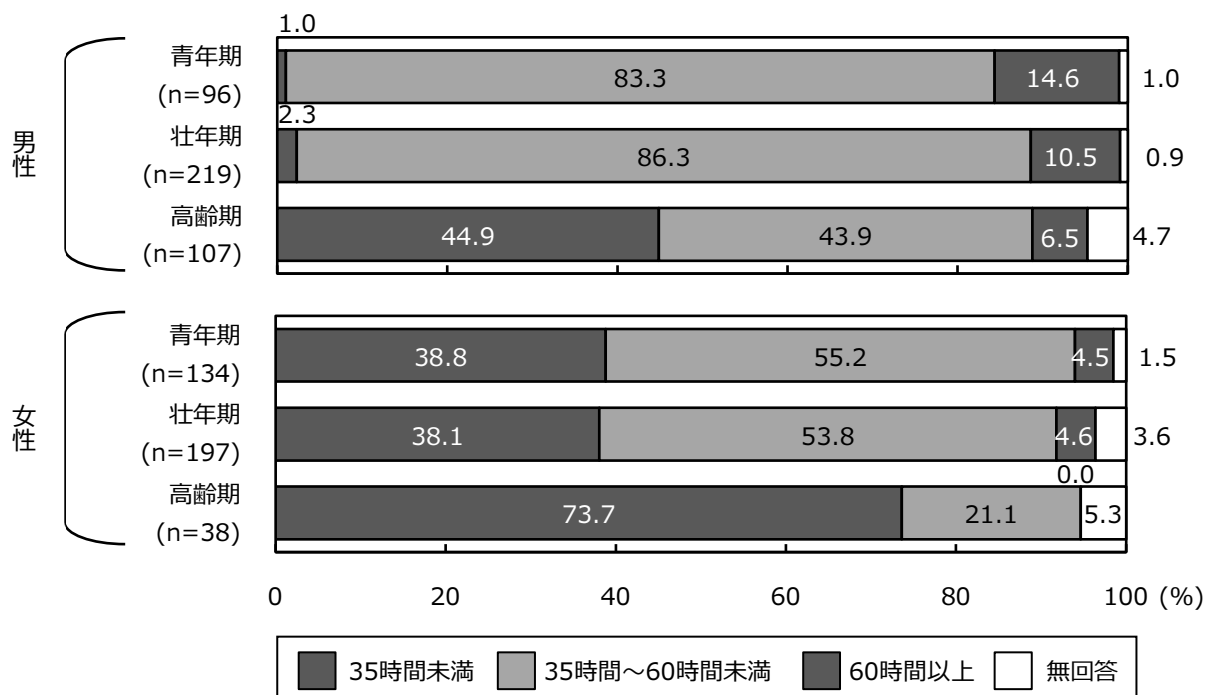


【1週間あたりの労働時間（性・ライフステージ別）】

壮年期までは男女とも「35時間～60時間未満」が最も高くなっていますが、男性での割合の方が高くなっています（男性青年期：83.3%、男性壮年期：86.3%、女性青年期：55.2%、女性壮年期：53.8%）。

高齢期については、男女とも「35時間未満」が最も高くなっていますが（男性高齢期：44.9%、女性高齢期：73.7%）、男性では「35時間～60時間未満」の割合も高くなっています（43.9%）。

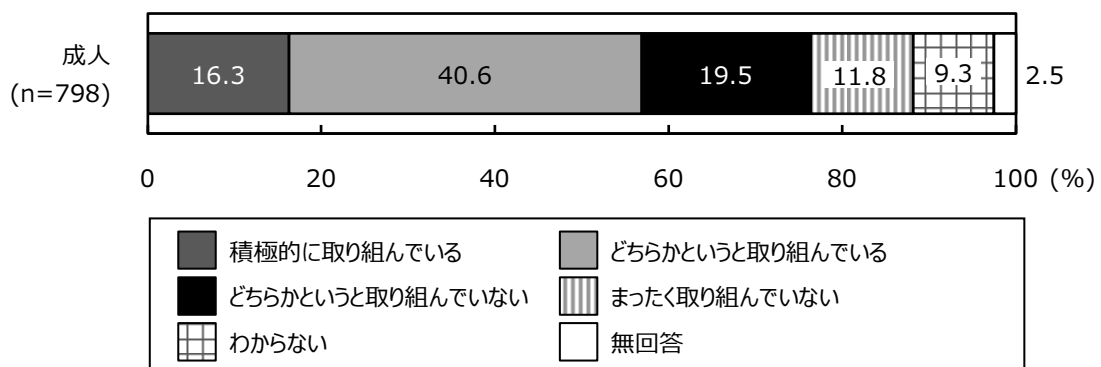
「60時間以上」については男性での割合が高く、青年期、壮年期では10%以上となっています（男性青年期：14.6%、男性壮年期：10.5%）。



問5 あなたの会社・勤め先では、従業員の健康づくりに取り組んでいますか。(単数回答)
 《問3で「自営業・自由業」、「正規雇用」、「非正規雇用」、「会社などの役員」と回答した人が対象》

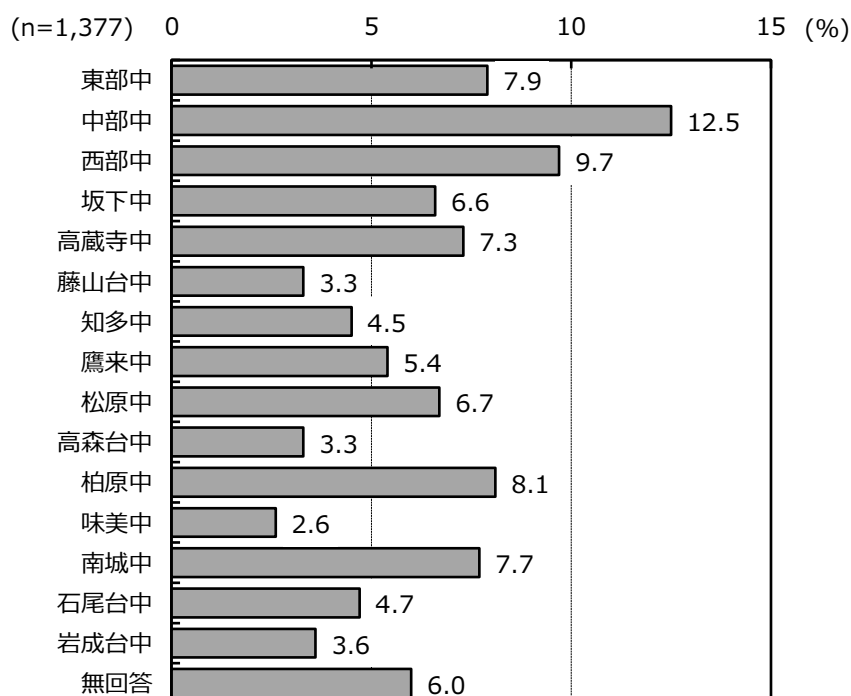
「どちらかというに取り組んでいる」が40.6%と最も高く、次いで、「どちらかというに取り組んでいない」が19.5%、「積極的に取り組んでいる」が16.3%、「まったく取り組んでいない」が11.8%となっています。

『取り組んでいる』（「積極的に取り組んでいる」＋「どちらかというに取り組んでいる」）については56.9%、『取り組んでいない』（「まったく取り組んでいない」＋「どちらかというに取り組んでいない」）については31.3%と、『取り組んでいる』の方が高くなっています。



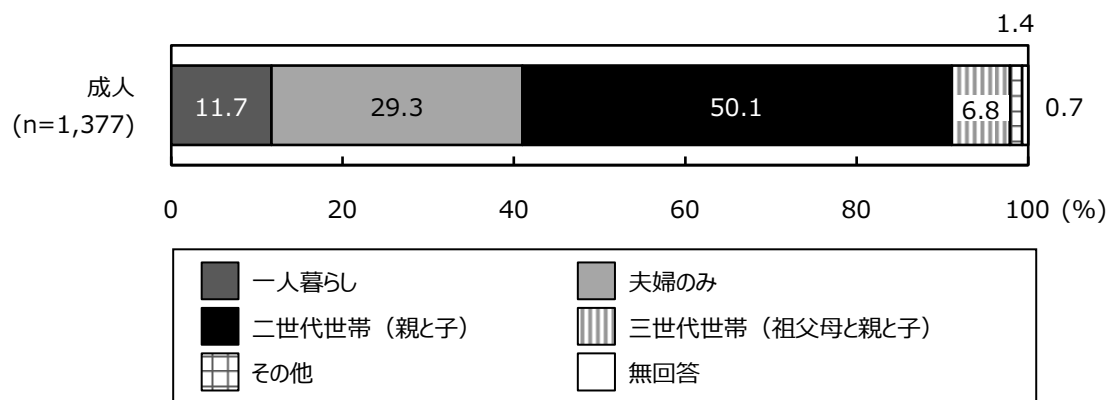
問6 どの中学校区にお住まいですか。(単数回答)

「中部中」が12.5%と最も高く、次いで、「西部中」が9.7%、「柏原中」が8.1%、「東部中」が7.9%、「南城中」が7.7%となっています。



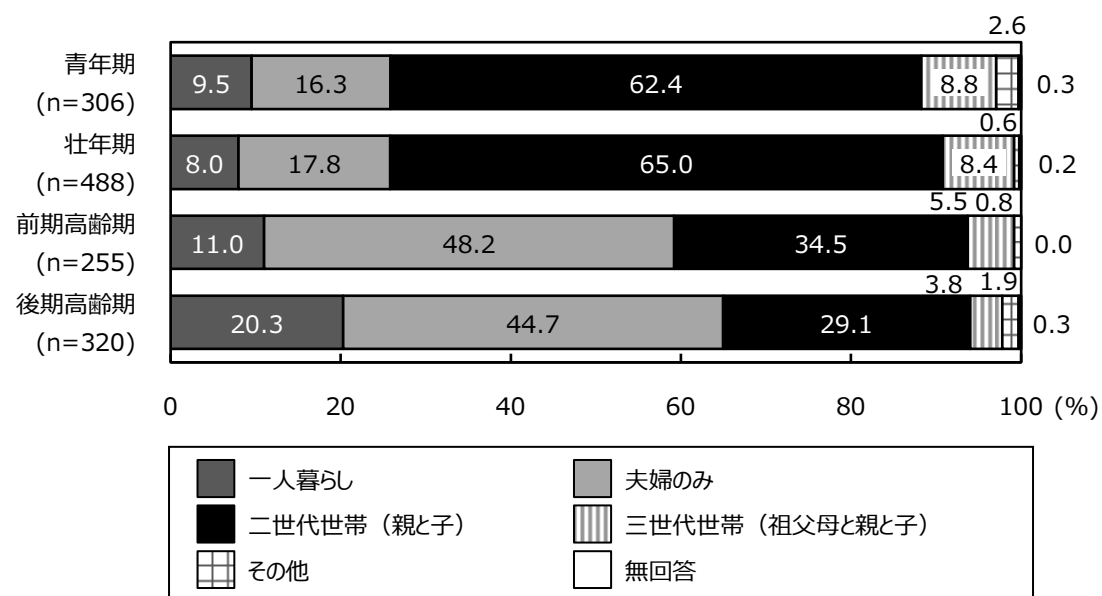
問7 家族構成（同居）は、次のうちどれですか。（単数回答）

「二世世代世帯（親と子）」が50.1%と最も高く、次いで、「夫婦のみ」が29.3%、「一人暮らし」が11.7%、「三世世代世帯（祖父母と親と子）」が6.8%となっています。



【家族構成（ライフステージ別）】

壮年期までは「二世世代世帯（親と子）」が最も高くなっていますが（青年期：62.4%、壮年期：65.0%）、前期高齢期以降では「夫婦のみ」が最も高くなっています（前期高齢期：48.2%、後期高齢期：44.7%）。

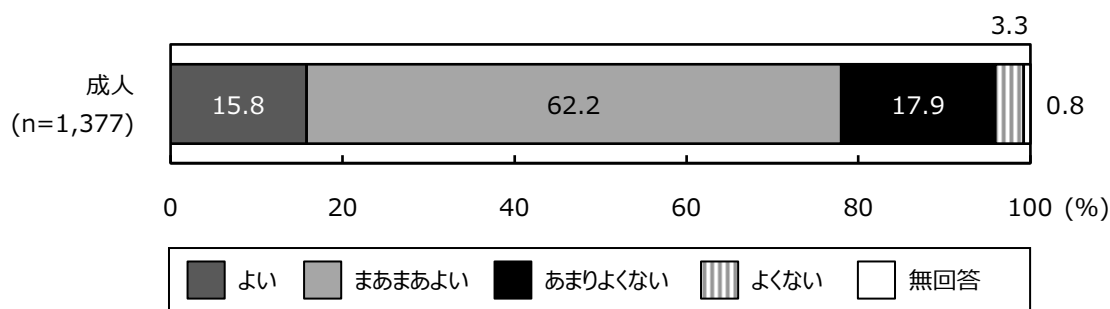


(2) 健康状況や健康づくり全般について

問8 ご自分の健康状態についてどう感じていますか。(単数回答)

「まあまあよい」が62.2%と最も高く、次いで、「あまりよくない」が17.9%、「よい」が15.8%となっています。

『よい』（「よい」＋「まあまあよい」）については78.0%、『よくない』（「よくない」＋「あまりよくない」）については21.2%と、『よい』の方が高くなっています。

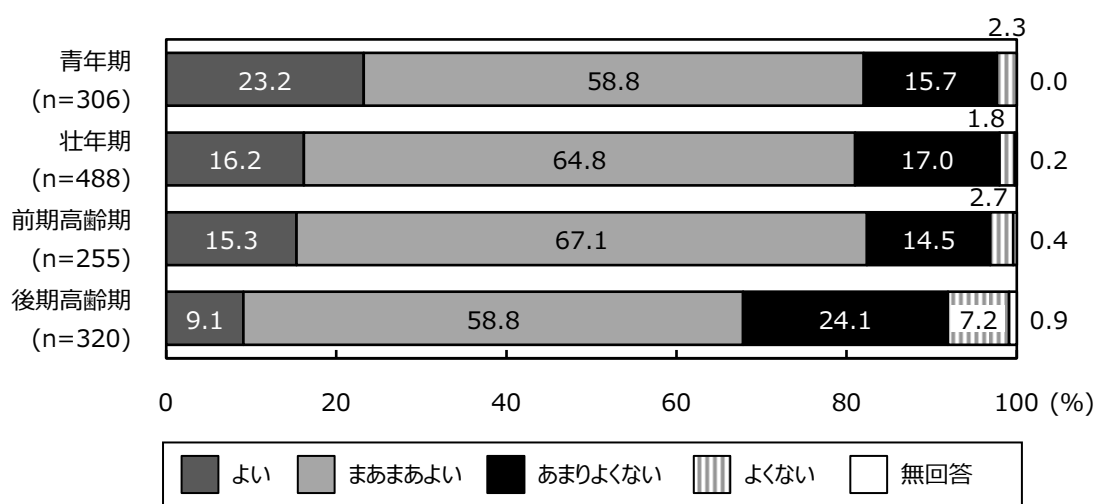


【主観的健康観（ライフステージ別）】

どの世代も「まあまあよい」が最も高くなっています。

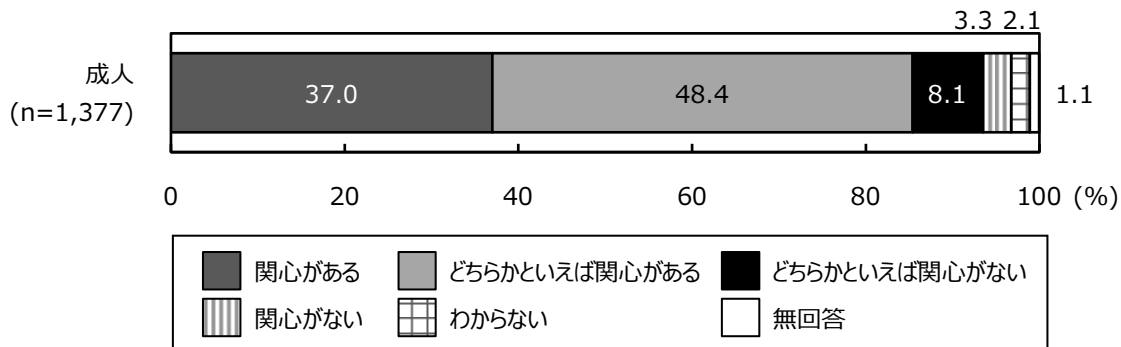
『よい』については、青年期では82.0%、壮年期では81.0%、前期高齢期では82.4%、後期高齢期では67.9%と、青年期、壮年期、前期高齢期での割合が高くなっています。

「よい」については世代が上がるほど割合が低くなり、青年期では23.2%、壮年期では16.2%、前期高齢期では15.3%、後期高齢期では9.1%となっています。



問9 健康づくりに関心はありますか。(単数回答)

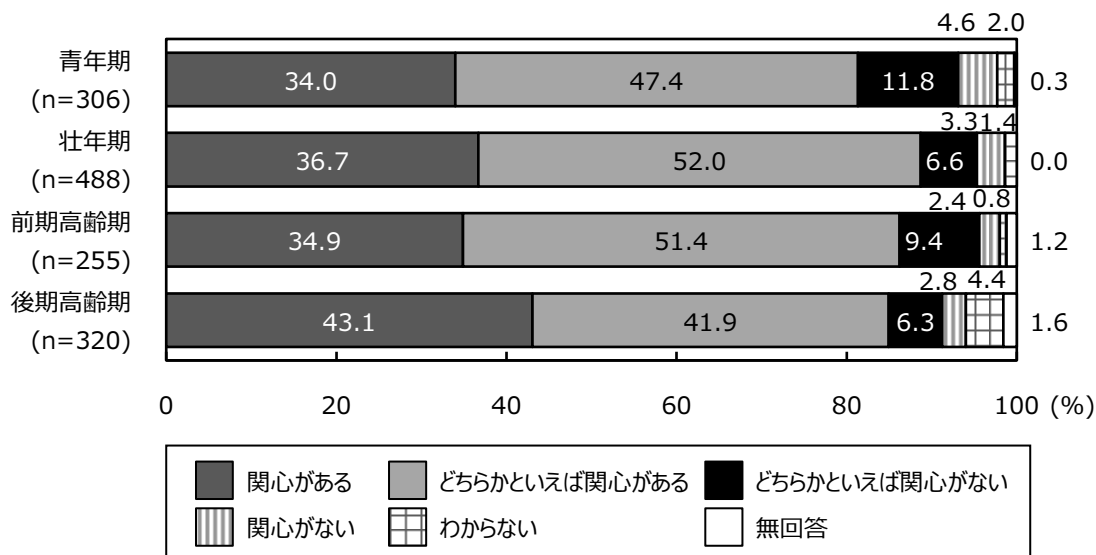
「どちらかといえば関心がある」が48.4%と最も高く、次いで、「関心がある」が37.0%となっており、『関心がある』(「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」)については85.4%と、大半を占めています。



【健康づくりへの関心度 (ライフステージ別)】

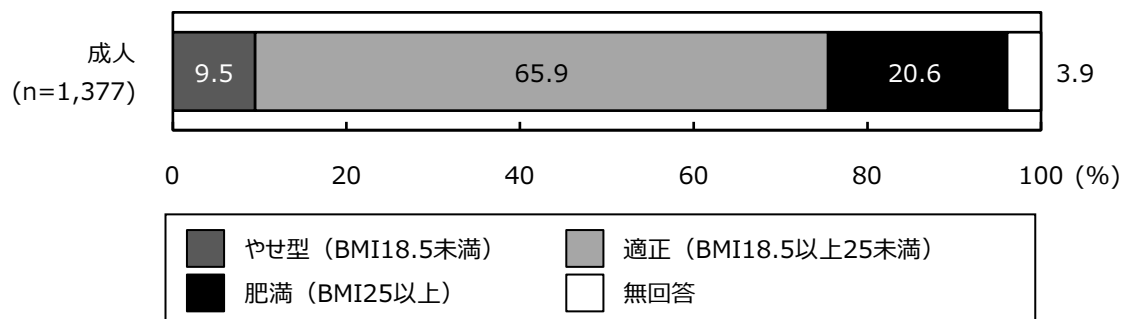
青年期から前期高齢期では「どちらかといえば関心がある」が最も高くなっていますが、後期高齢期では「関心がある」が最も高くなっています。

『関心がある』については、青年期では81.4%、壮年期では88.7%、前期高齢期では86.3%、後期高齢期では85.0%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



問10 身長と体重を記入してください。(数字記入、小数点以下は四捨五入)

身長・体重からBMIをみると、「やせ型 (BMI 18.5 未満)」が9.5%、「適正 (BMI 18.5 以上 25 未満)」が65.9%、「肥満 (BMI 25 以上)」が20.6%となっています。

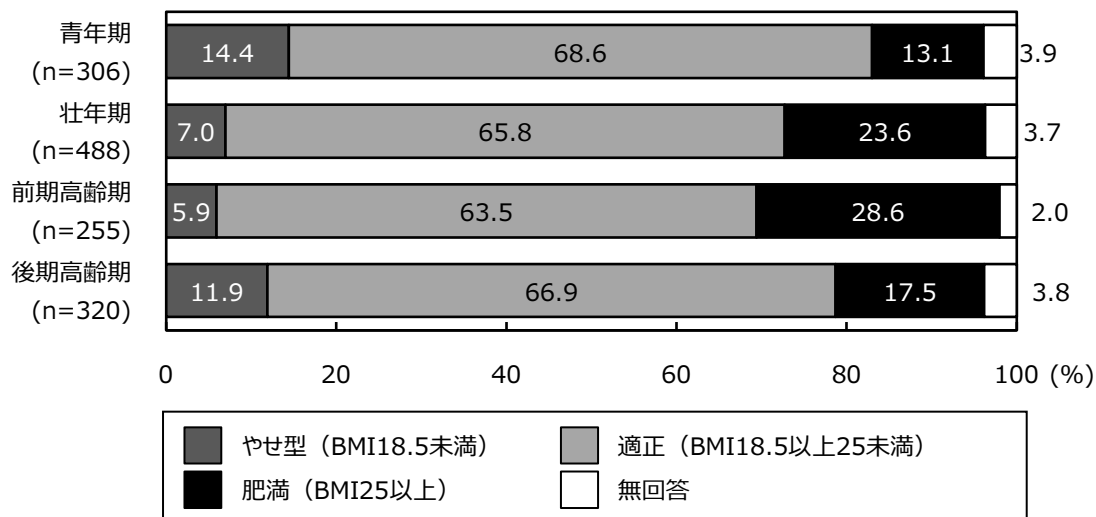


【BMI (ライフステージ別)】

どの世代も「適正 (BMI 18.5 以上 25 未満)」が最も高くなっています。

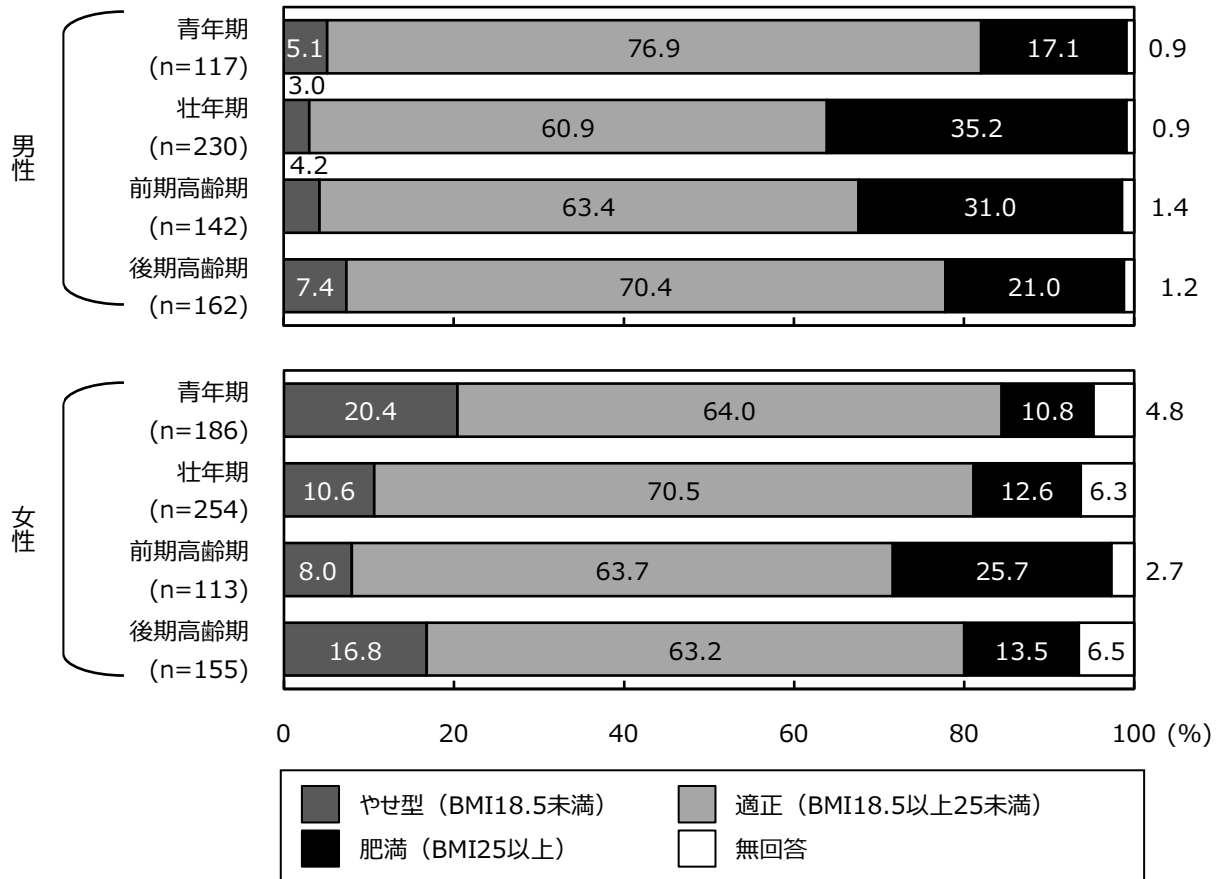
「肥満 (BMI 25 以上)」については、青年期では13.1%、壮年期では23.6%、前期高齢期では28.6%、後期高齢期では17.5%と、前期高齢期での割合が最も高くなっています。

また、青年期、後期高齢期での「やせ型 (BMI 18.5 未満)」の割合は他の世代に比べて高く、10%以上となっています (青年期: 14.4%、後期高齢期: 11.9%)。



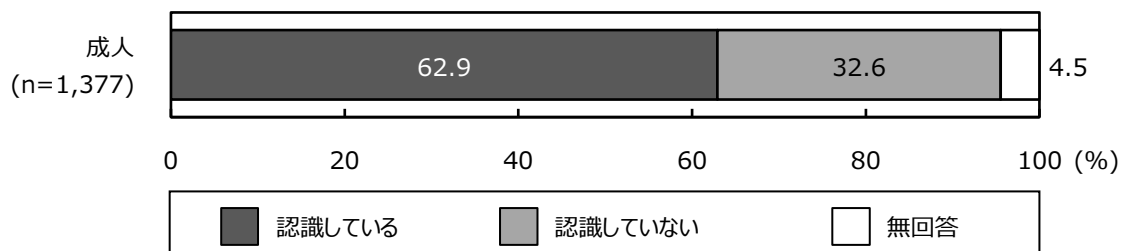
【BMI（性・ライフステージ別）】

「肥満（BMI 25 以上）」については、男性では壮年期で最も高く（35.2%）、女性は前期高齢期で最も高くなっています（25.7%）。また、どの世代も女性より男性の割合の方が高くなっています。一方、「やせ型（BMI 18.5 未満）」については女性の割合の方が高く、特に青年期での割合が高くなっています（20.4%）。



問11 自分の体型をどう思いますか。(単数回答)

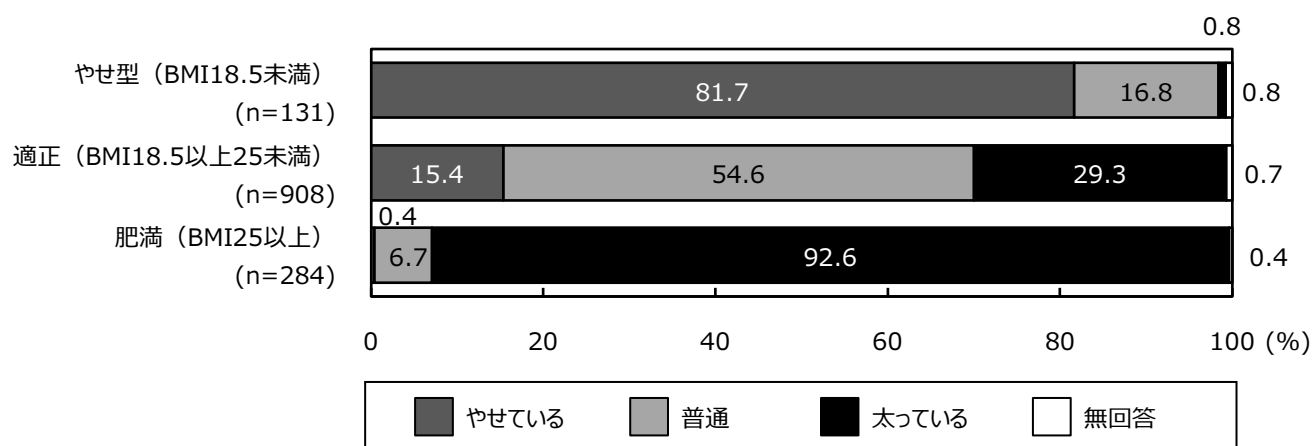
BMIと自分の体型をどう思うかから、体型への認識度をみると、「認識している」が62.9%、「認識していない」が32.6%と、「認識している」の方が高くなっています。



注：やせ型 (BMI18.5未満) で『やせている』、適正 (BMI18.5以上25未満) で『普通』、肥満 (BMI25以上) で『太っている』と回答した人を「認識している」として集計。

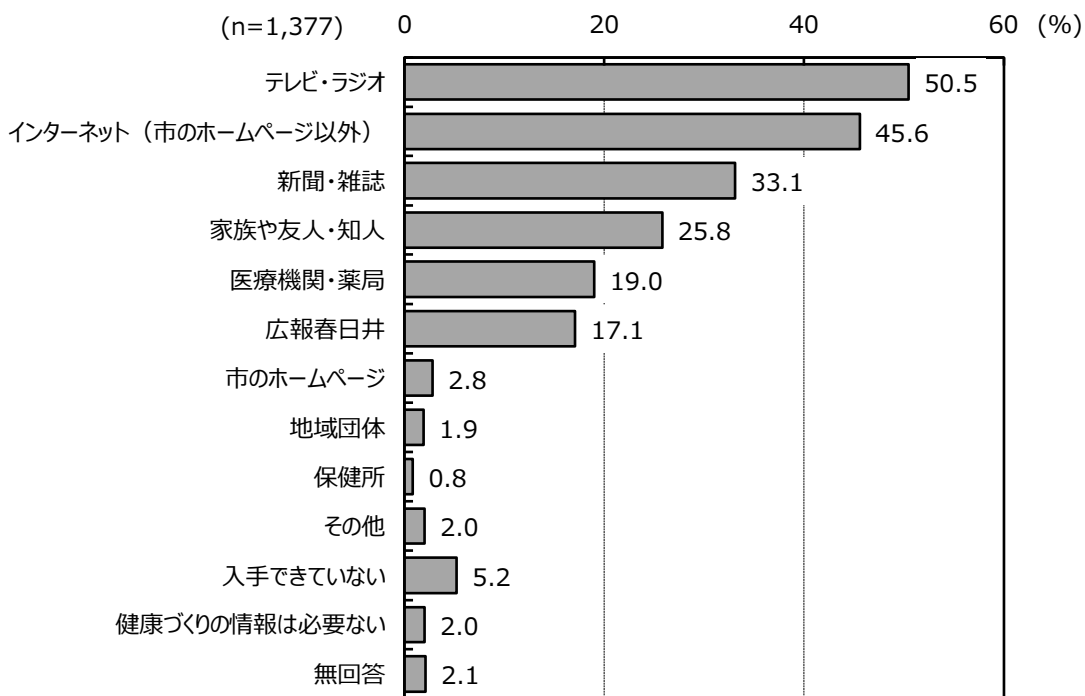
【自分の体型に対する認識 (BMI別)】

やせ型 (BMI18.5未満) で『やせている』と回答した人は81.7%、適正 (BMI18.5以上25未満) で『普通』と回答した人は54.6%、肥満 (BMI25以上) で『太っている』と回答した人は92.6%となっています。



問12 健康づくりに関する情報をどこから入手していますか。(複数回答)

「テレビ・ラジオ」が50.5%と最も高く、次いで、「インターネット(市のホームページ以外)」が45.6%、「新聞・雑誌」が33.1%、「家族や友人・知人」が25.8%、「医療機関・薬局」が19.0%となっています。



【健康に関する情報源 (ライフステージ別)】

壮年期までは「インターネット(市のホームページ以外)」(青年期:75.5%、壮年期:61.9%)、「テレビ・ラジオ」(青年期:32.0%、壮年期:49.5%)の順、前期高齢期以降では「テレビ・ラジオ」(前期高齢期:59.6%、後期高齢期:63.4%)、「新聞・雑誌」(前期高齢期:48.6%、後期高齢期47.8%)の順で高くなっています。

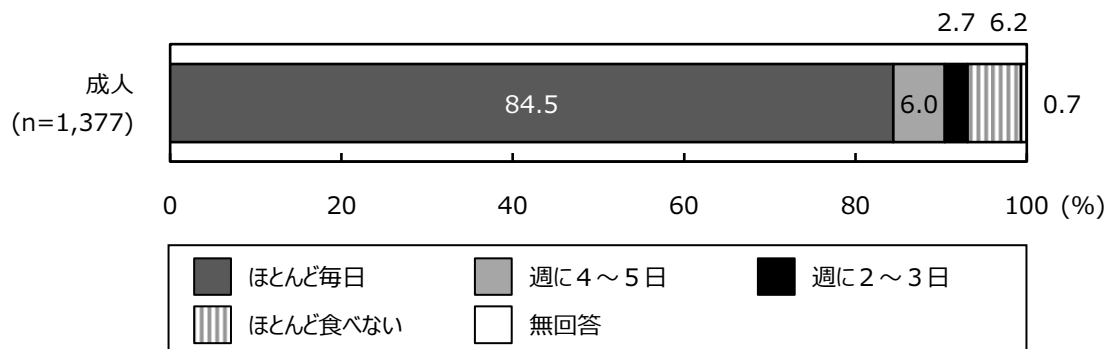
「テレビ・ラジオ」については世代が上がるほど割合が高く、「インターネット(市のホームページ以外)」については世代が下がるほど割合が高くなっています。全体で上位4位、5位であった「家族や友人・知人」、「医療機関・薬局」については世代が上がるほど割合が高くなっています。

	テレビ・ラジオ	インターネット (市のホームページ以外)	新聞・雑誌	家族や友人・知人	医療機関・薬局	広報春日井	市のホームページ	地域団体	保健所	その他	入手できていない	健康づくりの情報はいらない	無回答
青年期 (n=306)	32.0	75.5	11.8	22.5	10.1	7.2	1.3	1.6	1.0	2.0	8.8	2.0	1.0
壮年期 (n=488)	49.4	61.9	29.1	23.2	13.9	13.5	2.7	0.4	1.0	3.3	4.5	2.0	1.0
前期高齢期 (n=255)	59.6	27.5	48.6	26.3	25.9	27.8	2.7	2.7	0.0	1.2	2.4	1.6	2.0
後期高齢期 (n=320)	63.4	7.5	47.8	33.1	30.0	24.1	4.4	3.8	0.9	0.6	5.0	2.2	3.1

(3) 栄養・食生活について

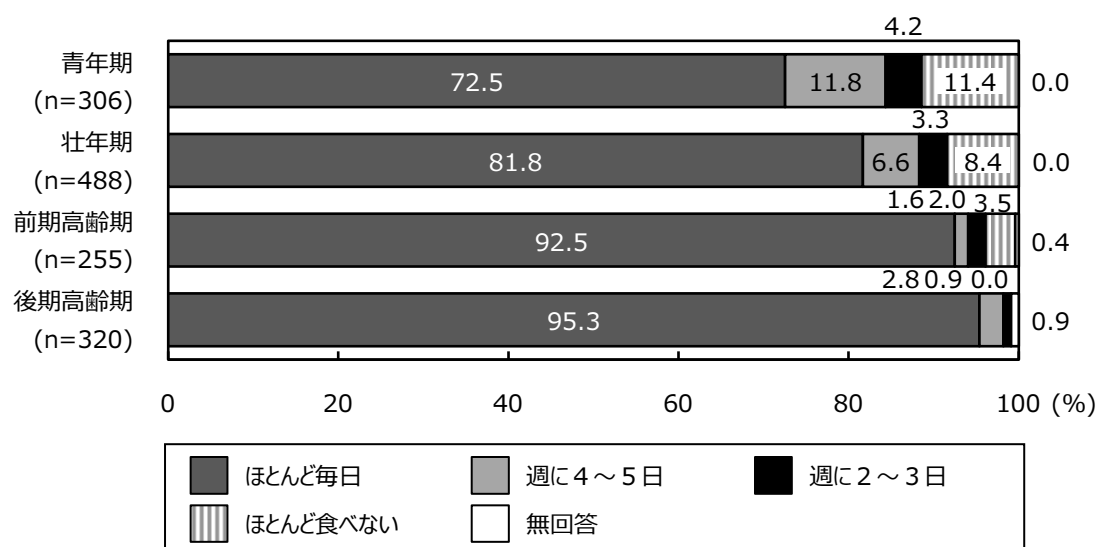
問 13 朝食を食べる日は、週に何日ありますか。(単数回答)

「ほとんど毎日」が84.5%と、大半を占めています。



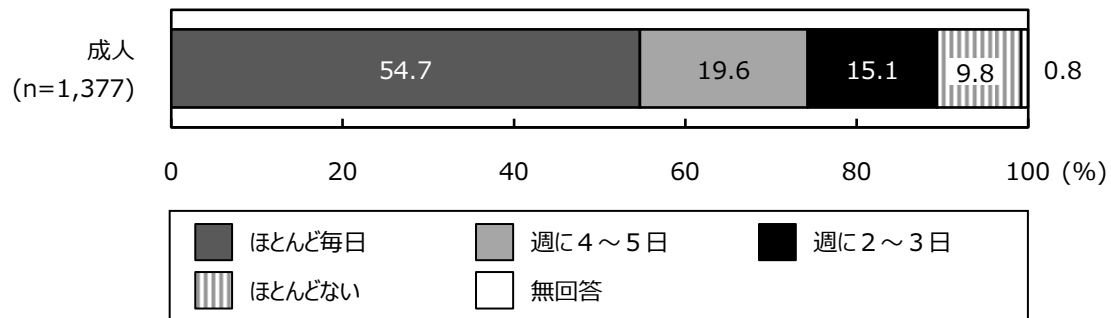
【朝食を食べる頻度 (ライフステージ別)】

どの世代も「ほとんど毎日」が最も高くなっていますが、世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では72.5%、壮年期では81.8%、前期高齢期では92.5%、後期高齢期では95.3%となっています。



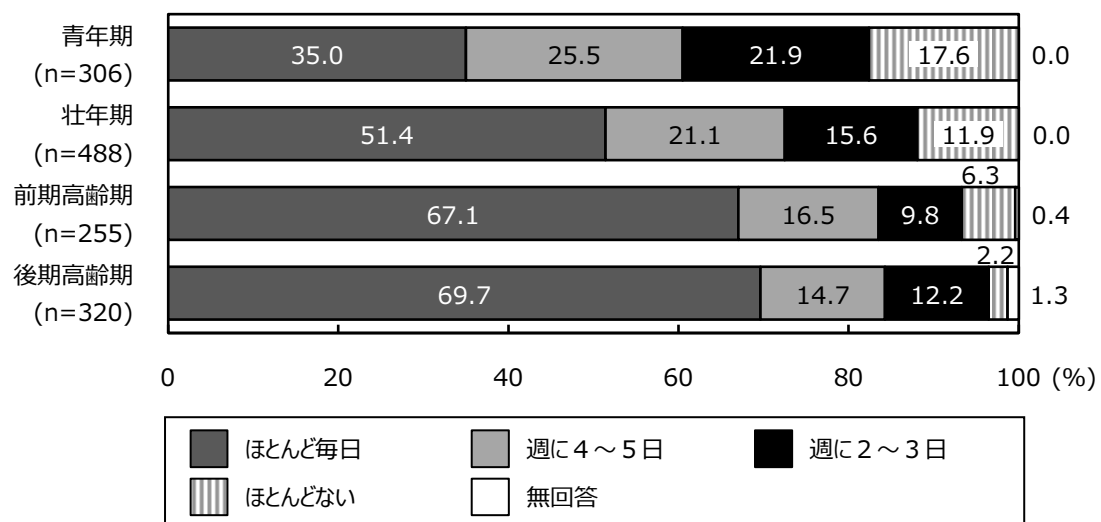
問 14 主食・主菜・副菜が揃った食事が1日に2回以上ある日は、週に何日ありますか。
(単数回答)

「ほとんど毎日」が54.7%と最も高く、次いで、「週に4～5日」が19.6%、「週に2～3日」が15.1%となっています。



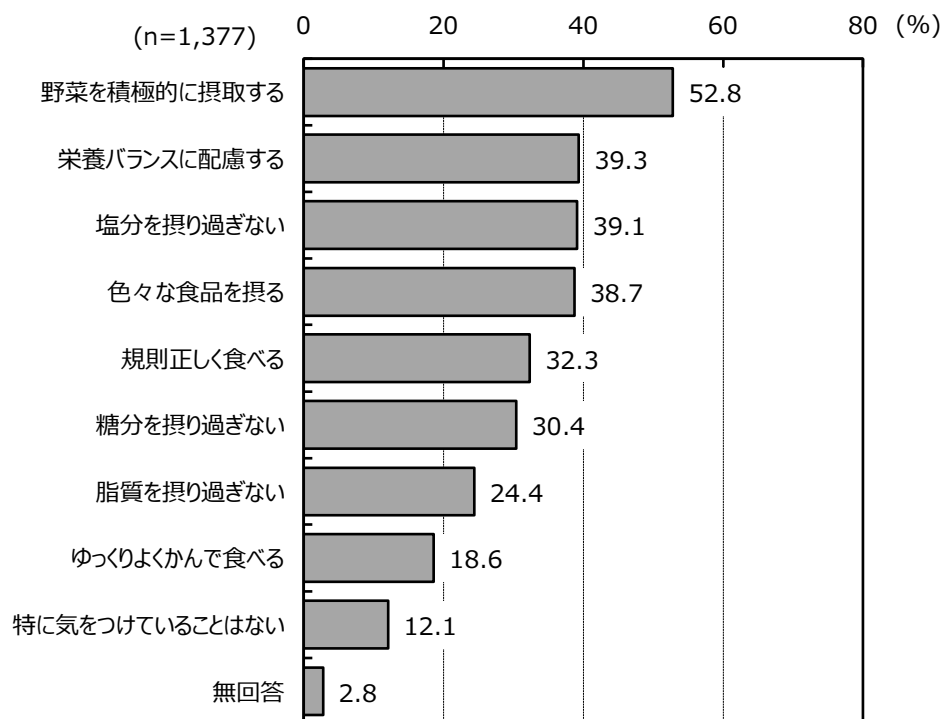
【バランスのよい食事の頻度 (ライフステージ別)】

どの世代も「ほとんど毎日食べる」が最も高くなっていますが、世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では35.0%、壮年期では51.4%、前期高齢期では67.1%、後期高齢期では69.7%と、特に青年期から壮年期にかけての増加が大きくなっています。



問 15 食生活について、どのようなことに気をつけていますか。（複数回答）

「野菜を積極的に摂取する」が52.8%と最も高く、次いで、「栄養バランスに配慮する」が39.3%、「塩分を摂り過ぎない」が39.1%、「色々な食品を摂る」が38.7%となっています。



【食生活で気をつけていること（ライフステージ別）】

青年期から前期高齢期までは「野菜を積極的に摂取する」が最も高くなっていますが（青年期：49.0%、壮年期：59.0%、前期高齢期：49.8%）、次に割合が高いものをみると、壮年期までは「栄養バランスに配慮する」（青年期：39.9%、壮年期：38.7%）、前期高齢期では「塩分を摂り過ぎない」（49.4%）となっています。

後期高齢期については、「塩分を摂り過ぎない」（52.5%）、「野菜を積極的に摂取する」（49.7%）の順で高くなっています。

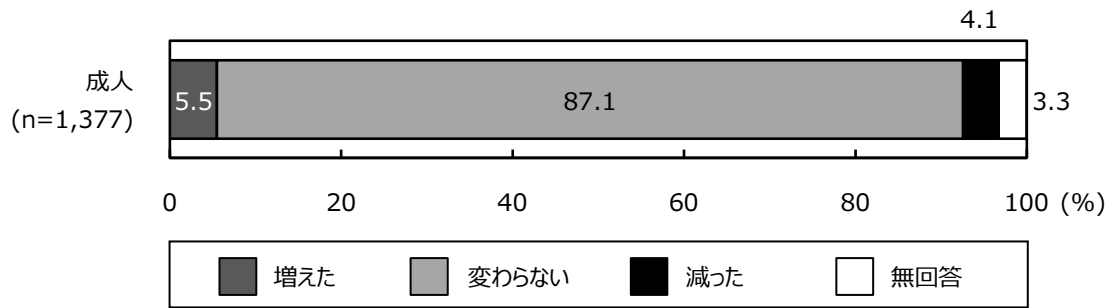
「塩分を摂り過ぎない」については世代が上がるほど割合が高くなり、特に壮年期から前期高齢期にかけての増加が大きくなっています。そのほか、「色々な食品を摂る」、「規則正しく食べる」、「ゆっくりよくかんで食べる」についても世代が上がるほど割合が高くなっています。

	野菜を積極的に摂取する	栄養バランスに配慮する	塩分を摂り過ぎない	色々な食品を摂る	規則正しく食べる	糖분을摂り過ぎない	脂質を摂り過ぎない	ゆっくりよくかんで食べる	特に気をつけていることはない	無回答
青年期 (n=306)	49.0	39.9	24.5	29.4	25.2	21.6	19.0	12.4	18.3	1.6
壮年期 (n=488)	59.0	38.7	34.2	35.9	26.8	30.5	24.2	13.7	13.3	0.4
前期高齢期 (n=255)	49.8	36.5	49.4	44.7	39.2	36.1	28.6	23.9	10.2	5.5
後期高齢期 (n=320)	49.7	41.9	52.5	48.1	42.8	34.1	26.9	28.1	6.3	4.4

問 16 コロナ禍で食生活にどのような影響がありましたか。（項目ごとに単数回答）

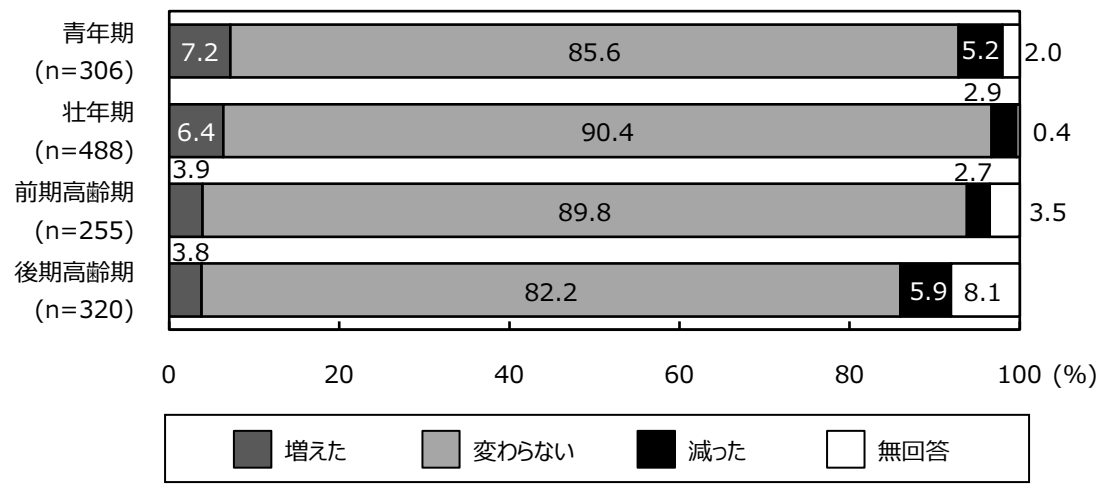
①栄養バランスのとれた食事

「変わらない」が87.1%と大半を占めています。「増えた」は5.5%、「減った」は4.1%となっています。



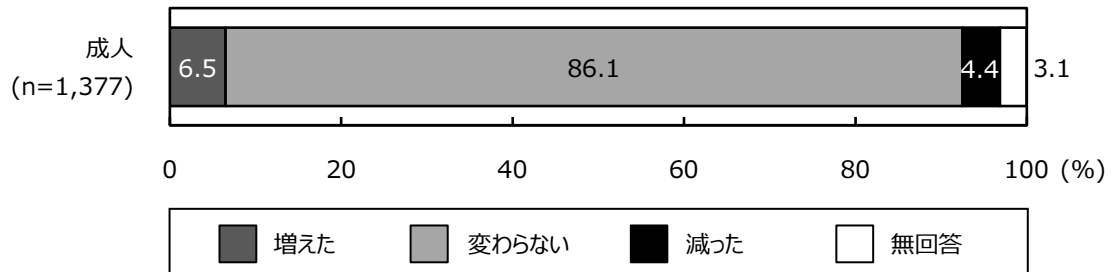
【栄養バランスのとれた食事に対する変化（ライフステージ別）】

どの世代も「変わらない」が大半を占めており、「増えた」、「減った」は10%未満となっています。



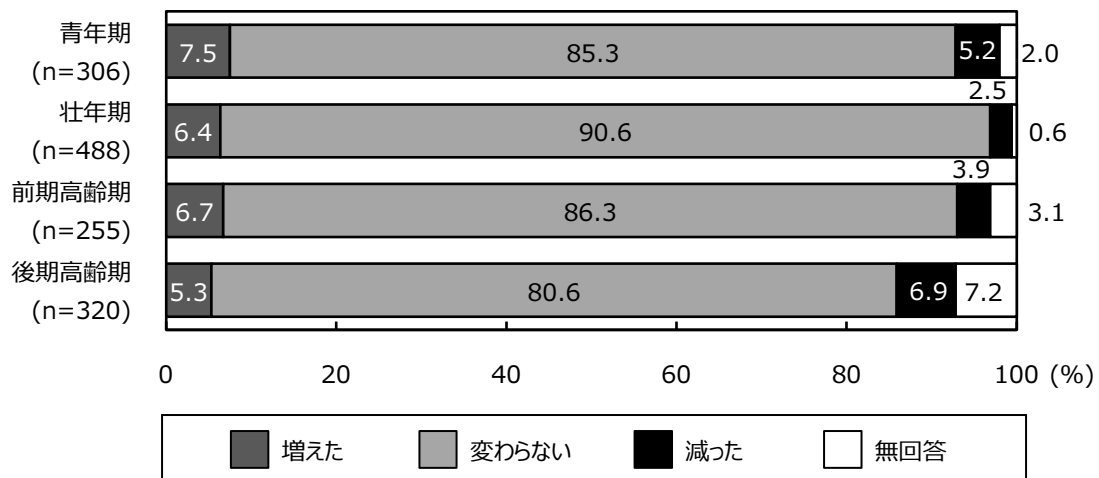
②野菜の摂取

「変わらない」が86.1%と大半を占めています。「増えた」は6.5%、「減った」は4.4%となっています。



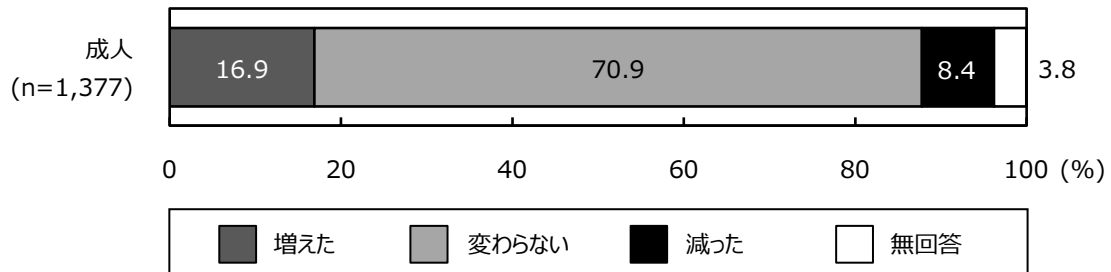
【野菜摂取に対する変化（ライフステージ別）】

どの世代も「変わらない」が大半を占めており、「増えた」、「減った」は10%未満となっています。



③間食の回数

「変わらない」が70.9%と最も高くなっています。「増えた」は16.9%、「減った」は8.4%となっています。

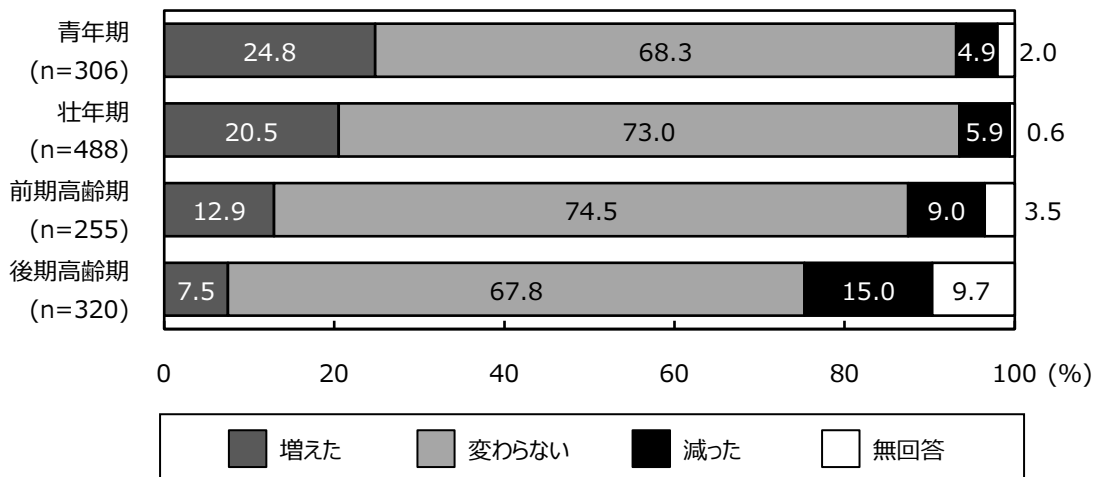


【間食の回数の変化（ライフステージ別）】

どの世代も「変わらない」が最も高くなっています。

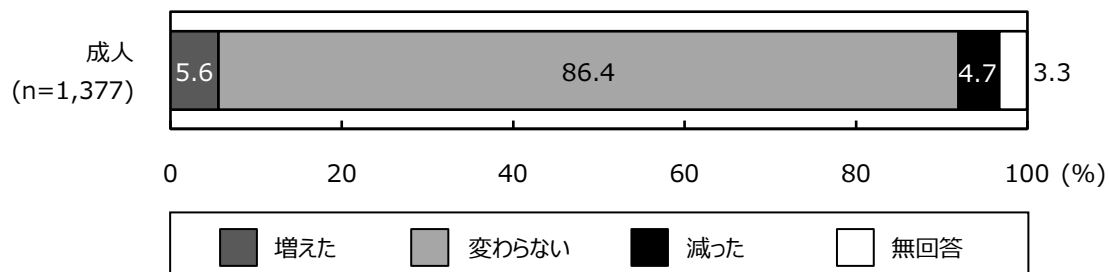
「増えた」については世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では24.8%、壮年期では20.5%、前期高齢期では12.9%、後期高齢期では7.5%となっています。

「増えた」と「減った」を比べると、青年期から前期高齢期までは「増えた」の方が高く、後期高齢期では「減った」の方が高くなっています。



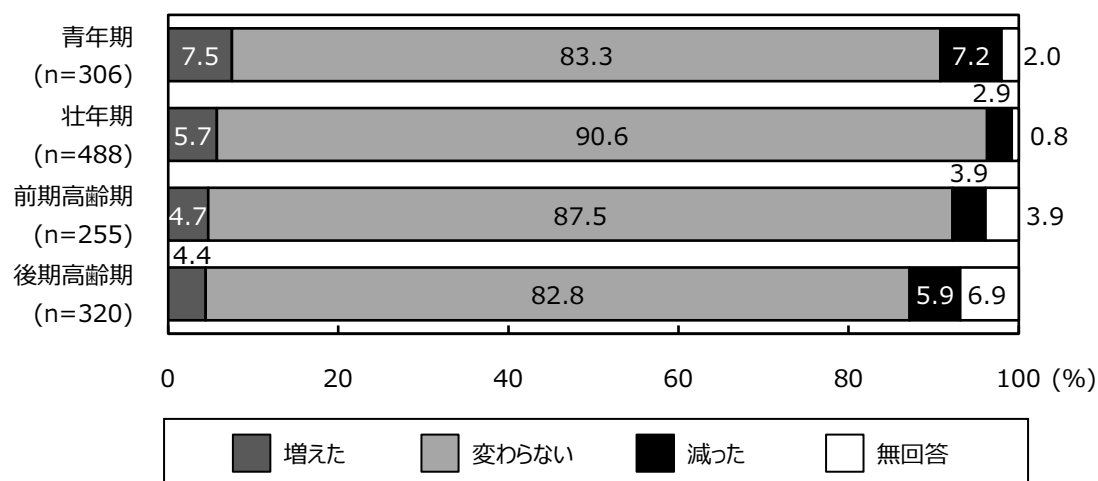
④規則正しい食生活

「変わらない」が86.4%と大半を占めています。「増えた」は5.6%、「減った」は4.7%となっています。



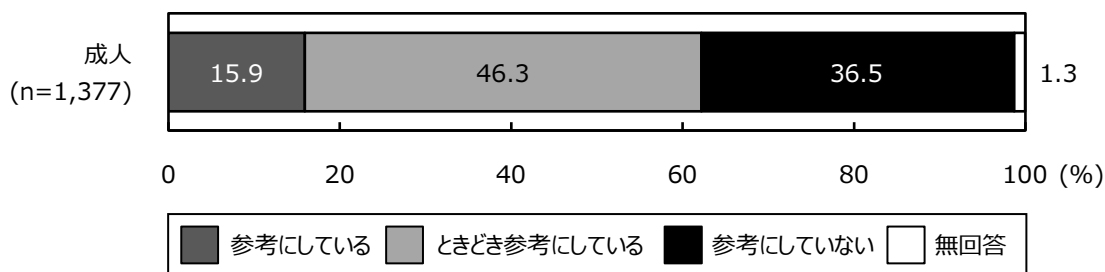
【規則正しい食生活に対する変化（ライフステージ別）】

どの世代も「変わらない」が大半を占めており、「増えた」、「減った」は10%未満となっています。



問17 加工食品や外食の栄養成分表示（カロリーなどの表示）を参考にしていますか。
（単数回答）

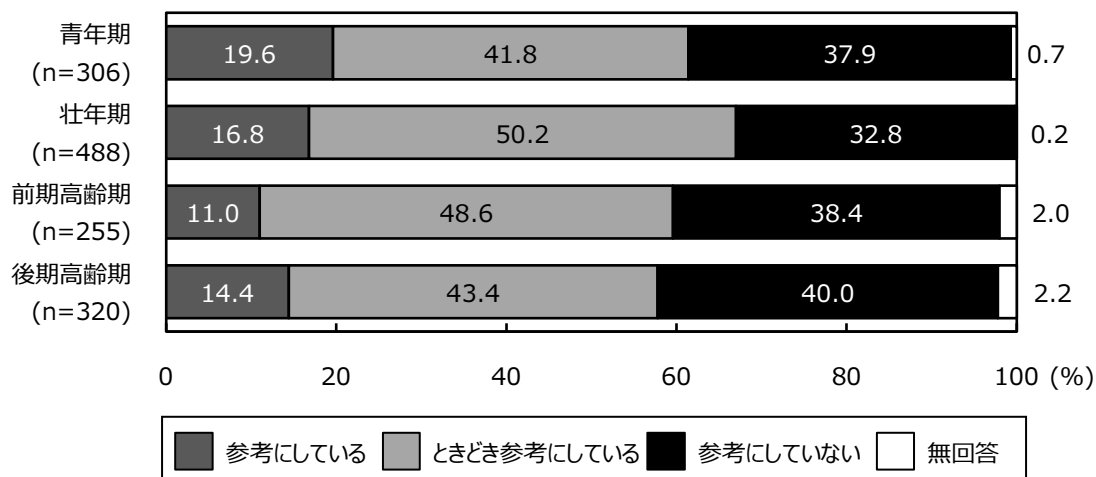
「ときどき参考にしている」が46.3%と最も高く、次いで、「参考にしていない」が36.5%、「参考にしている」が15.9%となっており、『参考にしている』（「参考にしている」+「ときどき参考にしている」）については62.2%となっています。



【栄養成分表示を参考にしているか（ライフステージ別）】

どの世代も「ときどき参考にしている」が最も高くなっています。

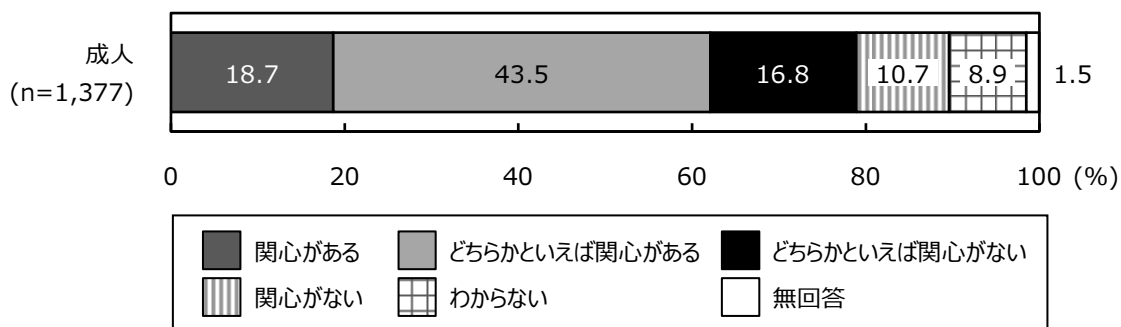
『参考にしている』については、青年期では61.4%、壮年期では67.0%、前期高齢期では59.6%、後期高齢期では57.8%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



問 18 「食育」に関心がありますか。(単数回答)

「どちらかといえば関心がある」が43.5%と最も高く、次いで、「関心がある」が18.7%、「どちらかといえば関心がない」が16.8%となっています。

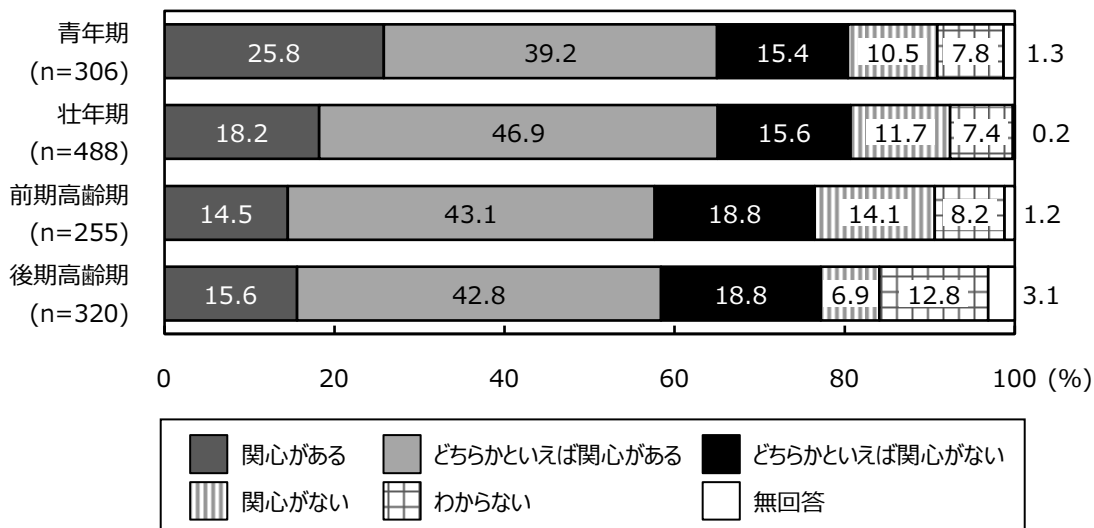
『関心がある』（「関心がある」＋「どちらかといえば関心がある」）については62.2%、『関心がない』（「関心がない」＋「どちらかといえば関心がない」）については27.5%と、『関心がある』の方が高くなっています。



【食育に対する関心度（ライフステージ別）】

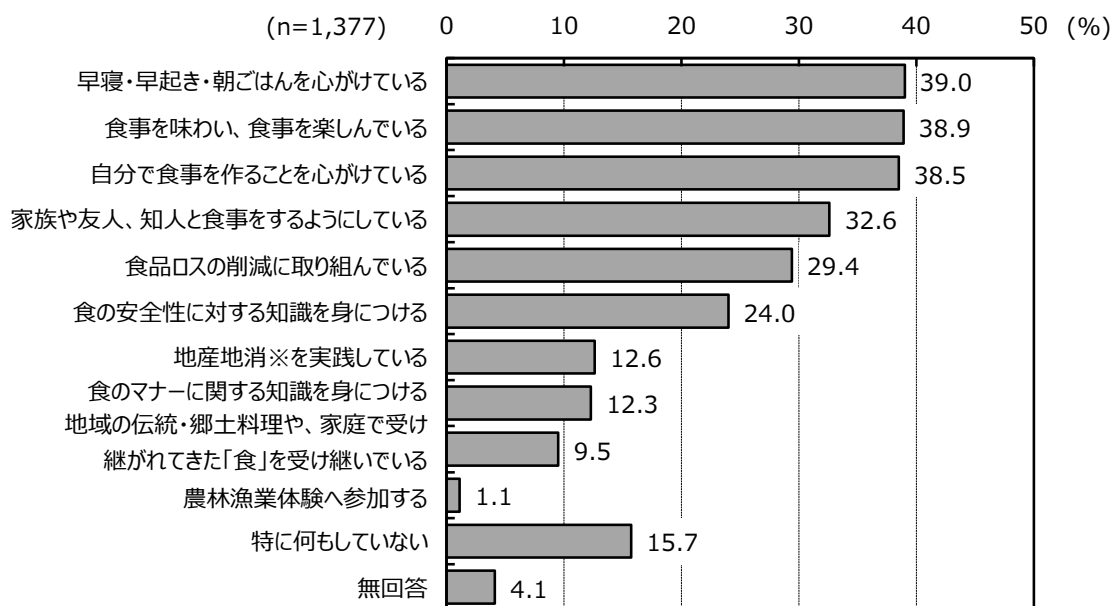
どの世代も「どちらかといえば関心がある」が最も高くなっています。

『関心がある』については、青年期では65.0%、壮年期では65.1%、前期高齢期では57.6%、後期高齢期では58.4%と、青年期、壮年期での割合が高くなっています。



問19 普段「食育」を実践していますか。行っていることをお答えください。（複数回答）

「早寝・早起き・朝ごはんを心がけている」が39.0%と最も高く、次いで、「食事を味わい、食事を楽しんでいる」が38.9%、「自分で食事を作ることを心がけている」が38.5%となっています。



※地産地消：地元の農林水産物を意識して買う・消費すること。

【実践している食育（ライフステージ別）】

青年期では「家族や友人、知人と食事をするようにしている」（45.4%）、「食事を味わい、食事を楽しんでいる」（39.2%）、「自分で食事を作ることを心がけている」（37.9%）の順、壮年期では「食事を味わい、食事を楽しんでいる」（38.1%）、「自分で食事を作ることを心がけている」（37.9%）、「早寝・早起き・朝ごはんを心がけている」（36.5%）の順で高くなっています。

前期高齢期以降では「早寝・早起き・朝ごはんを心がけている」が最も高くなっています（前期高齢期：43.1%、後期高齢期：45.6%）。そのほかは「食事を味わい、食事を楽しんでいる」（前期高齢期：38.8%、後期高齢期：40.6%）、「自分で食事を作ることを心がけている」（前期高齢期：37.6%、後期高齢期：40.9%）が高くなっています。

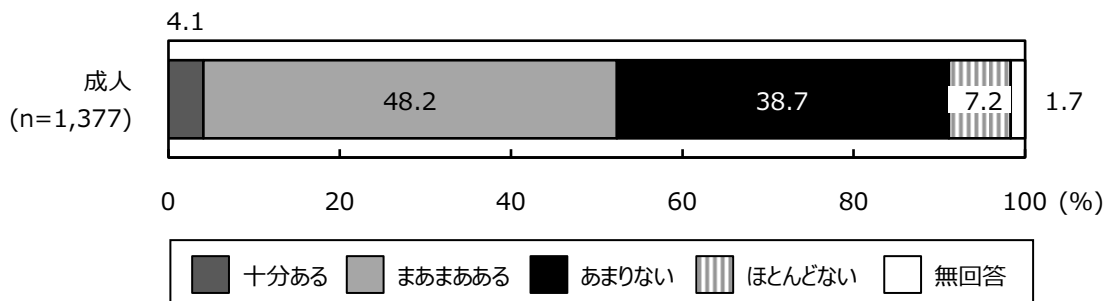
「早寝・早起き・朝ごはんを心がけている」については世代が上がるほど割合が高くなっています。

	（%）											
	早寝・早起き・朝ごはんを心がけている	食事を味わい、食事を楽しんでいる	自分で食事を作ることを心がけている	家族や友人、知人と食事をするようにしている	食品ロスの削減に取り組んでいる	食の安全性に対する知識を身につける	地産地消※を実践している	食のマナーに関する知識を身につける	地域の伝統・郷土料理や、家庭で受け継がれてきた「食」を受け継いでいる	農林漁業体験へ参加する	特に何もしていない	無回答
青年期 (n=306)	33.7	39.2	37.9	45.4	23.2	19.0	9.5	22.5	12.4	1.6	15.0	1.6
壮年期 (n=488)	36.5	38.1	37.9	30.7	31.6	24.6	14.5	13.9	9.2	1.2	16.8	1.0
前期高齢期 (n=255)	43.1	38.8	37.6	27.5	31.0	26.7	11.8	3.9	6.3	0.4	18.0	3.9
後期高齢期 (n=320)	45.6	40.6	40.9	28.1	31.3	25.6	12.8	6.9	10.0	0.9	12.8	10.3

※地産地消：地元の農林水産物を意識して買う・消費すること。

問 20 食品の安全に関する知識を持っていますか。(単数回答)

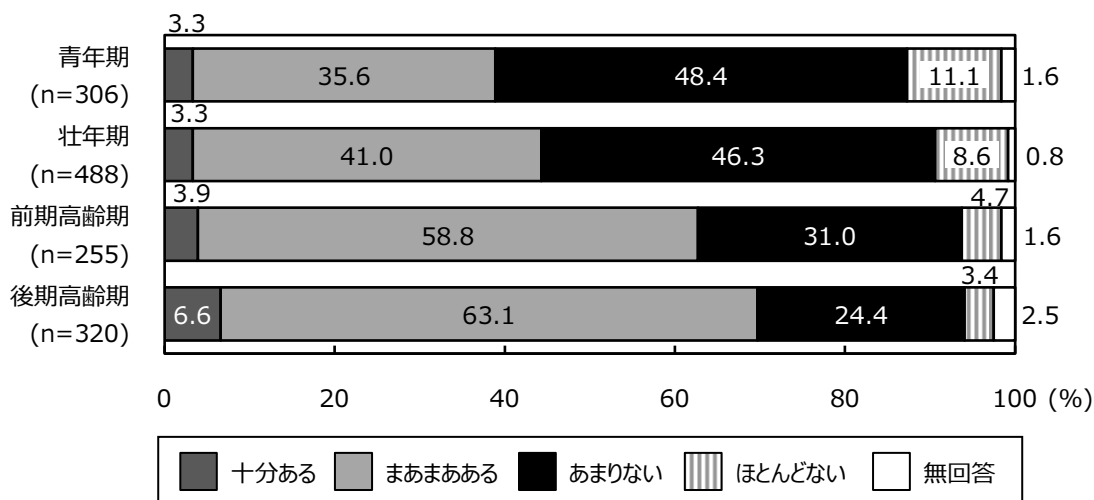
「まあまあある」が48.2%と最も高く、次いで、「あまりない」が38.7%となっています。
『ある』（「十分ある」+「まあまあある」）については52.3%、『ない』（「ほとんどない」+「あまりない」）については45.9%と、『ある』の方が高くなっています。



【食の安全に関する知識の有無（ライフステージ別）】

壮年期までは「あまりない」が最も高くなっていますが、前期高齢期以降では「まあまあある」が最も高くなっています。

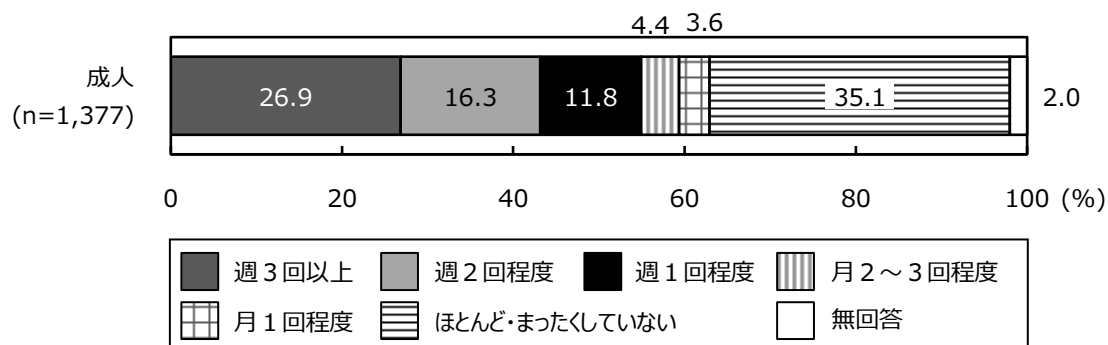
『ある』については世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では38.9%、壮年期では44.3%、前期高齢期では62.7%、後期高齢期では69.7%と、特に壮年期から前期高齢期にかけての増加が大きくなっています。



(4) 身体活動・運動について

問 21 1回30分程度の運動をどのくらいの頻度で実施していますか。(単数回答)

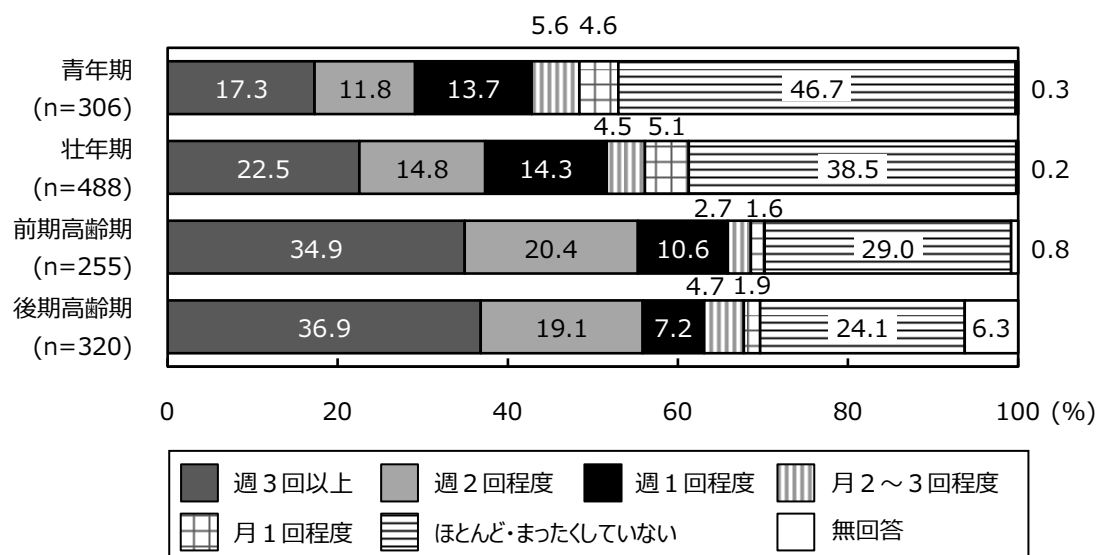
「ほとんど・まったくしていない」が35.1%と最も高く、次いで、「週3回以上」が26.9%、「週2回程度」が16.3%となっています。



【運動の頻度 (ライフステージ別)】

壮年期までは「ほとんど・まったくしていない」が最も高くなっていますが、前期高齢期以降では「週3回以上」が最も高くなっています。

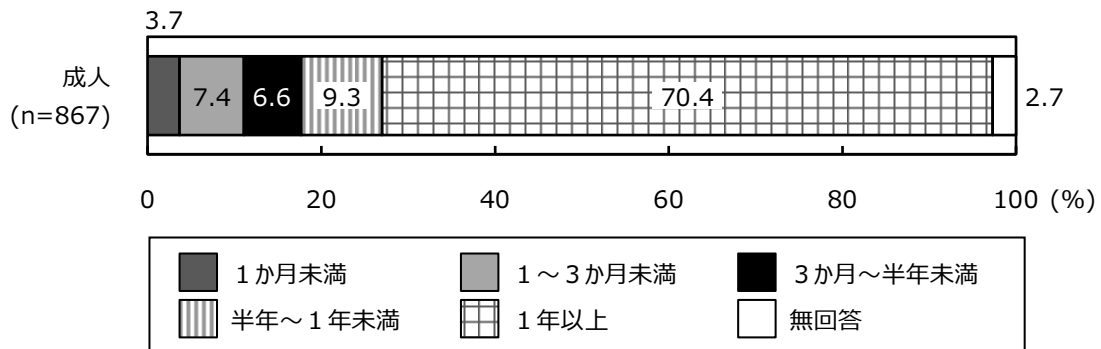
『週2回以上』については世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では29.1%、壮年期では37.3%、前期高齢期では55.3%、後期高齢期では56.0%と、特に壮年期から前期高齢期にかけての増加が大きくなっています。



問22 どのくらい継続していますか。(単数回答)

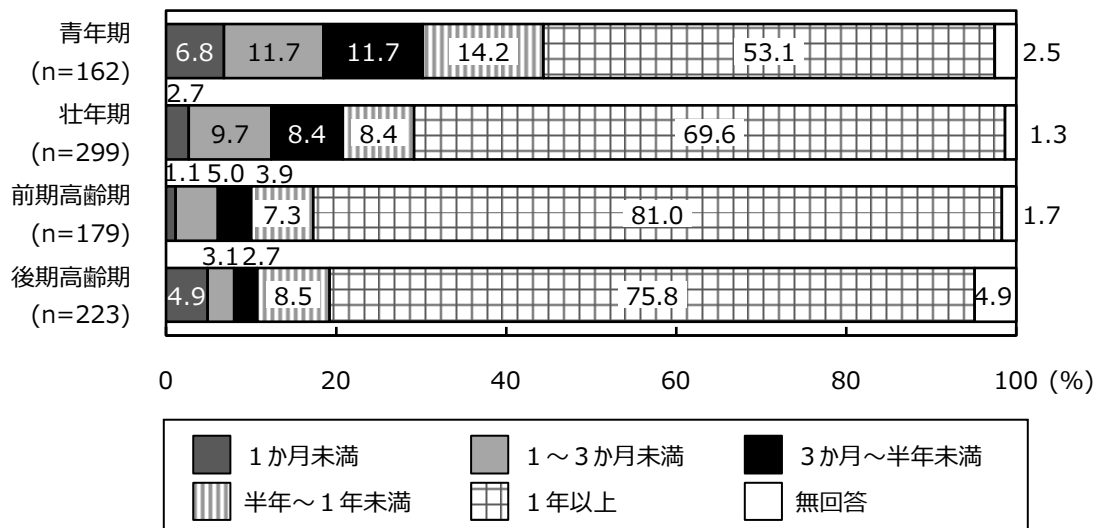
《問21で「週3回以上」、「週2回程度」、「週1回程度」、「月2～3回程度」、「月1回程度」と回答した人が対象》

「1年以上」が70.4%と最も高くなっています。次いで、「半年～1年未満」、「1～3か月未満」の順で高くなっていますが、いずれも10%未満となっています。



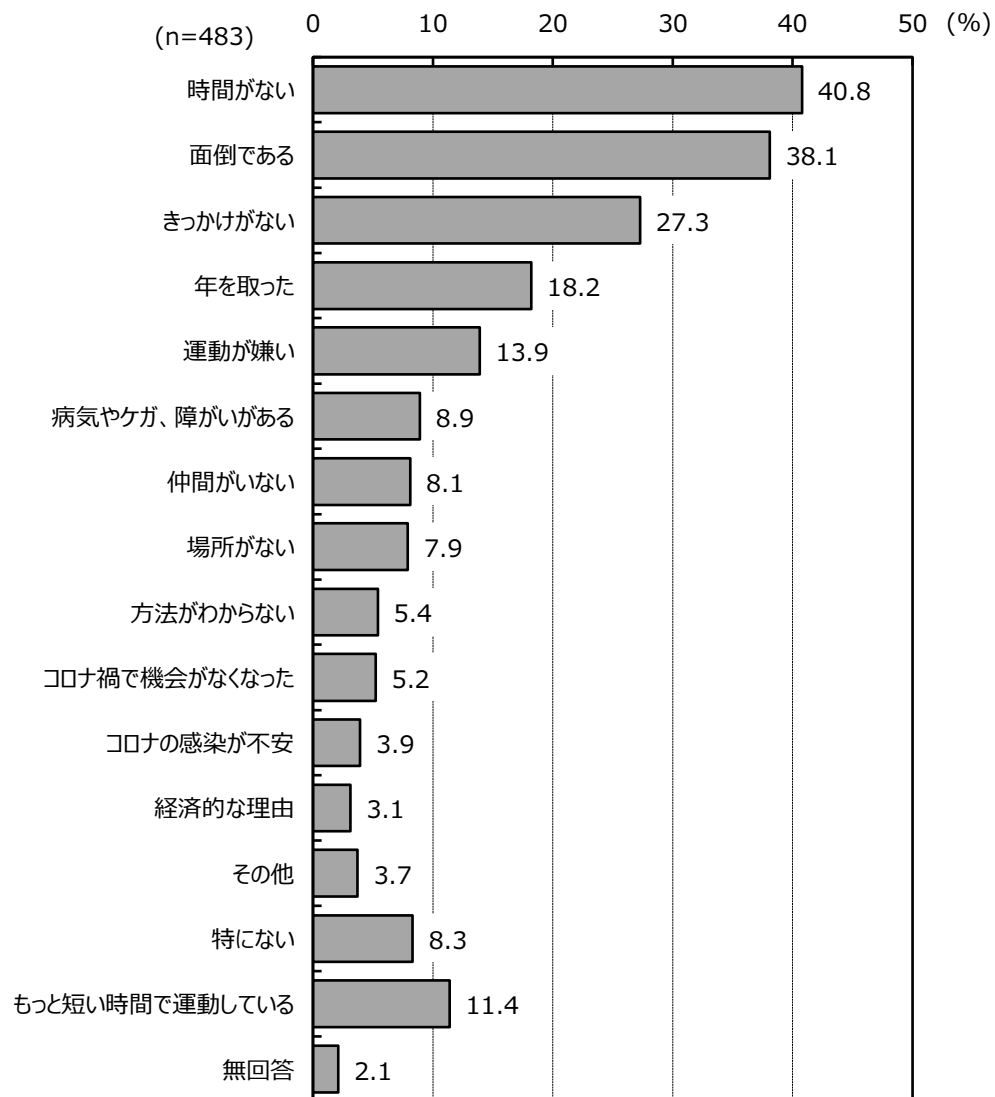
【運動の継続期間 (ライフステージ別)】

どの世代も「1年以上」が最も高くなっていますが、青年期では53.1%、壮年期では69.6%、前期高齢期では81.0%、後期高齢期では75.8%と、前期高齢期での割合が最も高くなっています。



問 23 その理由は何ですか。(複数回答)
 《問 21 で「ほとんど・まったくしていない」と回答した人が対象》

「時間がない」が40.8%と最も高く、次いで、「面倒である」が38.1%、「きっかけがない」が27.3%となっています。



【運動をしていない理由（ライフステージ別）】

壮年期までは「時間がない」（青年期：62.2%、壮年期：47.9%）、「面倒である」（青年期：45.5%、壮年期：44.1%）、「きっかけがない」（青年期：35.0%、壮年期：33.5%）の順、前期高齢期では「面倒である」（31.1%）、「年を取った」（21.6%）、「病気やケガ、障がいがある」（20.3%）の順で高くなっています。

後期高齢期については「年を取った」（50.6%）が最も高く、50%以上を占めています。次に割合が高いものをみると、「もっと短い時間で運動している」（18.2%）となっていますが、割合は10%台となっています。

全体の上位3位であった「時間がない」、「面倒である」、「きっかけがない」については世代が下がるほど割合が高くなっています。

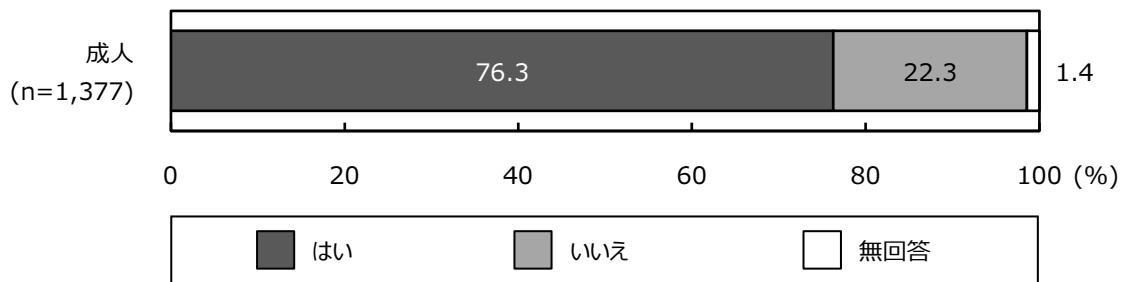
(%)

	時間がない	面倒である	きっかけがない	年を取った	運動が嫌い	病気やケガ、障がいがある	仲間がいない	場所がない	方法がわからない	コロナ禍で機会がなくなった
青年期 (n=143)	62.2	45.5	35.0	3.5	16.8	2.1	11.2	11.9	8.4	4.2
壮年期 (n=188)	47.9	44.1	33.5	14.9	17.0	6.9	8.5	8.5	6.4	4.3
前期高齢期 (n=74)	14.9	31.1	18.9	21.6	12.2	20.3	5.4	4.1	1.4	8.1
後期高齢期 (n=77)	7.8	15.6	6.5	50.6	2.6	15.6	3.9	2.6	1.3	6.5

	コロナの感染が不安	経済的な理由	その他	特にない	もっと短い時間で運動している	無回答
青年期 (n=143)	0.7	4.9	3.5	2.1	9.8	0.7
壮年期 (n=188)	3.7	3.2	2.7	6.9	10.1	0.0
前期高齢期 (n=74)	9.5	1.4	6.8	16.2	10.8	4.1
後期高齢期 (n=77)	5.2	1.3	3.9	15.6	18.2	7.8

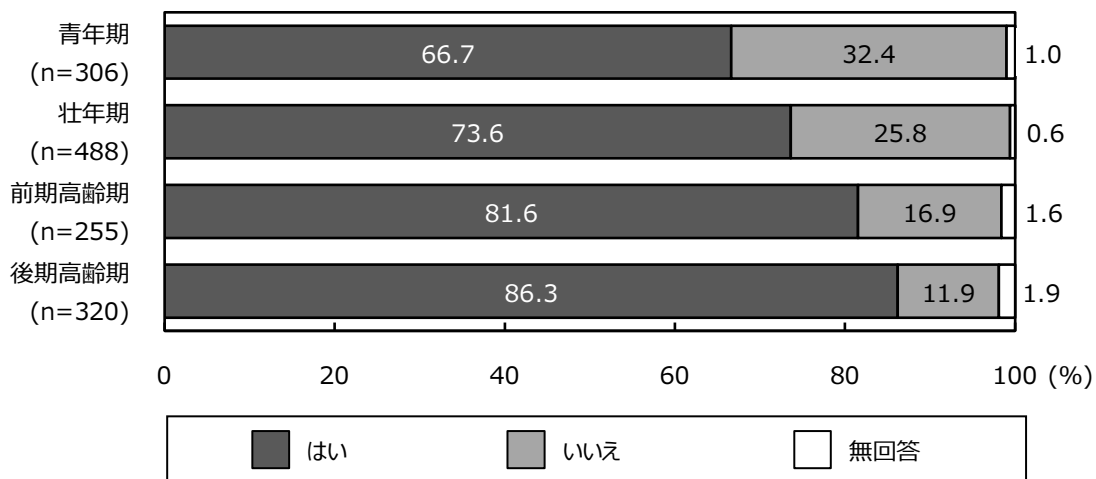
問 24 日常的に動くようにしていますか。(単数回答)

「はい」が76.3%、「いいえ」が22.3%と、「はい」の方が高くなっています。



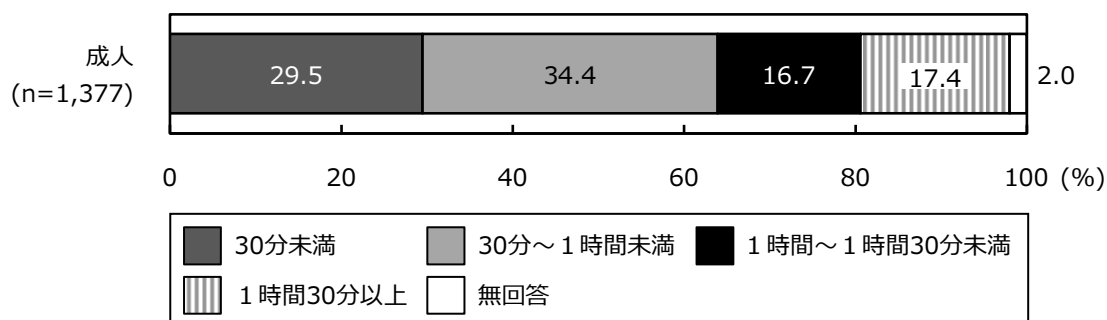
【日常的に動くようにしているか (ライフステージ別)】

どの世代も「はい」の方が高くなっていますが、世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では66.7%、壮年期では73.6%、前期高齢期では81.6%、後期高齢期では86.3%となっています。



問 25 日常生活（仕事や家事を含む）において、1日あたり何分ぐらい歩いていますか。
 （単数回答）
 ※10分歩くと約700m、1000歩程度として計算

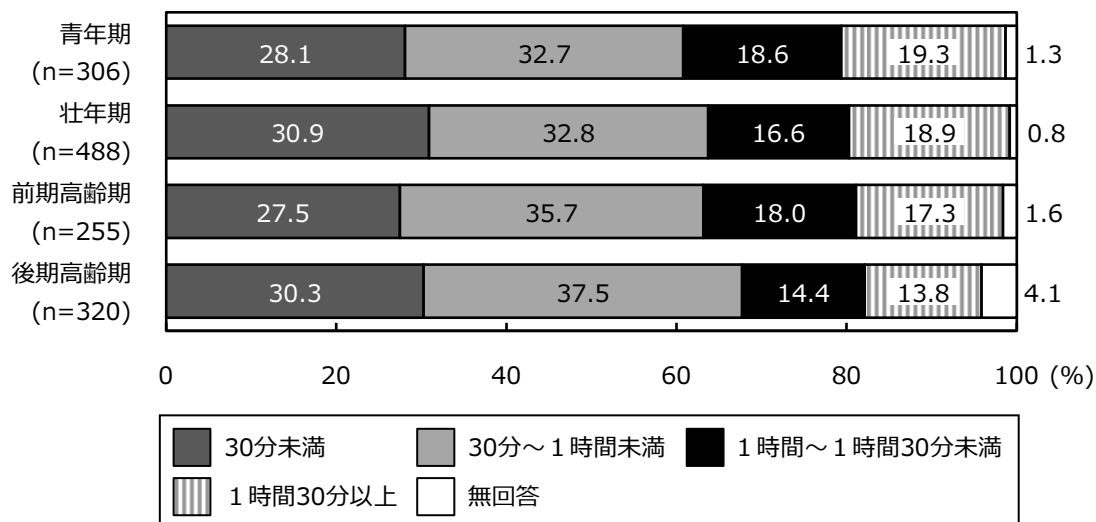
「30分～1時間未満」が34.4%と最も高く、次いで、「30分未満」が29.5%、「1時間30分以上」が17.4%となっています。



【1日の歩行時間（ライフステージ別）】

どの世代も「30分～1時間未満」が最も高くなっています。

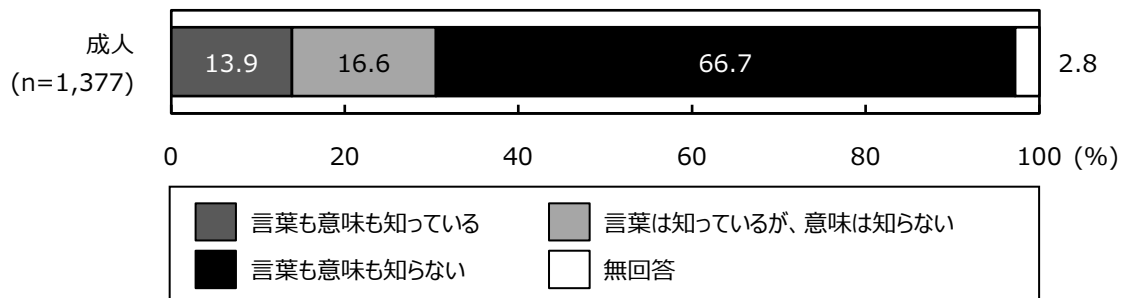
「1時間30分以上」については世代が上がるほど割合が低くなり、青年期では19.3%、壮年期では18.9%、前期高齢期では17.3%、後期高齢期では13.8%となっています。



問 26 ロコモティブシンドローム、フレイルという言葉を知っていますか。(単数回答)

①ロコモティブシンドローム

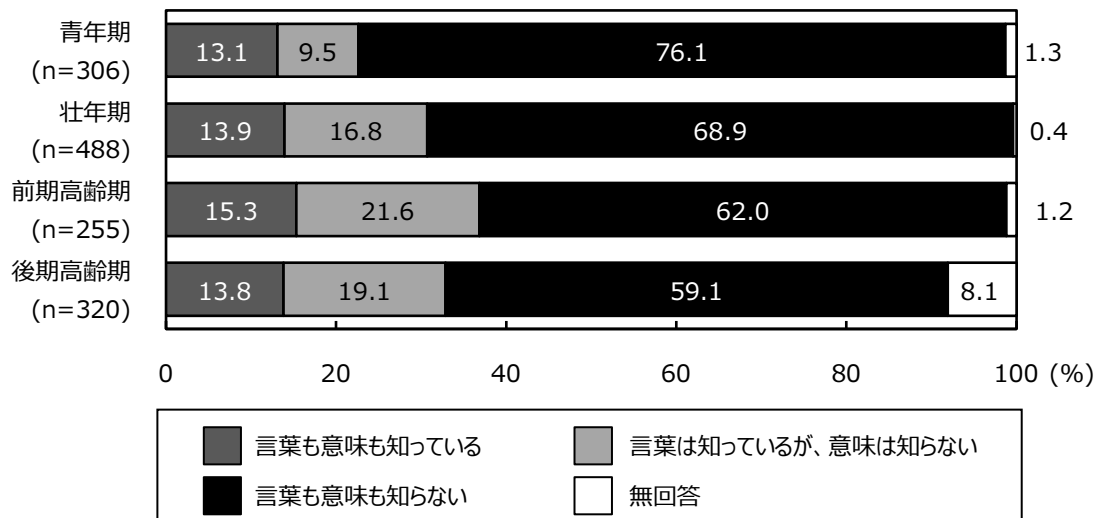
「言葉も意味も知らない」が66.7%と最も高く、次いで、「言葉は知っているが、意味は知らない」が16.6%、「言葉も意味も知っている」が13.9%となっています。



【ロコモティブシンドロームという言葉の認知度 (ライフステージ別)】

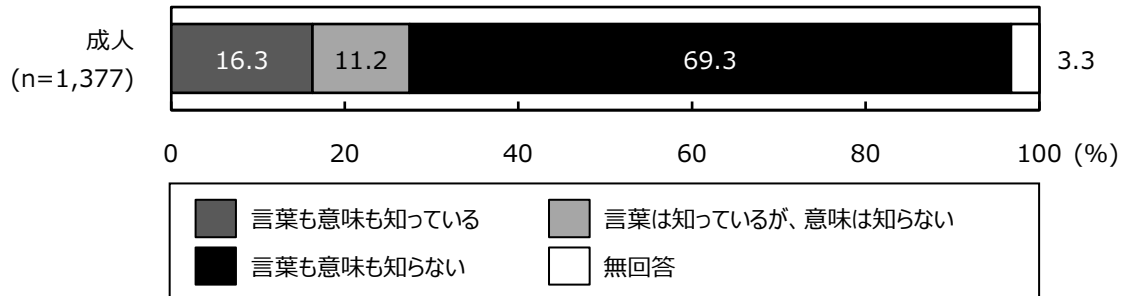
どの世代も「言葉も意味も知らない」が最も高くなっています。

「言葉も意味も知っている」については、青年期では13.1%、壮年期では13.9%、前期高齢期では15.3%、後期高齢期では13.8%と、前期高齢期での割合が最も高くなっています。



②フレイル

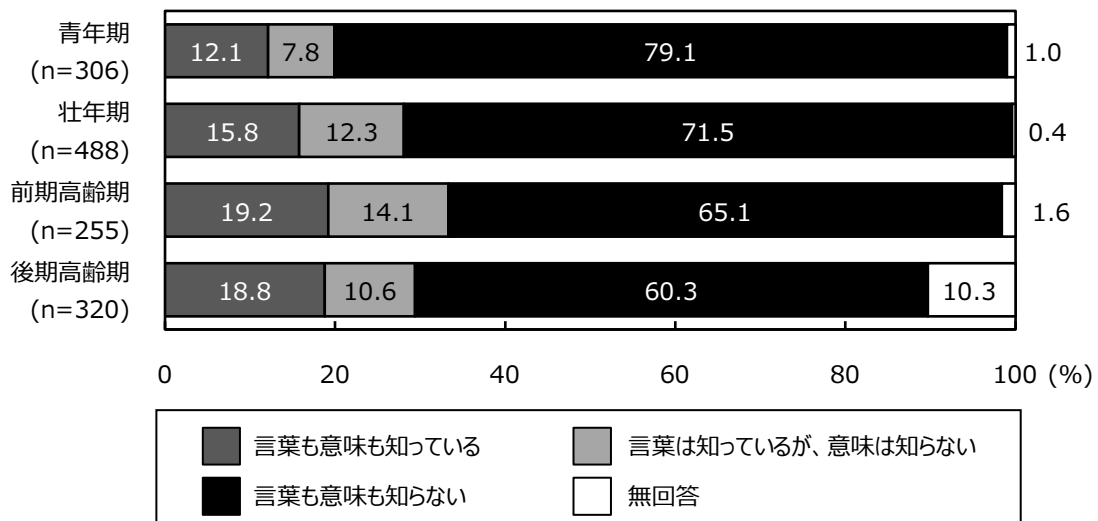
「言葉も意味も知らない」が69.3%と最も高く、次いで、「言葉も意味も知っている」が16.3%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が11.2%となっています。



【フレイルという言葉の認知度（ライフステージ別）】

どの世代も「言葉も意味も知らない」が最も高くなっています。

「言葉も意味も知っている」については、青年期では12.1%、壮年期では15.8%、前期高齢期では19.2%、後期高齢期では18.8%と、前期高齢期での割合が最も高くなっています。

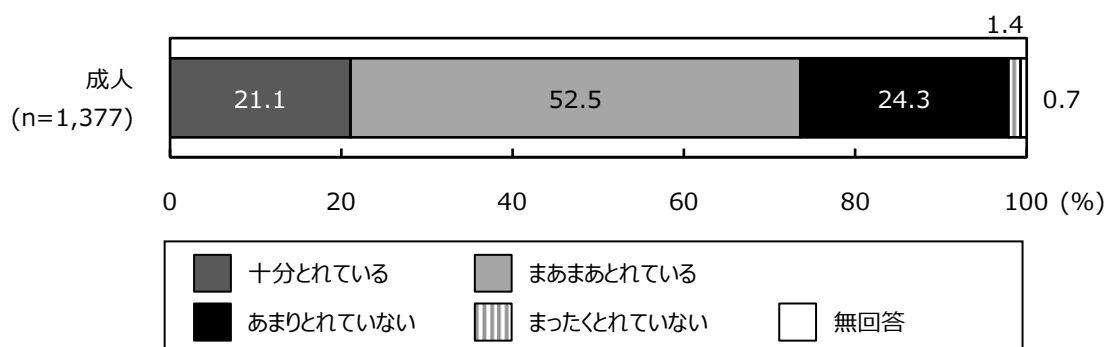


(5) 休養・こころの健康について

問 27 睡眠による休養は、十分とれていますか。(単数回答)

「まあまあとれている」が52.5%と最も高く、次いで、「あまりとれていない」が24.3%、「十分とれている」が21.1%となっています。

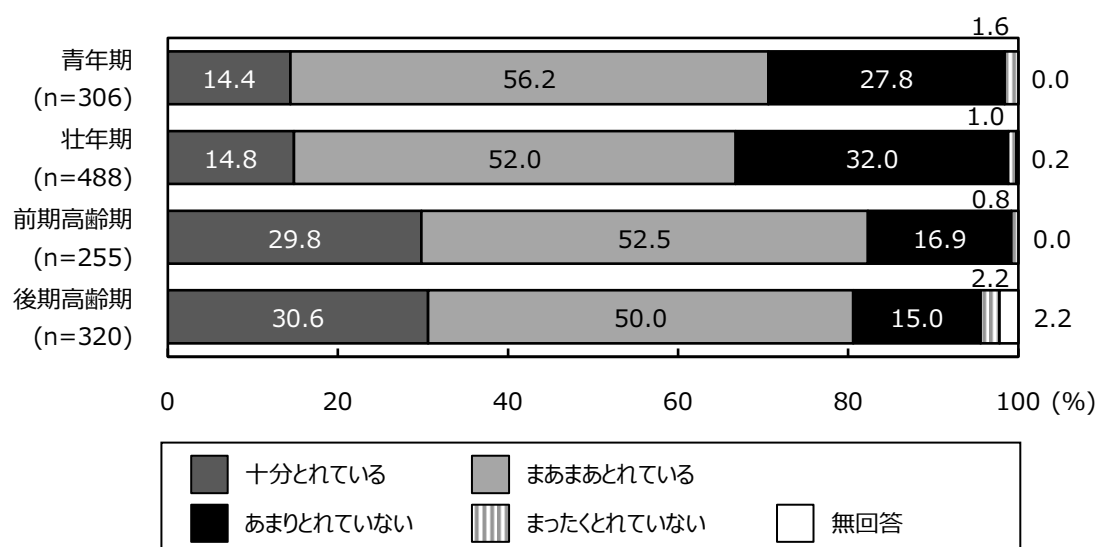
『とれている』（「十分とれている」＋「まあまあとれている」）については73.6%、『とれていない』（「まったくとれていない」＋「あまりとれていない」）については25.7%と、『とれている』の方が高くなっています。



【睡眠による休養の状況（ライフステージ別）】

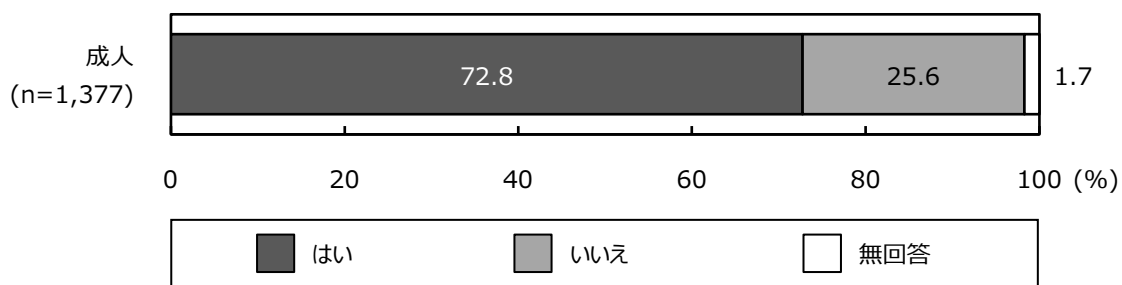
どの世代も「まあまあとれている」が最も高くなっています。

『とれている』については、青年期では70.6%、壮年期では66.8%、前期高齢期では82.3%、後期高齢期では80.6%と、前期高齢期での割合が最も高くなっています。



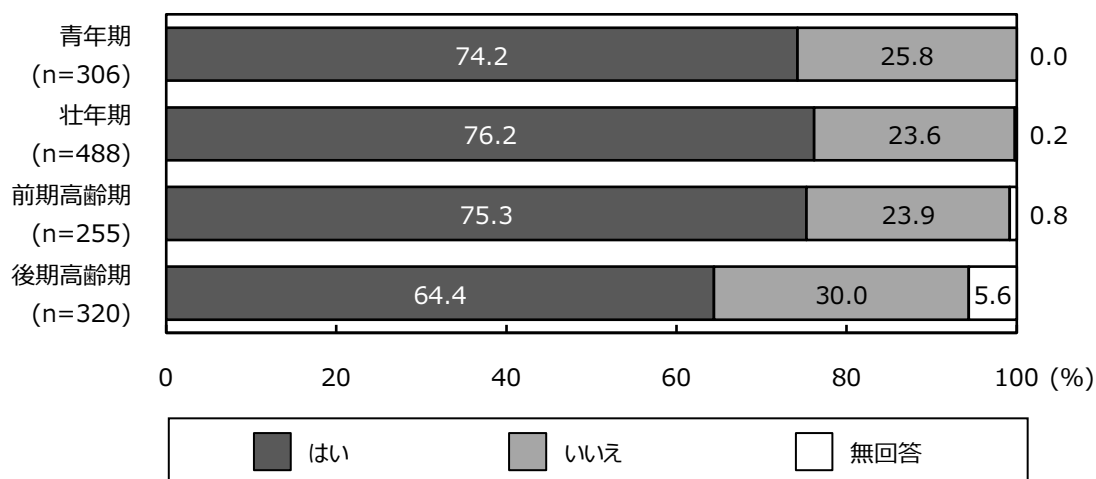
問 28 趣味はありますか。(単数回答)

「はい」が72.8%、「いいえ」が25.6%と、「はい」の方が高くなっています。



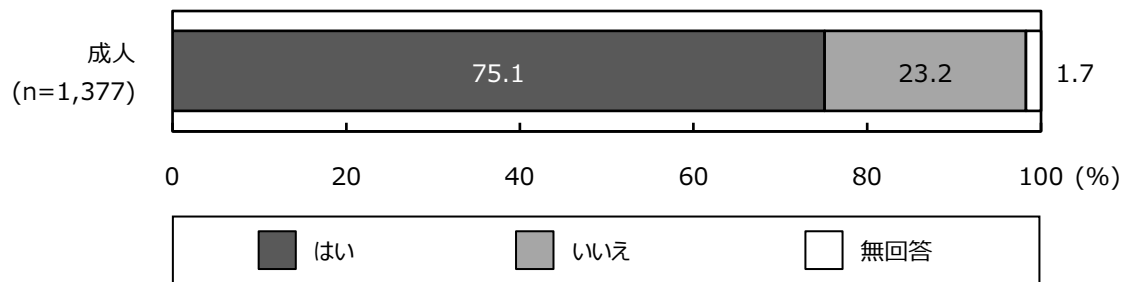
【趣味の有無（ライフステージ別）】

どの世代も「はい」の方が高くなっていますが、青年期では74.2%、壮年期では76.2%、前期高齢期では75.3%、後期高齢期では64.4%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



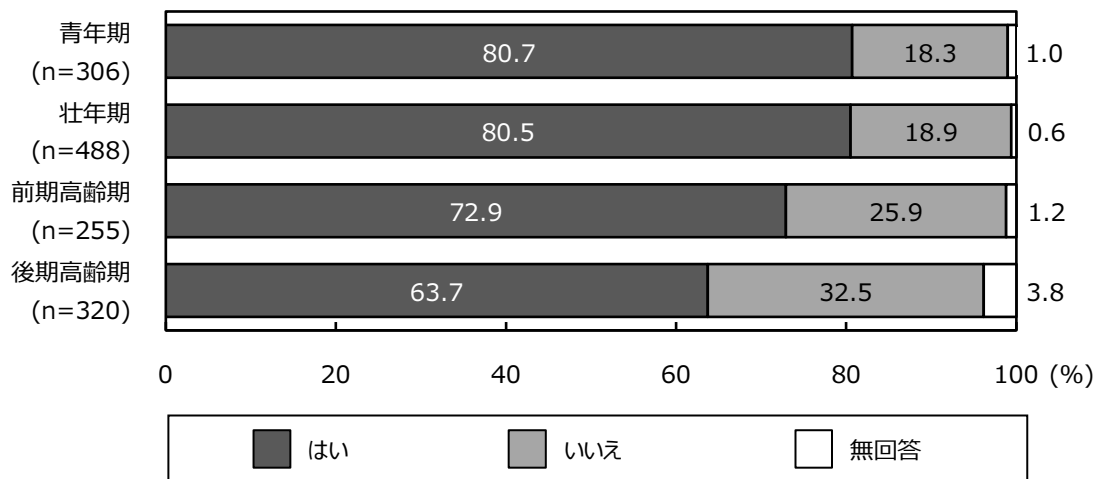
問 29 自分なりのストレス解消法はありますか。(単数回答)

「はい」が75.1%、「いいえ」が23.2%と、「はい」の方が高くなっています。



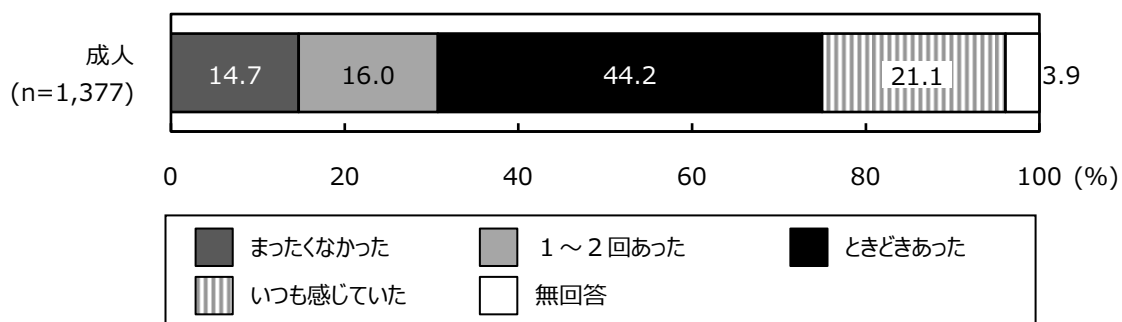
【ストレス解消法の有無 (ライフステージ別)】

どの世代も「はい」の方が高くなっていますが、世代が上がるほど割合が低くなり、青年期では80.7%、壮年期では80.5%、前期高齢期では72.9%、後期高齢期で63.7%となっています。



問 30 この1か月の間に、ストレスを感じたことがありますか。(単数回答)

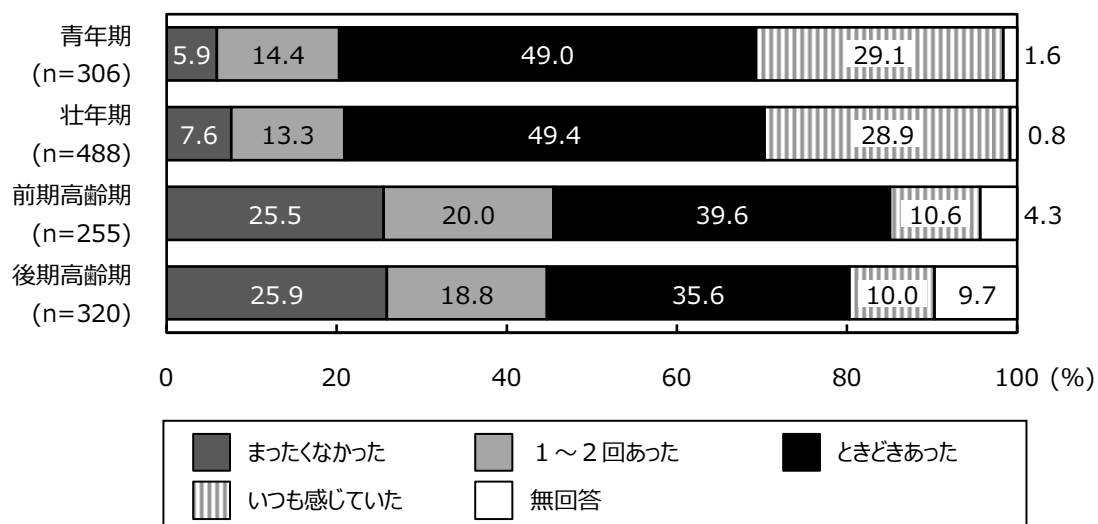
「ときどきあった」が44.2%と最も高く、次いで、「いつも感じていた」が21.1%、「1～2回あった」が16.0%、「まったくなかった」が14.7%となっており、『感じた』(「いつも感じていた」+「ときどきあった」+「1～2回あった」)については81.3%となっています。



【この1か月間のストレスの状況 (ライフステージ別)】

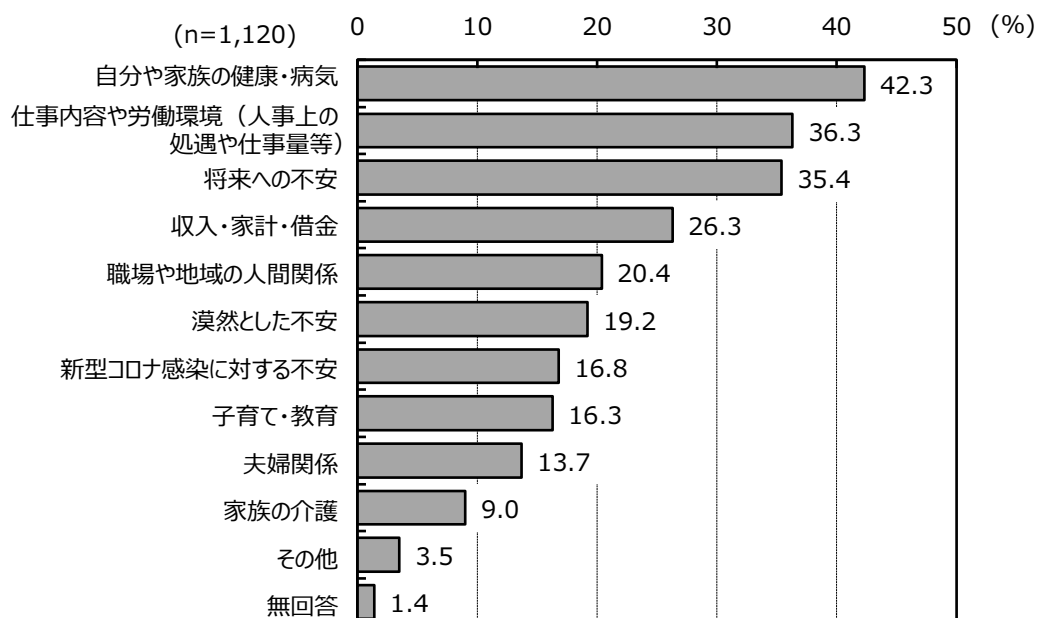
どの世代も「ときどきあった」が最も高くなっています。

『あった』については世代が上がるほど割合が低くなり、青年期では92.5%、壮年期では91.6%、前期高齢期では70.2%、後期高齢期では64.4%と、特に壮年期から前期高齢期にかけての減少が大きくなっています。



問 31 どんなことがストレスになっていますか（いましたか）。（複数回答）
 《問 30 で「1～2回あった」、「ときどきあった」、「いつも感じていた」と回答した人が対象》

「自分や家族の健康・病気」が42.3%と最も高く、次いで、「仕事内容や労働環境（人事上の処遇や仕事量等）」が36.3%、「将来への不安」が35.4%となっています。



【ストレスの内容（ライフステージ別）】

壮年期までは「仕事内容や労働環境（人事上の処遇や仕事量等）」が最も高くなっていますが（青年期：50.2%、壮年期：52.3%）、次に割合が高いものをみると、青年期では「将来への不安」（42.8%）、壮年期では「自分や家族の健康・病気」（37.6%）となっています。

前期高齢期以降については、「自分や家族の健康・病気」（前期高齢期：56.4%、後期高齢期：60.2%）、「将来への不安」（前期高齢期：26.3%、後期高齢期：37.4%）の順で高くなっています。

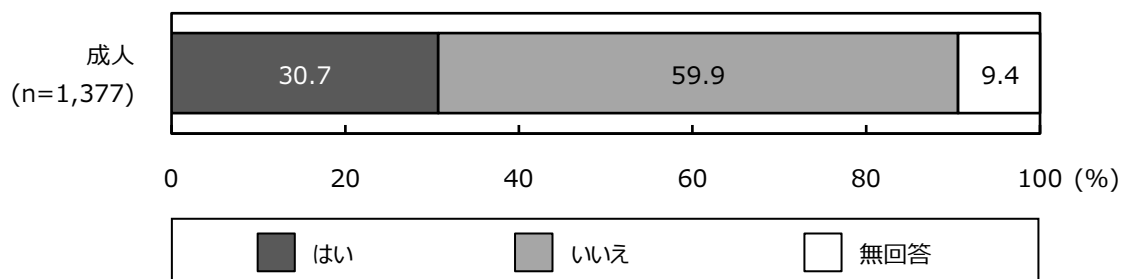
「自分や家族の健康・病気」については世代が上がるほど割合が高くなっています。そのほか、割合はさほど高くないものの、「新型コロナウイルスに対する不安」についても世代が上がるほど割合が高くなっています。一方、全体の上位4位であった「収入・家計・借金」については、前期高齢期以降では割合が低いのに対し、青年期、壮年期では割合が高くなっています。

(%)

	自分や家族の健康・病気	仕事内容や労働環境（人事上の処遇や仕事量等）	将来への不安	収入・家計・借金	職場や地域の人間関係	漠然とした不安	新型コロナウイルスに対する不安	子育て・教育	夫婦関係	家族の介護	その他	無回答
青年期 (n=283)	27.6	50.2	42.8	35.0	27.2	20.5	10.2	30.7	13.1	3.2	3.9	0.7
壮年期 (n=447)	37.6	52.3	33.8	29.3	26.6	14.3	14.5	20.4	13.0	12.3	2.7	0.7
前期高齢期 (n=179)	56.4	14.0	26.3	20.1	13.4	21.2	23.5	2.2	17.3	10.6	5.0	2.2
後期高齢期 (n=206)	60.2	1.9	37.4	13.6	3.4	26.7	25.2	0.5	13.1	8.3	3.4	3.4

問 32 そのストレスが大きくて逃げ出したいと思うことがありますか（ありましたか）。
 （単数回答）
 《問 30 で「1～2回あった」、「ときどきあった」、「いつも感じていた」と回答した人が対象》

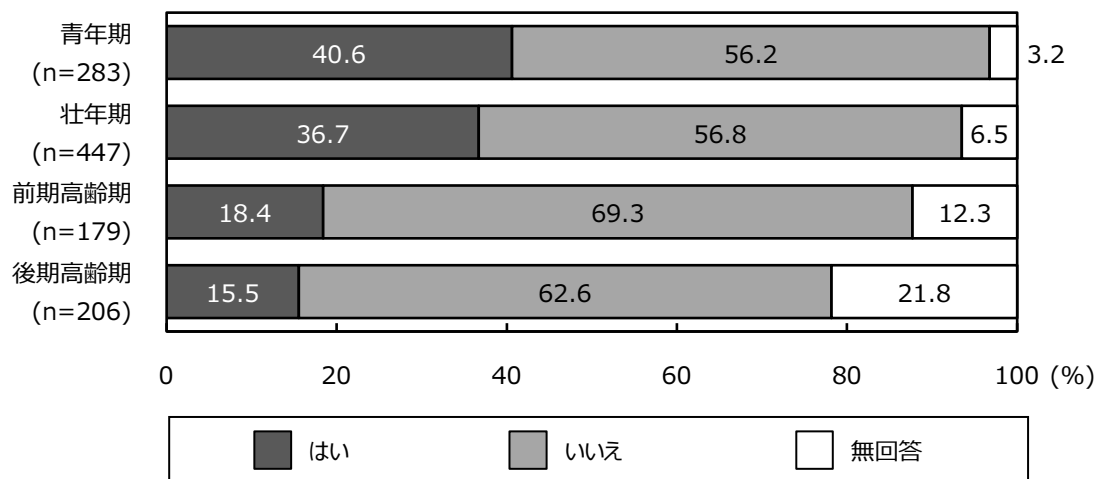
「はい」が 30.7%、「いいえ」が 59.9%と、「いいえ」の方が高くなっています。



【ストレスが大きくて逃げだしたいと思うことがあったか（ライフステージ別）】

どの世代も「いいえ」の方が高くなっています。

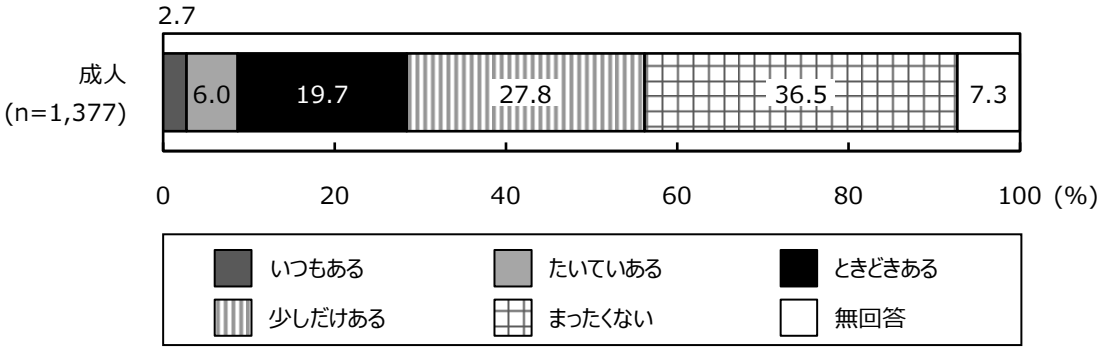
「はい」については世代が上がるほど割合が低くなり、青年期では 40.6%、壮年期では 36.7%、前期高齢期では 18.4%、後期高齢期では 15.5%と、特に壮年期から前期高齢期にかけての減少が大きくなっています。



問 33 この1か月、①から⑥のことがどのくらいありましたか。(項目ごとに単数回答)

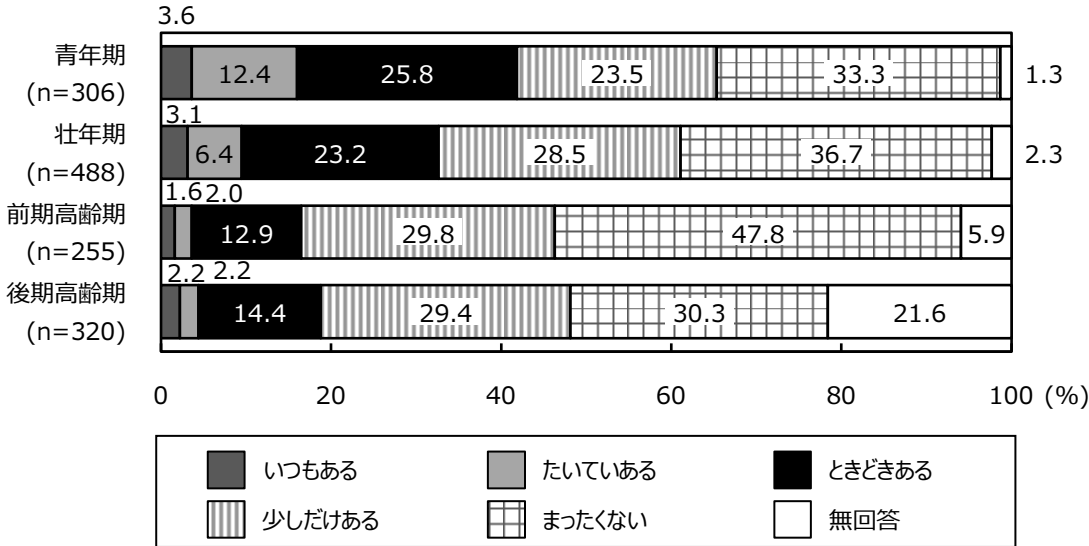
①気分が沈み、何が起っても気が晴れないと感じた

「まったくない」が36.5%と最も高く、次いで、「少しだけある」が27.8%、「ときどきある」が19.7%となっており、『よくある』（「いつもある」＋「たいていある」）については8.7%、『ある』（「いつもある」＋「たいていある」＋「ときどきある」＋「少しだけある」）については56.2%となっています。



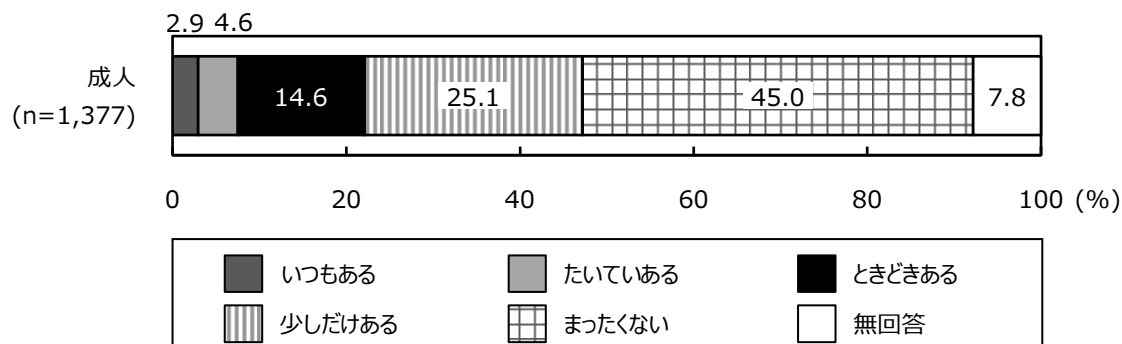
【気分が沈み、何が起っても気が晴れないと感じたことがあるか（ライフステージ別）】

どの世代も「まったくない」が最も高くなっています。『ある』については世代が上がるほど割合が低くなり、青年期では65.3%、壮年期では61.2%、前期高齢期では46.3%、後期高齢期では48.2%と、特に壮年期から前期高齢期にかけての減少が大きくなっています。



②神経過敏に感じた

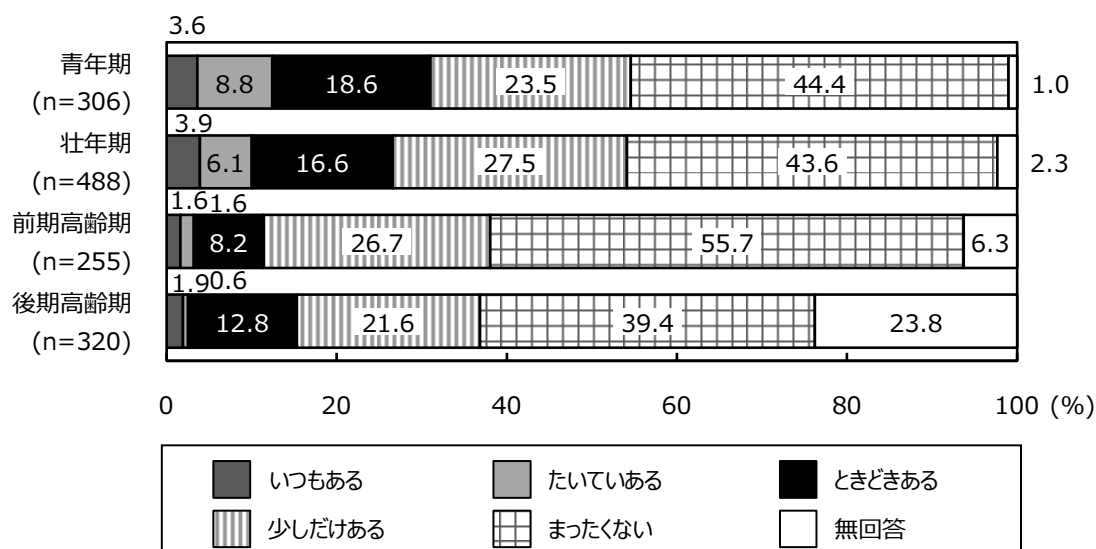
「まったくない」が45.0%と最も高く、次いで、「少しだけある」が25.1%、「ときどきある」が14.6%となっており、『よくある』については7.5%、『ある』については47.2%となっています。



【神経過敏に感じたことがあるか（ライフステージ別）】

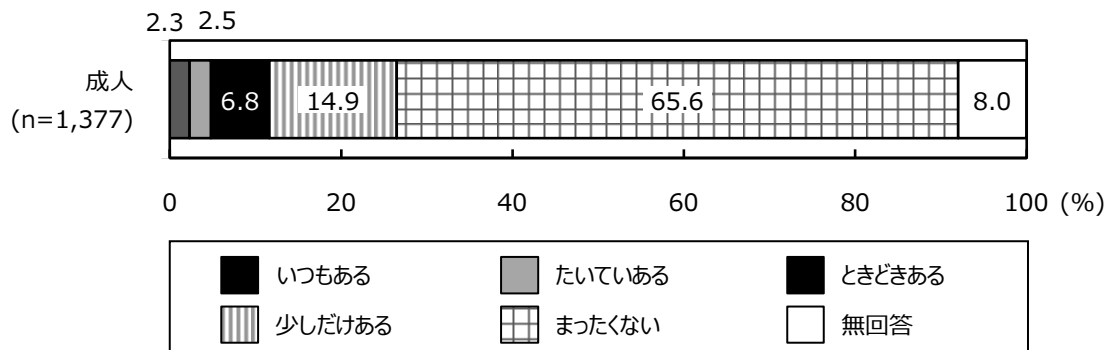
どの世代も「まったくない」が最も高くなっています。

『ある』については世代が上がるほど割合が低くなり、青年期では54.5%、壮年期では54.1%、前期高齢期では38.1%、後期高齢期では36.9%と、特に壮年期から前期高齢期にかけての減少が大きくなっています。



③絶望的だと感じた

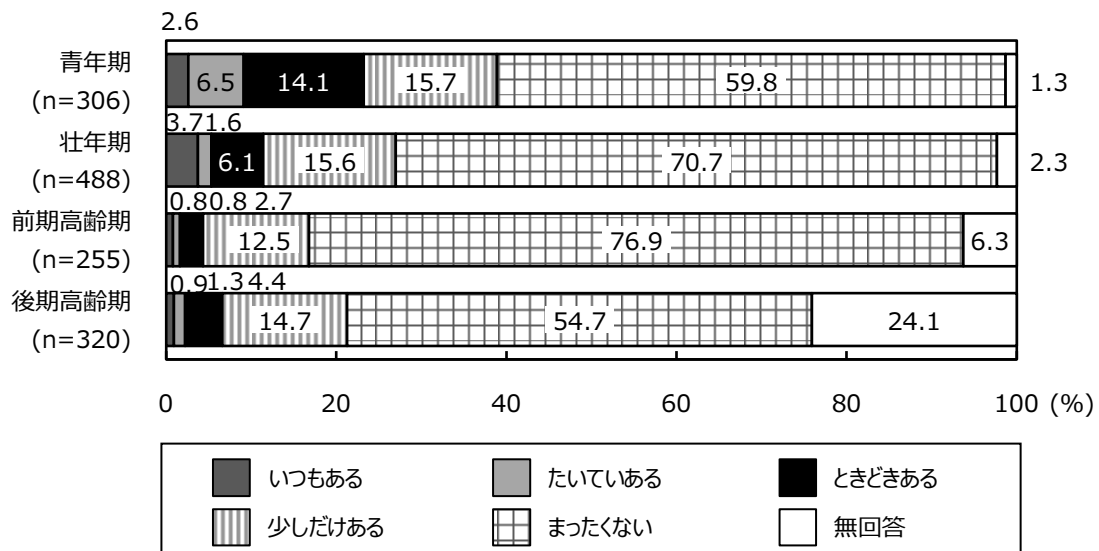
「まったくない」が65.6%と最も高く、次いで、「少しだけある」が14.9%となっており、『よくある』については4.8%、『ある』については26.5%となっています。



【絶望的だと感じたことがあるか（ライフステージ別）】

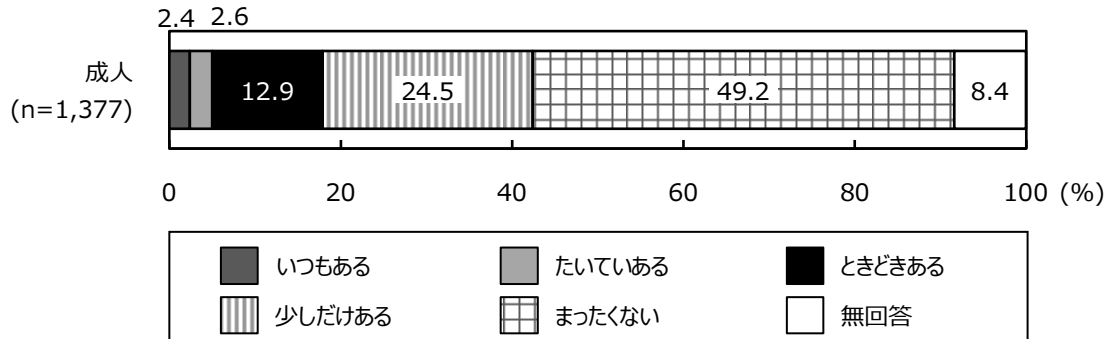
どの世代も「まったくない」が最も高くなっています。

『ある』については、青年期では38.9%、壮年期では27.0%、前期高齢期では16.8%、後期高齢期では21.3%と、青年期での割合が最も高くなっています。



④そろそろ落ち着かなく感じた

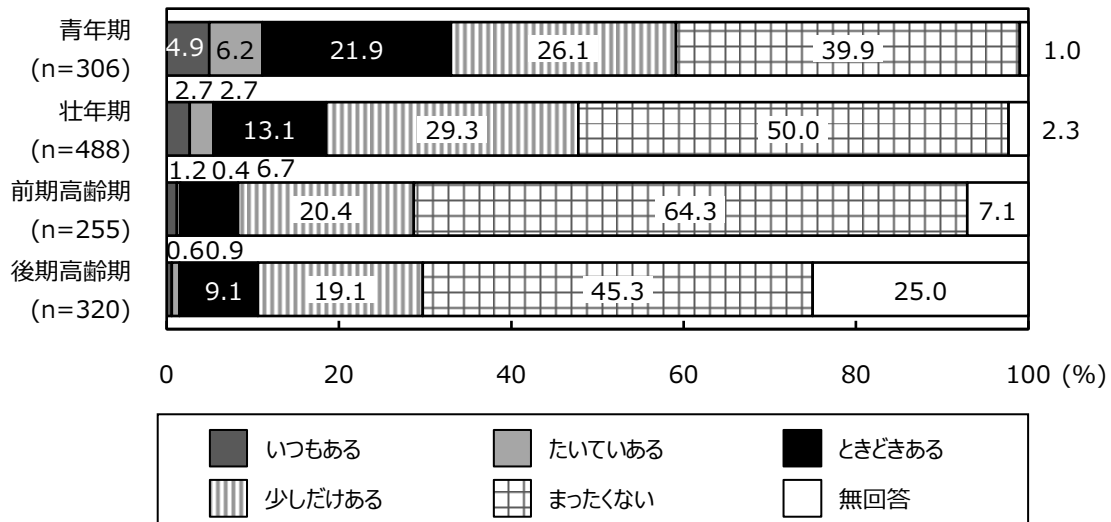
「まったくない」が49.2%と最も高く、次いで、「少しだけある」が24.5%、「ときどきある」が12.9%となっており、『よくある』については5.0%、『ある』については42.4%となっています。



【そろそろ落ち着かなく感じたことがあるか（ライフステージ別）】

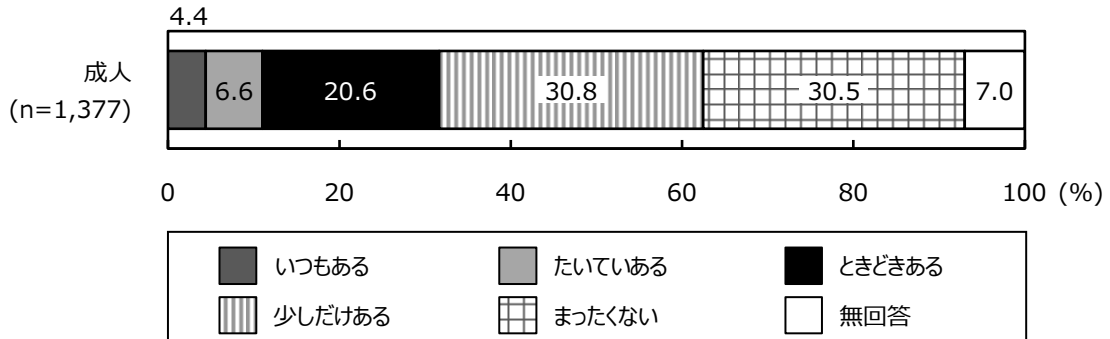
どの世代も「まったくない」が最も高くなっています。

『ある』については、青年期では59.1%、壮年期では47.8%、前期高齢期では28.7%、後期高齢期では29.7%と、青年期での割合が最も高くなっています。また、壮年期から前期高齢期にかけて割合が大きく減少しています。



⑤何をするのも気分が乗らず面倒だと感じた

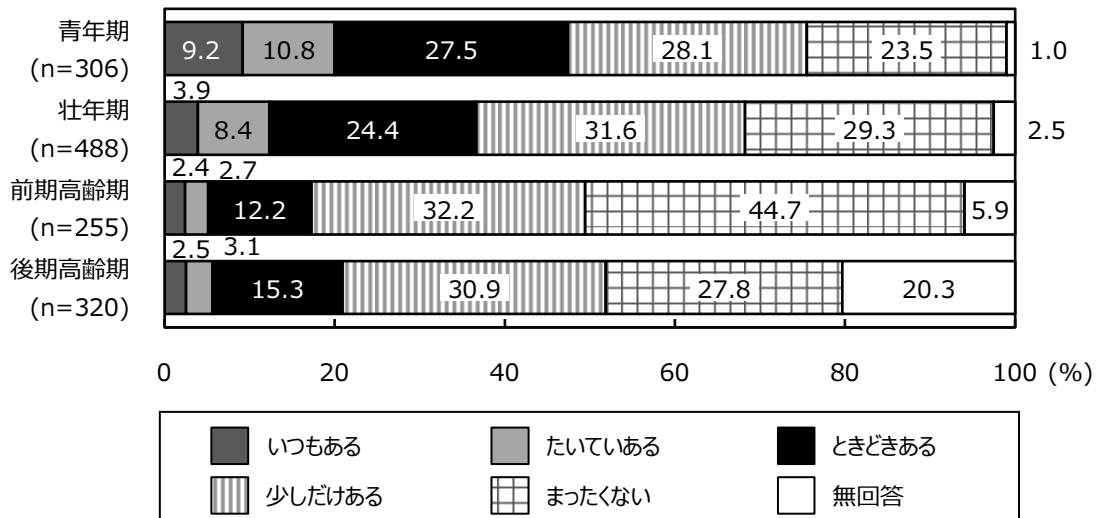
「少しだけある」が30.8%と最も高く、次いで、「まったくない」が30.5%、「ときどきある」が20.6%となっており、『よくある』については11.0%、『ある』については62.4%となっています。



【何をするのも気分が乗らず面倒だと感じたことがあるか（ライフステージ別）】

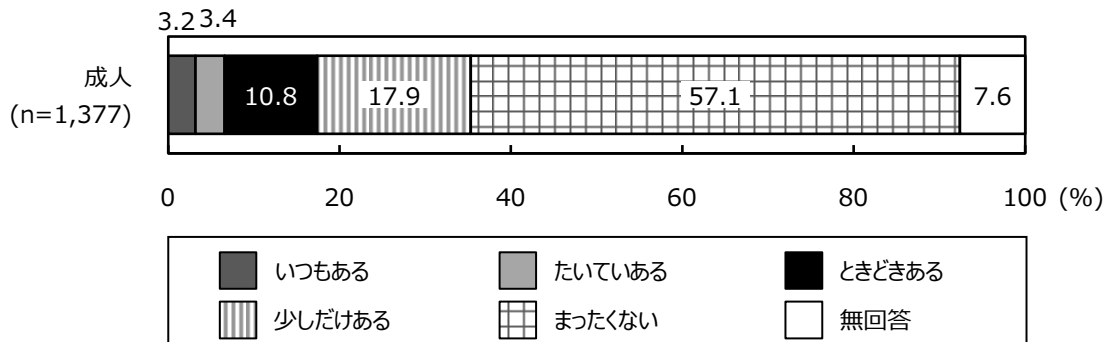
青年期、壮年期、後期高齢期では「少しだけある」が最も高くなっていますが、前期高齢期では「まったくない」が最も高くなっています。

『ある』については、青年期では75.6%、壮年期では68.3%、前期高齢期では49.5%、後期高齢期では51.8%と、青年期での割合が最も高くなっています。また、壮年期から前期高齢期にかけて割合が大きく減少しています。



⑥自分は価値のない人間だと感じた

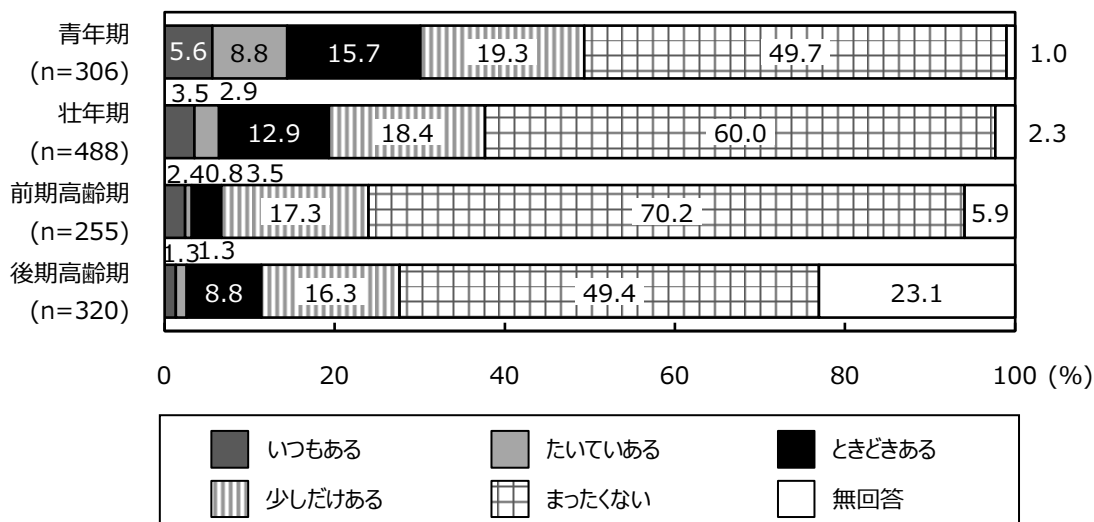
「まったくない」が57.1%と最も高く、次いで、「少しだけある」が17.9%、「ときどきある」が10.8%となっており、『よくある』については6.6%、『ある』については35.3%となっています。



【自分は価値のない人間だと感じたことがあるか（ライフステージ別）】

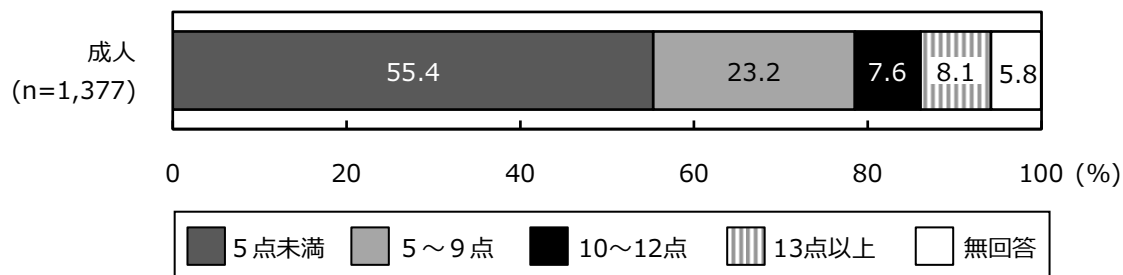
どの世代も「まったくない」が最も高くなっています。

『ある』については、青年期では49.4%、壮年期では37.7%、前期高齢期では24.0%、後期高齢期では27.7%と、青年期での割合が最も高くなっています。また、壮年期から前期高齢期にかけて割合が大きく減少しています。



⑦K6の得点（①から⑥の合計点）

①から⑥を得点化してみると、「5点未満」が55.4%、「5～10点未満」が23.2%、「10～12点」が7.6%、「13点以上」が8.1%となっており、『10点以上』については15.7%となっています。



★K6

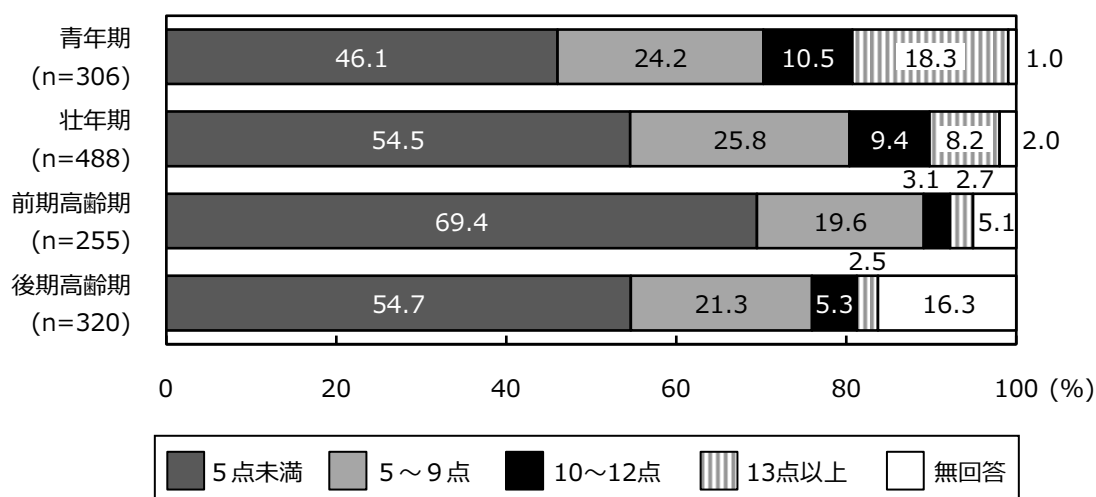
うつ病や不安障害などの精神疾患の可能性のある人を見つけるための調査手法。問33において「まったくない」=0点、「少しだけ」=1点、「ときどき」=2点、「たいてい」=3点、「いつも」=4点として①から⑥合計点を算出。10点以上がうつ状態等が疑われるとされている。

【K6の得点（ライフステージ別）】

どの世代も「5点未満」が最も高くなっています。

『10点以上』については、青年期では28.8%、壮年期では17.6%、前期高齢期では5.8%、後期高齢期では7.8%と、青年期での割合が最も高くなっています。また、壮年期から前期高齢期にかけて割合が大きく減少しています。

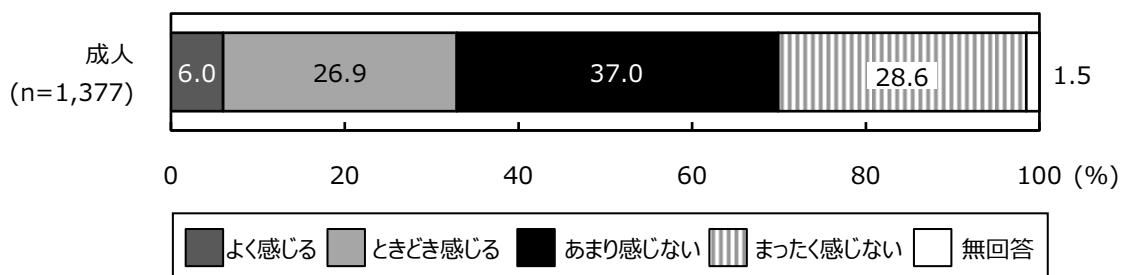
青年期については「13点以上」の割合も高く、他の世代の値を大きく上回っています。



問 34 日常において孤独や孤立を感じることはありますか。(単数回答)

「あまり感じない」が37.0%と最も高く、次いで、「まったく感じない」が28.6%、「ときどき感じる」が26.9%となっています。

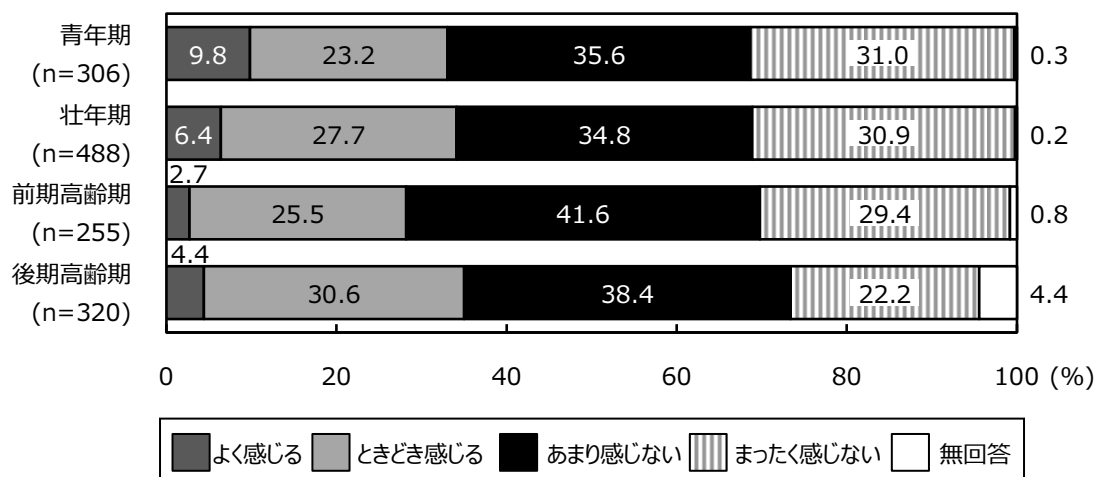
『感じる』(「よく感じる」+「ときどき感じる」)については32.9%、『感じない』(「まったく感じない」+「あまり感じない」)については65.6%と、『感じない』の方が高くなっています。



【孤独・孤立感の有無 (ライフステージ別)】

どの世代も「あまり感じない」が最も高くなっています。

『感じる』については、青年期では33.0%、壮年期では34.1%、前期高齢期では28.2%、後期高齢期では35.0%と、後期高齢期での割合が最も高くなっています。

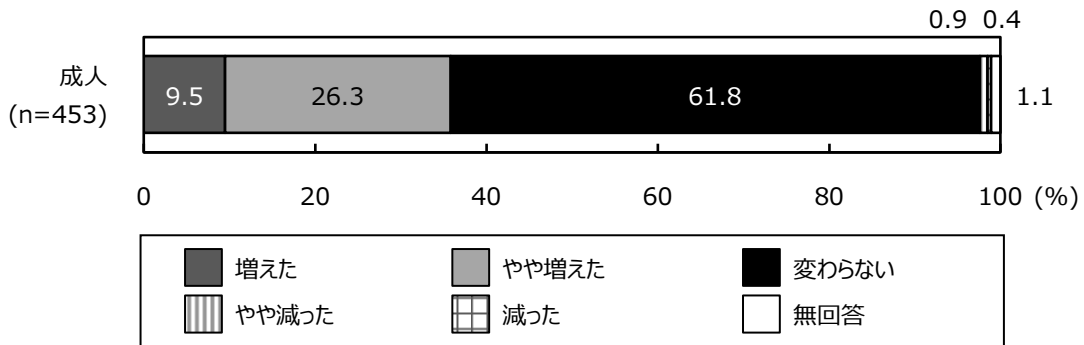


問 35 新型コロナウイルスの流行前と比べて、孤独や孤立を感じることは増えましたか。
 (単数回答)

《問 34 で「よく感じる」、「ときどき感じる」と回答した人が対象》

「変わらない」が61.8%と最も高く、次いで、「やや増えた」が26.3%となっています。

『増えた』(「増えた」+「やや増えた」)については35.8%となっており、『減った』(「減った」+「やや減った」)よりも高くなっています。

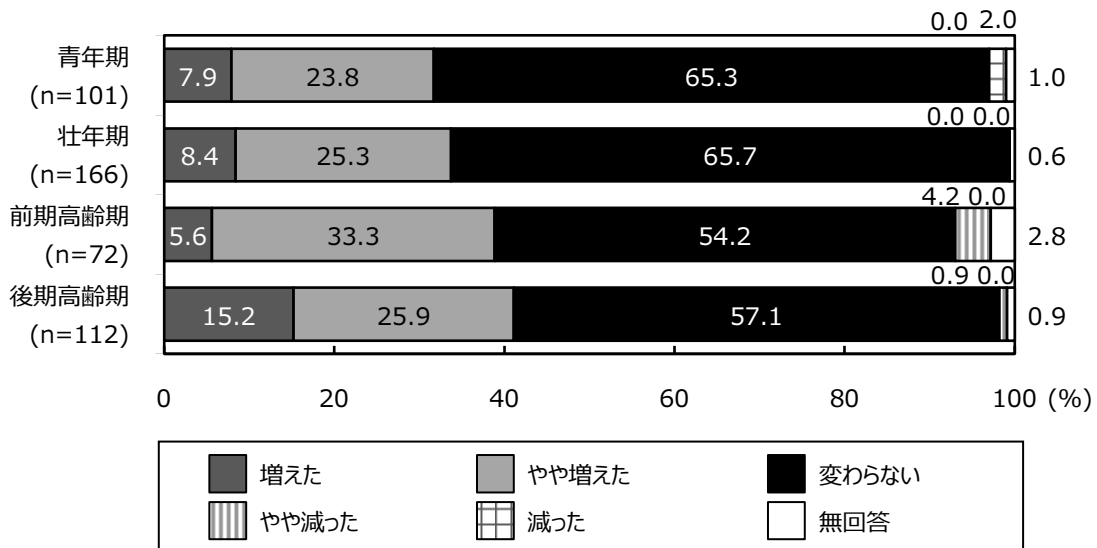


【コロナ禍による孤独・孤立感の変化(ライフステージ別)】

どの世代も「変わらない」が最も高くなっています。

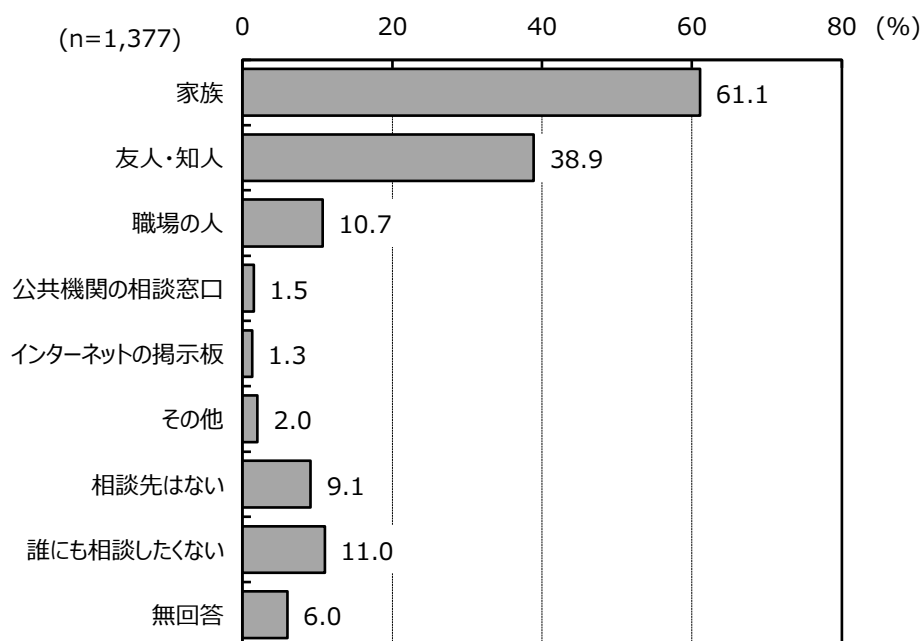
『増えた』については、世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では31.7%、壮年期では33.7%、前期高齢期では38.9%、後期高齢期では41.1%となっています。

『増えた』と『減った』を比べると、どの世代も『増えた』の方が高くなっています。



問 36 孤独や孤立を感じたとき、悩みや困りごとがあるとき、だれに相談しますか。
(複数回答)

「家族」が61.1%と最も高く、次いで、「友人・知人」が38.9%となっています。



【孤独や孤立を感じたときや悩みや困りごとの相談相手（ライフステージ別）】

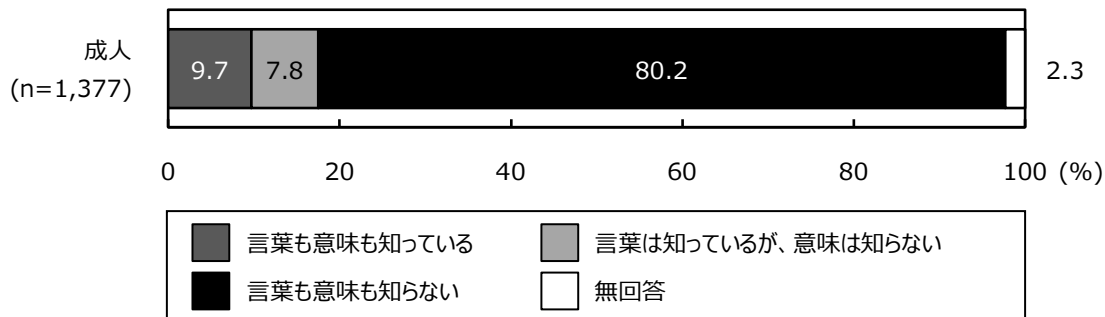
どの世代も「家族」（青年期：64.7%、壮年期：62.7%、前期高齢期：58.0%、後期高齢期：58.8%）、「友人・知人」（青年期：54.9%、壮年期：41.0%、前期高齢期：32.2%、後期高齢期：25.9%）の順で高くなっています。

「友人・知人」については、世代が下がるほど割合が高くなっています。

	家族	友人・知人	職場の人	公共機関の相談窓口	インターネットの掲示板	その他	相談先はない	誰にも相談したくない	無回答
青年期 (n=306)	64.7	54.9	16.3	1.6	1.3	1.0	5.6	11.4	1.3
壮年期 (n=488)	62.7	41.0	17.8	0.8	1.6	2.9	11.9	11.1	2.5
前期高齢期 (n=255)	58.0	32.2	2.0	0.4	2.0	1.2	12.5	11.0	7.5
後期高齢期 (n=320)	58.8	25.9	1.6	3.1	0.3	2.2	5.3	10.9	13.8

問 37 「ゲートキーパー」という言葉を知っていますか。(単数回答)

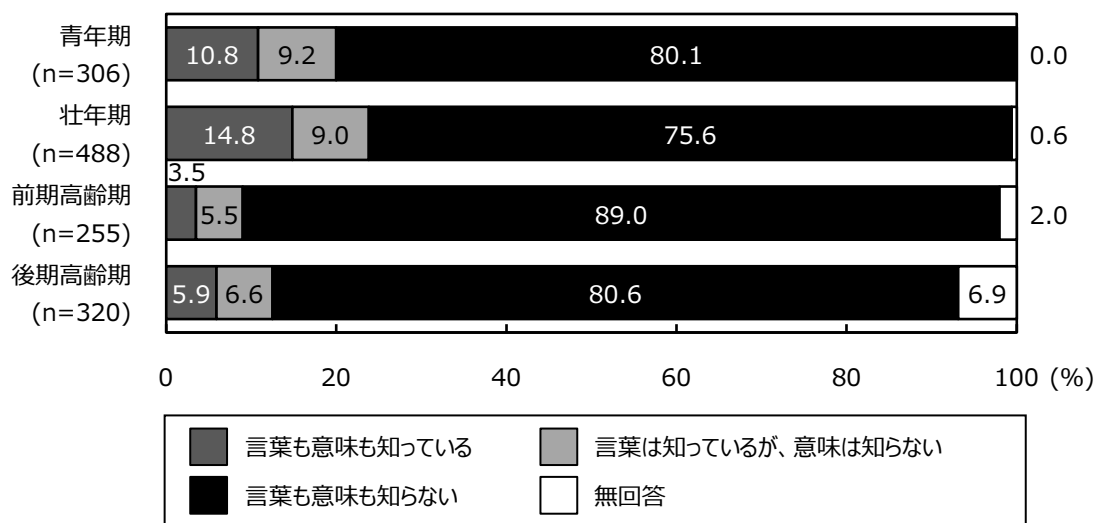
「言葉も意味も知らない」が80.2%と最も高く、次いで、「言葉も意味も知っている」が9.7%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が7.8%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が7.8%となっています。



【ゲートキーパーという言葉の認知度（ライフステージ別）】

どの世代も「言葉も意味も知らない」が大半を占めています。

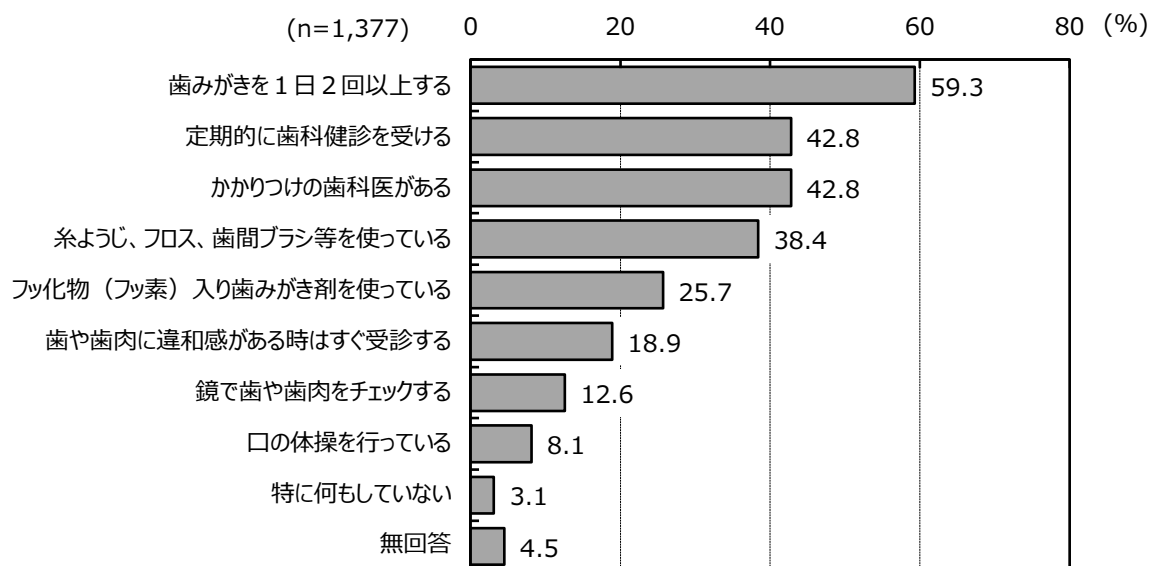
「言葉も意味も知っている」については、青年期では10.8%、壮年期では14.8%、前期高齢期では3.5%、後期高齢期では5.9%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



(6) 歯と口の健康について

問 38 日頃、歯と口の健康管理としてどのようなことをしていますか。(複数回答)

「歯みがきを1日2回以上する」が59.3%と最も高く、次いで、「定期的に歯科健診を受ける」、「かかりつけの歯科医がある」がそれぞれ42.8%、「糸ようじ、フロス、歯間ブラシ等を使っている」が38.4%となっています。



【歯と口の健康管理として実践していること(ライフステージ別)】

どの世代も「歯みがきを1日2回以上する」が最も高くなっていますが(青年期:65.4%、壮年期:61.5%、前期高齢期:55.7%、後期高齢期:53.1%)、次に割合が高いものをみると、壮年期までは「定期的に歯科健診を受ける」(青年期:44.4%、壮年期:45.9%)、前期高齢期以降では「かかりつけの歯科医がある」(前期高齢期:43.1%、後期高齢期:46.9%)となっています。

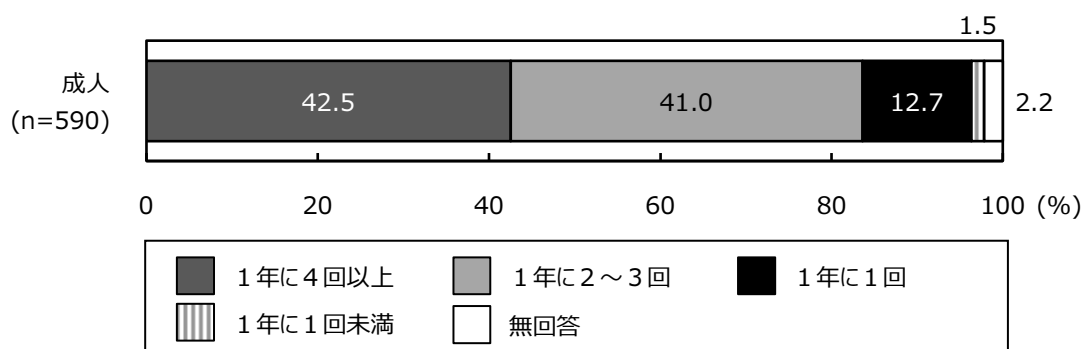
全体の上位にある「歯みがきを1日2回以上する」については世代が下がるほど割合が高くなり、「かかりつけの歯科医がある」については世代が上がるほど割合が高くなっています。

(%)

	歯みがきを1日2回以上する	定期的に歯科健診を受ける	かかりつけの歯科医がある	糸ようじ、フロス、歯間ブラシ等を使っている	フッ化物(フッ素)入り歯みがき剤を使っている	歯や歯肉に違和感がある時はすぐ受診する	鏡で歯や歯肉をチェックする	口の体操を行っている	特に何もしていない	無回答
青年期 (n=306)	65.4	44.4	39.5	38.6	31.0	17.6	17.3	2.6	6.9	0.3
壮年期 (n=488)	61.5	45.9	42.2	42.2	28.7	16.6	11.3	2.5	9.4	1.4
前期高齢期 (n=255)	55.7	40.8	43.1	35.3	22.4	20.8	14.5	4.7	5.1	7.1
後期高齢期 (n=320)	53.1	39.1	46.9	35.6	18.4	21.9	8.8	3.1	10.0	10.3

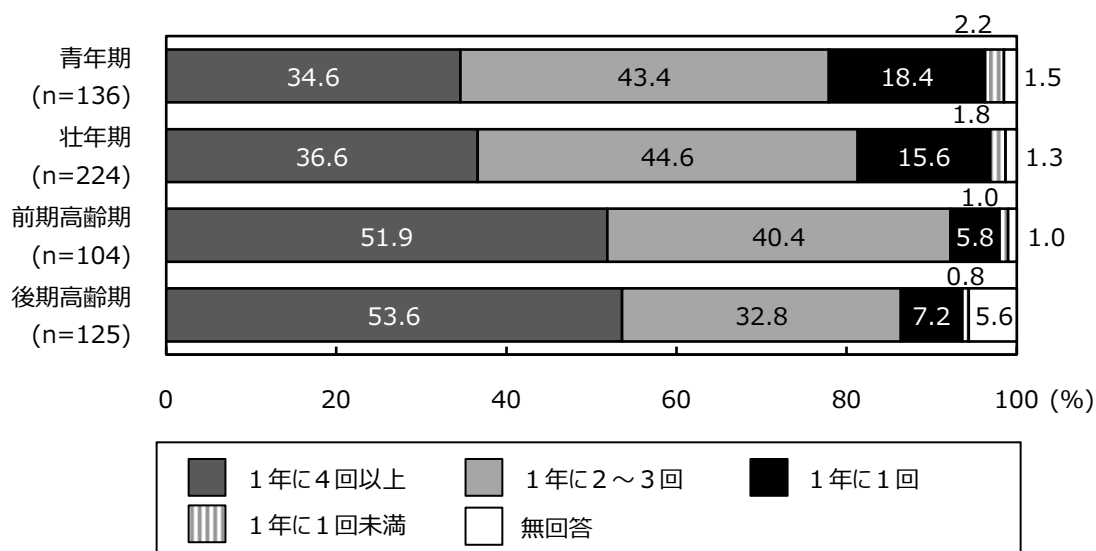
問 39 どれくらいの頻度で受診していますか。(単数回答)
 《問 38 で「定期的に歯科健診を受ける」と回答した人が対象》

「1年に4回以上」が42.5%と最も高く、次いで、「1年に2～3回」が41.0%、「1年に1回」が12.7%となっています。



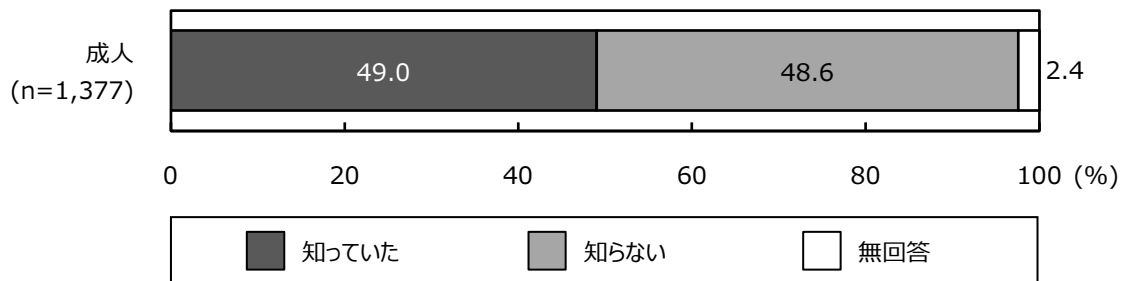
【歯科健診の受診頻度 (ライフステージ別)】

壮年期までは「1年に2～3回」が最も高くなっていますが(青年期:43.4%、壮年期:44.6%)、前期高齢期以降では「1年に4回以上」が最も高くなっています(前期高齢期:51.9%、後期高齢期:53.6%)。



問 40 糖尿病だと歯周病にかかりやすいことを知っていましたか。(単数回答)

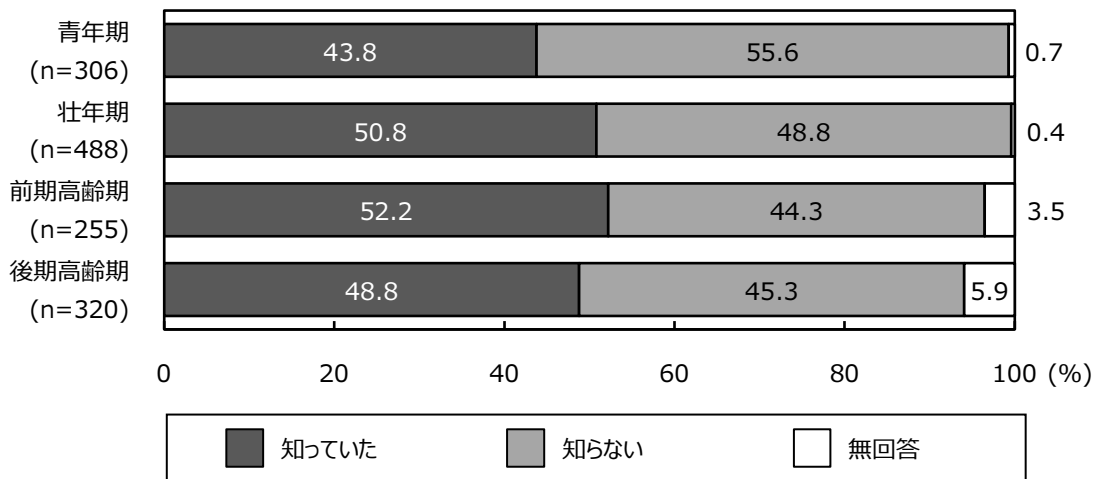
「知っていた」が49.0%、「知らない」が48.6%となっており、わずかながら「知っていた」の方が高くなっています。



【糖尿病だと歯周病にかかりやすいことを知っているか (ライフステージ別)】

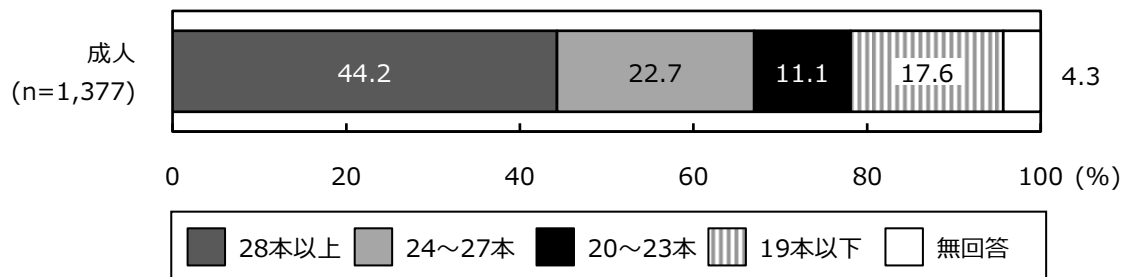
青年期では「知らない」の方が高くなっていますが、壮年期以降では「知っていた」の方が高くなっています。

「知っていた」については、青年期では43.8%、壮年期では50.8%、前期高齢期では52.2%、後期高齢期では48.8%と、前期高齢期での割合が最も高くなっています。



問 41 自分の歯は何本ありますか。(単数回答)
 ※入れ歯、インプラントの歯は含まない。永久歯は通常 28 本(親知らずを入れると 32 本)

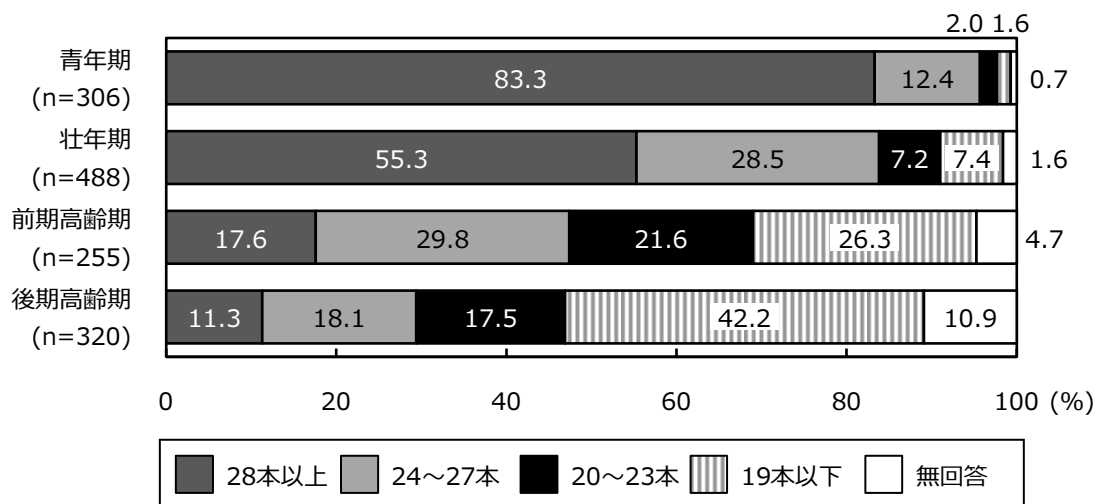
「28 本以上」が 44.2%と最も高く、次いで、「24～27 本」が 22.7%、「19 本以下」が 17.6% となっています。



【自分の歯の本数(ライフステージ別)】

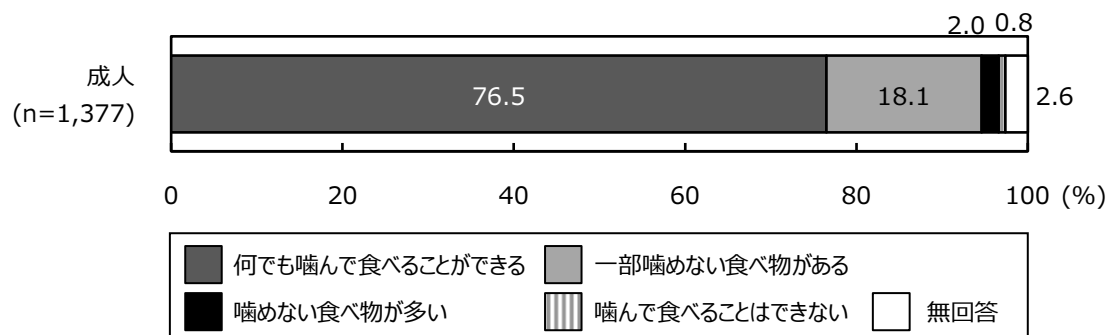
壮年期までは「28 本以上」が最も高くなっていますが、前期高齢期では「24～27 本」、後期高齢期では「19 本以下」が最も高くなっています。

「28 本以上」は世代が上がるほど割合が低くなり、減少幅も大きくなっています(青年期:83.3%、壮年期:55.3%、前期高齢期:17.6%、後期高齢期:11.3%)。



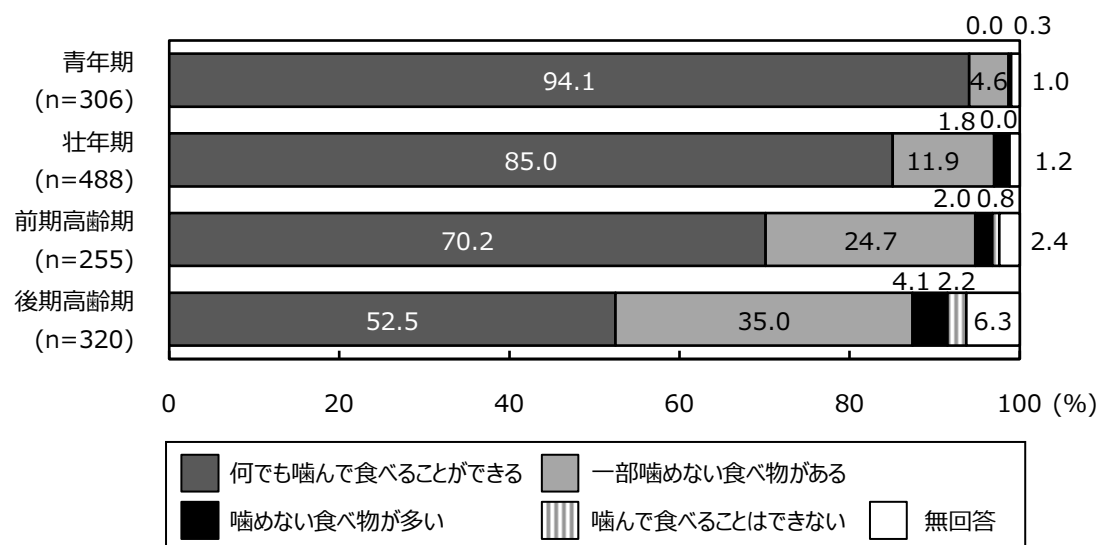
問 42 食べ物を噛んで食べたときの状態はどれですか。（単数回答）

「何でも噛んで食べることができる」が76.5%と最も高く、次いで、「一部噛めない食べ物がある」が18.1%となっています。



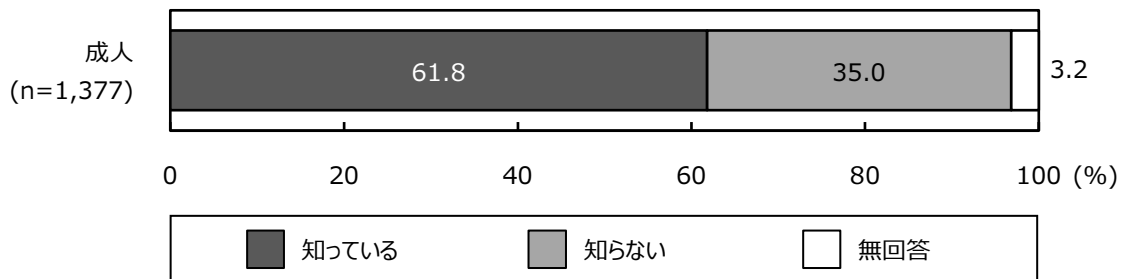
【咀嚼の状況（ライフステージ別）】

どの世代も「何でも噛んで食べることができる」が最も高くなっていますが、世代が上がるほど割合が低くなり、青年期では94.1%、壮年期では85.0%、前期高齢期では70.2%、後期高齢期では52.5%と、減少幅も大きくなっています。



問 43 8020（ハチマルニイマル）運動、7021（ナナマルニイチ）運動を知っていますか。（単数回答）

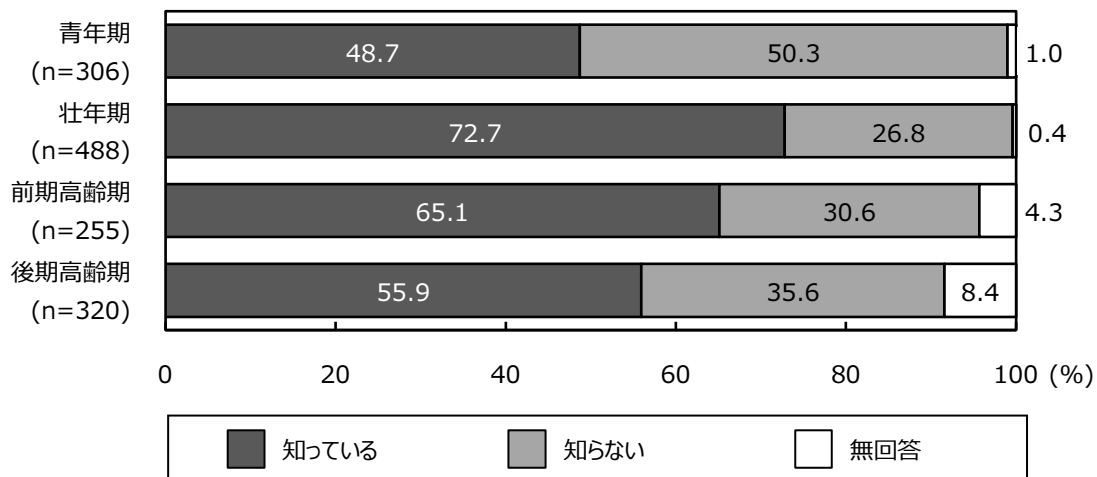
「知っている」が61.8%、「知らない」が35.0%と、「知っている」の方が高くなっています。



【8020、7021運動を知っているか（ライフステージ別）】

青年期では「知らない」の方が高くなっていますが、壮年期以降では「知っている」の方が高くなっています。

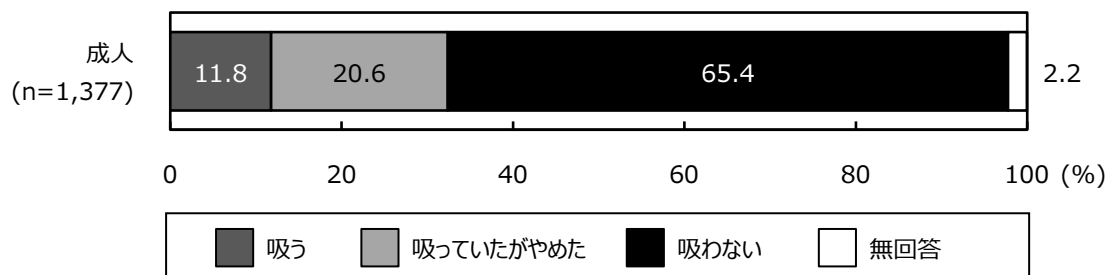
「知っている」については、青年期では48.7%、壮年期では72.7%、前期高齢期では65.1%、後期高齢期では55.9%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



(7) たばこについて

問 44 たばこを吸いますか。(単数回答)

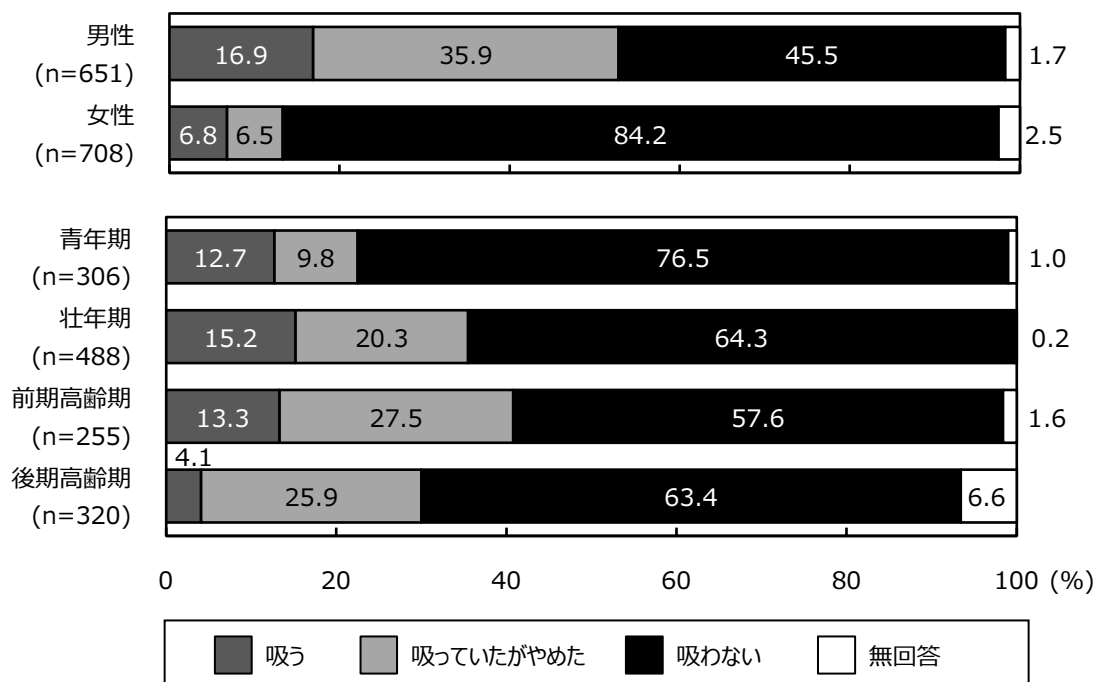
「吸わない」が65.4%と最も高く、次いで、「吸っていたがやめた」が20.6%、「吸う」が11.8%となっています。



【喫煙状況（性別・ライフステージ別）】

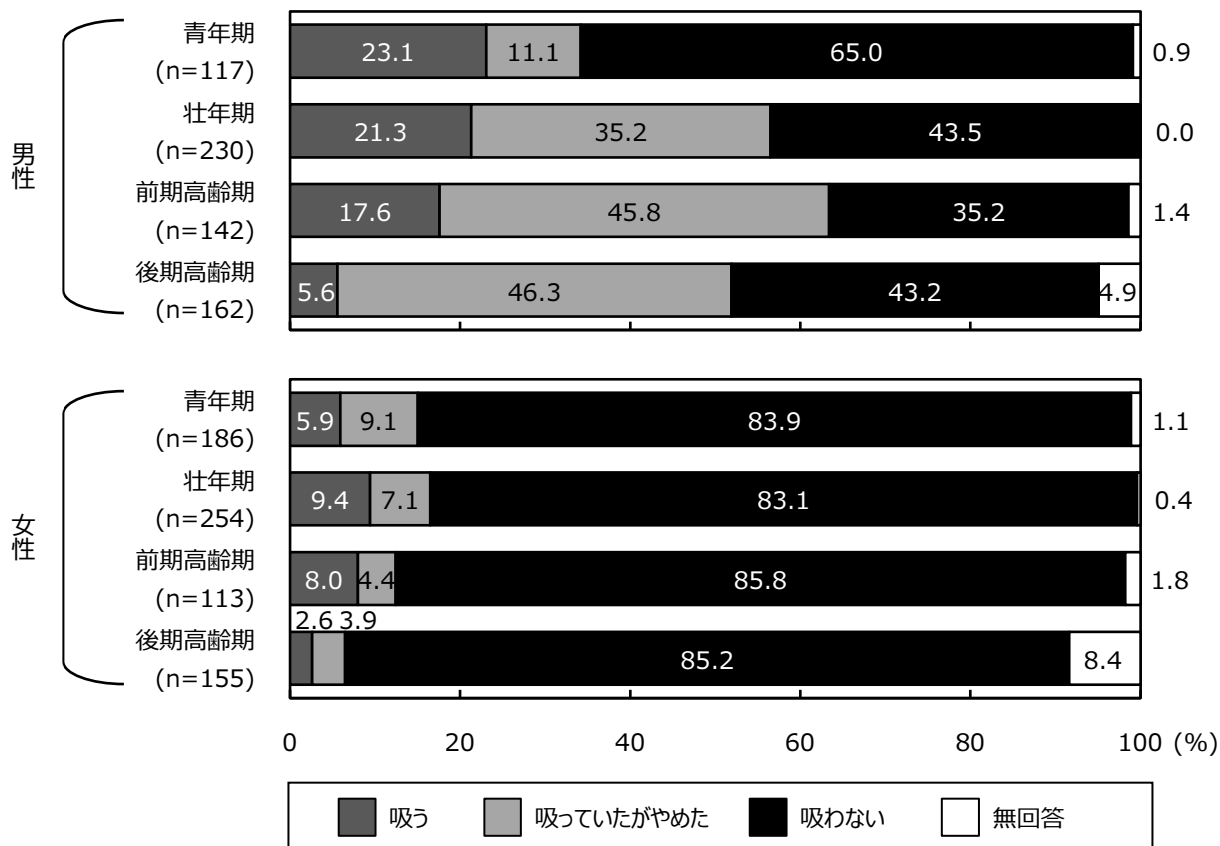
性別で見ると、男女とも「吸わない」が最も高くなっています。「吸う」については、男性では16.9%、女性では6.8%と、男性の方が高く、倍以上となっています。

ライフステージ別でも、どの世代も「吸わない」が最も高くなっています。「吸う」については、青年期では12.7%、壮年期では15.2%、前期高齢期では13.3%、後期高齢期では4.1%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



【喫煙状況（性・ライフステージ別）】

「吸う」の割合はどの世代においても男性の方が高く、特に男性の青年期・壮年期での割合が高くなっています（男性青年期：23.1%、男性壮年期：21.3%）。

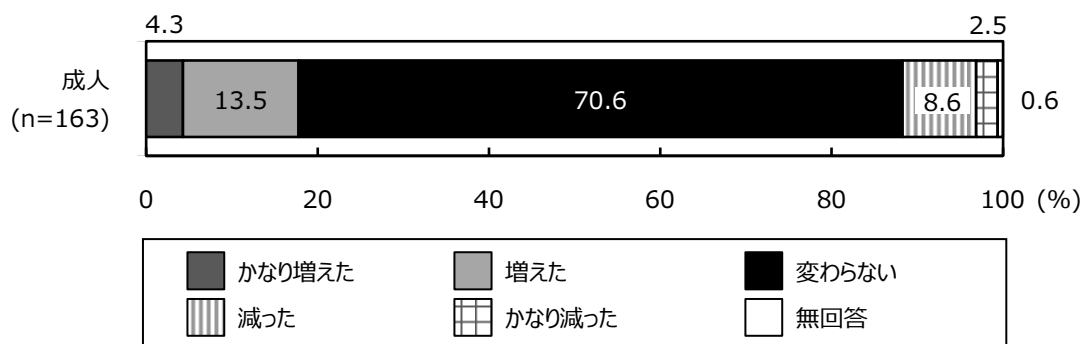


問 45 コロナ禍の影響で喫煙本数は増えましたか。(単数回答)

《問 44 で「吸う」と回答した人が対象》

「変わらない」が70.6%と最も高く、次いで、「増えた」が13.5%となっています。

『増えた』（「かなり増えた」＋「増えた」）については17.8%、『減った』（「かなり減った」＋「減った」）については11.1%となっています。

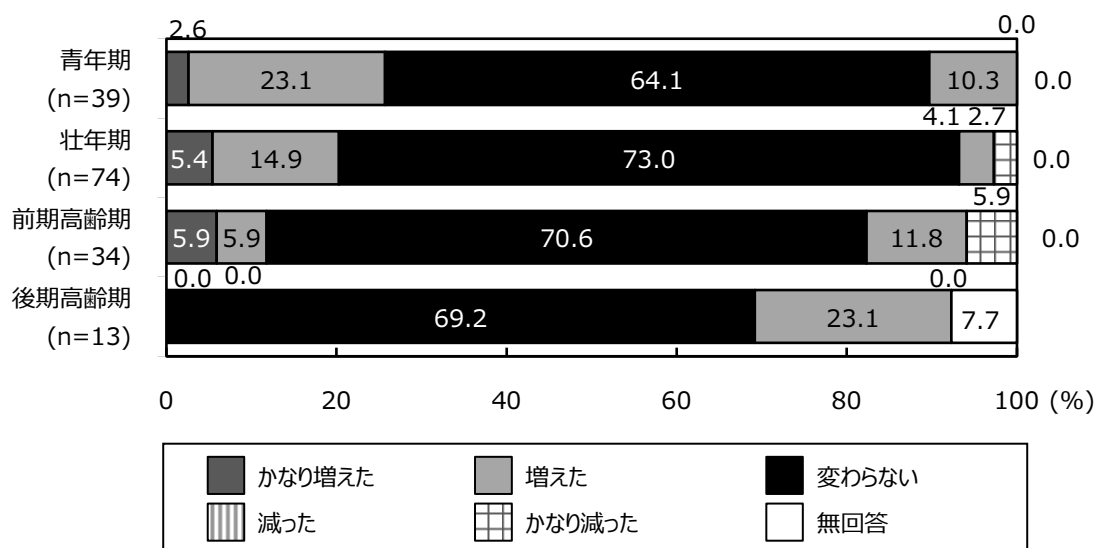


【コロナ禍による喫煙本数の変化（ライフステージ別）】

どの世代も「変わらない」が最も高くなっています。

『増えた』については、青年期では25.7%、壮年期では20.3%、前期高齢期では11.8%、後期高齢期では0.0%と、青年期での割合が高くなっています。

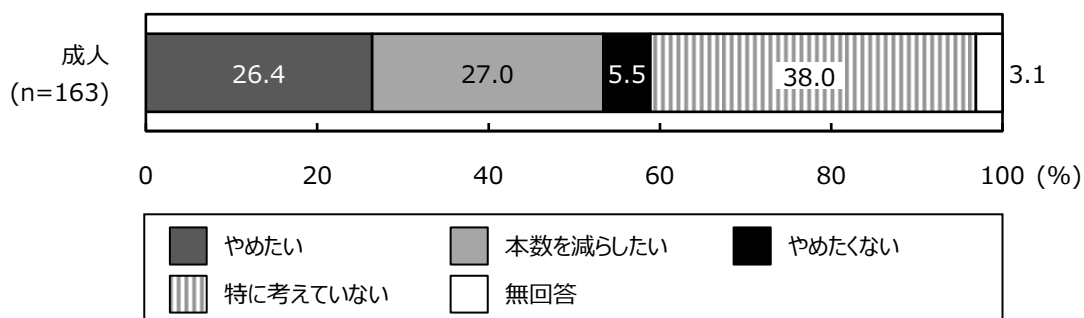
『増えた』と『減った』を比べると、壮年期までは『増えた』の方が高く、前期高齢期以降は『減った』の方が高くなっています。



問 46 たばこをやめたいと思いますか。(単数回答)

《問 44 で「吸う」と回答した人が対象》

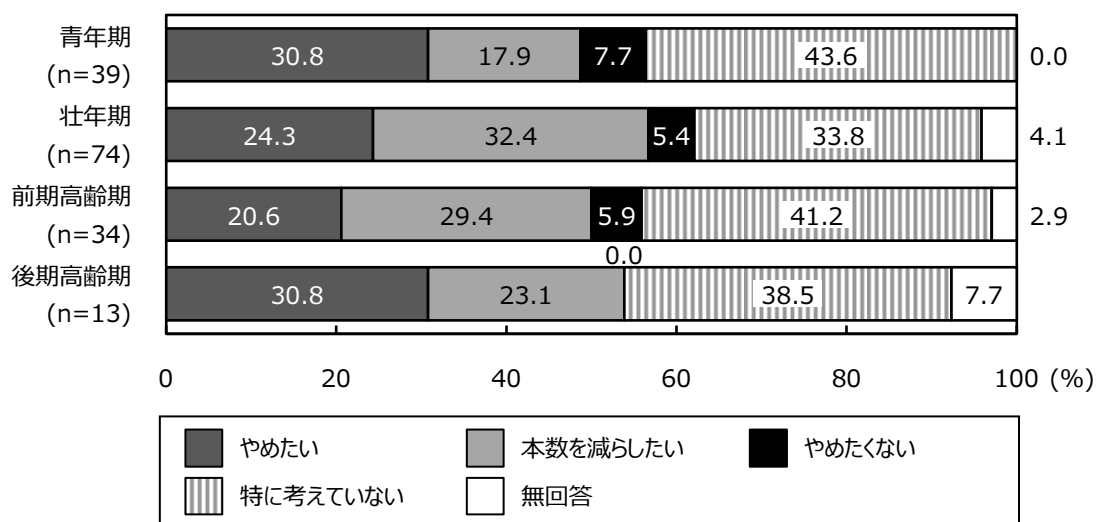
「特に考えていない」が38.0%と最も高く、次いで、「本数を減らしたい」が27.0%、「やめたい」が26.4%となっています。



【禁煙意向 (ライフステージ別)】

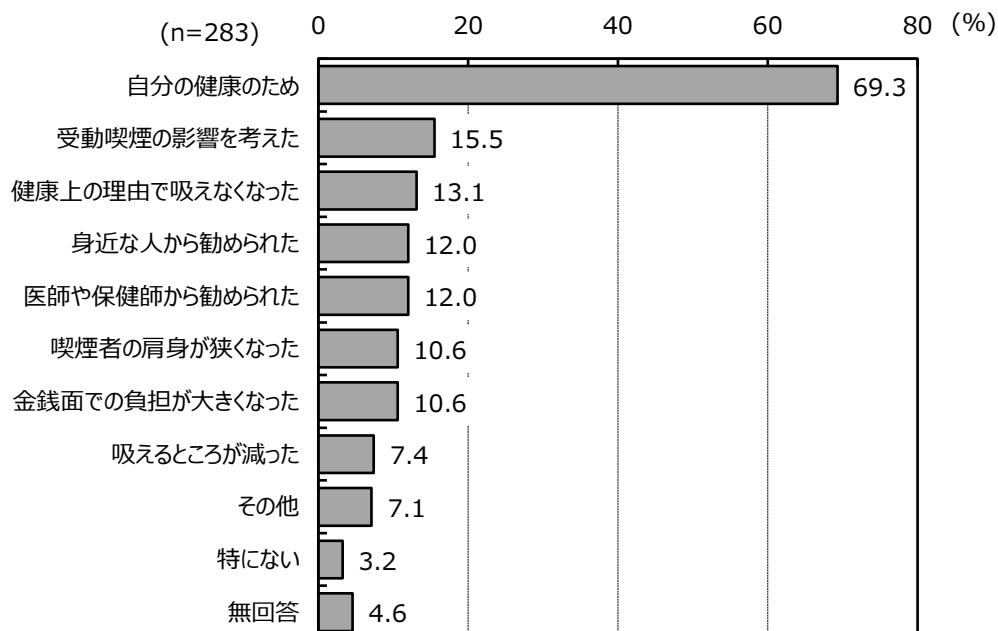
どの世代も「特に考えていない」が最も高くなっています。

「やめたい」については、青年期では30.8%、壮年期では24.3%、前期高齢期では20.6%、後期高齢期では30.8%と、青年期、後期高齢期での割合が最も高くなっています。



問 47 やめたきっかけは何ですか。(複数回答)
 《問 44 で「吸っていたがやめた」と回答した人が対象》

「自分の健康のため」が69.3%と最も高くなっています。次いで、「受動喫煙の影響を考えた」(15.5%)、「健康上の理由で吸えなくなった」(13.1%)の順で高くなっていますが、10%台となっています。



【禁煙のきっかけ (ライフステージ別)】

どの世代も「自分の健康のため」が最も高くなっています(青年期:56.7%、壮年期:74.7%、前期高齢期:64.3%、後期高齢期:71.1%)。

(%)

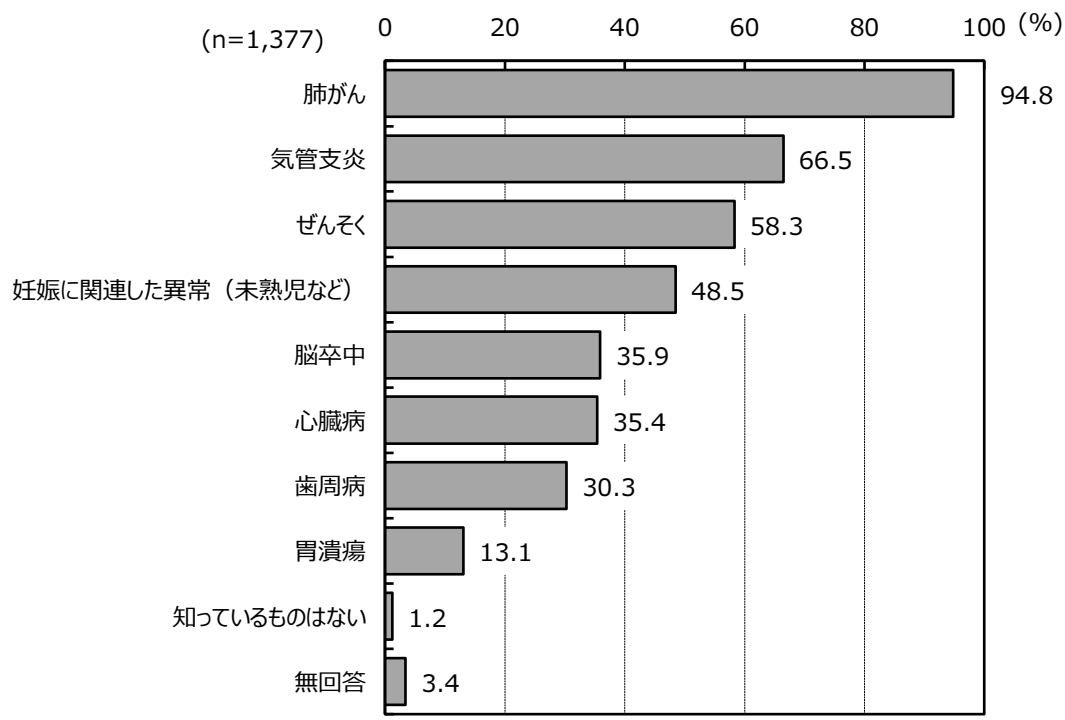
	自分の健康のため	受動喫煙の影響を考えた	健康上の理由で吸えなくなった	身近な人から勧められた	医師や保健師から勧められた	喫煙者の肩身が狭くなった	金銭面での負担が大きくなった	吸えるところが減った	その他	特にない	無回答
青年期 (n=30)	56.7	13.3	3.3	13.3	3.3	10.0	16.7	10.0	26.7	6.7	3.3
壮年期 (n=99)	74.7	18.2	11.1	16.2	11.1	12.1	18.2	12.1	8.1	3.0	2.0
前期高齢期 (n=70)	64.3	14.3	12.9	7.1	8.6	7.1	7.1	4.3	2.9	2.9	11.4
後期高齢期 (n=83)	71.1	14.5	19.3	10.8	19.3	12.0	2.4	3.6	2.4	2.4	2.4

【その他の回答】

主な回答	件数
子どもや孫のため(妊娠した、子ども・孫の健康のため)	6件
手術や入院がきっかけ	3件

問 48 たばこが健康に与える影響について、知っているものをお答えください。（複数回答）

「肺がん」が94.8%と最も高く、次いで、「気管支炎」が66.5%、「ぜんそく」が58.3%、「妊娠に関連した異常（未熟児など）」が48.5%となっています。



【たばこが健康に与える影響として知っているもの（ライフステージ別）】

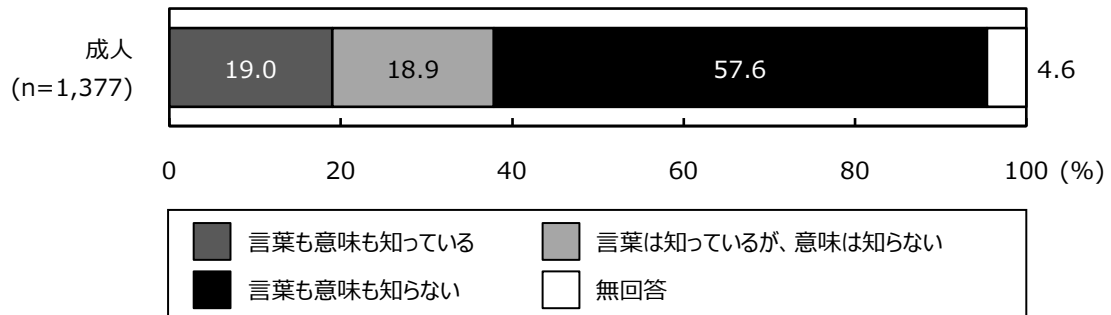
どの世代も「肺がん」が最も高くなっています（青年期：98.0%、壮年期：98.6%、前期高齢期：92.9%、後期高齢期：87.8%）。

次に割合が高いものをみると、青年期では「妊娠に関連した異常（未熟児など）」（71.2%）、壮年期以降では「気管支炎」（壮年期：67.8%、前期高齢期：70.2%、後期高齢期：61.3%）となっています。

	肺がん	気管支炎	ぜんそく	妊娠に関連した異常 (未熟児など)	脳卒中	心臓病	歯周病	胃潰瘍	知っているものはない	無回答
青年期 (n=306)	98.0	67.6	57.2	71.2	36.3	30.1	40.5	12.1	0.3	1.0
壮年期 (n=488)	98.6	67.8	58.2	58.0	44.7	39.8	35.2	15.8	0.8	0.6
前期高齢期 (n=255)	92.9	70.2	62.0	38.4	35.3	38.8	27.8	16.1	2.4	3.9
後期高齢期 (n=320)	87.8	61.3	56.9	21.3	22.5	31.9	15.6	7.8	1.6	9.4

問 49 「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っていますか。（単数回答）

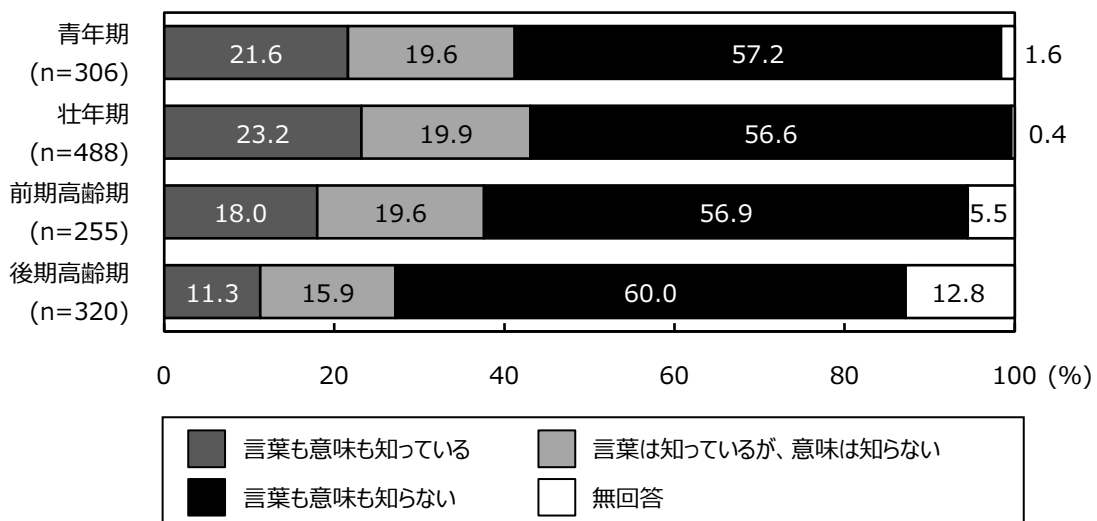
「言葉も意味も知らない」が57.6%と最も高く、次いで、「言葉も意味も知っている」が19.0%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が18.9%となっています。



【COPDという言葉の認知度（ライフステージ別）】

どの世代も「言葉も意味も知らない」が最も高くなっています。

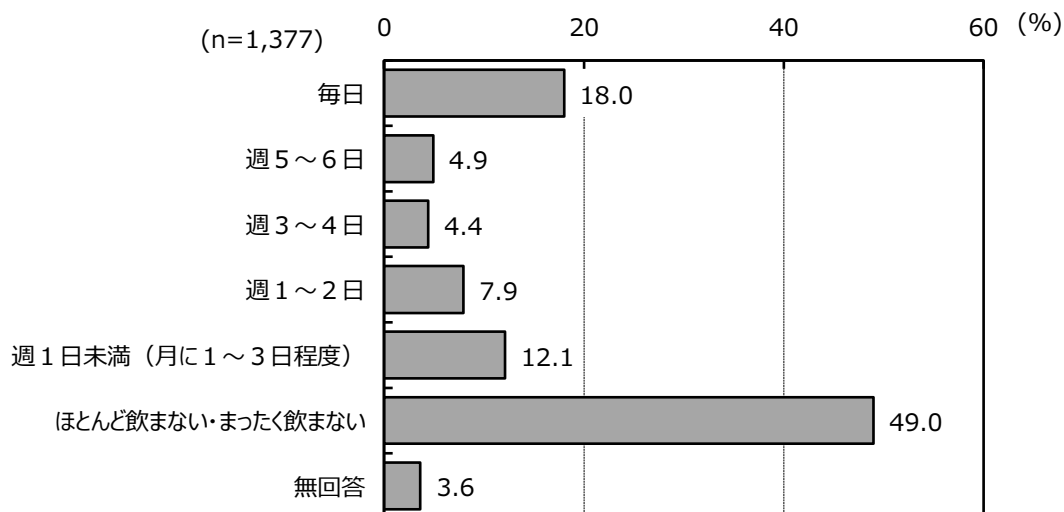
「言葉も意味も知っている」については、青年期では21.6%、壮年期では23.2%、前期高齢期では18.0%、後期高齢期では11.3%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



(8) アルコールについて

問 50 お酒やビールなどのアルコール類をどのくらいの頻度で飲みますか。(単数回答)

「ほとんど飲まない・まったく飲まない」が49.0%と最も高く、次いで、「毎日」が18.0%、「週1日未満(月に1～3日程度)」が12.1%となっています。



【飲酒頻度(性別・ライフステージ別)】

性別でみると、男女とも「ほとんど飲まない・まったく飲まない」が最も高くなっていますが、(男性:33.8%、女性:63.1%)、女性の割合は男性の約2倍となっています。次に割合が高いものをみると、男性は「毎日」(30.4%)、女性は「週に1日未満(月に1～3日程度)」(12.4%)となっています。

ライフステージ別でも、どの世代も「ほとんど飲まない・まったく飲まない」が最も高くなっていますが(青年期54.6%、壮年期:44.1%、前期高齢期:45.9%、後期高齢期:54.4%)、次に割合が高いものをみると、青年期では「週に1日未満(月に1～3日程度)」(20.6%)、壮年期以降では「毎日」(壮年期:19.9%、前期高齢期:27.8%、後期高齢期:17.5%)となっています。

	毎日	週5～6日	週3～4日	週1～2日	週1日未満 (月に1～3 日程度)	ほとんど飲ま ない・まったく飲ま ない	無回答
男性 (n=651)	30.4	6.8	5.8	8.8	11.8	33.8	2.6
女性 (n=708)	6.5	3.4	3.2	7.1	12.4	63.1	4.2
青年期 (n=306)	6.9	3.3	3.3	10.5	20.6	54.6	1.0
壮年期 (n=488)	19.9	6.8	5.7	10.2	12.9	44.1	0.4
前期高齢期 (n=255)	27.8	5.5	3.9	5.1	7.5	45.9	4.3
後期高齢期 (n=320)	17.5	3.4	4.1	4.1	6.9	54.4	9.7

【飲酒頻度（性・ライフステージ別）】

ほとんどの区分で「ほとんど飲まない・まったく飲まない」が最も高くなっていますが、男性の壮年期・前期高齢期では「毎日」が最も高くなっています。

「毎日」の割合はどの世代においても男性の方が高く（男性青年期：10.3%、男性壮年期：31.3%、男性前期高齢期：45.8%、男性後期高齢期：30.2%）、特に壮年期以降での割合が高くなっています。女性の割合はどの世代でも10%未満となっています。

(%)

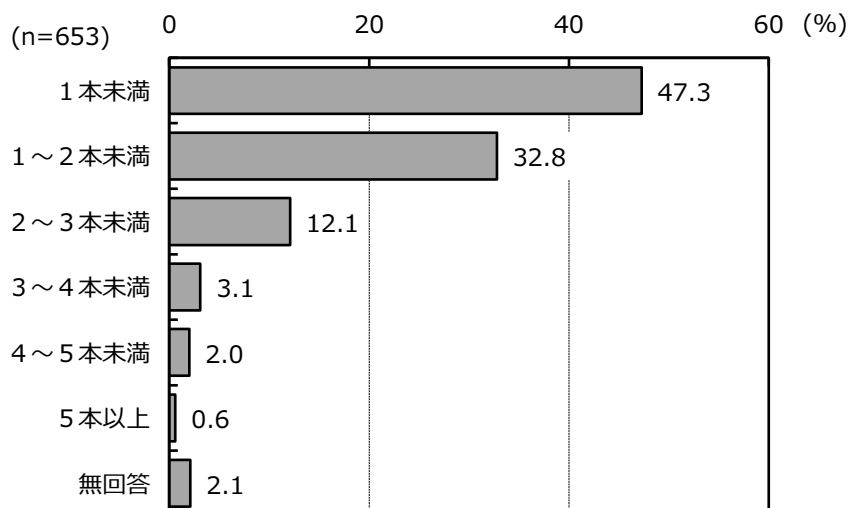
		毎日	週5～6日	週3～4日	週1～2日	週1日未満 (月に1～3日程度)	ほとんど飲まない・まったく飲まない	無回答
男性	青年期 (n=117)	10.3	6.0	5.1	12.0	26.5	39.3	0.9
	壮年期 (n=230)	31.3	8.3	7.0	11.7	11.3	30.4	0.0
	前期高齢期 (n=142)	45.8	7.7	5.6	5.6	4.9	27.5	2.8
	後期高齢期 (n=162)	30.2	4.3	4.9	4.9	8.0	40.1	7.4
女性	青年期 (n=186)	4.8	1.6	2.2	9.1	16.7	64.5	1.1
	壮年期 (n=254)	9.8	5.5	4.7	9.1	14.2	55.9	0.8
	前期高齢期 (n=113)	5.3	2.7	1.8	4.4	10.6	69.0	6.2
	後期高齢期 (n=155)	3.9	2.6	3.2	3.2	5.8	69.0	12.3

問51 平均して、1日にどのくらい飲みますか。(単数回答)

※ビール中びんに換算して回答

《問50で「毎日」、「週5～6日」、「週3～4日」、「週1～2日」、「週1日未満(月に1～3日程度)」と回答した人が対象》

「1本未満」が47.3%と最も高く、次いで、「1～2本未満」が32.8%、「2～3本未満」が12.1%となっています。



【1日の飲酒量(性別・ライフステージ別)】

性別で見ると、男女とも「1本未満」が最も高くなっています。『1本以上』(適正な飲酒量の目安である純アルコール20gを超える飲酒)については、男性では57.7%、女性では37.3%となっています。

ライフステージ別で見ると、青年期では「1～2本未満」が最も高く、壮年期以降では「1本未満」が最も高くなっています。『1本以上』については、青年期では60.9%、壮年期では48.7%、前期高齢期では58.2%、後期高齢期では33.1%と、青年期での割合が最も高くなっています。

	(%)						
	1本未満	1～2本未満	2～3本未満	3～4本未満	4～5本未満	5本以上	無回答
男性 (n=414)	40.6	35.0	14.7	4.3	2.7	1.0	1.7
女性 (n=231)	59.7	28.1	7.4	0.9	0.9	0.0	3.0
青年期 (n=136)	38.2	43.4	11.0	2.9	2.9	0.7	0.7
壮年期 (n=271)	49.8	28.8	12.9	3.7	2.6	0.7	1.5
前期高齢期 (n=127)	40.2	34.6	17.3	3.9	1.6	0.8	1.6
後期高齢期 (n=115)	60.9	27.0	5.2	0.9	0.0	0.0	6.1

【1日の飲酒量（性・ライフステージ別）】

ほとんどの区分で「1本未満」が最も高くなっていますが、男性の前期高齢期、女性の青年期では「1～2本未満」が最も高くなっています。

『1本以上』については、男性青年期では57.2%、男性壮年期では60.1%、男性前期高齢期では69.7%、男性後期高齢期では40.1%、女性青年期では64.1%、女性壮年期では32.7%、女性前期高齢期では17.9%、女性後期高齢期では13.8%と、男性前期高齢期、女性青年期での割合が特に高くなっています。

(%)

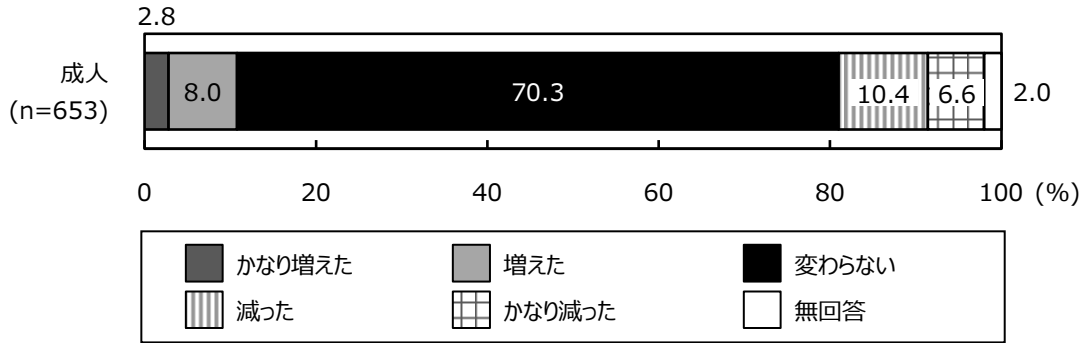
		1本未満	1～2本未満	2～3本未満	3～4本未満	4～5本未満	5本以上	無回答
男性	青年期 (n=70)	41.4	38.6	10.0	4.3	2.9	1.4	1.4
	壮年期 (n=160)	38.8	31.9	16.9	5.6	4.4	1.3	1.3
	前期高齢期 (n=99)	29.3	40.4	21.2	5.1	2.0	1.0	1.0
	後期高齢期 (n=85)	56.5	31.8	7.1	1.2	0.0	0.0	3.5
女性	青年期 (n=64)	35.9	46.9	12.5	1.6	3.1	0.0	0.0
	壮年期 (n=110)	65.5	24.5	7.3	0.9	0.0	0.0	1.8
	前期高齢期 (n=28)	78.6	14.3	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6
	後期高齢期 (n=29)	72.4	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8

問 52 コロナ禍の影響で飲酒量は増えましたか。(単数回答)

《問 50 で「毎日」、「週 5～6 日」、「週 3～4 日」、「週 1～2 日」、「週 1 日未満 (月に 1～3 日程度)」と回答した人が対象》

「変わらない」が 70.3% と最も高く、次いで、「減った」が 10.4% となっています。

『増えた』(「かなり増えた」+「増えた」)については 10.8%、『減った』(「かなり減った」+「減った」)については 17.0% となっています。

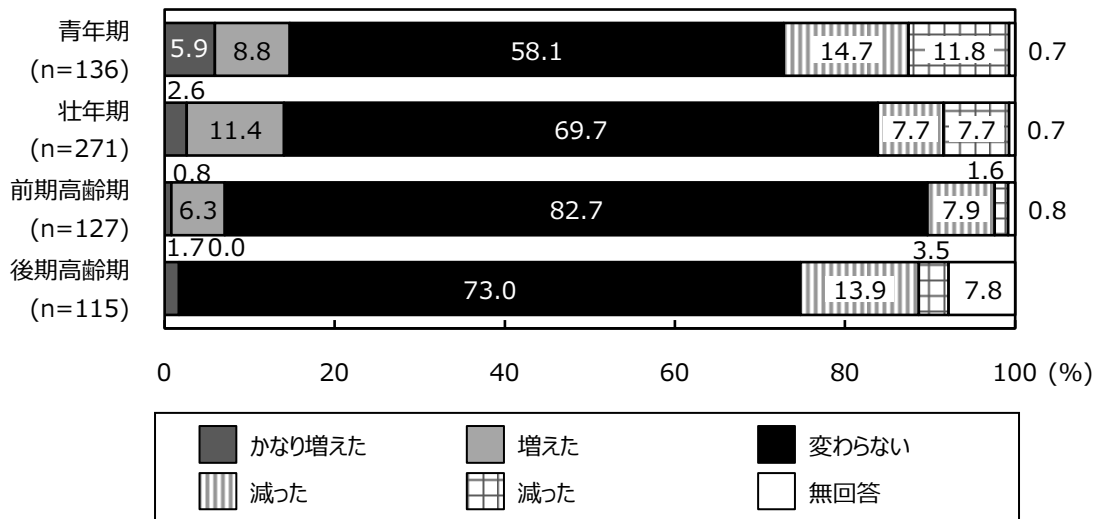


【コロナ禍による飲酒量の変化 (ライフステージ別)】

どの世代も「変わらない」が最も高くなっています。

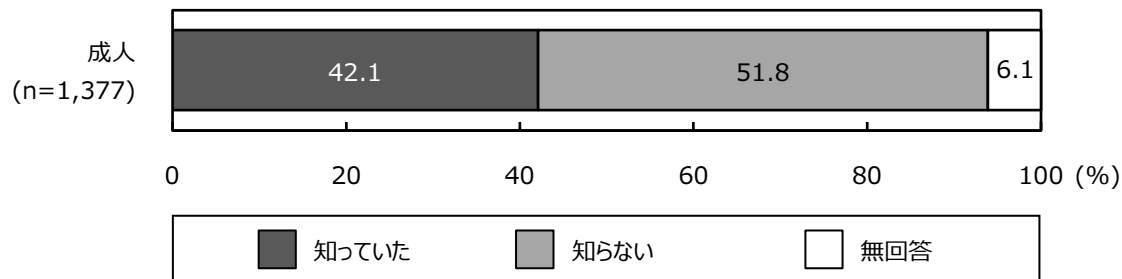
『増えた』については、青年期では 14.7%、壮年期では 14.0%、前期高齢期では 7.1%、後期高齢期では 1.7% と、青年期、壮年期での割合が高くなっています。

『増えた』と『減った』を比べると、どの世代も『減った』の方が高くなっています。



問 53 「節度ある適度な飲酒」は、ビール中びん1本以下に相当する量であることを知っていますか。(単数回答)

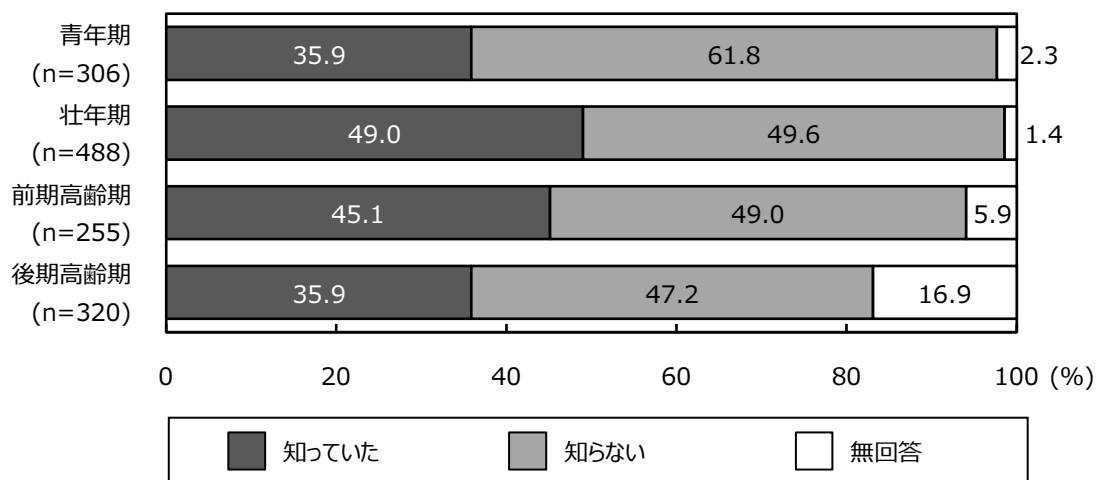
「知っていた」が42.1%、「知らない」が51.8%と、「知らない」の方が高くなっています。



【節度ある適度な飲酒量を知っているか(ライフステージ別)】

どの世代も「知らない」の方が高くなっています。

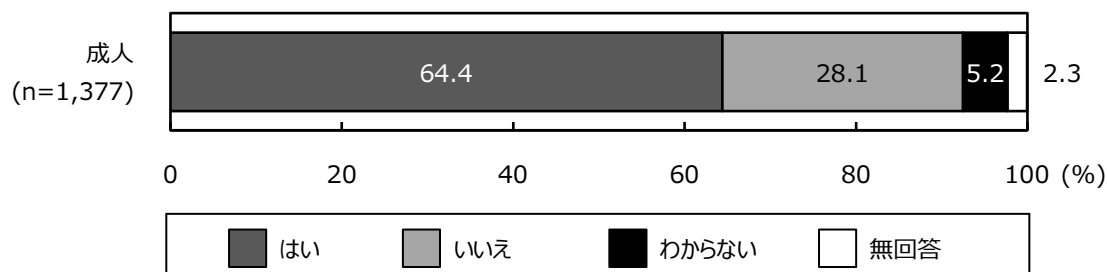
「知っていた」については、青年期では35.9%、壮年期では49.0%、前期高齢期では45.1%、後期高齢期では35.9%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



(9) 健康管理について

問 54 かかりつけ医はありますか。(単数回答)

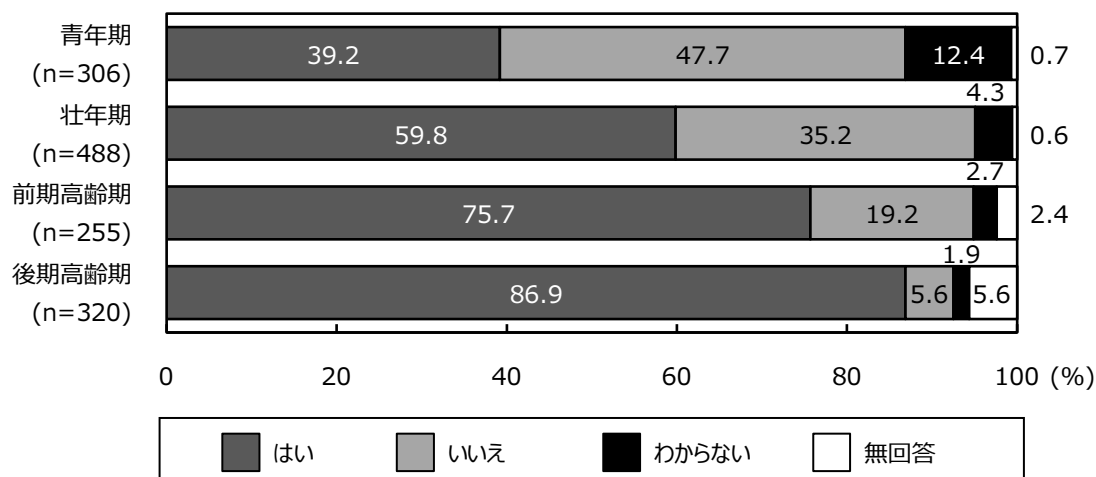
「はい」が64.4%、「いいえ」が28.1%と、「はい」の方が高くなっています。



【かかりつけ医の有無 (ライフステージ別)】

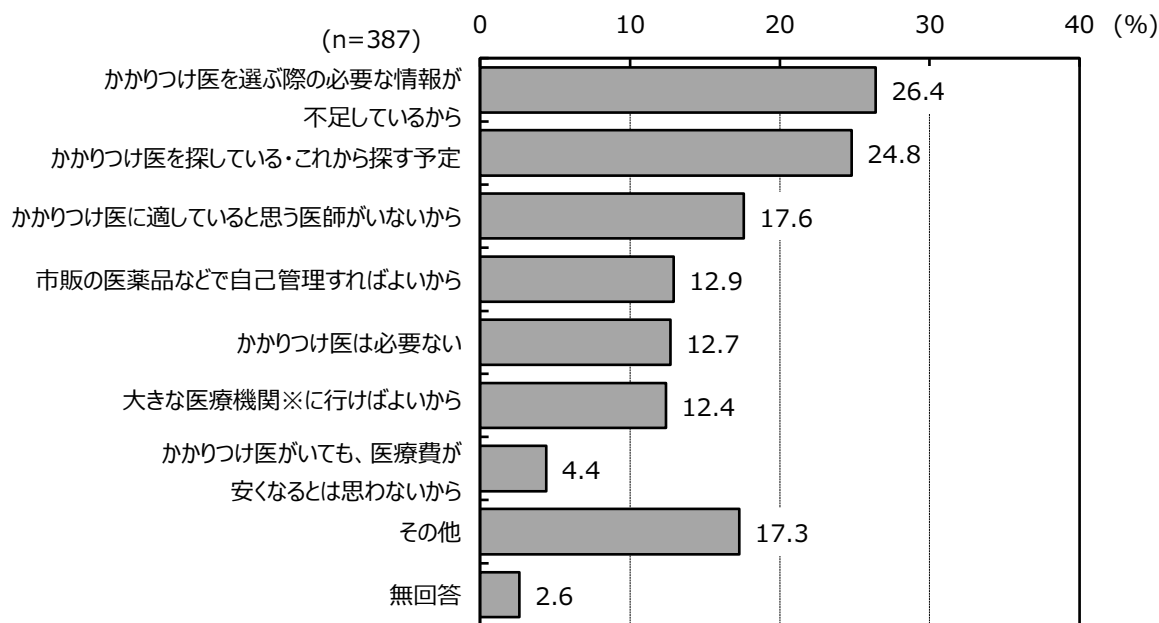
青年期では「いいえ」の方が高くなっていますが、壮年期以降では「はい」の方が高くなっています。

「はい」については、世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では39.2%、壮年期では59.8%、前期高齢期では75.7%、後期高齢期では86.9%と、特に青年期から壮年期にかけての増加が大きくなっています。



問 55 かかりつけ医がない理由は何ですか。（複数回答）
 《問 54 で「いいえ」と回答した人が対象》

「かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから」が 26.4%と最も高く、次いで、「かかりつけ医を探している・これから探す予定」が 24.8%、「かかりつけ医に適していると思う医師がないから」が 17.6%となっています。



※複数の診療科があり、病床数も多い医療機関。

【かかりつけ医がない理由（ライフステージ別）】

「その他」を除くと、どの世代も「かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから」（青年期：26.0%、壮年期：26.2%、前期高齢期：28.6%、後期高齢期：27.8%）、「かかりつけ医を探している・これから探す予定」（青年期：26.7%、壮年期：22.7%、前期高齢期：28.6%、後期高齢期：16.7%）が上位2位となっていますが、青年期では「かかりつけ医を探している・これから探す予定」が最も高く、壮年期以降では「かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから」が最も高くなっています。

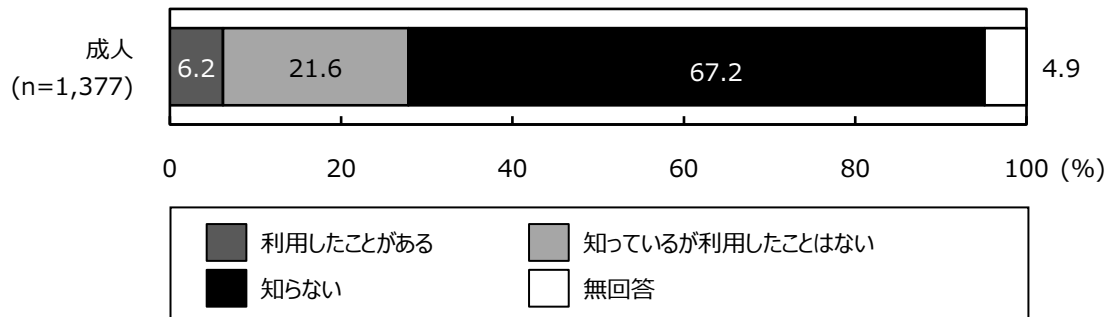
壮年期では「その他」も高くなっていますが、具体的な内容としては、「病気にならない」、「引っ越したばかり」といった回答が多くなっています。

	(%)								
	かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから	かかりつけ医を探している・これから探す予定	かかりつけ医に適していると思う医師がないから	市販の医薬品などで自己管理すればよいから	かかりつけ医は必要ない	大きな医療機関※に行けばよいから	かかりつけ医がいても、医療費が安くなると思わないから	その他	無回答
青年期 (n=146)	26.0	26.7	17.8	17.1	15.1	8.9	6.2	14.4	0.7
壮年期 (n=172)	26.2	22.7	19.2	11.0	9.9	13.4	4.7	23.3	2.3
前期高齢期 (n=49)	28.6	28.6	16.3	6.1	12.2	18.4	0.0	10.2	6.1
後期高齢期 (n=18)	27.8	16.7	5.6	16.7	16.7	16.7	0.0	5.6	11.1

※複数の診療科があり、病床数も多い医療機関。

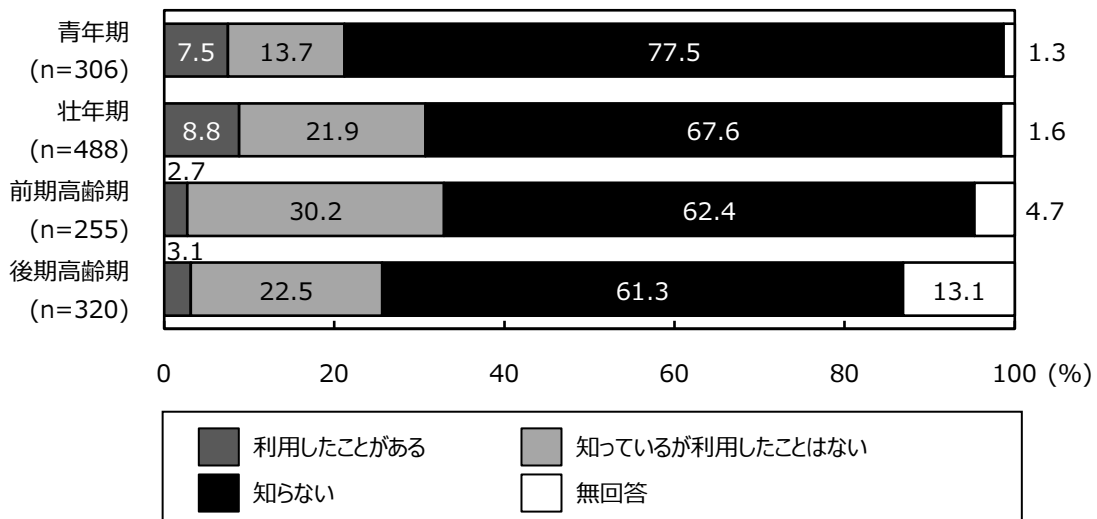
問 56 インターネット上の都道府県ホームページの中にある、「医療情報ネット」という医療機関を検索できるウェブサイトを利用したことはありますか。（単数回答）

「知らない」が 67.2%と最も高く、次いで、「知っているが利用したことはない」が 21.6%、「利用したことがある」が 6.2%となっています。



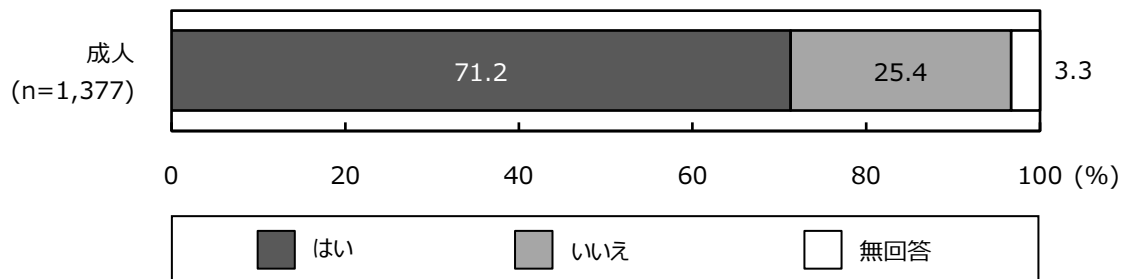
【医療情報ネットの利用状況（ライフステージ別）】

どの世代も「知らない」が最も高くなっています。
「利用したことがある」については、どの世代も 10%未満となっています。



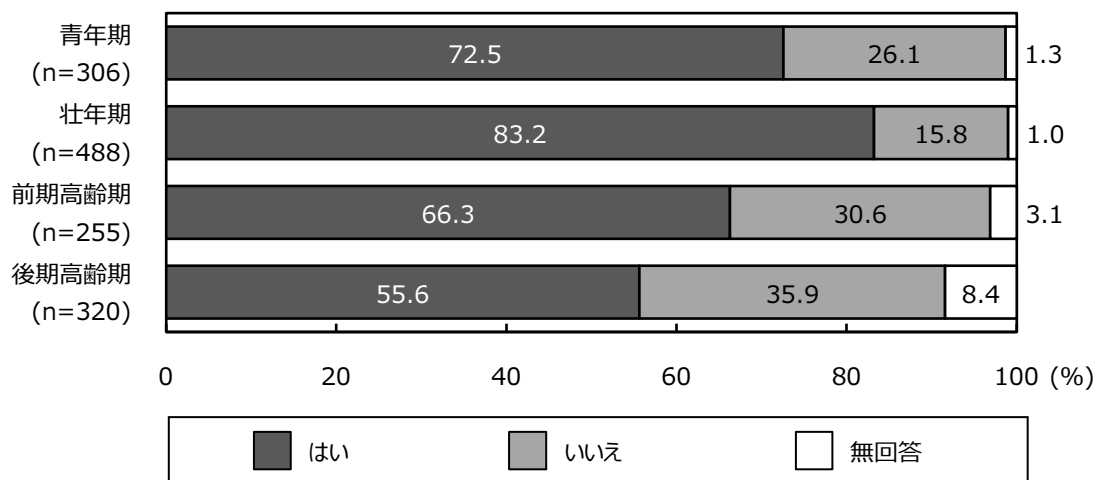
問 57 この1年以内に健診（特定健診・職場健診・人間ドック等）を受けていますか。
（単数回答）

「はい」が71.2%、「いいえ」が25.4%と、「はい」の方が高くなっています。



【この1年間の健診受診状況（ライフステージ別）】

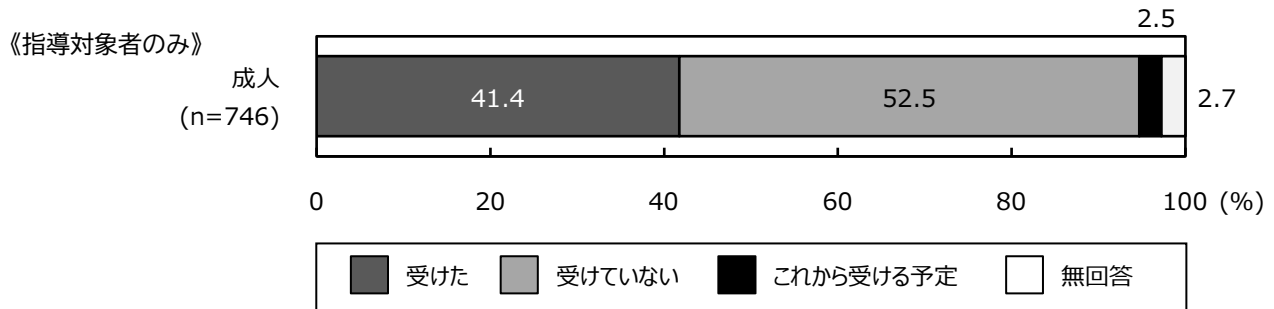
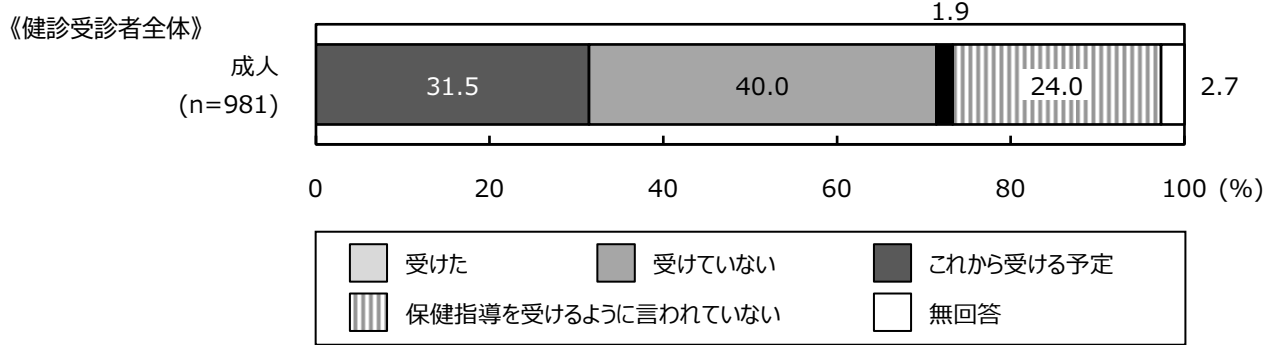
どの世代も「はい」の方が高くなっていますが、青年期では72.5%、壮年期では83.2%、前期高齢期では66.3%、後期高齢期で55.6%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



問 58 保健指導を受けましたか。(単数回答)
 《問 57 で「はい」と回答した人が対象》

「受けた」が31.5%、「受けていない」が40.0%となっており、「保健指導を受けるように言われていない」については24.0%となっています。

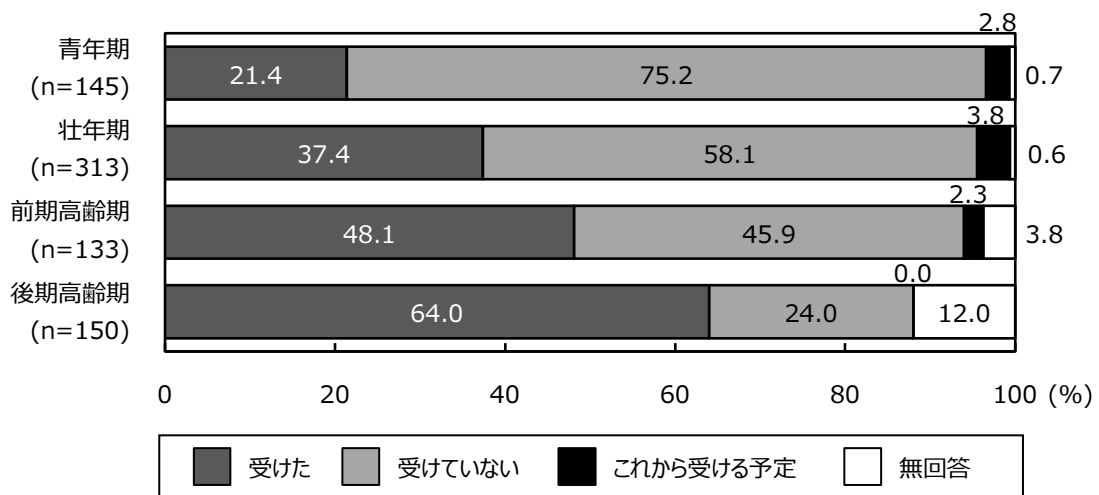
指導対象者のみの結果（「保健指導を受けるように言われていない」と回答した人を除いた結果）をみると、「受けた」が41.4%、「受けていない」が52.5%となっており、「受けていない」の方が高くなっています。



【指導対象者における保健指導の状況（ライフステージ別）】

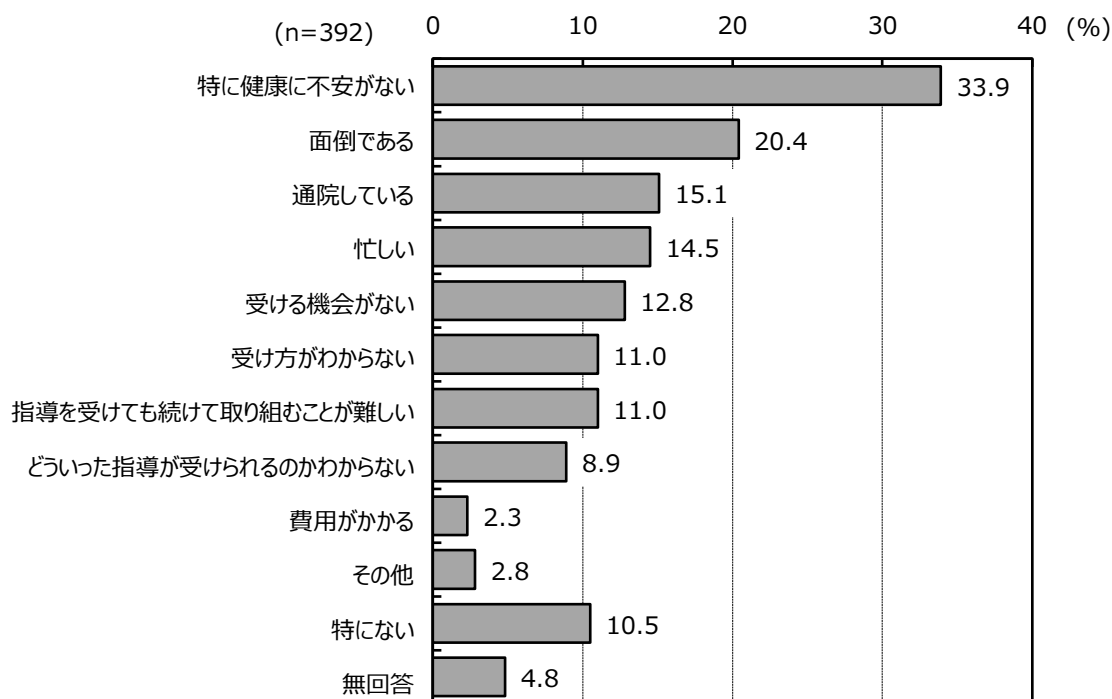
「保健指導を受けるように言われていない」と回答した人を除いた結果について、「受けた」と「受けていない」を比べると、壮年期までは「受けていない」の方が高く、前期高齢期以降では「受けた」の方が高くなっています。

「受けた」については、世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では21.4%、壮年期では37.4%、前期高齢期では48.1%、後期高齢期では64.0%と、増加幅も大きくなっています。



問 59 保健指導を受けなかった理由は何ですか。(複数回答)
 《問 58 で「受けていない」と回答した人が対象》

「特に健康に不安がない」が 33.9%と最も高く、次いで、「面倒である」が 20.4%、「通院している」が 15.1%、「忙しい」が 14.5%となっています。



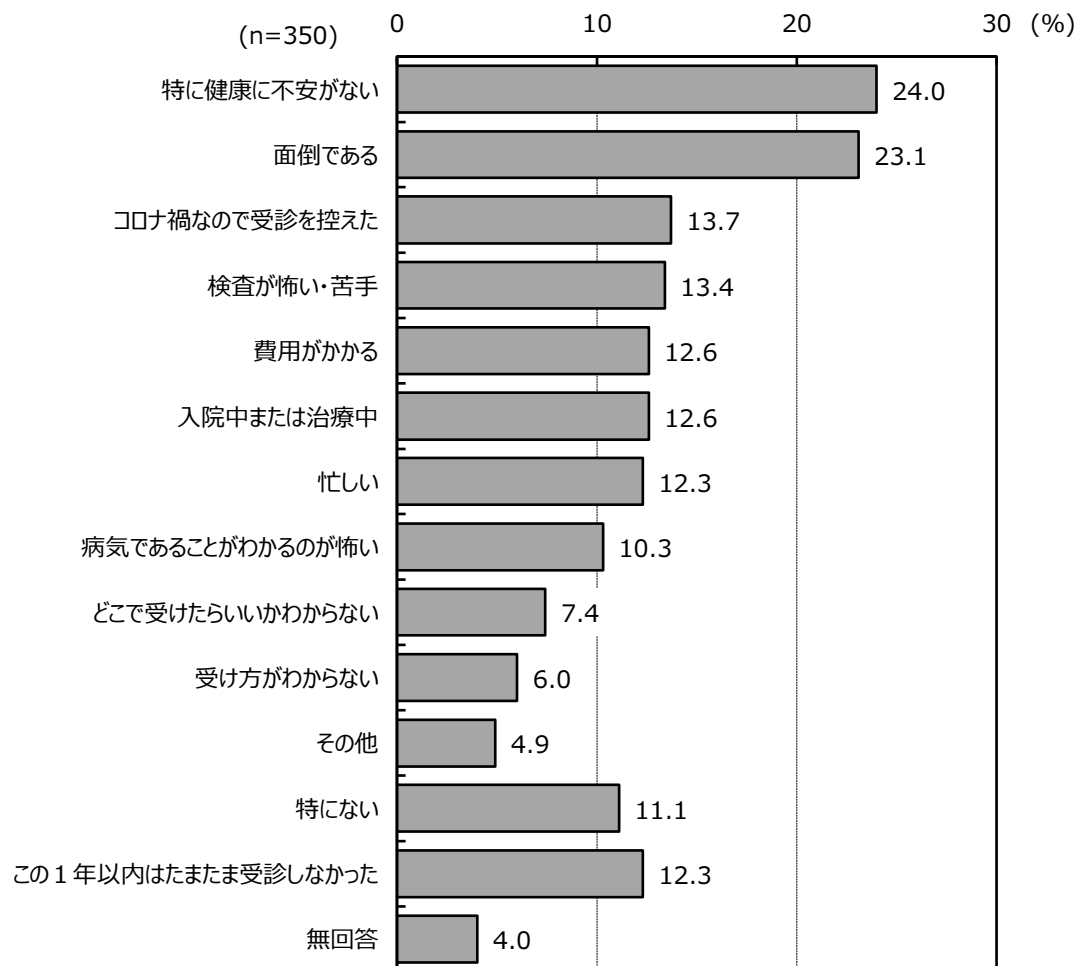
【保健指導を受けなかった理由 (ライフステージ別)】

どの世代も「特に健康に不安がない」が最も高くなっています(青年期:34.9%、壮年期:30.2%、前期高齢期:39.3%、後期高齢期:36.1%)。次に割合が高いものをみると、青年期では「受け方がわからない」(22.0%)、壮年期では「面倒である」(24.2%)、前期高齢期以降では「通院している」(前期高齢期:24.6%、後期高齢期:33.3%)となっています。

	特に健康に不安がない	面倒である	通院している	忙しい	受ける機会がない	受け方がわからない	指導を受けても続けて取り組むことが難しい	どういった指導が受けられるのかわからない	費用がかかる	その他	特にない	無回答
青年期 (n=109)	34.9	19.3	2.8	18.3	17.4	22.0	7.3	11.0	2.8	2.8	12.8	4.6
壮年期 (n=182)	30.2	24.2	15.9	17.6	13.2	7.1	12.6	8.2	2.7	2.7	9.9	3.8
前期高齢期 (n=61)	39.3	18.0	24.6	6.6	4.9	4.9	18.0	8.2	1.6	3.3	8.2	4.9
後期高齢期 (n=36)	36.1	11.1	33.3	2.8	11.1	8.3	2.8	8.3	0.0	2.8	8.3	11.1

問 59 健診を受けていない理由は何ですか。(複数回答)
 《問 57 で「いいえ」と回答した人が対象》

「特に健康に不安がない」が 24.0%と最も高く、次いで、「面倒である」が 23.1%となっています。



【健診を受けていない理由（ライフステージ別）】

青年期では「費用がかかる」（28.7%）、「どこで受けたらいいかわからない」（26.3%）、壮年期では「面倒である」（35.1%）、「忙しい」（24.7%）の順で高くなっています。

前期高齢期以降では、「特に健康に不安がない」が最も高くなっていますが（前期高齢期：28.2%、後期高齢期：24.3%）、次に割合が高いものをみると、前期高齢期では「面倒である」（24.4%）、後期高齢期では「入院中または治療中」（17.4%）となっています。

「費用がかかる」については世代が下がるほど割合が高くなっています。

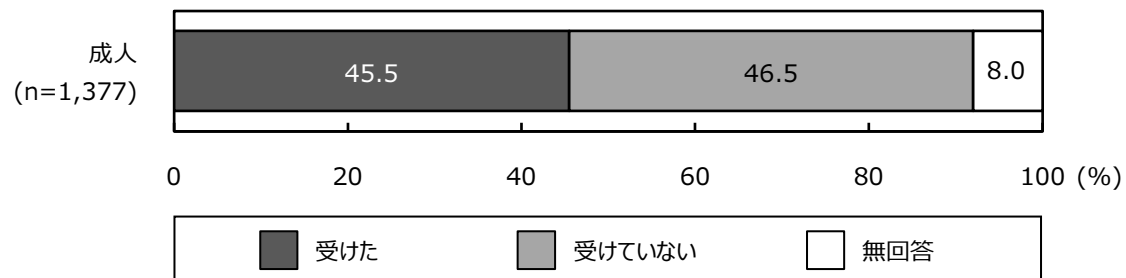
(%)

	特に健康に不安がない	面倒である	コロナ禍なので受診を控えた	検査が怖い・苦手	費用がかかる	入院中または治療中	忙しい	病気であることがわかるのが怖い	どこで受けたらいいかわからない
青年期 (n=80)	23.8	23.8	6.3	12.5	28.7	0.0	23.8	5.0	26.3
壮年期 (n=77)	19.5	35.1	15.6	19.5	18.2	7.8	24.7	16.9	2.6
前期高齢期 (n=78)	28.2	24.4	21.8	16.7	5.1	23.1	5.1	15.4	1.3
後期高齢期 (n=115)	24.3	13.9	12.2	7.8	2.6	17.4	0.9	6.1	1.7

	受け方がわからない	その他	特にない	この1年以内はたまたま受診しなかった	無回答
青年期 (n=306)	18.8	5.0	7.5	7.5	3.8
壮年期 (n=77)	2.6	5.2	6.5	11.7	1.3
前期高齢期 (n=78)	0.0	5.1	14.1	15.4	1.3
後期高齢期 (n=115)	3.5	4.3	14.8	13.9	7.8

問 61 1年以内に受けたがん検診はどれですか。(複数回答)

がん検診の受診状況を見ると、「受けた」は45.5%、「受けていない」は46.5%と、「受けていない」の方が高くなっています。

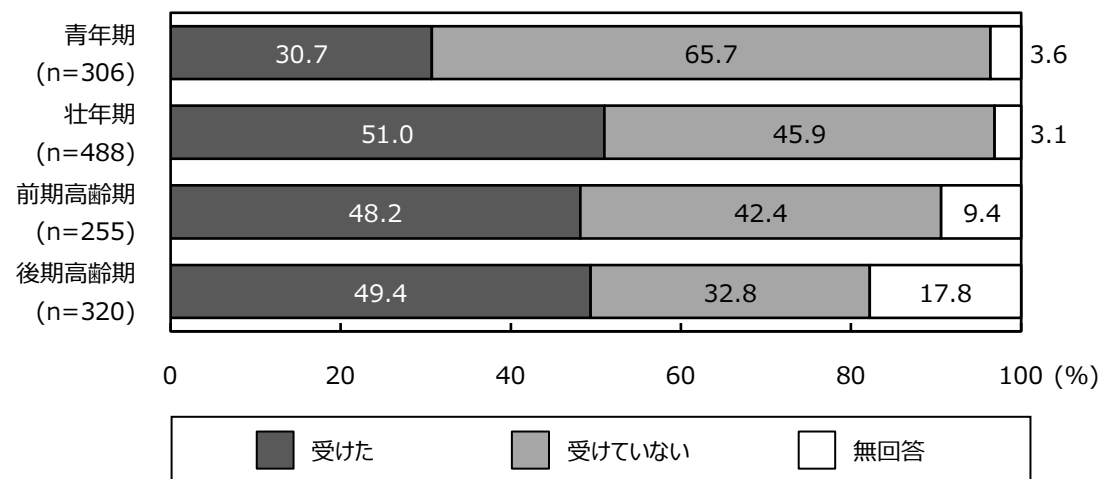


(注) 「受けた」の割合は、問 61 で「受けていない」、「無回答」でない割合。

【がん検診の受診状況 (ライフステージ別)】

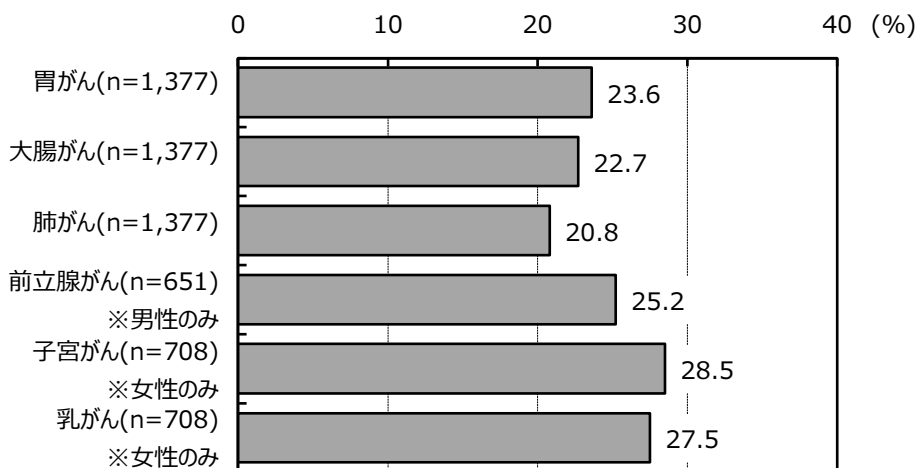
青年期では「受けていない」の方が高くなっていますが、壮年期以降では「受けた」の方が高くなっています。

「受けた」については、青年期では30.7%、壮年期では51.0%、前期高齢期では48.2%、後期高齢期では49.4%と、壮年期での割合が最も高くなっています。



(注) 「受けた」の割合は、問 61 で「受けていない」、「無回答」でない割合。

各検診の受診率をみると、「子宮がん」が28.5%と最も高く、次いで「乳がん」が27.5%、「前立腺がん」が25.2%となっています。



(注) 胃がん、大腸がん、肺がんは成人全体の割合、前立腺がんは男性の割合、子宮がん、乳がんは女性の割合をグラフで示している。

【各検診の受診率（ライフステージ別）】

「胃がん」（青年期：2.6%、壮年期：28.3%、前期高齢期：31.0%、後期高齢期：30.6%）、「大腸がん」（青年期：3.3%、壮年期：25.4%、前期高齢期：31.8%、後期高齢期：30.0%）、「肺がん」（青年期：2.3%、壮年期：19.7%、前期高齢期：33.3%、後期高齢期：30.3%）については前期高齢期での割合が最も高くなっています。

「前立腺がん」については世代が上がるほど割合が高くなり、後期高齢期での割合が最も高くなっています（青年期：0.0%、壮年期：17.8%、前期高齢期：34.5%、後期高齢期：45.7%）。

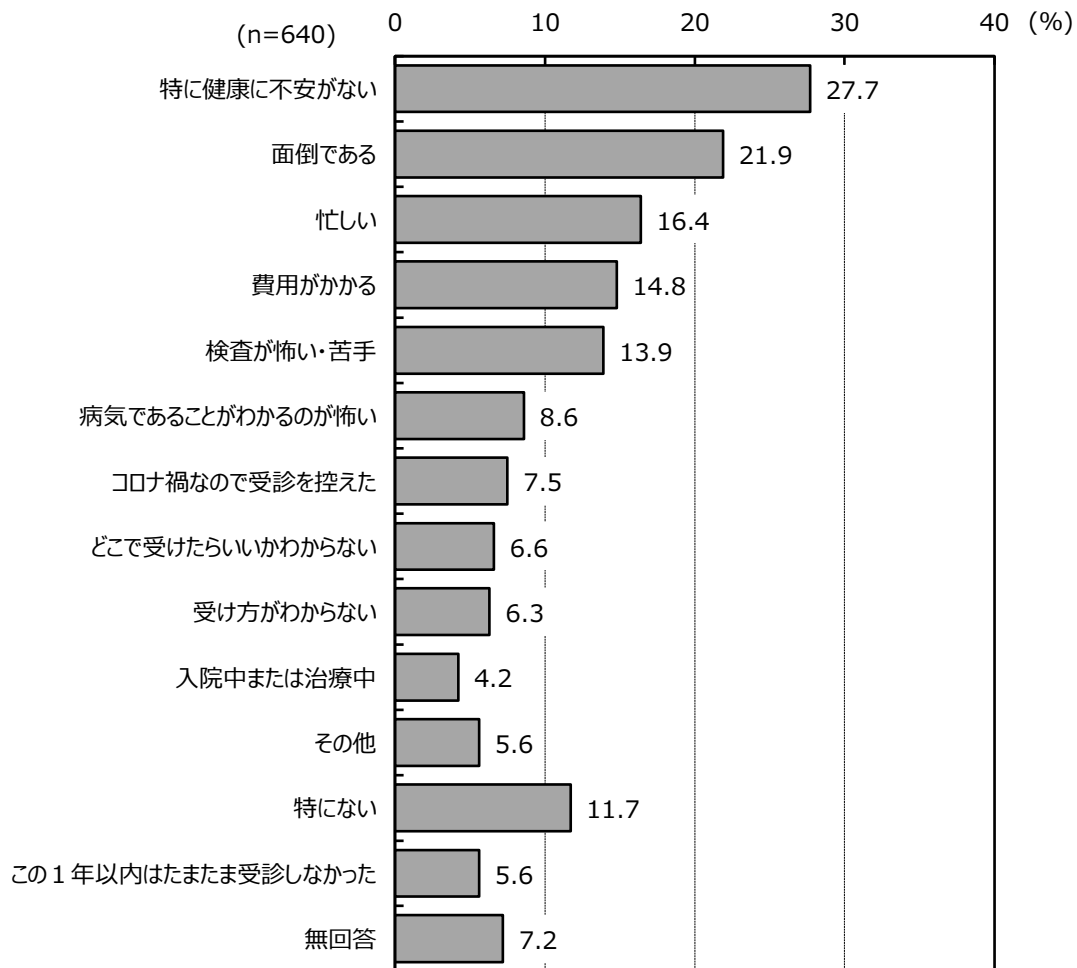
「子宮がん」については、青年期での割合が最も高く（青年期：41.4%、壮年期：40.6%、前期高齢期：12.4%、後期高齢期：5.2%）、「乳がん」については壮年期での割合が最も高くなっています（青年期：23.7%、壮年期：44.9%、前期高齢期：18.6%、後期高齢期：10.3%）。

	(%)			(%)		(%)		
	胃がん	大腸がん	肺がん	男性のみ	前立腺がん	女性のみ	子宮がん	乳がん
青年期 (n=306)	2.6	3.3	2.3	青年期 (n=117)	0.0	青年期 (n=186)	41.4	23.7
壮年期 (n=488)	28.3	25.4	19.7	壮年期 (n=230)	17.8	壮年期 (n=254)	40.6	44.9
前期高齢期 (n=255)	31.0	31.8	33.3	前期高齢期 (n=142)	34.5	前期高齢期 (n=113)	12.4	18.6
後期高齢期 (n=320)	30.6	30.0	30.3	後期高齢期 (n=162)	45.7	後期高齢期 (n=155)	5.2	10.3

(注) 胃がん、大腸がん、肺がんは成人全体の割合、前立腺がんは男性の割合、子宮がん、乳がんは女性の割合を取り上げて表で示している。そのため、各世代の割合について順位を示す網掛けはしていない。

問 62 検診を受けなかった理由は何ですか。(複数回答)
 《問 61 で「どれも受けていない」と回答した人が対象》

「特に健康に不安がない」が 27.7%と最も高く、次いで、「面倒である」が 21.9%、「忙しい」が 16.4%となっています。



【がん検診を受けなかった理由（ライフステージ別）】

青年期、前期高齢期、後期高齢期では「特に健康に不安がない」が最も高くなっていますが（青年期：31.8%、前期高齢期：30.6%、後期高齢期：21.9%）、壮年期では「面倒である」が最も高くなっています（29.9%）。

そのほかについては、青年期では「忙しい」（23.4%）、「面倒である」（21.4%）、壮年期では「特に健康に不安がない」（25.0%）、「忙しい」（22.3%）、前期高齢期では「面倒である」（18.5%）が高くなっています。

後期高齢者では「特に健康に不安がない」以外では、「特にない」が高くなっていますが、割合は10%台となっています（17.1%）。

(%)

	特に健康に不安がない	面倒である	忙しい	費用がかかる	検査が怖い・苦手	病気であることがわかるのが怖い	コロナ禍なので受診を控えた	どこで受けたらいいかわからない	受け方がわからない
青年期 (n=201)	31.8	21.4	23.4	19.9	11.9	4.0	2.5	12.9	14.4
壮年期 (n=224)	25.0	29.9	22.3	19.6	15.6	12.1	8.9	6.3	4.5
前期高齢期 (n=108)	30.6	18.5	5.6	6.5	13.9	13.0	15.7	0.9	0.0
後期高齢期 (n=105)	21.9	9.5	1.9	2.9	14.3	5.7	5.7	1.0	1.0

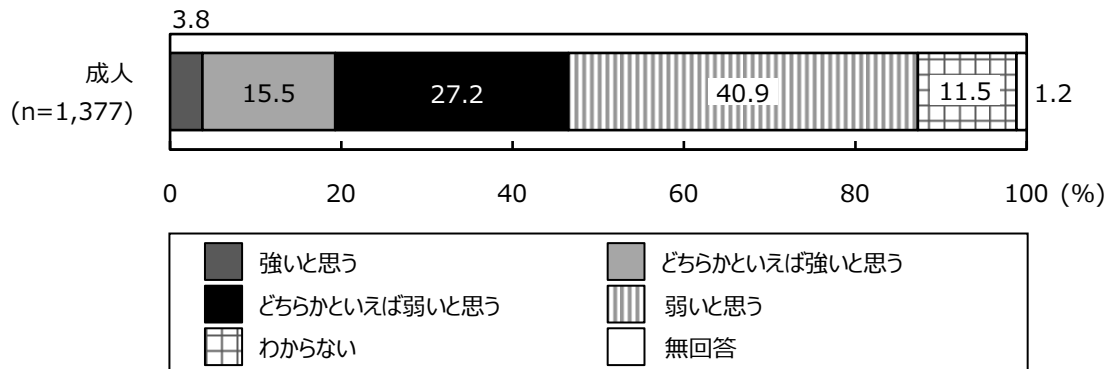
	入院中または治療中	その他	特にない	この1年以内はたまたま受診しなかった	無回答
青年期 (n=306)	0.0	5.5	12.9	4.0	3.5
壮年期 (n=224)	1.8	6.7	9.8	6.3	4.9
前期高齢期 (n=108)	10.2	3.7	8.3	4.6	11.1
後期高齢期 (n=105)	11.4	5.7	17.1	8.6	15.2

(10) 地域への参加、地域の環境について

問 63 あなたは、地域の人たちとのつながりは強い方だと思いますか。（単数回答）

「弱いと思う」が40.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえば弱いと思う」が27.2%、「どちらかといえば強いと思う」が15.5%となっています。

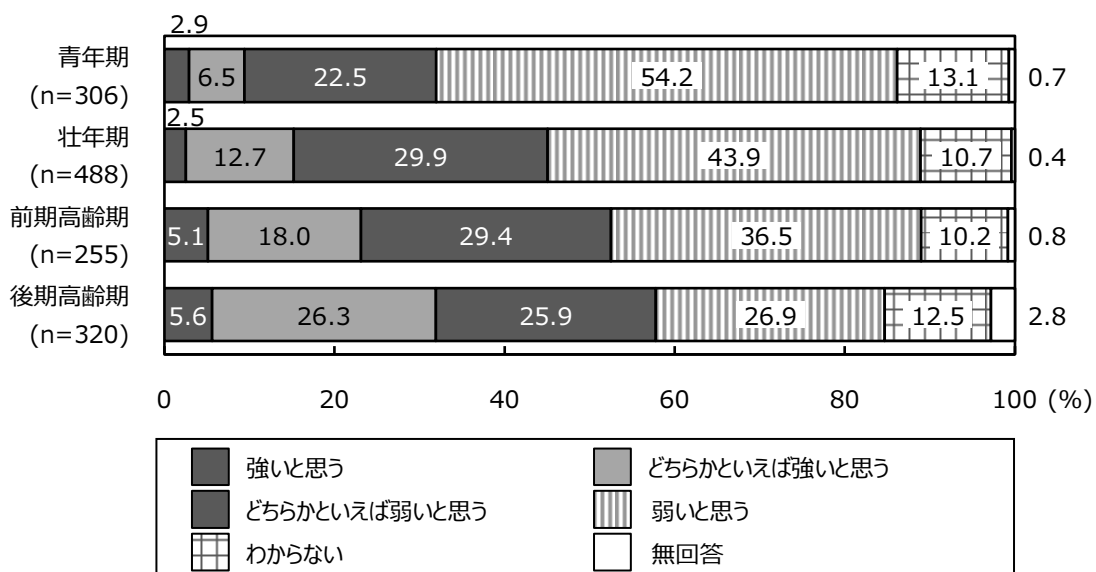
『強い方だと思う』（「強いと思う」+「どちらかといえば強いと思う」）については19.3%、『弱い方だと思う』（「弱いと思う」+「どちらかといえば弱いと思う」）については68.1%と、『弱い方だと思う』の方が高くなっています。



【地域の人たちとのつながりの程度（ライフステージ別）】

どの世代も「弱いと思う」が最も高くなっています。

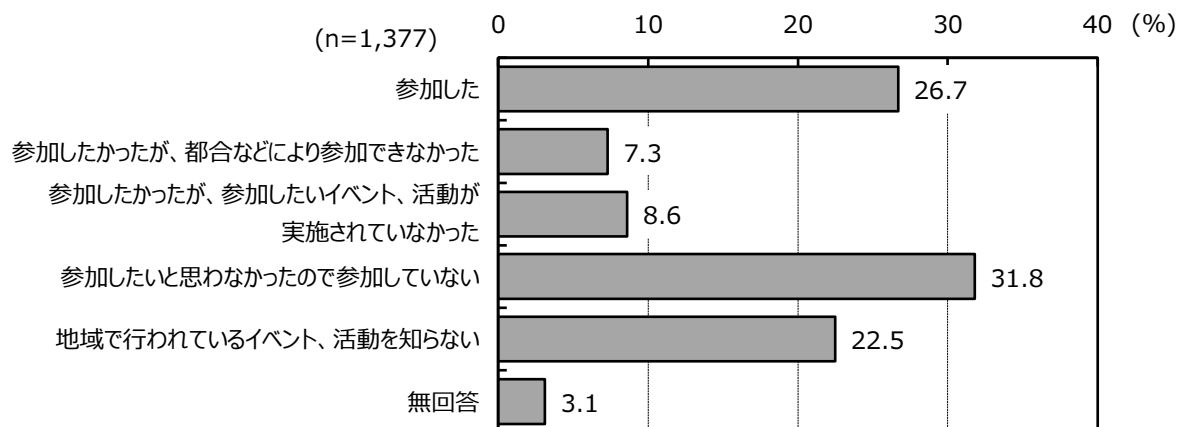
『強い方だと思う』については、世代が上がるほど割合が高くなり、青年期では9.4%、壮年期では15.2%、前期高齢期では23.1%、後期高齢期では31.9%となっています。



問 64 ここ1年以内で、地域で行われた運動会、お祭り、盆踊り、ボランティア活動などに参加したことがありますか。(単数回答)

「参加したいと思わなかったので参加していない」が31.8%と最も高く、次いで、「参加した」が26.7%、「地域で行われているイベント、活動を知らない」が22.5%となっています。

『参加の意思あり』（「参加した」+「参加したかったが、都合などにより参加できなかった」+「参加したかったが、参加したいイベント、活動が実施されていなかった」）については、42.6%となっています。



【地域行等への参加状況（ライフステージ別）】

青年期では「地域で行われているイベント、活動を知らない」が最も高くなっていますが(37.9%)、壮年期以降では「参加したいと思わなかったので参加していない」が最も高くなっています(壮年期：33.0%、前期高齢期：35.3%、後期高齢期：37.5%)。

「参加した」については、青年期では28.4%、壮年期では29.1%、前期高齢期では29.4%、後期高齢期では19.1%と、壮年期、前期高齢期での割合が高くなっています。

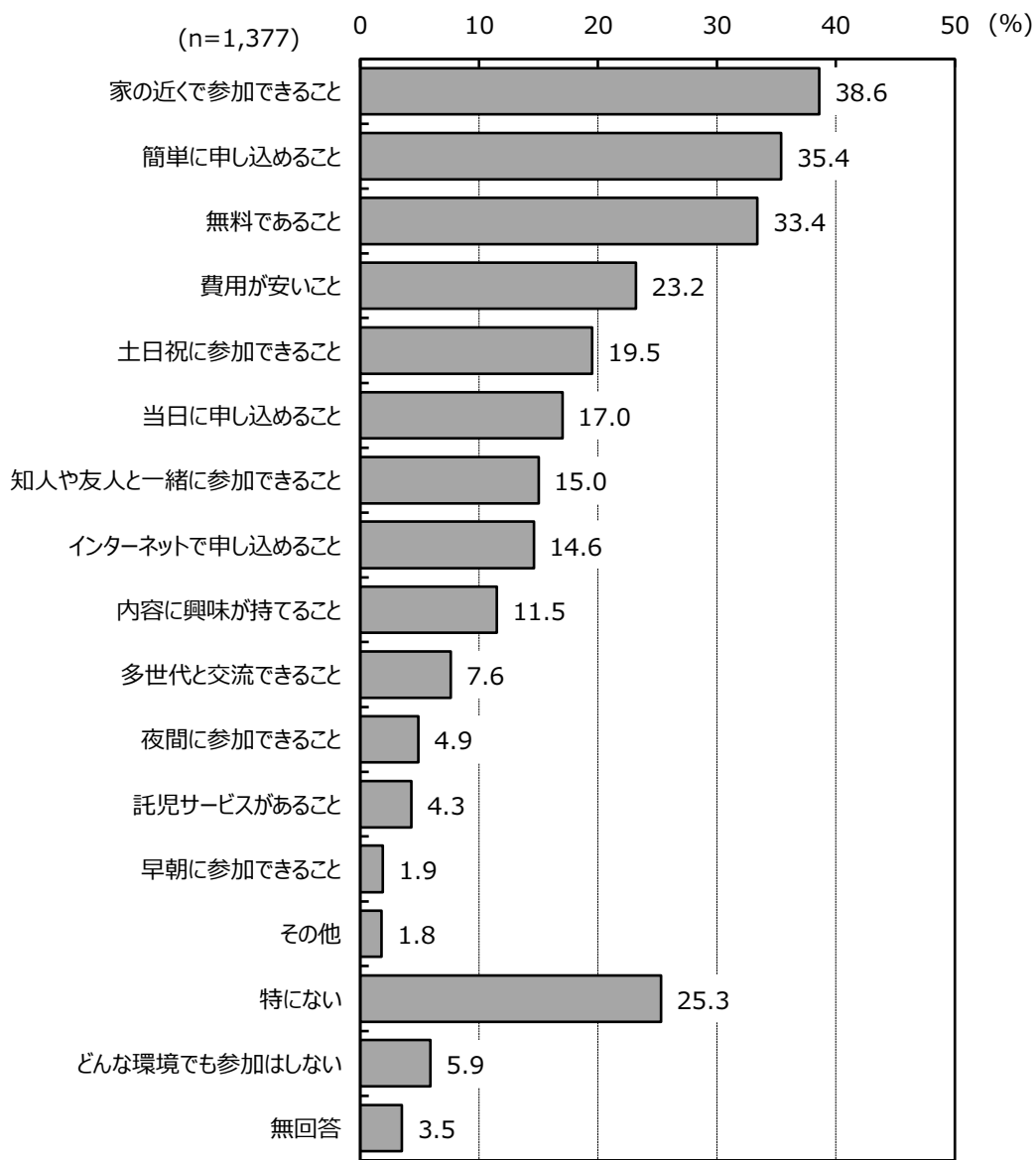
『参加の意思あり』については、青年期では40.2%、壮年期では45.5%、前期高齢期では45.5%、後期高齢期では38.1%と、「参加した」と同じく、壮年期、前期高齢期での割合が高くなっています。

「参加したいと思わなかったので参加していない」については世代が上がるほど割合が高くなっています(青年期：21.6%、壮年期：33.0%、前期高齢期：35.3%、後期高齢期：37.5%)。

	参加した	参加したかったが、都合などにより参加できなかった	参加したかったが、参加したいイベント、活動が実施されていなかった	参加したいと思わなかったので参加していない	地域で行われているイベント、活動を知らない	無回答
青年期 (n=306)	28.4	6.9	4.9	21.6	37.9	0.3
壮年期 (n=488)	29.1	7.6	8.8	33.0	20.9	0.6
前期高齢期 (n=255)	29.4	6.3	9.8	35.3	15.3	3.9
後期高齢期 (n=320)	19.1	8.1	10.9	37.5	15.9	8.4

問 65 地域の健康イベントや健康教室に対して、どのようなことを望みますか。
(複数回答)

「家の近くで参加できること」が38.6%と最も高く、次いで、「簡単に申し込めること」が35.4%、「無料であること」が33.4%となっています。「特にない」については25.3%となっています。



【地域の健康イベントや健康教室に望むこと（ライフステージ別）】

どの世代も「家の近くで参加できること」（青年期：42.2%、壮年期：36.1%、前期高齢期：39.2%、後期高齢期：39.1%）、「簡単に申し込めること」（青年期：38.6%、壮年期：37.3%、前期高齢期：34.1%、後期高齢期：30.9%）、「無料であること」（青年期：49.3%、壮年期：30.5%、前期高齢期：33.3%、後期高齢期：22.8%）が上位3位となっていますが、青年期では「無料であること」、壮年期では「簡単に申し込めること」、前期高齢期以降では「家の近くで参加できること」が最も高くなっています。

(%)

	家の近くで参加できること	簡単に申し込めること	無料であること	費用が安いこと	土日祝に参加できること	当日に申し込めること	知人や友人と一緒に参加できること	インターネットで申し込めること	内容に興味を持てること
青年期 (n=306)	42.2	38.6	49.3	24.5	30.1	19.6	22.9	27.5	11.1
壮年期 (n=488)	36.1	37.3	30.5	25.4	24.6	21.5	10.7	18.4	10.0
前期高齢期 (n=255)	39.2	34.1	33.3	26.3	12.2	13.3	11.8	8.2	13.3
後期高齢期 (n=320)	39.1	30.9	22.8	15.9	7.8	10.6	16.9	1.6	13.1

	多世代と交流できること	夜間に参加できること	託児サービスがあること	早朝に参加できること	その他	特になし	どんな環境でも参加はしない	無回答
青年期 (n=306)	10.1	8.5	15.0	2.0	2.6	17.0	6.2	0.7
壮年期 (n=488)	5.5	7.6	2.5	1.6	2.3	25.0	7.2	1.0
前期高齢期 (n=255)	8.2	0.8	0.0	1.6	0.8	32.2	3.5	3.5
後期高齢期 (n=320)	7.5	0.9	0.0	2.5	0.9	28.4	5.6	9.4

春日井市健康づくりに関するアンケート調査結果報告書

発行年月： 2023（令和5）年3月

発行： 春日井市健康福祉部健康増進課

〒486-8686 愛知県春日井市鳥居松町5丁目44番地

電話： 0568-85-6167

URL： <https://www.city.kasugai.lg.jp>
